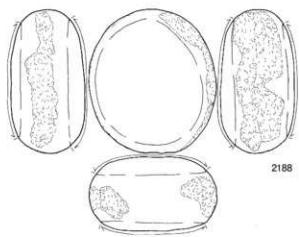
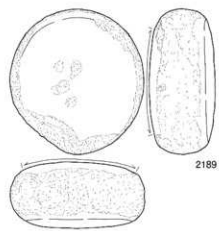


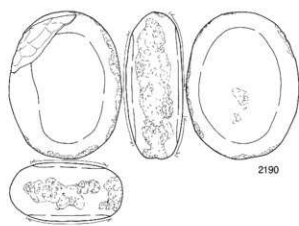
第 504 图 VII 层出土石器 (41)



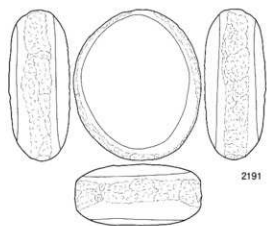
2188



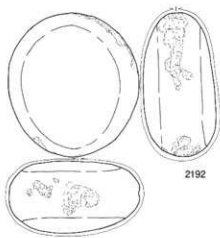
2189



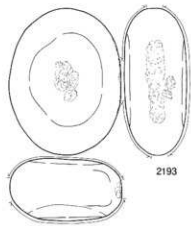
2190



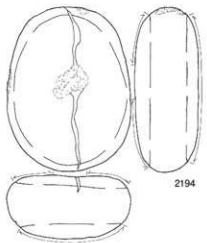
2191



2192



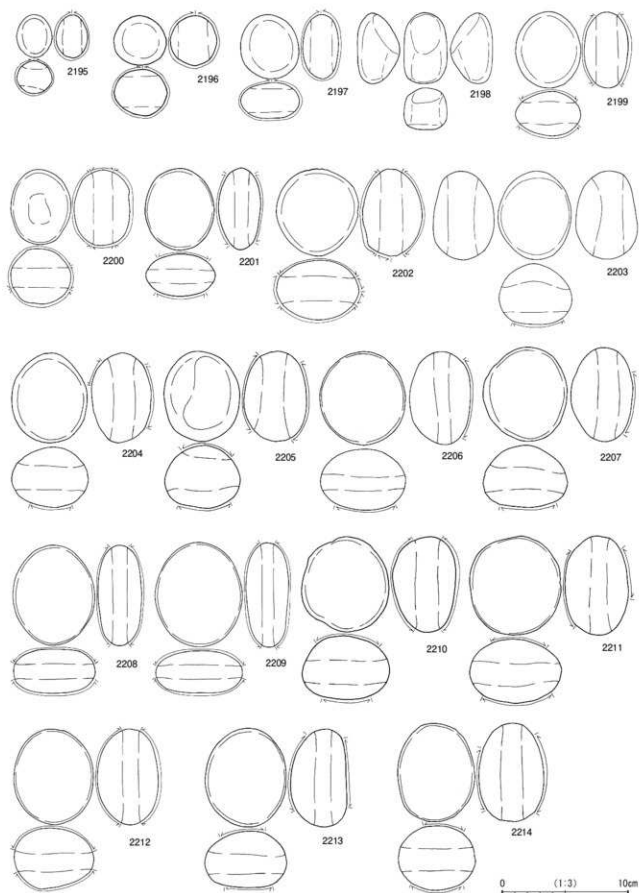
2193



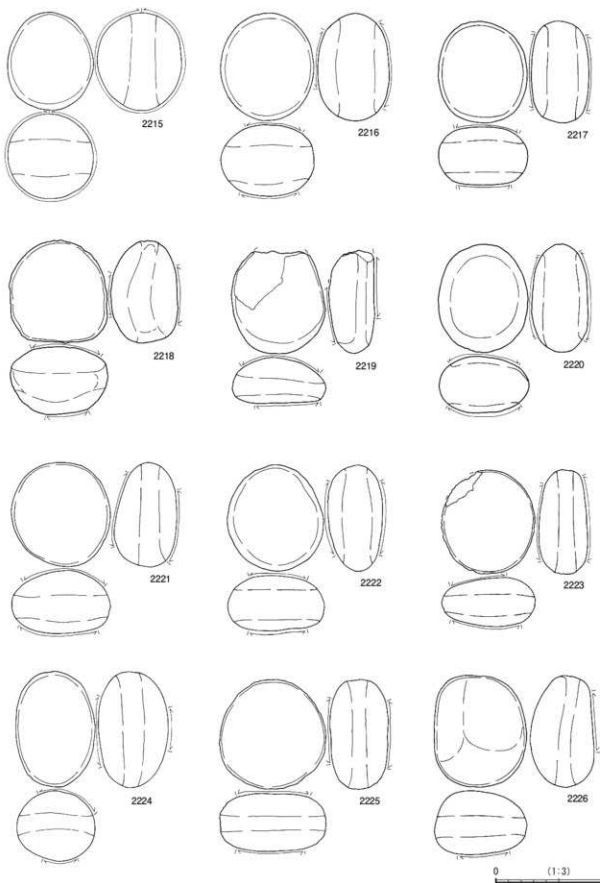
2194



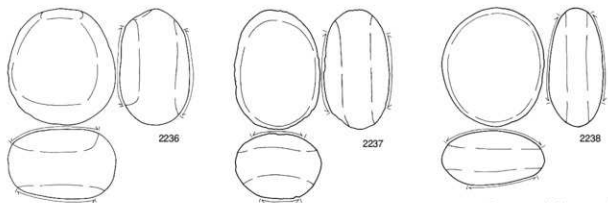
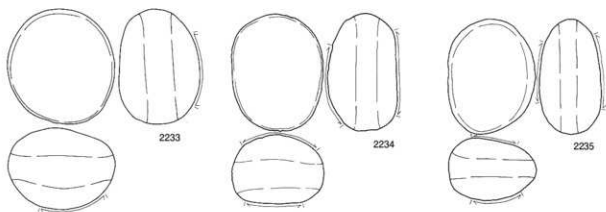
第 505 图 VII 层出土石器 (42)



第 506 图 VII 层出土石器 (43)

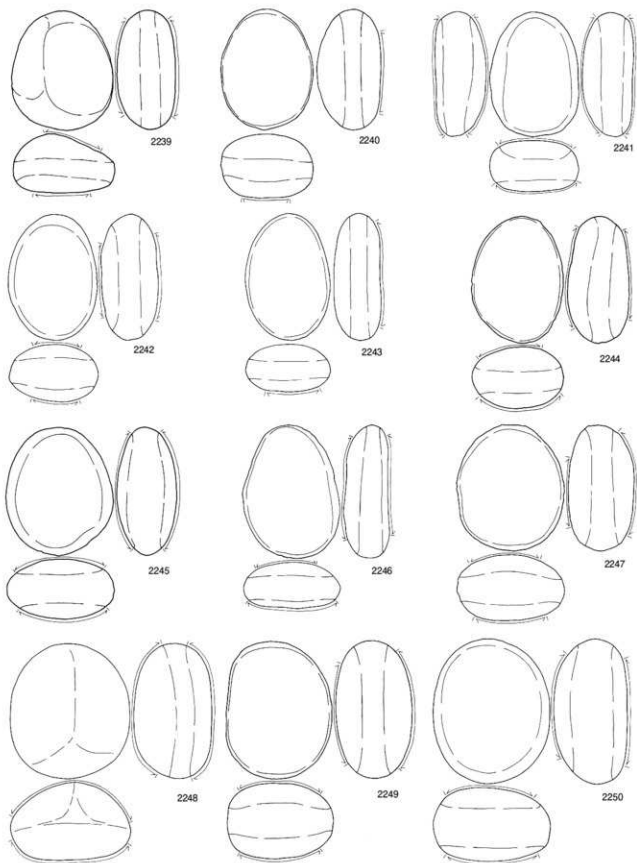


第 507 图 VII 层出土石器 (44)



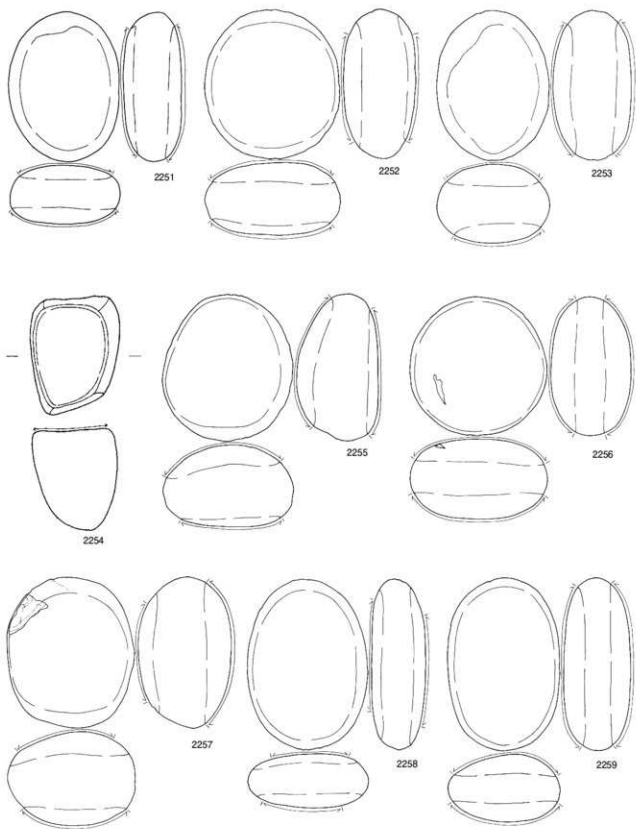
0 (1:3) 10cm

第508图 VII层出土石器(45)

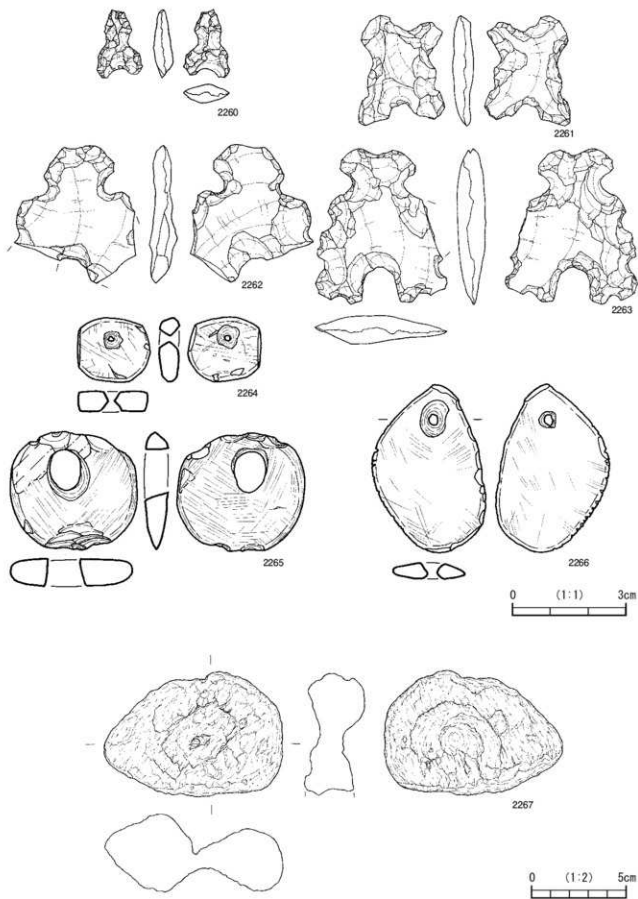


0 (1:3) 10cm

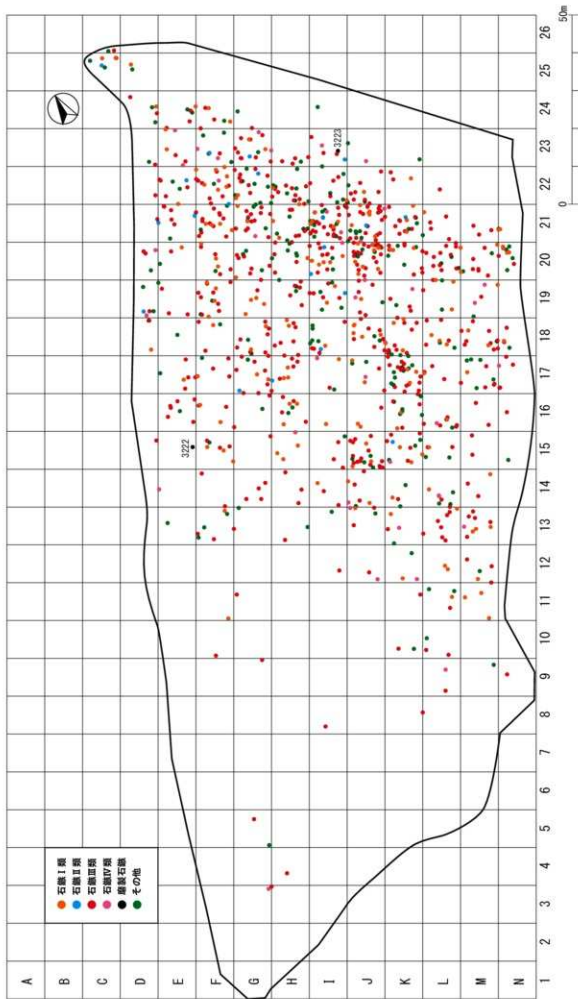
第 509 图 VII 层出土石器 (46)



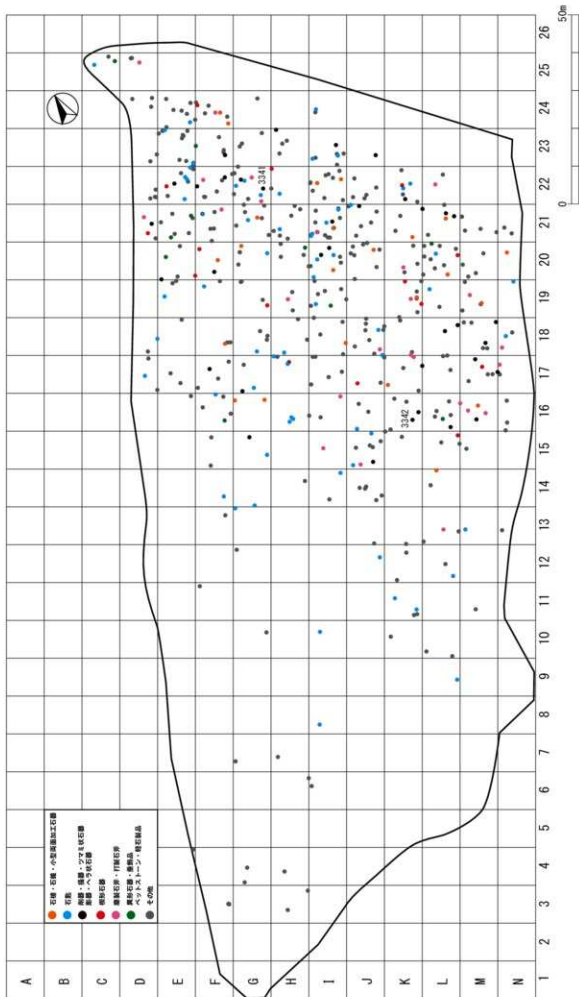
第 510 图 Ⅵ层出土石器 (47)



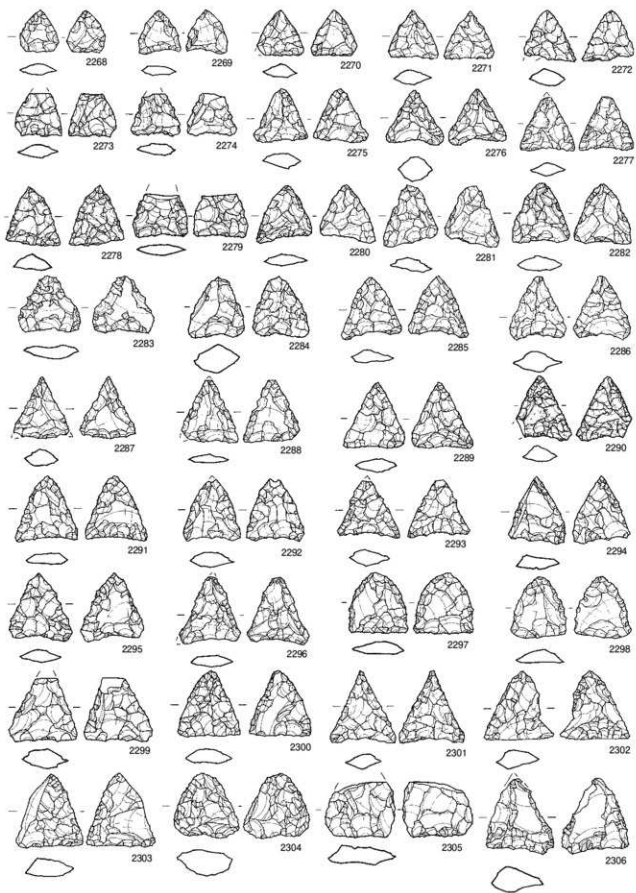
第 511 图 VII 层出土石器 (48)



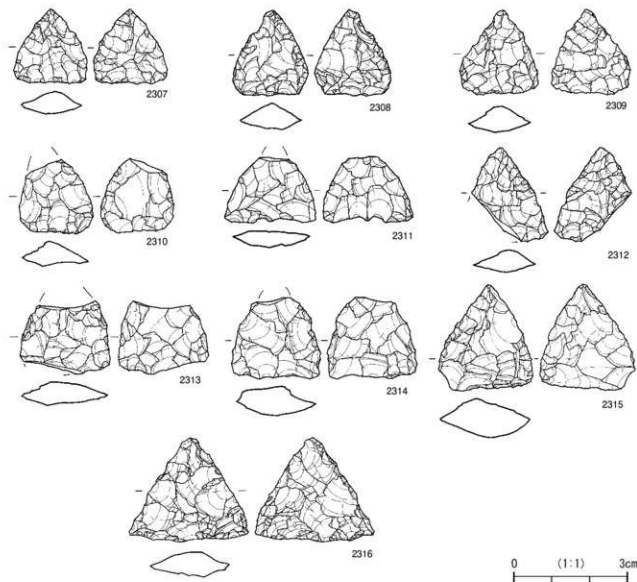
第512図 VI層出土石器出土分布図（石鏃）



第 513 図 VI層出土石器出土分布図（石塊以外）



第 514 图 VI 层出土石器 (1)



第515図 VI層出土石器(2)

VI層出土の石器(第514～599図)

(1) 打製石鏃(第514～548図2268～3221)

VI層出土の打製石鏃は、欠損品や未製品も合わせて954点図化した。分類はVII層出土の打製石鏃と共通である。

I類(第514～519図2268～2447)

正三角形鏃は180点図化した。使用する石材は安山岩を中心に、チャート、上牛鼻や針尾・流姫、腰岳産黒曜石等がある。

I a類(第514・515図2268～2316)

2268～2316は平基のもので、2268・2269は姫島産黒曜石を素材とし、一边が1cm程度と小型である。2276は水晶を素材とし、体部に厚みがあり、基部の右側を丸く作り出す。2278・2280・2281・2285は左右非対称である。2287の基部はやや膨らみを持ち、2297は先端部が欠損

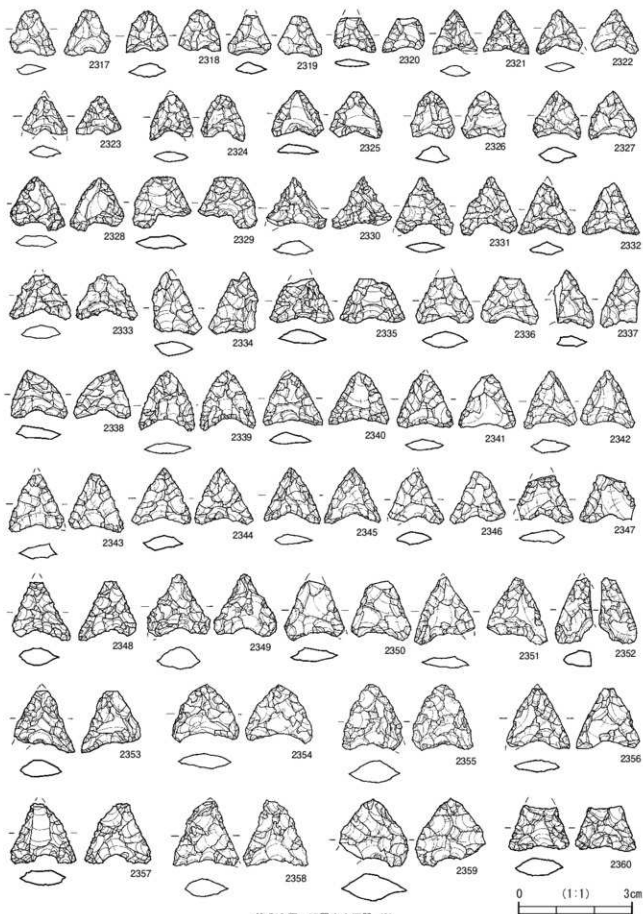
しているが、側縁部から先端部にかけて丸味を帯びる。2298は側縁部が細かり鋸歯状になる。2307～2316は一边が2cm前後の資料で、チャートや安山岩を素材とする。

I b類(第516・517図2317～2366)

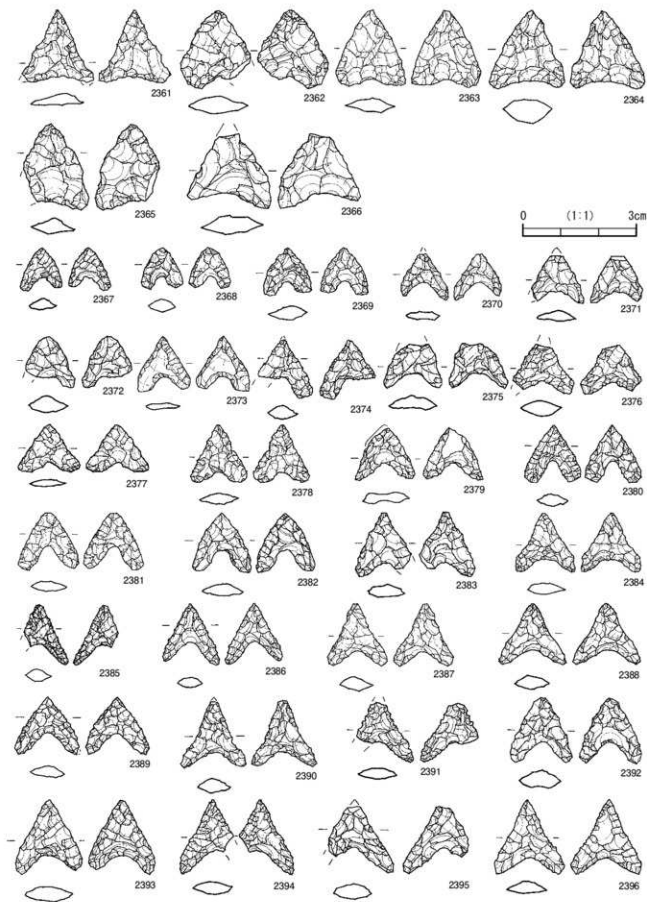
2317～2366は基部の挟りが浅いものであり、一边が1.5cm前後の資料が多い。2329は上牛鼻産黒曜石、2338は姫島産黒曜石を素材とし、リダクション石器である。2333は側縁部が鋸歯状になり、2339・2354・2359は側縁部が丸味を帯びる。2319・2326・2336・2349・2350・2362は、脚部の先端を丸く作出す。

I c類(第517・518図2367～2405)

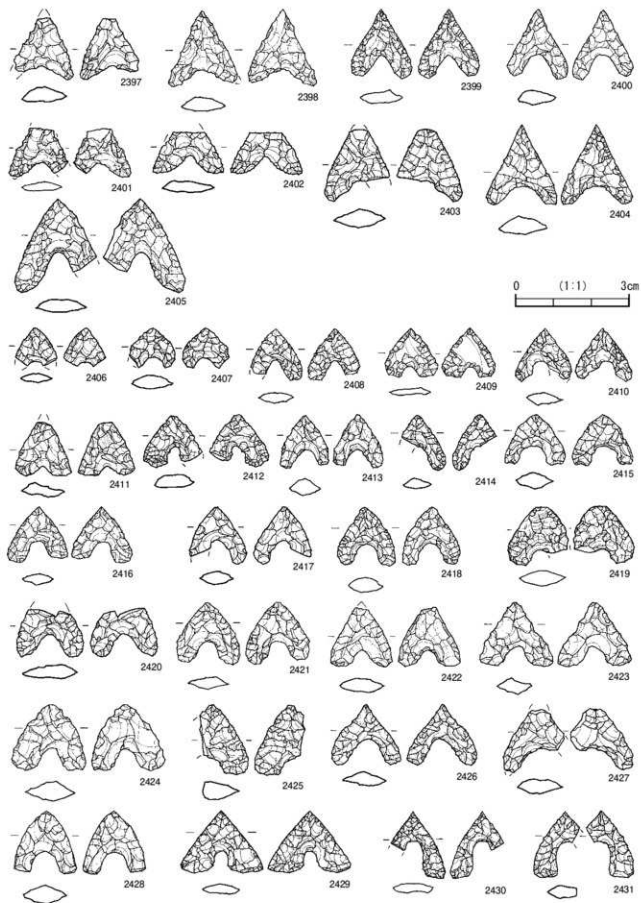
2367～2405は基部の挟りが外側に開き、脚部の先端部が尖るものである。2370は左右非対称であり、2373は剥片鏃である。側縁部は直線的なのが多いが、2376・



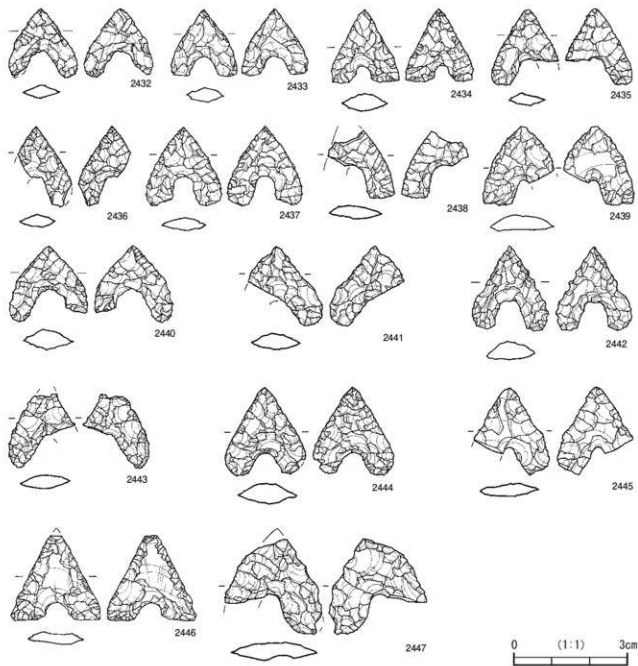
第 516 图 VI 层出土石器 (3)



第 517 圖 VI層出土石器 (4)



第 518 图 VI 层出土石器 (5)



第519図 VI層出土石器(6)

2384・2388・2390・2391・2394・2396のように緩い屈曲をもち、脚部が外に開くものもある。また、2385・2386・2391・2394・2401は細かい鋸歯状に仕上げられ、脚端部が鋭く尖る。

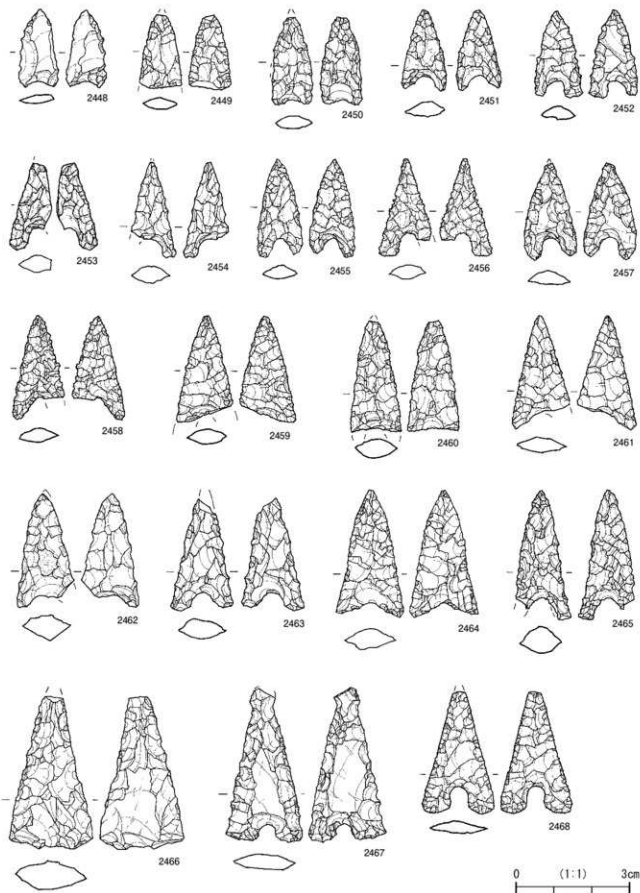
I d・e類(第518・519図2406～2447)

2406～2447は基部に「U」字状の抉りをもち、脚部の先端が平らなものと尖るものである。前者は2408・2409・2411～2413・2415・2416・2423～2425・2428～2431・2433～2439・2446である。2412は脚部の先端が鋸歯状に仕上げられ、2430・2431の抉りは深い、2436・

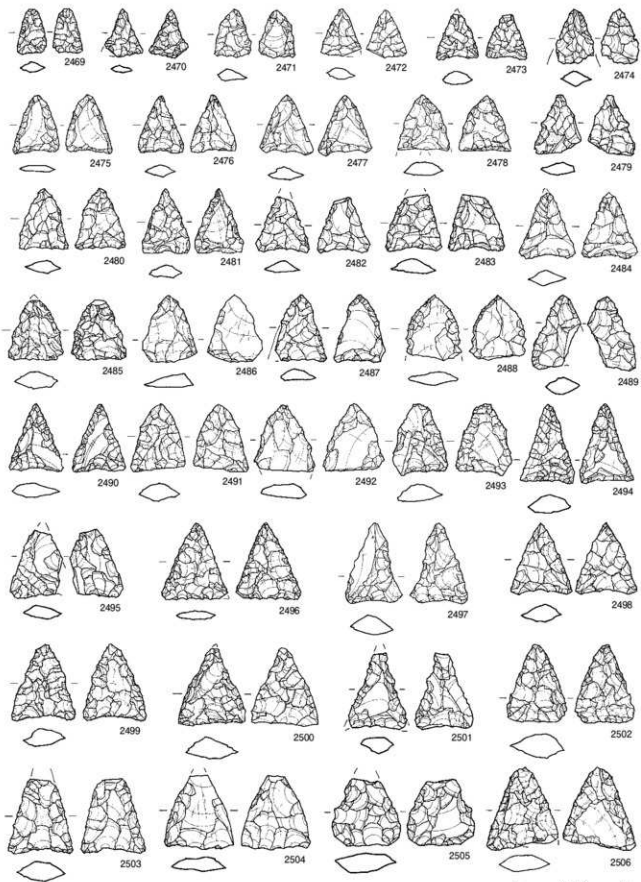
2444は丁寧に成形され、2437・2442は側縁部を鋸歯状に仕上げている。

II類(第520図2448～2468)

長身鏃は21点図化した。石材は安山岩が中心であるが、針尾・淀姫産黒曜石やチャート等も使用し、基部は「U」字状の抉りをもつものが多い。2448・2450・2464は基部の抉りが浅く、2466のみ平基である。2457は側縁部が左右非対称である。2452・2456・2458は側縁部が鋸歯状に仕上げられ、2456・2458は細かく押圧剥離が行われる。2464は針尾・淀姫産黒曜石を素材とし、両側縁部の上部

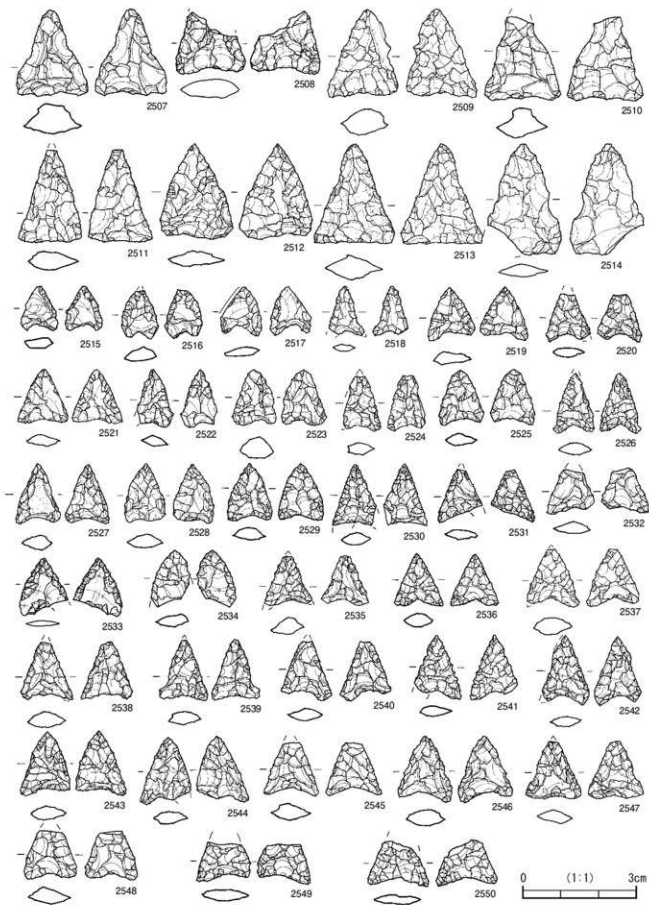


第 520 图 VI 层出土石器 (7)

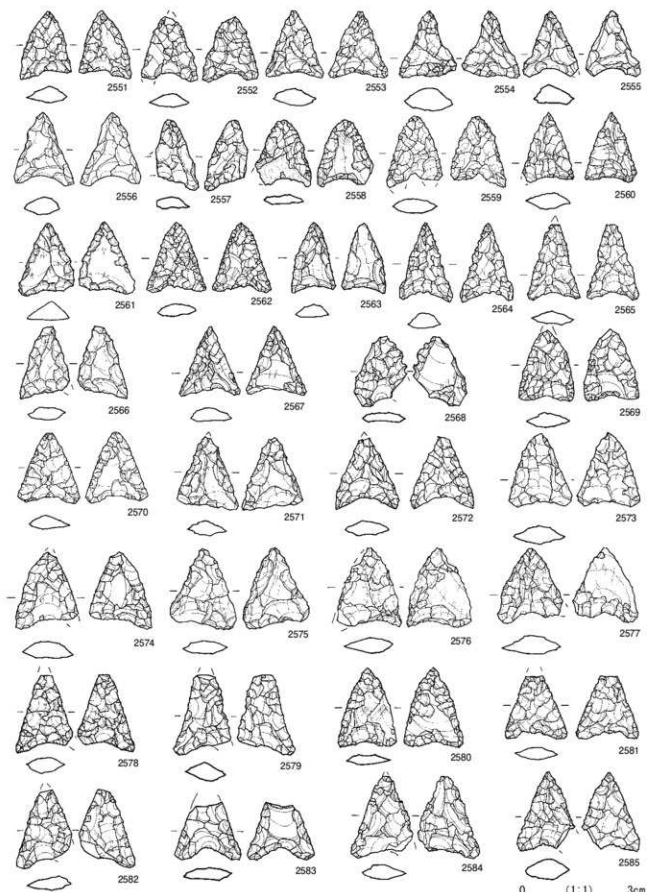


0 (1:1) 3cm

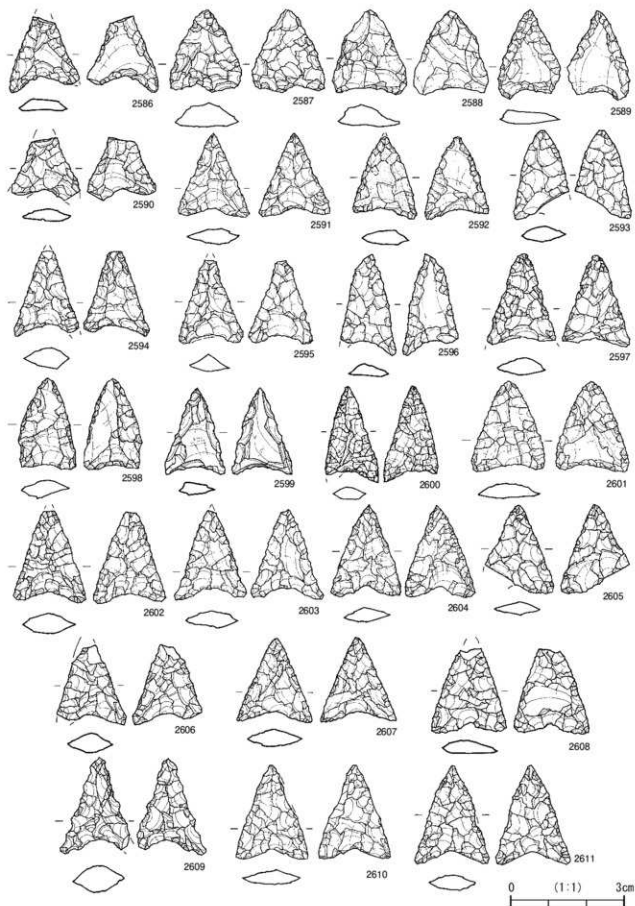
第 521 图 VI 层出土石器 (8)



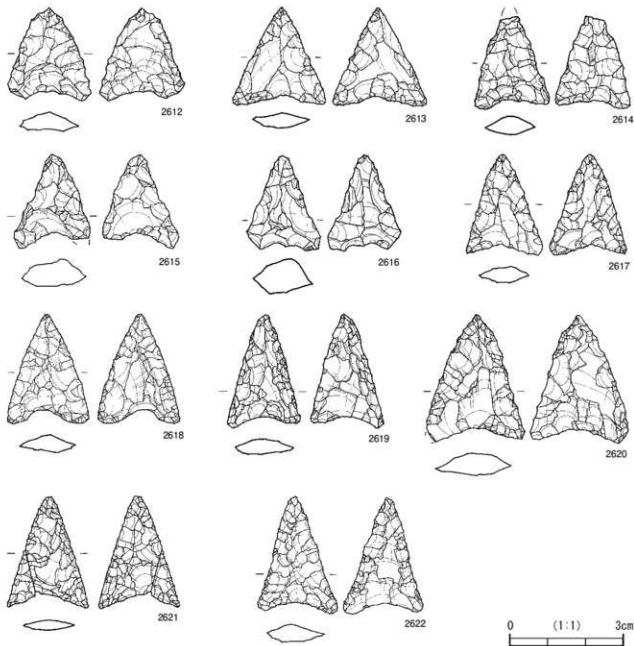
第 522 图 VI 层出土石器 (9)



第 523 图 VI 层出土石器 (10)



第 524 图 VI 层出土石器 (11)



第 525 図 VI層出土石器 (12)

に緩い屈折をもち、五角形織にやや近い。2467 は頁岩を素材とし、先端部が欠損するため全形は不明であるが、先端部を平たく残す異形石器の可能性ある。2468 の脚部は丸味を帯びる。

Ⅲ類 (第 521 ~ 537 図 2469 ~ 2962)

二等辺三角形織は 494 点図化した。石材は安山岩や桑ノ木津留産や針尾・淀姫産、姫島産黒曜石が多く、チャートや頁岩なども使用する。

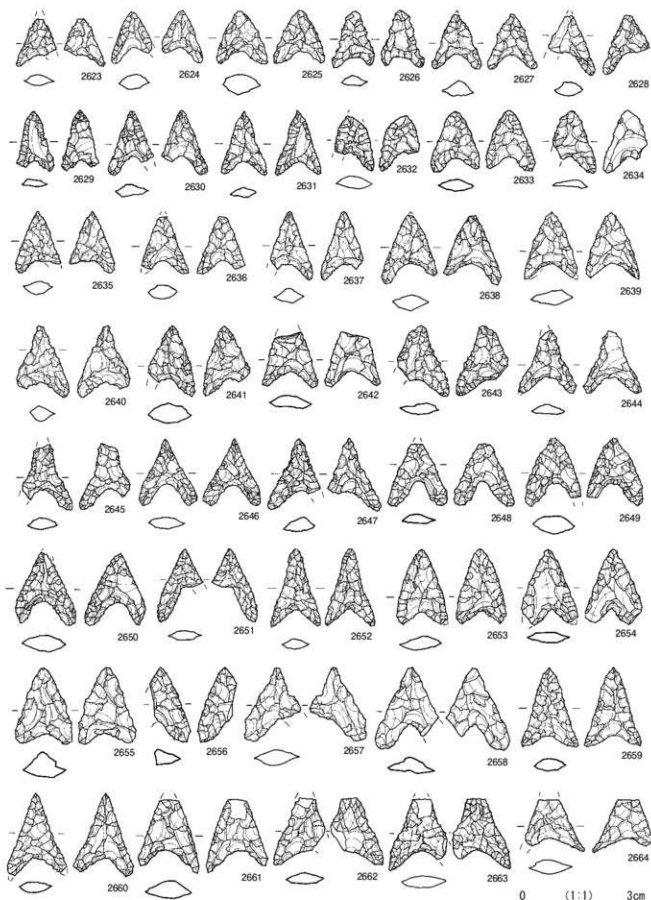
Ⅲ a 類 (第 521・522 図 2469 ~ 2514)

2469 ~ 2514 は平基のもので、2469 は先端部を丸く作り出し、2481・2501 は先端部が錐状になる。2475・2488

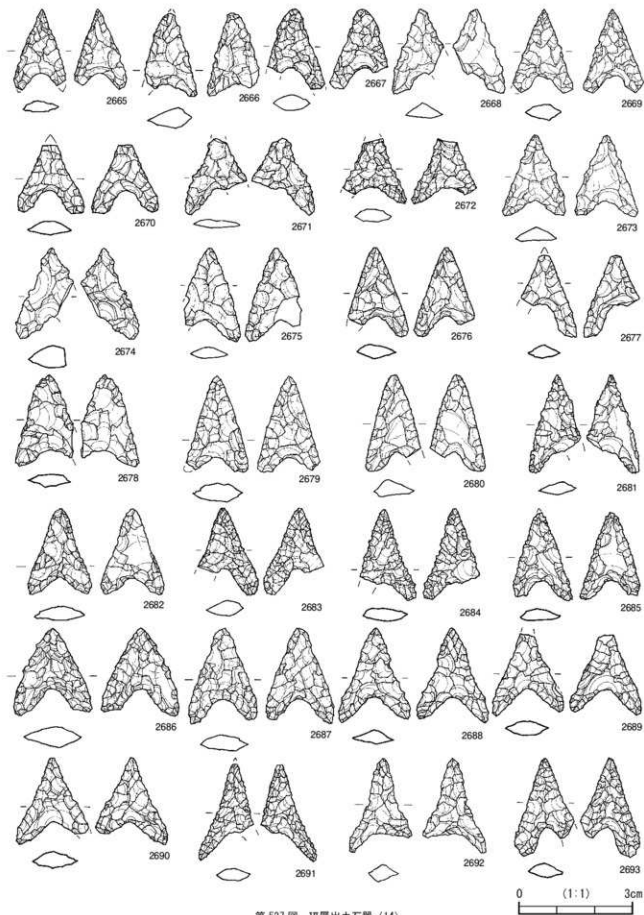
は安山岩を素材とする剥片織であり、2488 は側縁部が丸くなる。2491 は姫島産黒曜石を素材とし、側縁部に緩い屈曲部をもち、五角形織に近い。2507・2509・2510 は安山岩を素材とし、体部に厚みを残す。

Ⅲ b 類 (第 522 ~ 525 図 2515 ~ 2622)

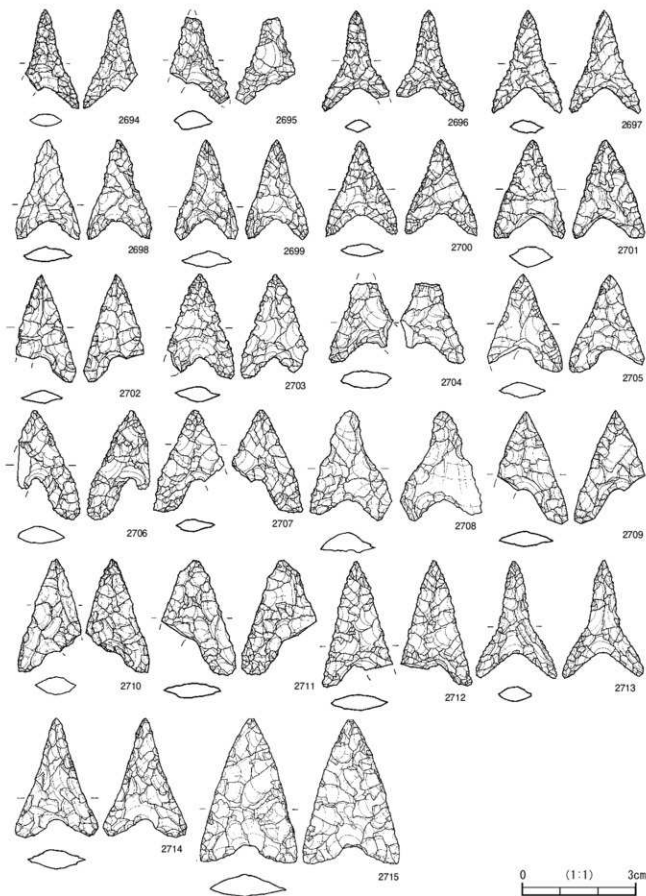
2515 ~ 2622 は基部の抉りが浅いもので、長さ 1.5 ~ 2 cm 前後の資料が多い。2528・2534・2543・2551 は側縁部が丸味を帯び、左右非対称である。2558 は表面に自然面を残す剥片織であり、2561・2563・2568・2576・2577・2586・2589・2592・2596・2599 は裏面に主要剥離面を残す。2609 の側縁部は鋸歯状に仕上げられ、2616



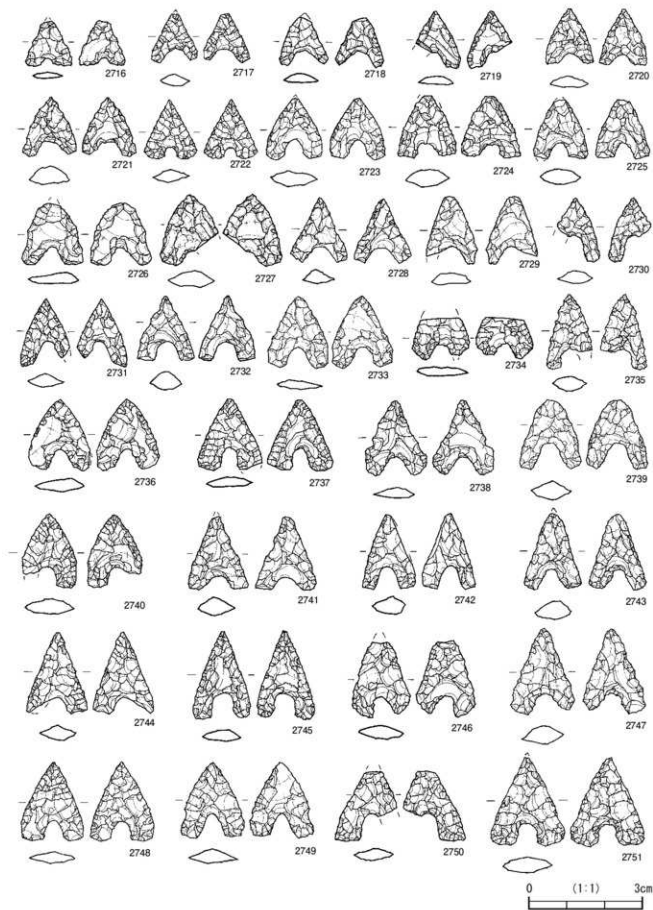
第 526 图 VI 层出土石器 (13)



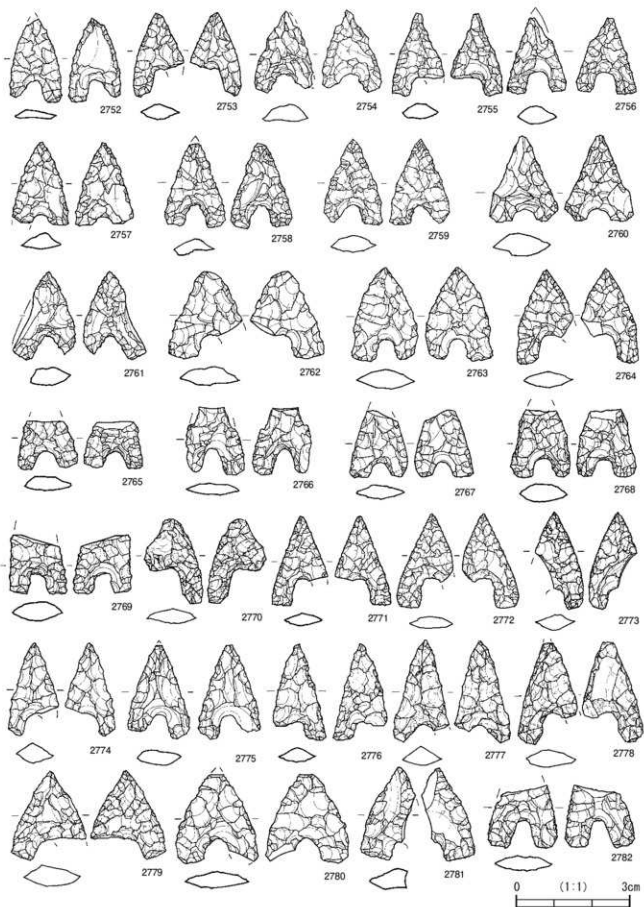
第 527 图 VI 层出土石器 (14)



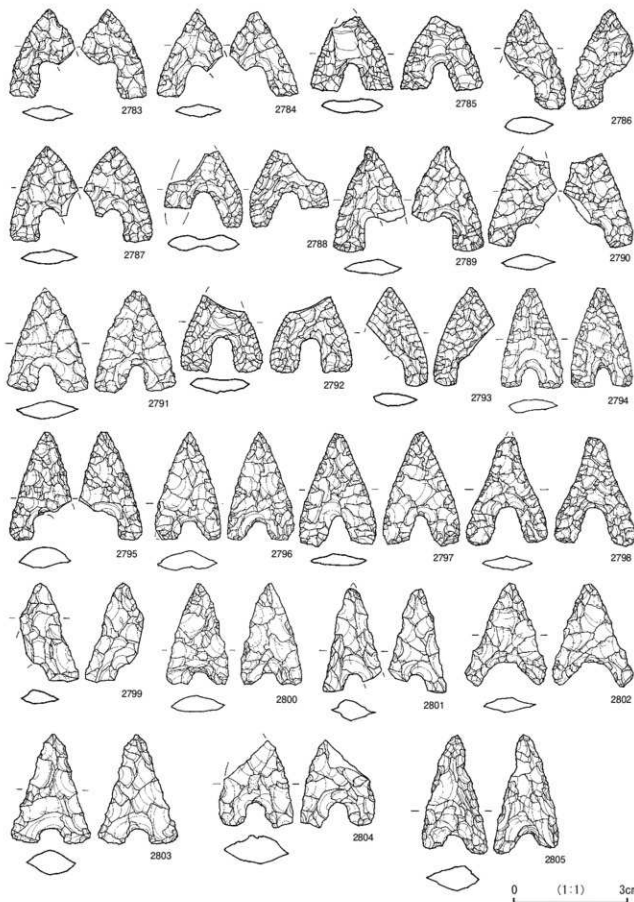
第 528 图 VI 层出土石器 (15)



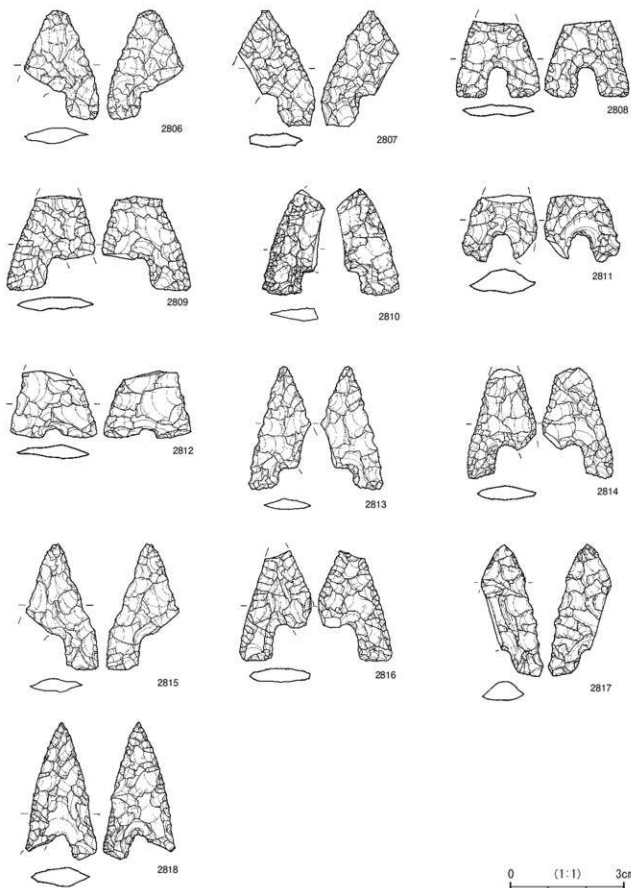
第 529 图 VI 层出土石器 (16)



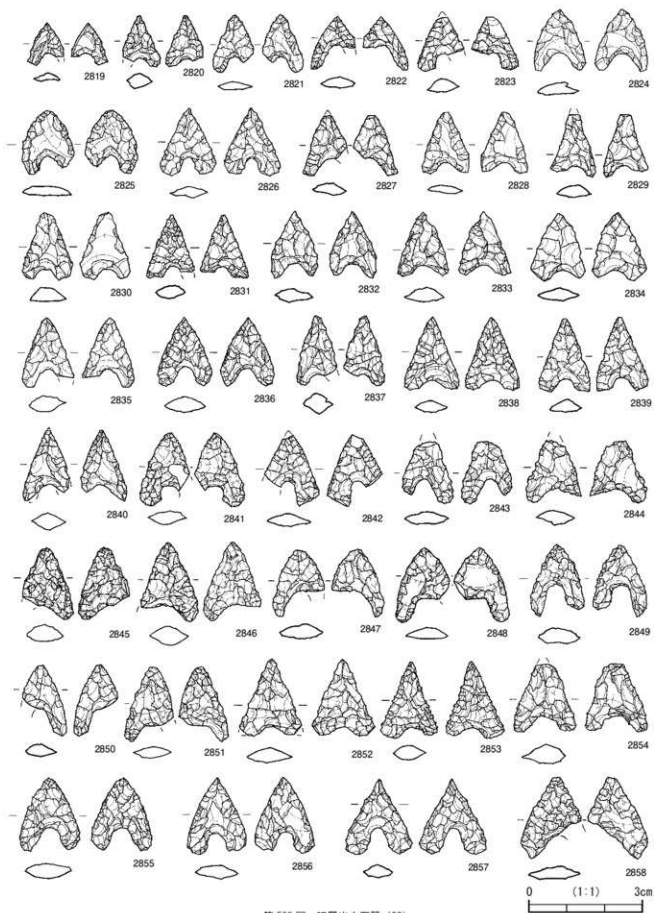
第 530 图 VI 层出土石器 (17)



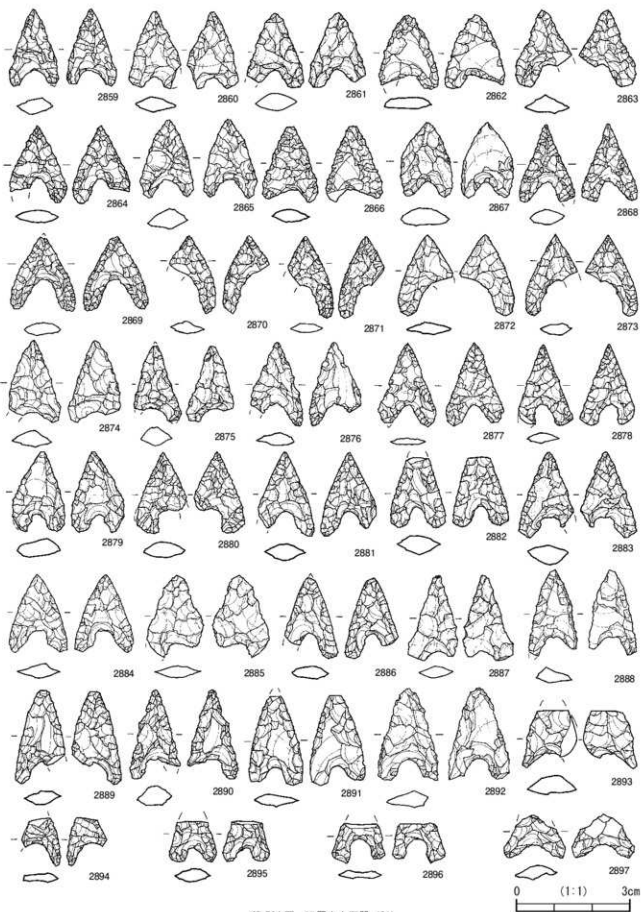
第 531 图 VI 层出土石器 (18)



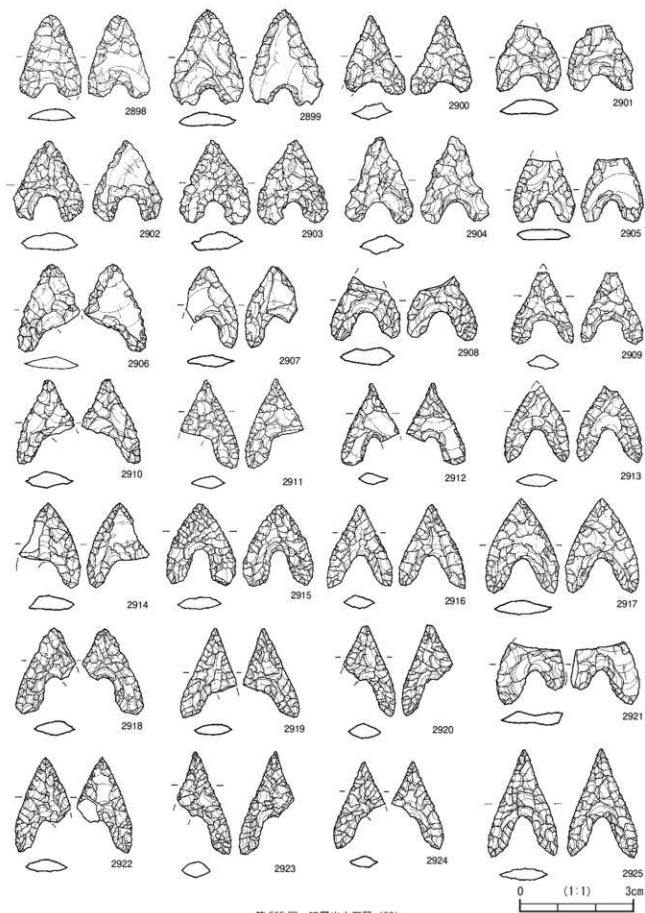
第 532 图 VI 层出土石器 (19)



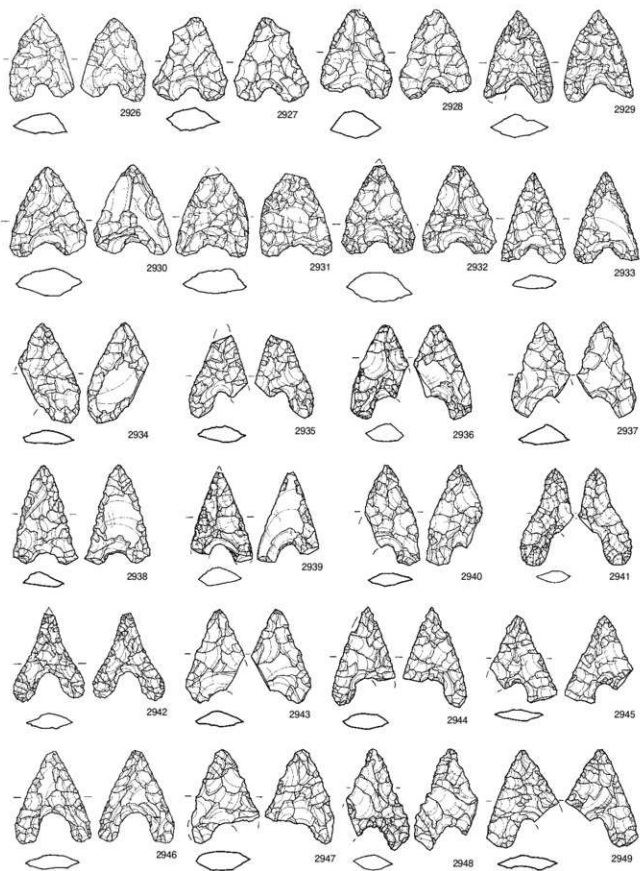
第 533 图 VI 层出土石器 (20)



第 534 图 VI 层出土石器 (21)

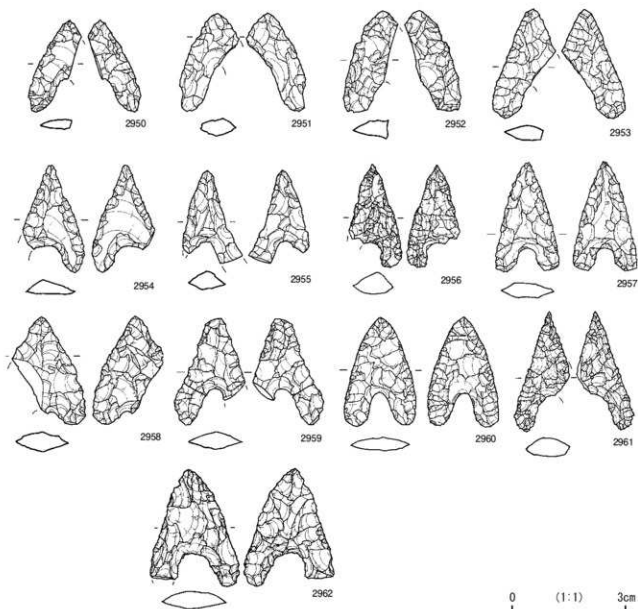


第 535 图 VI 层出土石器 (22)



0 (1:1) 3cm

第 536 图 VI 层出土石器 (23)



第 537 図 VI層出土石器 (24)

は体部に厚みを残す。2611・2617・2620は側縁部の上部に緩い屈曲をもつ。

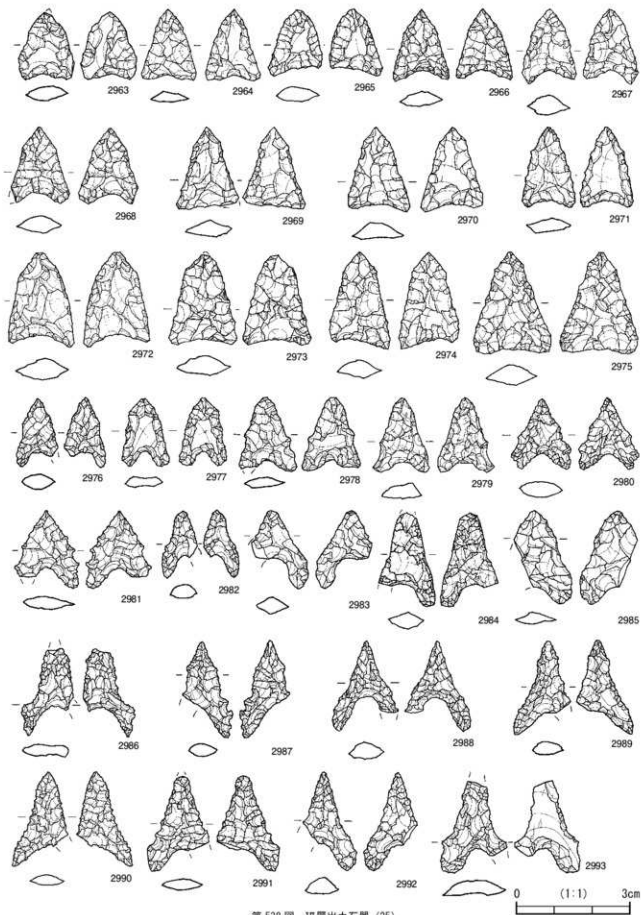
III c 類 (第 526 ~ 528 図 2623 ~ 2715)

2623 ~ 2715は基部の挟りが外側に開き、脚部の先端部が尖るものである。側縁部が直線的なものと、側縁部の中央部に屈曲するものがある。2626・2684は側縁部が鋸歯状に仕上げられ、2629・2634は剥片織である。2646はチャート素材とし、先端部も鋭く作り出し、丁寧な成形される。側縁部の中央部に屈曲をもつ2644・2645・2647・2663・2691・2692・2694 ~ 2700・2713の脚部の先端は鋭く作り出し、安山岩または針尾・淀姫産黒曜石を使用するものが多い。2692は脚部、2708は側縁部が

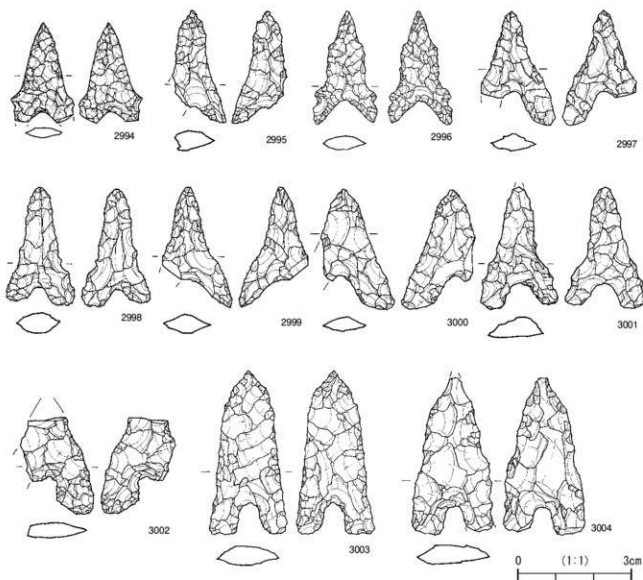
左右非対称である。2715は針尾・淀姫産黒曜石を素材とし、長さが3.8cmと大型である。

III d 類 (第 529 ~ 532 図 2716 ~ 2818)

2716 ~ 2818は基部に「U」字状の挟りを持ち、脚部の先端部が平らなものである。側縁部が直線的なものと、丸味を帯びるものがある。III d 類には鋸形織が含まれ、これらはチャートまたは頁岩を素材とする。2722はチャートを素材とし、脚部の先端はやや丸味を帯びるが、丁寧に成形される。2726は剥片織で、左右非対称である。2748・2749の石材は異なるが、形状が類似しており、2755の先端部は錐状になる。2783 ~ 2785・2787・2789はチャートまたは頁岩、2794 ~ 2796は針尾・淀姫産黒曜石を素材と



第 538 图 VI 层出土石器 (25)



第539図 VI層出土石器(26)

し、それぞれ形状が類似する。2806～2810もチャートまたは頁岩を素材とする。2813～2818は長さが3cmを超す大型の資料であり、2815は側縁部の下部に屈折部をもつ。

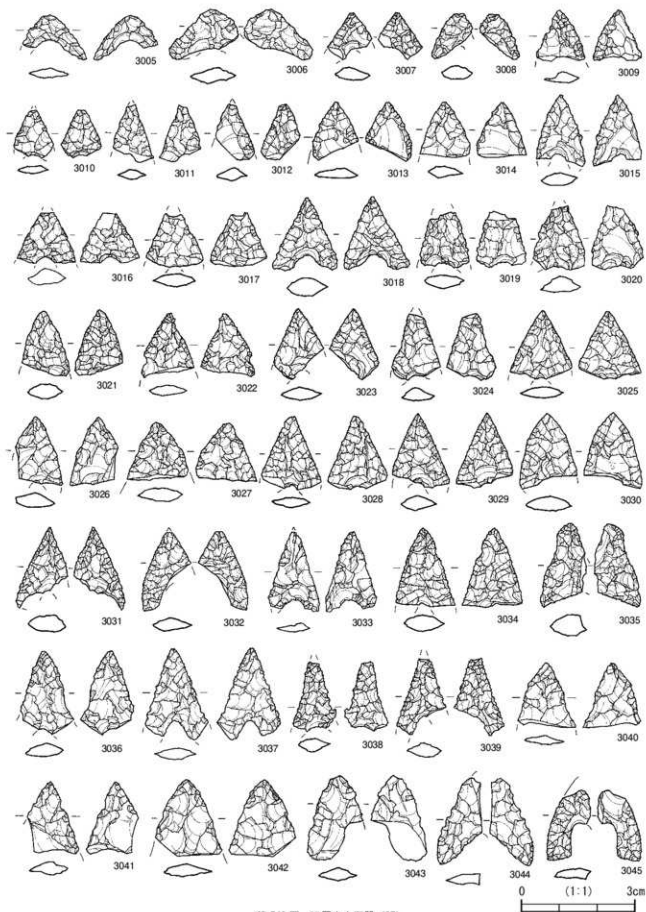
III e類 (第533～537図2819～2962)

2819～2962は基部に「U」字状の抉りをもち、脚部の先端が尖るものである。2825・2828は剥片鏃であり、2830・2862・2867・2898・2899・2906の裏面は主要剥離面を残す。2843・2844は脚部が左右非対称である。2845は先端部が丸く、2853の側縁部は鋸歯状に仕上げ、脚部は左右非対称である。2869・2912は玉髄を素材とし、丁寧に成形され、2912の先端部は錐状になる。2869～2873・2907～2925は長脚鏃であり、チャートを素材とし、側縁部を鋸歯状に仕上げるものが多い。2926～2932は体部に厚みがあり、基部にわずかな抉りが入る。2941・2942・2946・2953・2960の脚端部は丸く仕上げる。2961

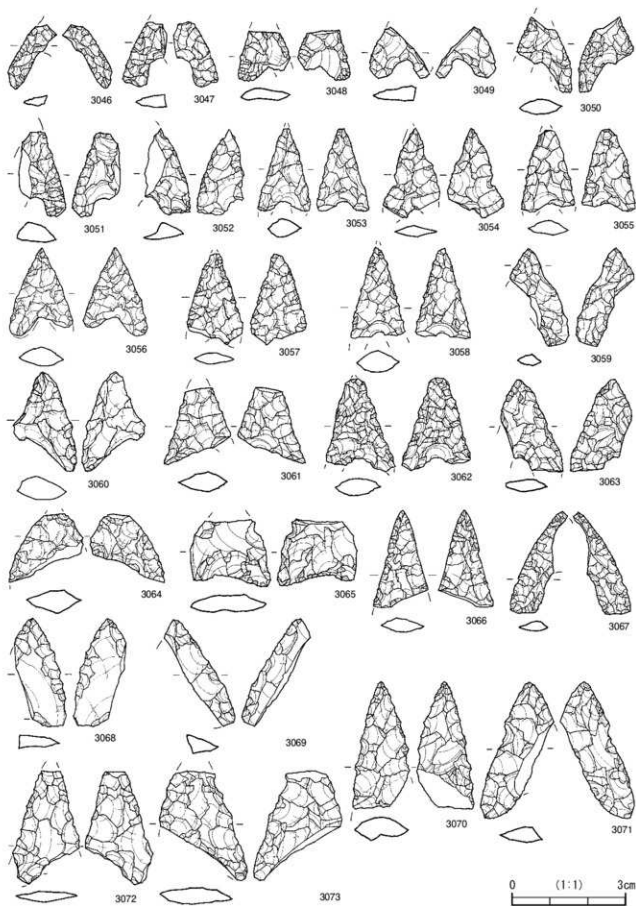
はチャート、2962は頁岩を素材とし、長さは3cmを割り、深く大きな抉りが入る。

IV類 (第538～539図2963～3004)

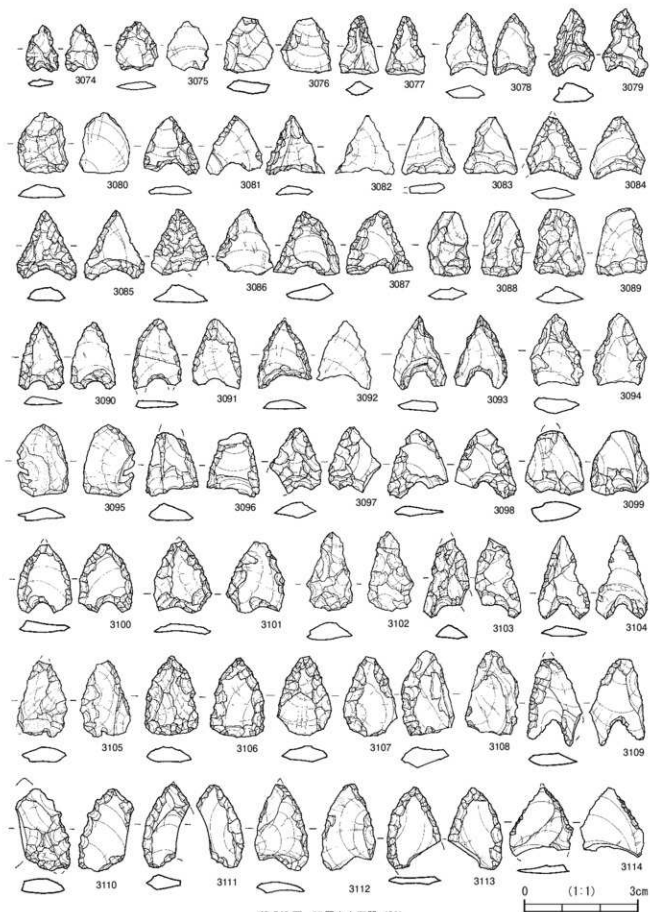
五角形鏃は2963～3004の42点図化した。両側縁の上部に屈折部をもつ将棋の駒型や、両側縁の下部に屈折部をもち脚部へ至るものなど、五角形のバリエーションがある。使用する石材はおよそ半数が黒曜石であり、その中でも姫島産黒曜石は8点、針尾・淀姫産黒曜石は7点と多用されている。2963～2977は将棋の駒型を呈し、基部の形状は浅い抉りをもつものが多い。3003・3004は将棋の駒型の長身タイプであり、長さが4cmを超える大型の資料である。安山岩を素材とし、基部に「U」字状の深い抉りをもつ。2978～3002は両側縁の中部～下部に屈折部をもつ。2980・2981は相似し、飛行機鏃に近い。2986・2987・2991・2993・2994・2996は両側縁部の屈折



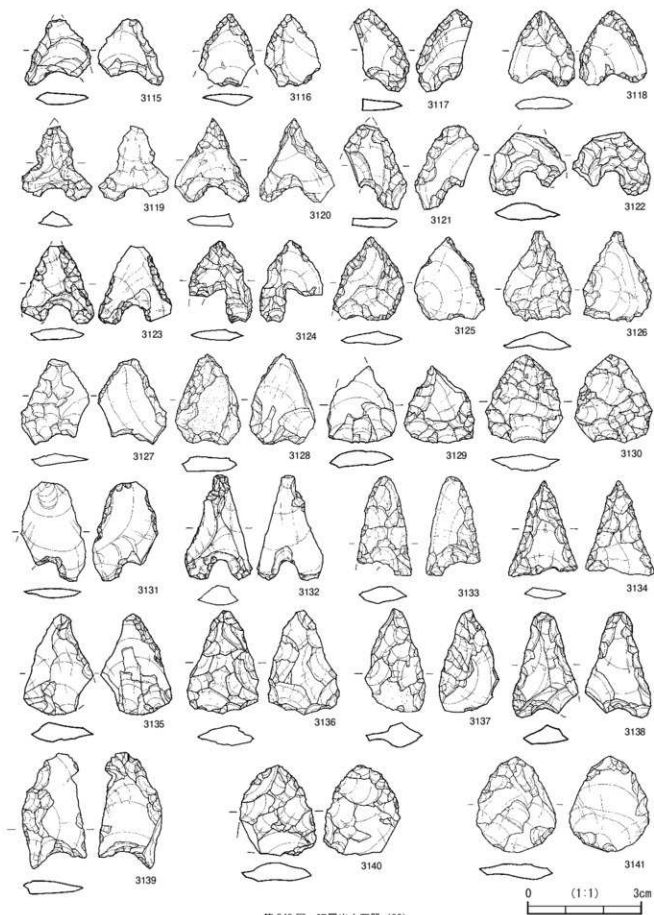
第 540 图 VI 层出土石器 (27)



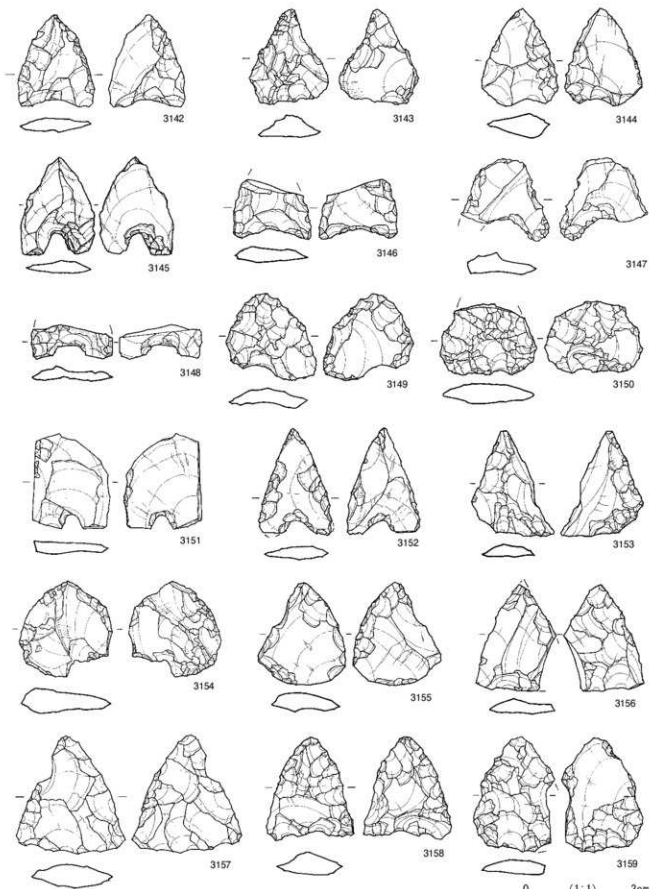
第 541 图 VI 层出土石器 (28)



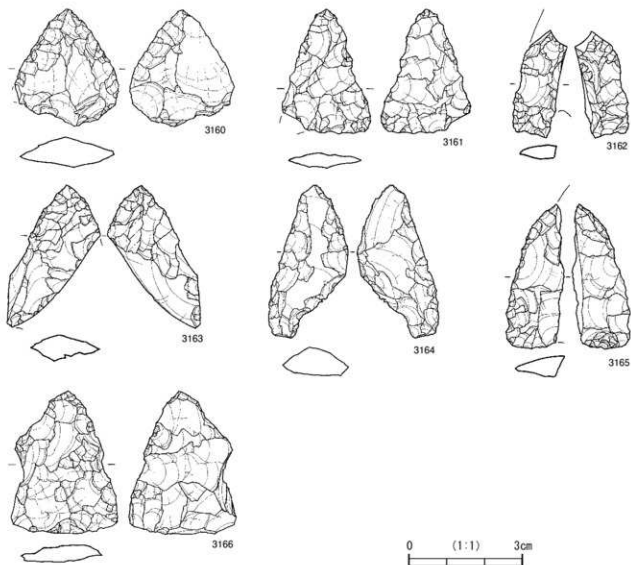
第 542 图 VI 层出土石器 (29)



第 543 图 VI 层出土石器 (30)



第 544 图 VI 层出土石器 (31)



第 545 図 VI層出土石器 (32)

部が棘状に突出し、抉りが深い。

V類 (第 540・541 図 3005～3073)

V類はI～IV類に当てはまらないもの及び欠損のため全体の形状が不明なものを一括した。3005・3006は幅が長さを上回るもので、I～IV類の分類に当てはまらない。3005は安山岩、3006は三船産黒曜石を素材とする。3007～3043・3048～3073は基部や脚部等の一部分が欠損し、3044～3047は脚部のみ残存する。3030は姫島産黒曜石を素材とし、側縁部の形状などから五角形織の可能性が高い。

VI類 (第 542～548 図 3074～3221)

VI類は未製品の資料であり、3074～3166は剥離面を多く残し、体部が薄く、剥片織に近い。3075・3080・3082・3092の裏面は主要剥離面をそのまま残し、周縁部に調整を施していない。3151は剥片に抉りを入れたとこ

ろで、製作を止めている。

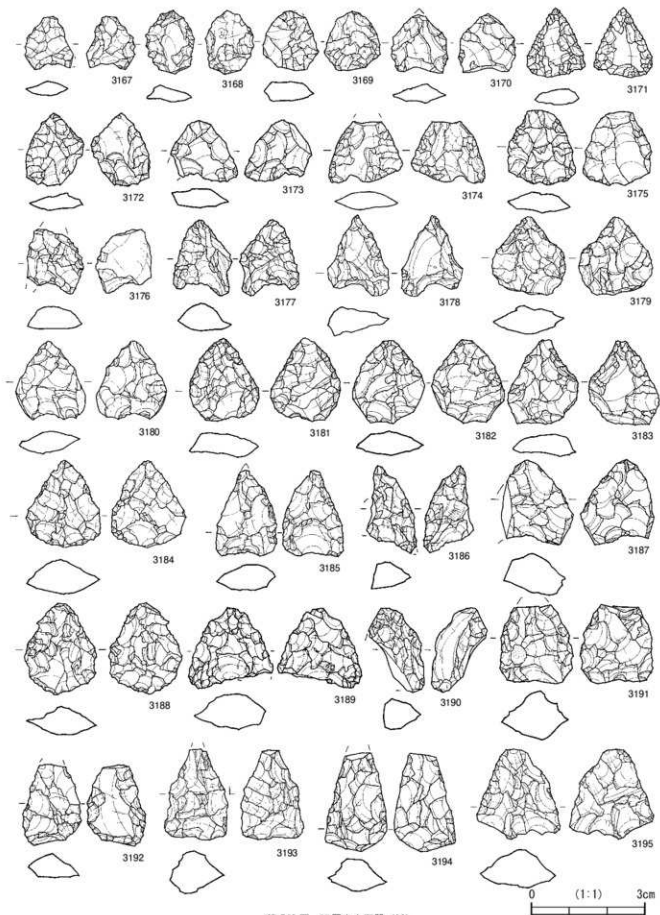
3167～3221は剥離面が多く残され、体部に厚みがある。基部が円基となる資料もみられる。3211は安山岩を素材とし、遺構内出土石器の67(アサリ形石製品)に類似する。

(2) 磨製石鏃 (第 549 図 3222～3223)

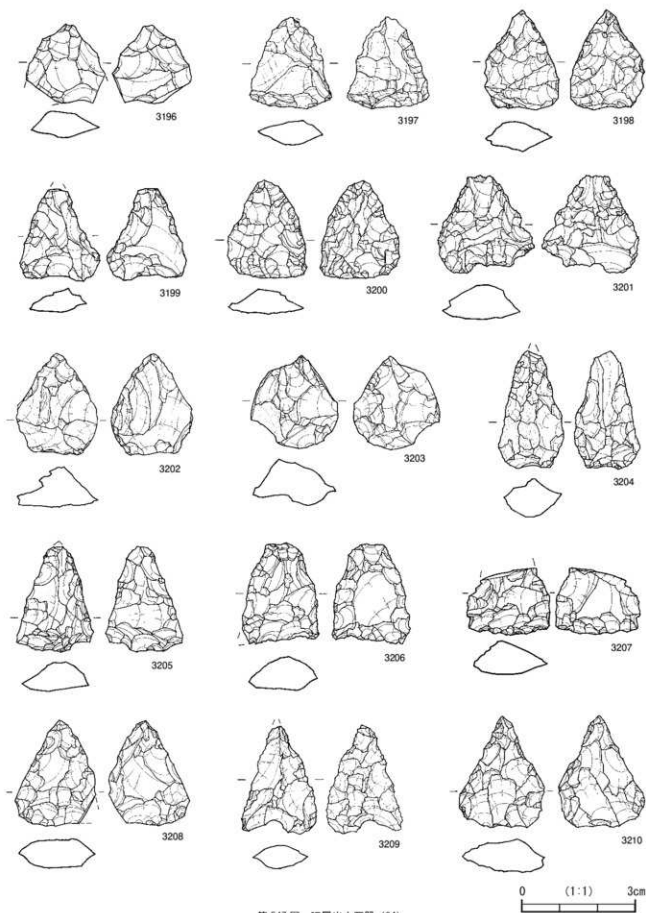
3222は頁岩を素材とし、両面が丁寧に研磨され、体部が薄い。3223は安山岩を素材とする、局部磨製石鏃である。研磨後に側縁部及び基部に押圧剥離が施される。側縁の上部に屈折部を持つ将棋の駒型の五角形に近い。

(3) 石槍 (第 549 図 3224～3226)

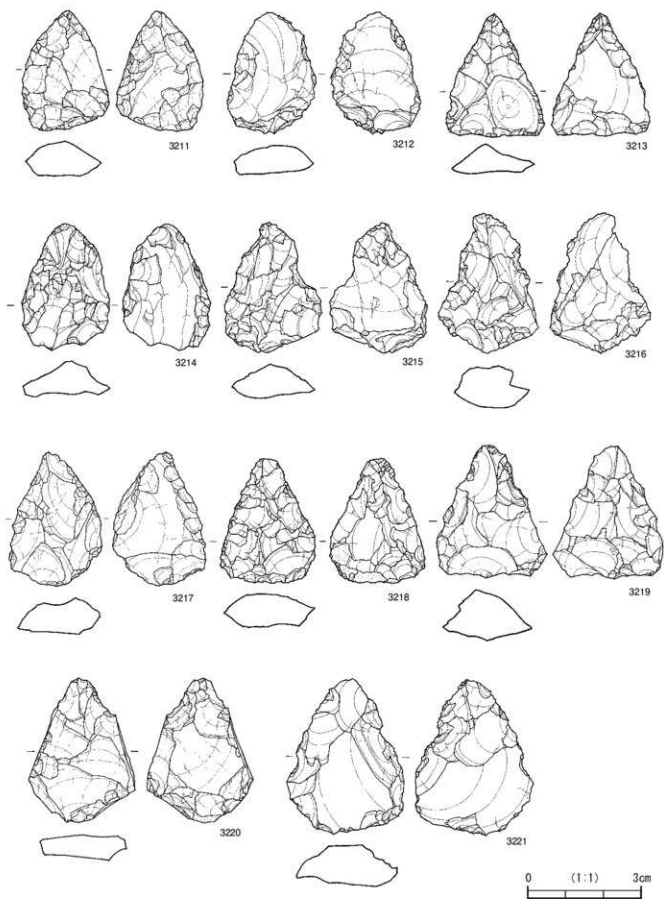
石槍は3点図化した。3224・3225は安山岩、3226は頁岩を素材とする。3点とも柳葉状を呈すると考えられ、3225・3226は一部欠損するが、長さが9～10cm前後であり、3226は両面とも主要剥離面を大きく残す。



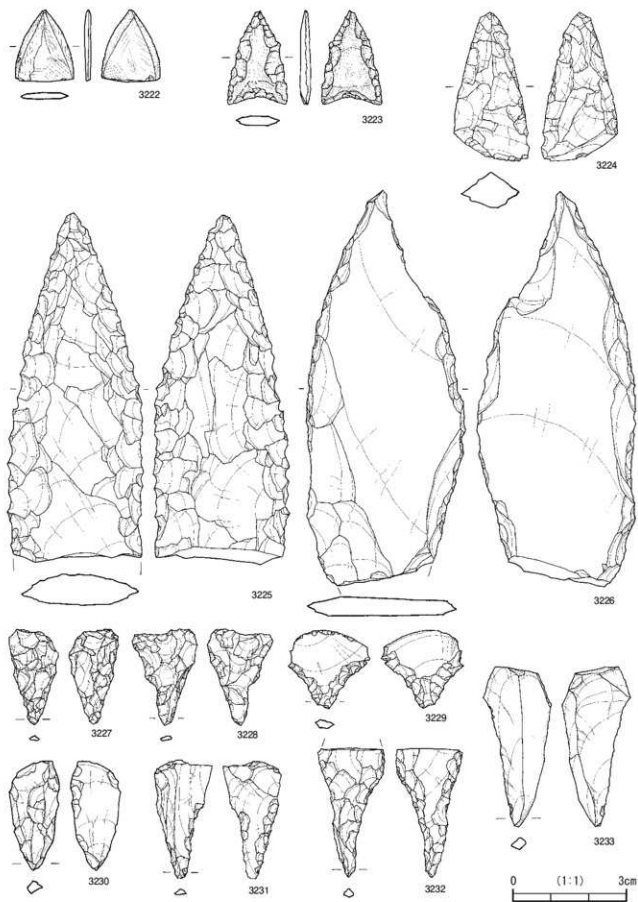
第 546 图 VI 层出土石器 (33)



第 547 图 VI 层出土石器 (34)



第 548 图 VI 层出土石器 (35)



第 549 图 VI 层出土石器 (36)

(4) 石錐 (第549図3227～3233)

石錐は7点図化した。3227～3233は安山岩や針尾・淀姫産黒曜石、三船産黒曜石、頁岩を素材とし、長さは3cm前後のものが多い。3233は自然面を残す右側縁部に、縦線な摩耗痕がみられる。

(5) 小型両面加工石器 (第550図3234～3246)

小型の剥片及び礫素材のほぼ全周に二次加工を施したものを小型両面加工石器とし、3234～3246の13点図化した。3234・3235は針尾・淀姫産黒曜石を素材とし、3235は両面を加工することから凸レンズ状を呈する。3236・3237は水晶を素材とする。3240は搔器状の機能が考えられ、3242は自然面を多く残す。3243～3246は頁岩を使用し、3245は腹面を中心に刃部が形成される。

(6) 石匙 (第551～561図3247～3312)

石匙は3247～3312の66点図化した。石材は安山岩が多く、チャート・頁岩・黒曜石・ホルンフェルスなどが使用される。

3247～3266は縦型である。3249は厚さが0.40cmと薄く、3254はつまみ部が厚く、自然面を残し、刃部は両側縁部に形成される。3258は刃部に刃こぼれが認められる。3259は左側縁部に、3263は刃部の先端部近くに、ノッチ状の抉りをもつ。3265は姫島産黒曜石を素材とし、3266はつまみ部の頂部にも浅い抉りをもつ。

3267～3307は横型である。3267～3276は直刃もしくは丸刃であり、3277～3279は体部が逆三角形のため、刃部は斜刃になる。3280・3281はほぼ左右対称で完形であり、3284は玉髄、3293はホルンフェルスを素材とする。3296は姫島産黒曜石を素材とし、3296・3297は体部が方形に近い。3299・3300・3304～3306のつまみ部は体部に対して小さく細い。3307は粘板岩を素材とし、幅が10.02cmと最大である。

3308・3309は欠損品、3310～3312は異形石器の可能性が高い。3310・3312は抉りが数箇所のみみられ、3311はつまみ部が欠損し、刃部の中央部が凹む。

(7) 削器 (第562～565図3313～3338)

削器は3313～3338の26点図化した。3313～3315は調整剥片の可能性が高い。3319は上下は欠損するが、両端に刃部を形成する。3324は平面形が三角形に加工され、石銛の可能性もある。3326は日東産、3327は針尾・淀姫産黒曜石を素材とする。3328～3334・3336は横長剥片、3335は縦長剥片を使用する。3337は安山岩、3338は針尾・淀姫産黒曜石を素材とし、上下両端が凹み、両側縁部にくびれをもつ、糸巻形石器に類似する。

(8) 搔器 (第565図3339・3340)

3339は姫島産黒曜石製の搔器で、表面に刃部を形成する。3340はチャートを素材とし、上部は欠損する。

(9) ツマミ状石器 (第565図3341)

3341は剥片素材に二次調整を加え、下部及び右側縁

部には刃部を作り出す。つまみ部分は断面形が三角形になる。産地は不明だが黒曜石を素材とする。

(10) 彫器 (第565図3342)

種々の細長い剥離によって、彫刀面をもつ石器である。3342は縦長剥片の右側辺上部に二次加工が施され、左側辺部の上面から種状剥離がみられることから彫器とした。

(11) ヘラ状石器 (第566図3343～3347)

ヘラ状石器は5点図化した。3343～3347はチャートや安山岩、ホルンフェルスを素材とする。3346は厚さが0.57cmと薄く、3345は欠損品と考えられる。3347は上面に自然面を残し、両側縁部及び下部部は連続的な剥離を行い、刃部を作り出す。

(12) 楔形石器 (第567図3348～3362)

楔形石器は15点図化した。3348～3362は長さが2～3cm前後の資料であり、安山岩やチャート、黒曜石を素材とする。3349は桑ノ木津産黒曜石を素材とし、上端部に潰れがみられる。3351の上端部は髻のように鋭く、3357は下端部が髻状に尖る。

(13) 二次加工剥片 (第568～574図3363～3455)

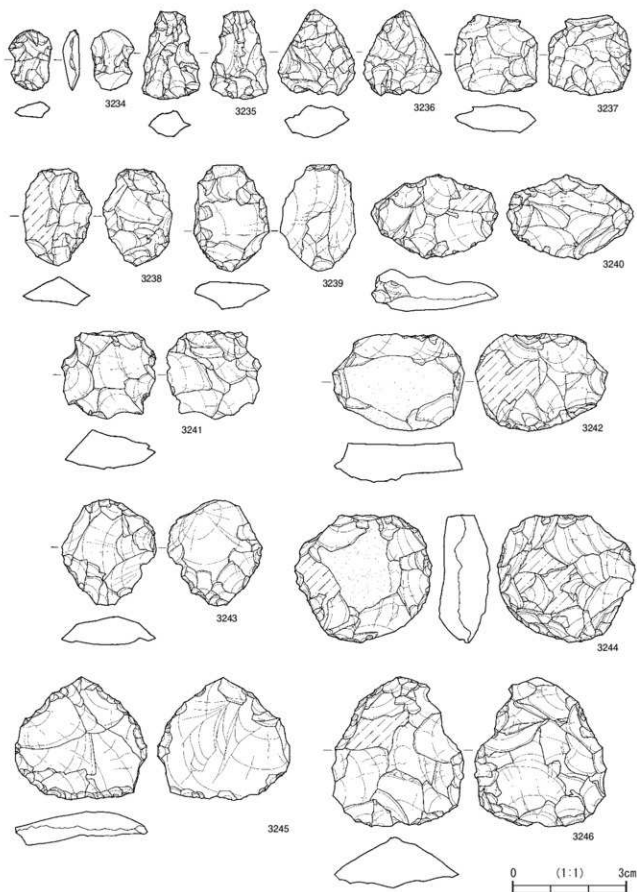
二次加工剥片は93点図化した。一部は削器や搔器などに含まれるものもある。3364・3366・3378・3379は薄い剥片のほぼ全周に二次加工を行い、3380は石銛、3386・3408は石匙の破損品の可能性もある。3391・3392は抉りが入り、3395は姫島産黒曜石の剥片の側縁部の一部を鋸歯状に二次加工する。3423は破損のため器種不明であり、3428～3432は下部部に削器様の刃部加工がみられる。3439も下部部に微細な剥離痕がみられ、3440は表裏面に研磨痕が残るため、磨製石器の再加工品と考えられる。3447は右側縁部の一部、3452は下部が欠損するが、両側縁部に刃部加工がみられる。3450は頁岩、3451はチャートを素材とし、3451は上部に左右から抉りを入れる。3454の上面は稜面であり、3455は下部部に刃部加工がみられる。

(14) 礫器 (第575図3456～3469)

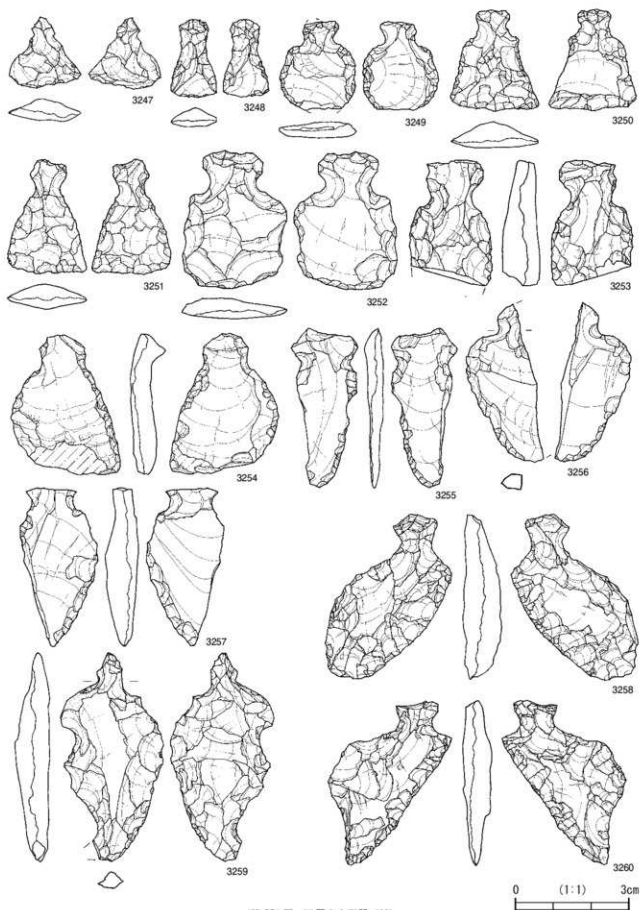
礫器は14点図化した。3456～3469は安山岩・ホルンフェルス・砂岩・頁岩の扁平な礫を素材とする。3457は表裏面に節理面を残し、周縁部に剥離を加え、楕円形に整形される。3460は棒状を呈し、3462は裏面に擦痕がみられる。3463・3469は周縁部に剥離を加え、3469は両側縁部に浅い抉りをもつ。

(15) 石核類 (第576～578図3470～3493)

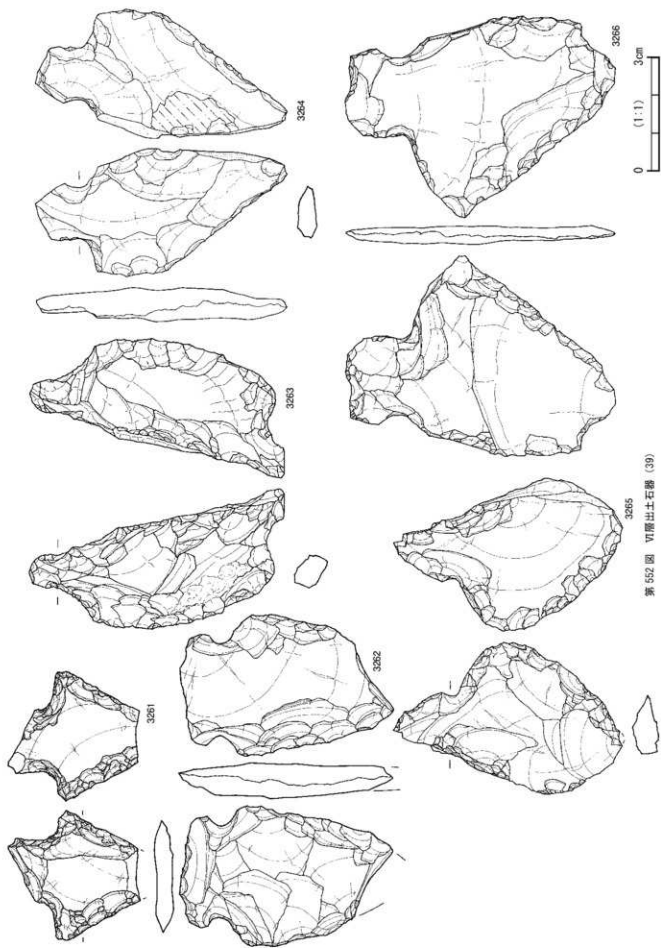
石核類は24点図化した。そのうち3470～3472の3点は細石核の可能性が高い。3473～3493は石核であり、3477は針尾・淀姫産黒曜石の円礫を使用する。3482の裏面は礫面、3484は礫面を打面とし、3488は円礫を使用する。3490・3491は針尾・淀姫産黒曜石を使用し、3490は周縁から剥片素材を取り出す。



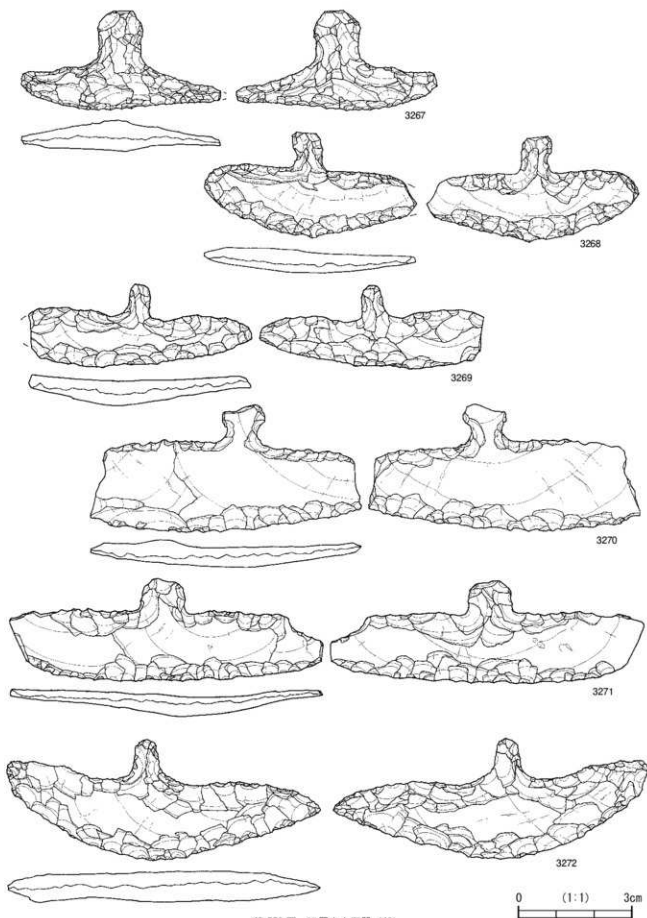
第 550 图 VI 层出土石器 (37)



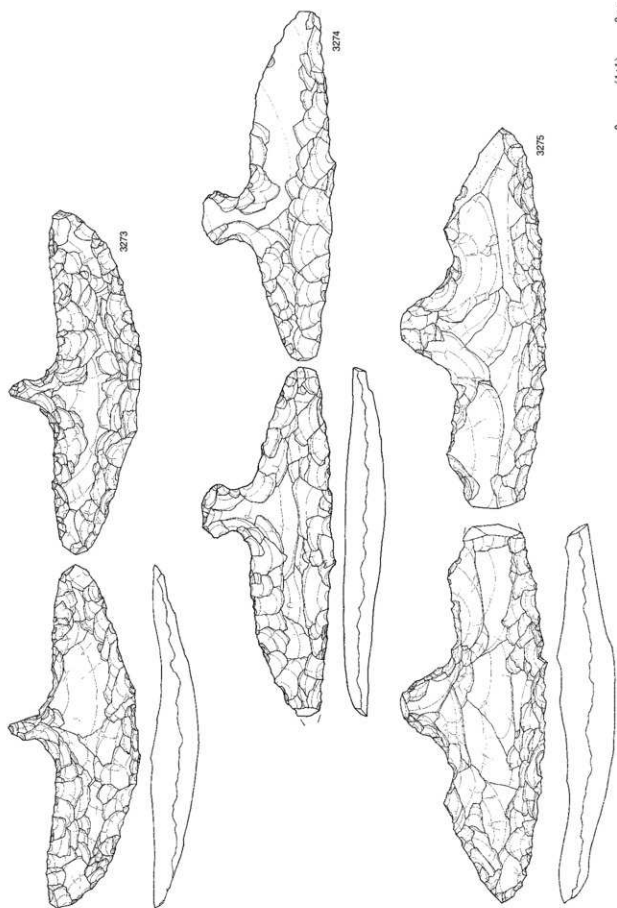
第 551 图 VI 层出土石器 (38)



第 552 図 VI 層出土石器 (39)



第 553 图 VI 层出土石器 (40)

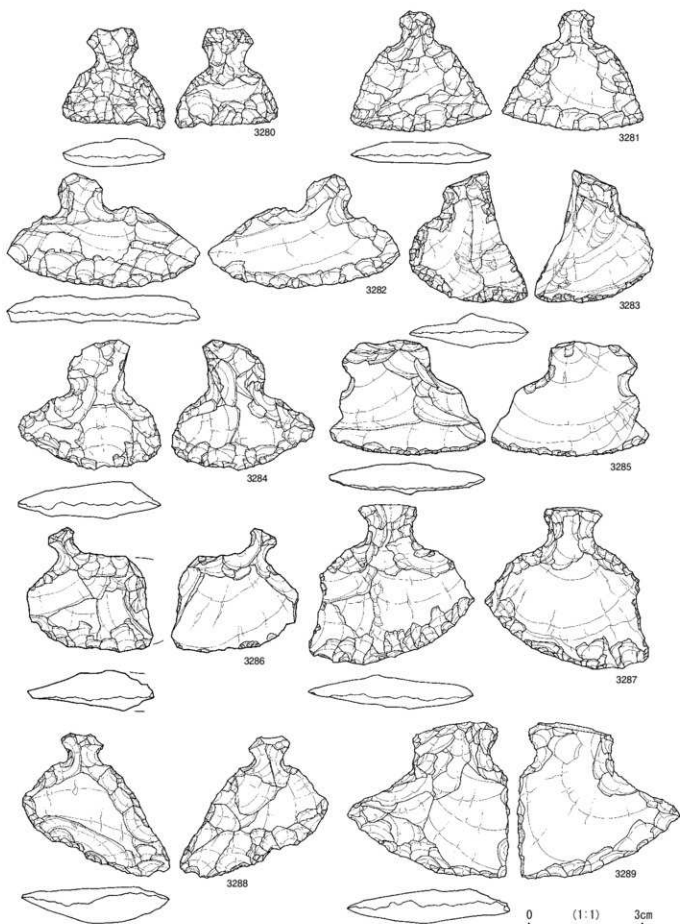


第 554 図 VI層出土石器 (41)

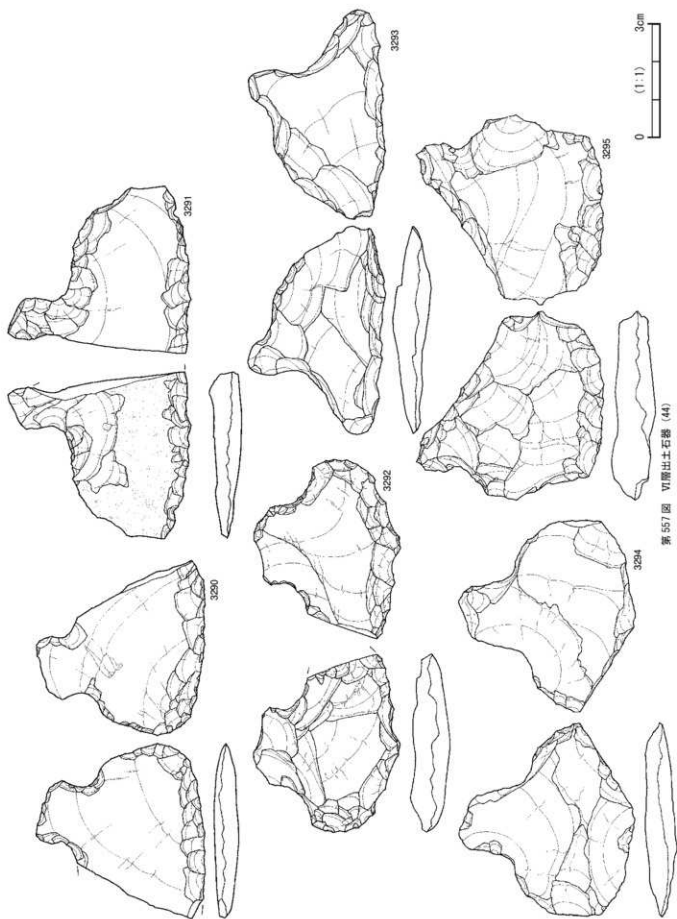




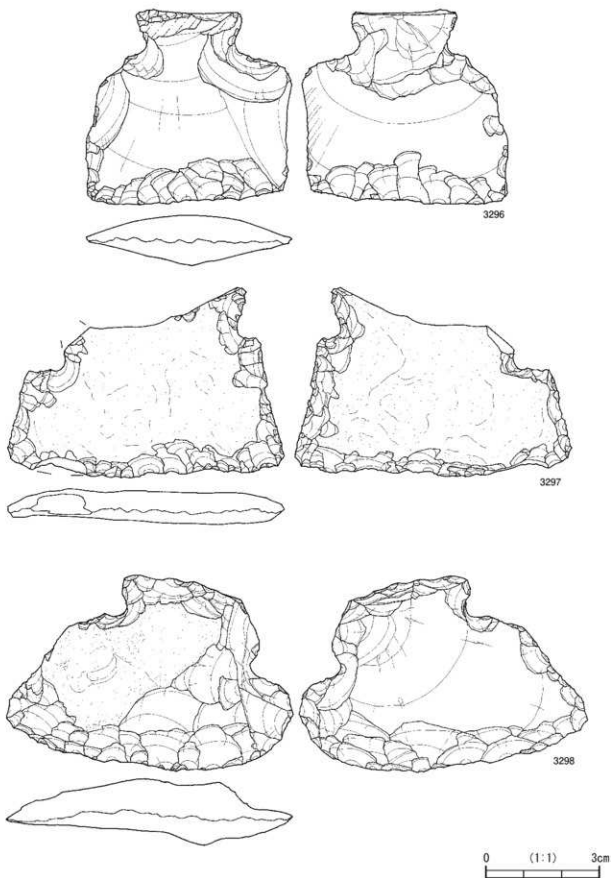
第 555 图 VI 期出土石器 (42)



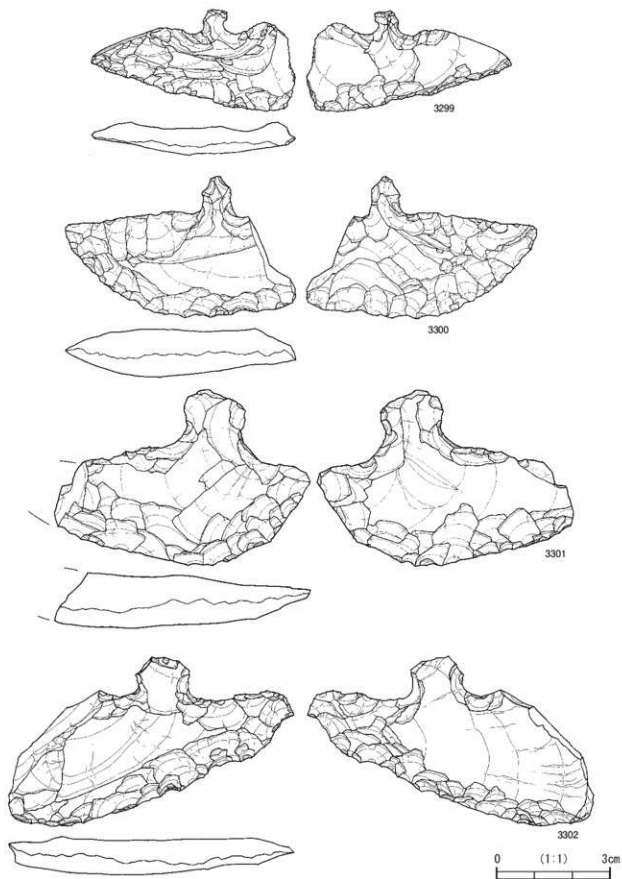
第 556 图 VI 层出土石器 (43)



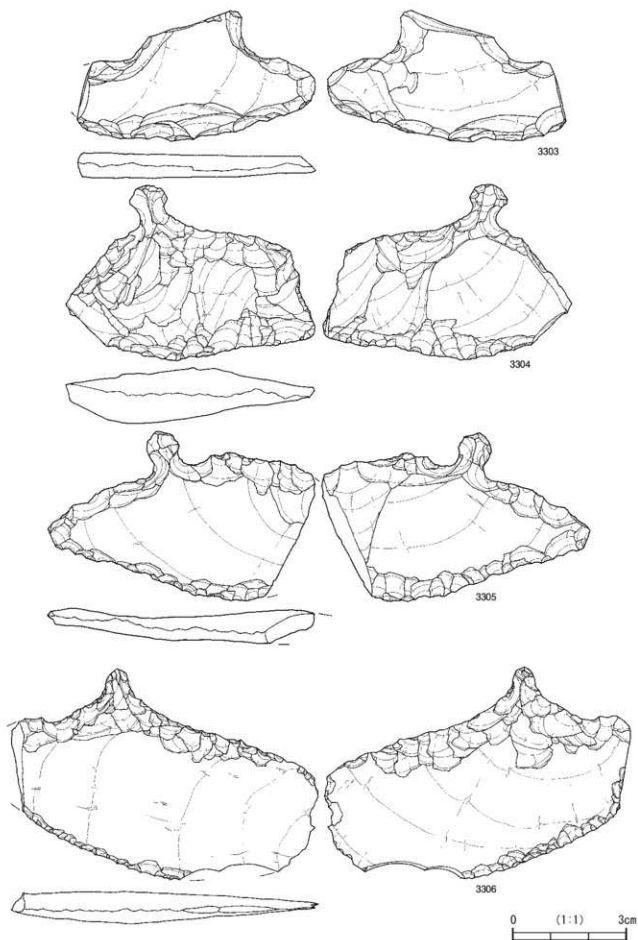
第 557 圖 VI 層出土石器 (44)



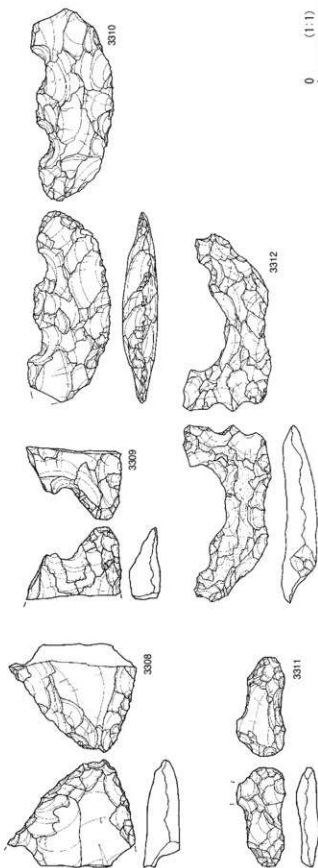
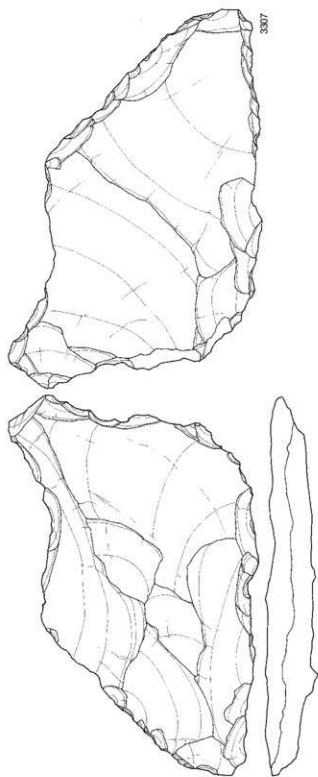
第 558 图 VI 层出土石器 (45)



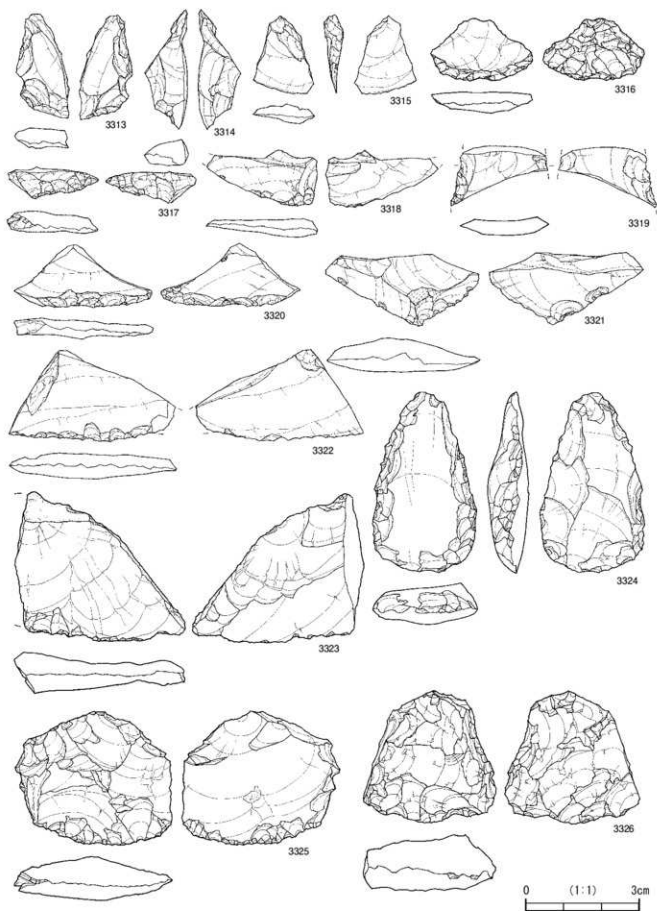
第 559 图 VI 层出土石器 (46)



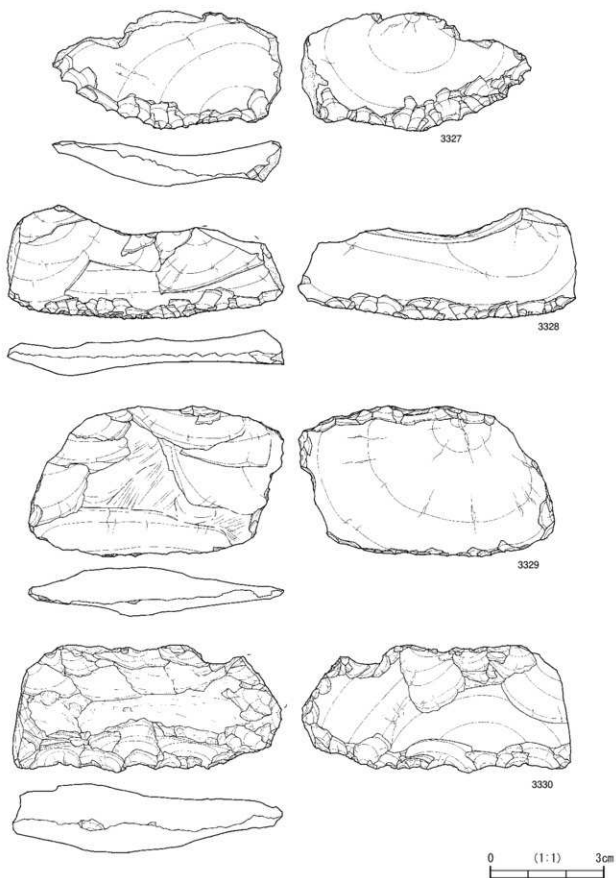
第 560 图 VI 层出土石器 (47)



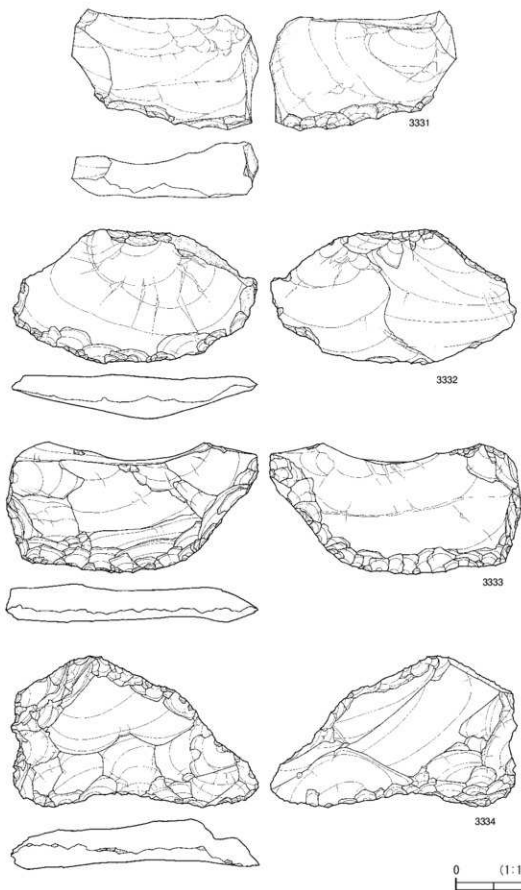
第 561 図 刈原出土石器 (48)



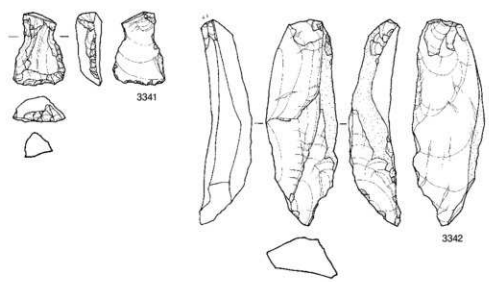
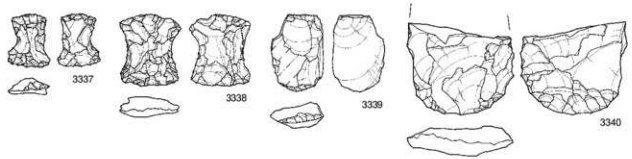
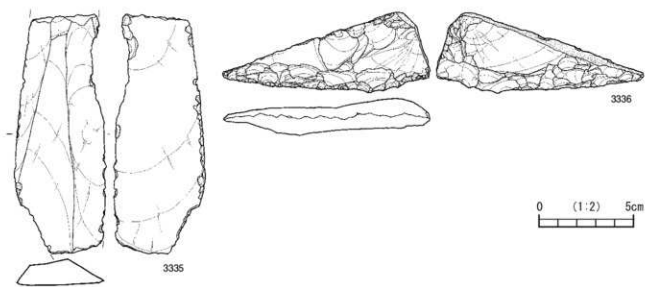
第 562 图 VI 层出土石器 (49)



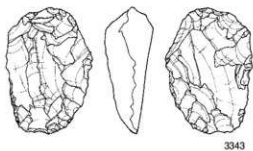
第 563 图 VI 层出土石器 (50)



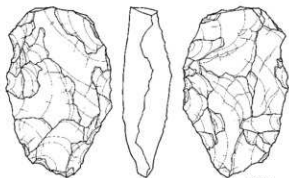
第 564 图 VI 层出土石器 (51)



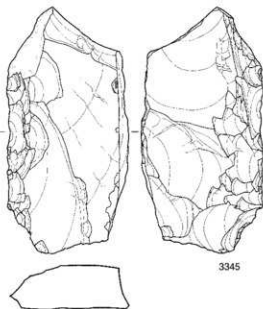
第 565 圖 VI層出土石器 (52)



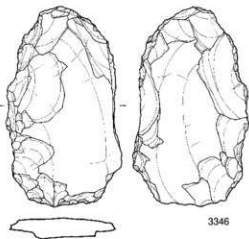
3343



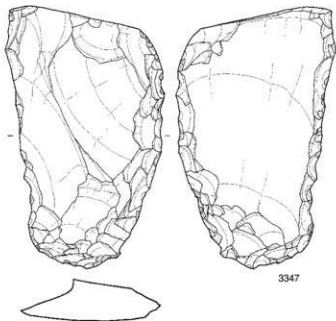
3344



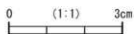
3345



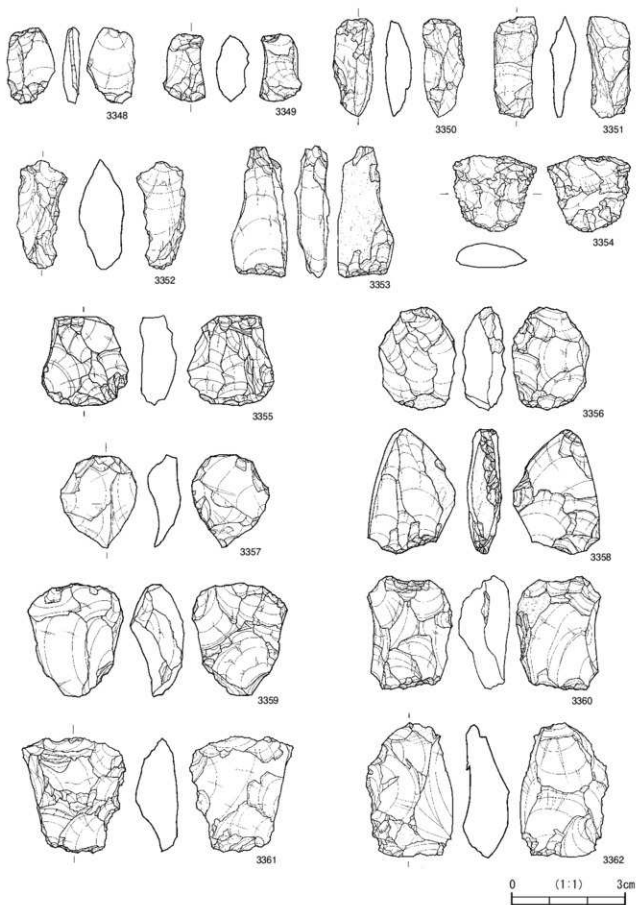
3346



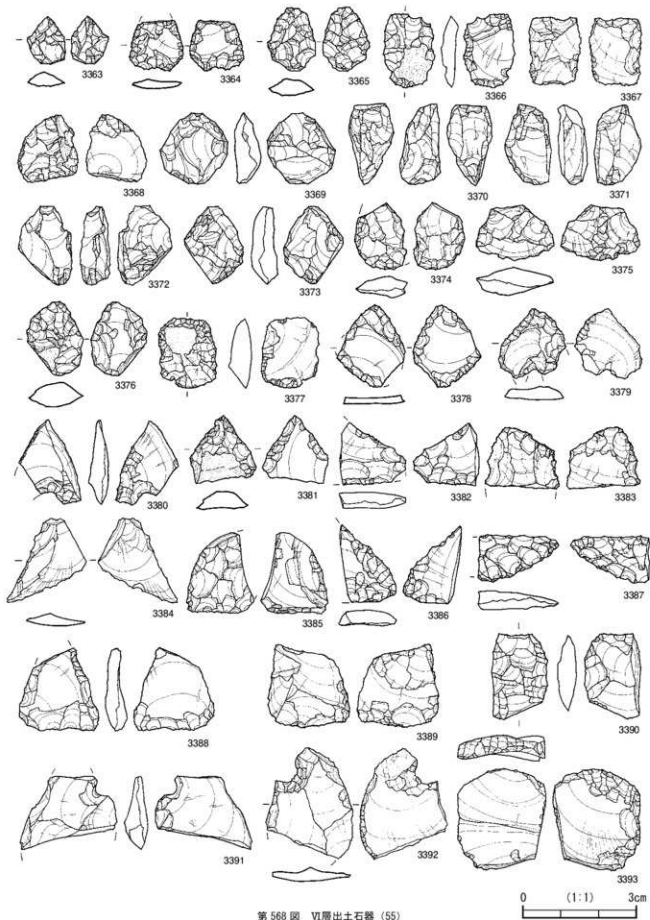
3347



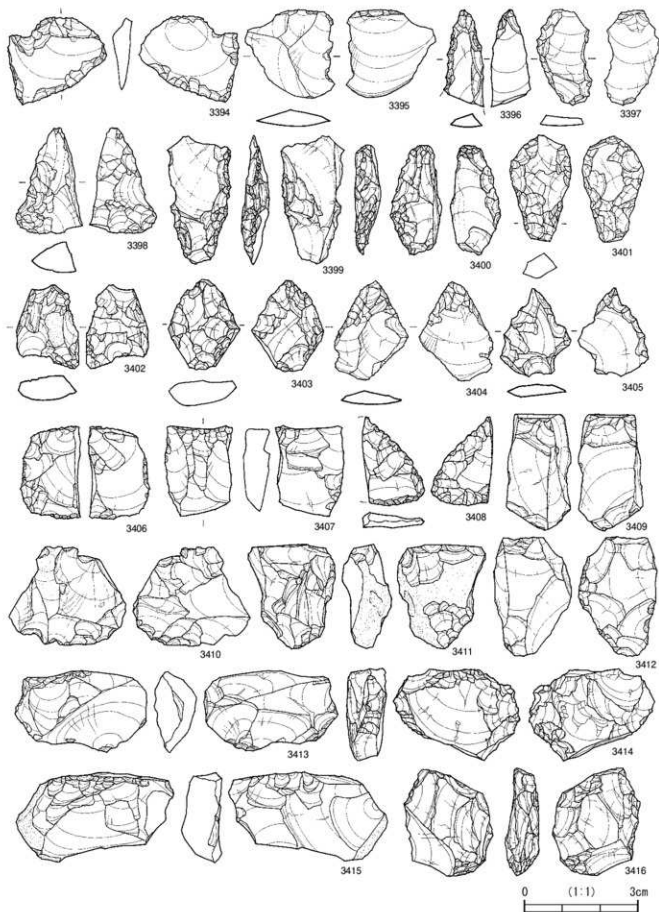
第 566 图 VI 层出土石器 (53)



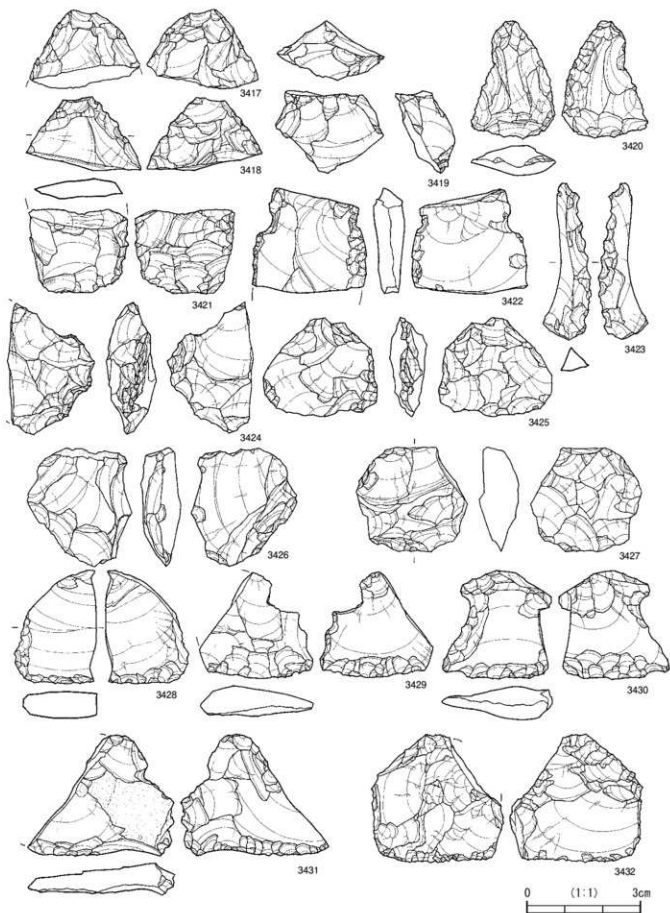
第 567 图 VI 层出土石器 (54)



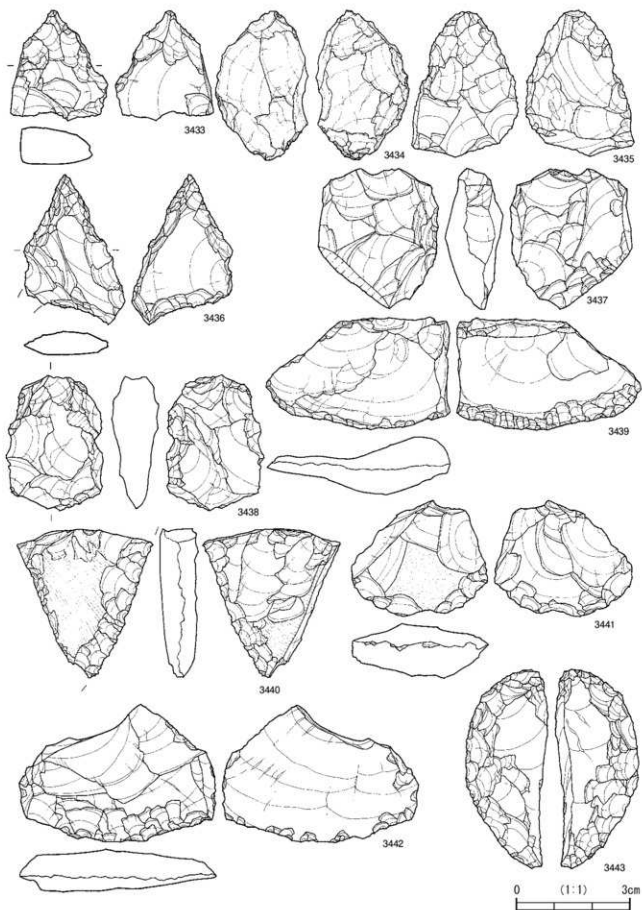
第 568 图 VI 层出土石器 (55)



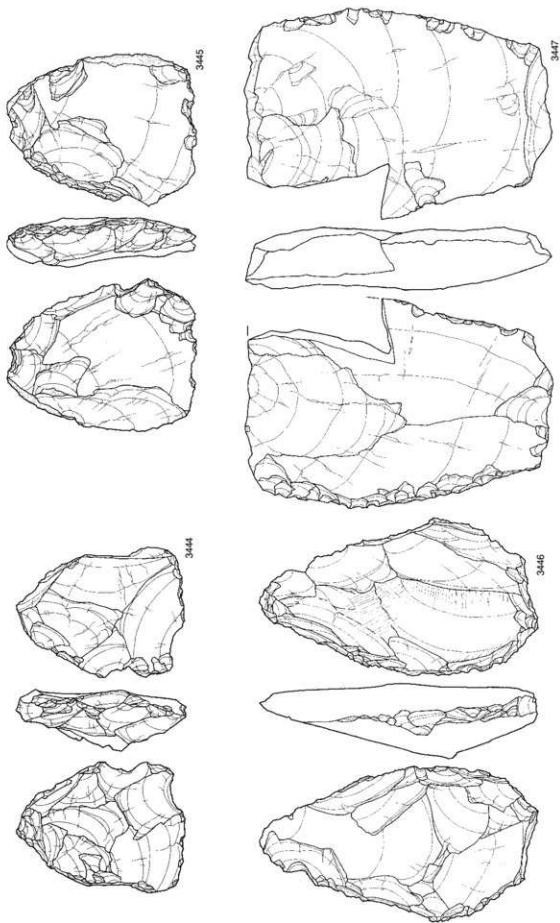
第 569 图 VI 层出土石器 (56)



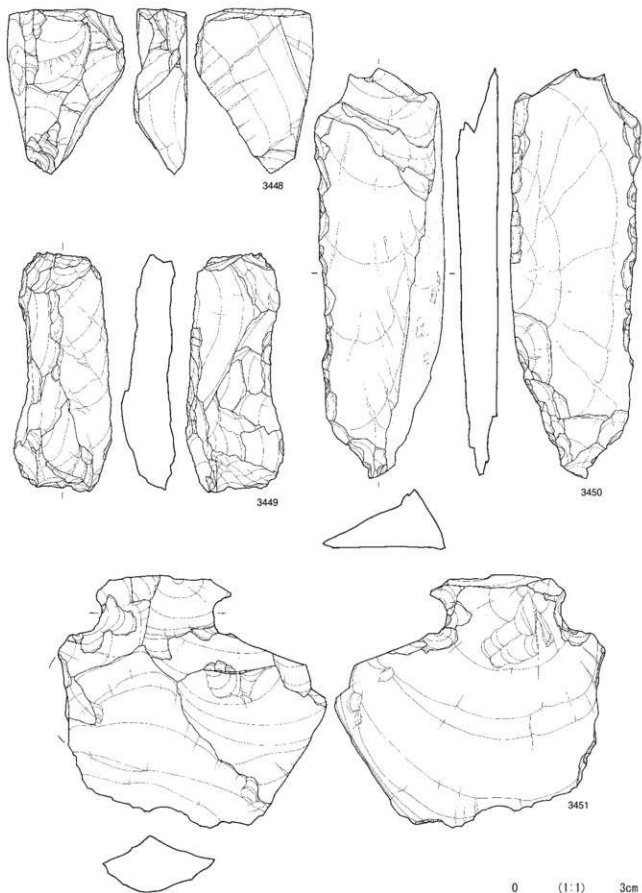
第 570 图 VI 层出土石器 (57)



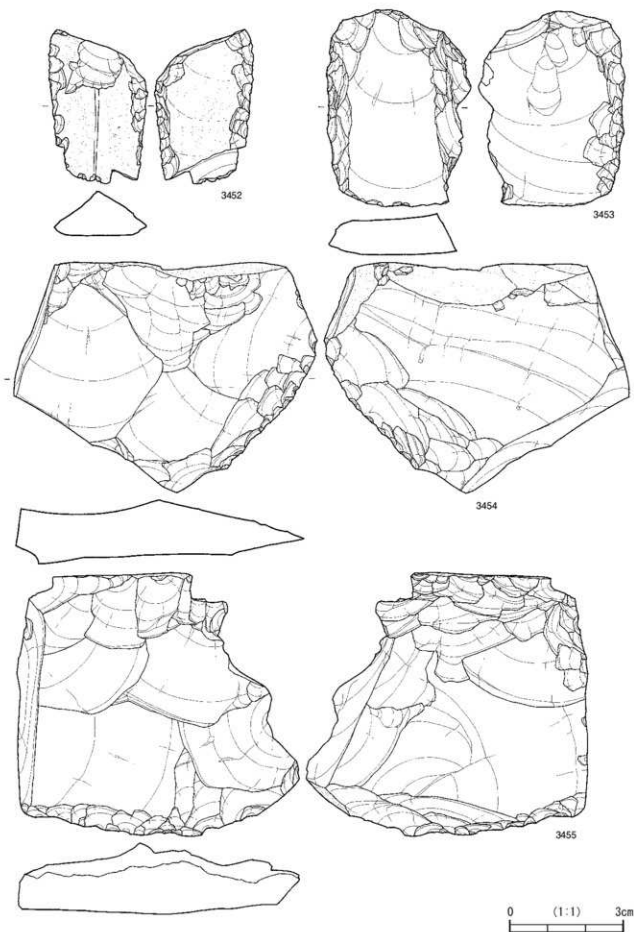
第 571 图 VI 层出土石器 (58)



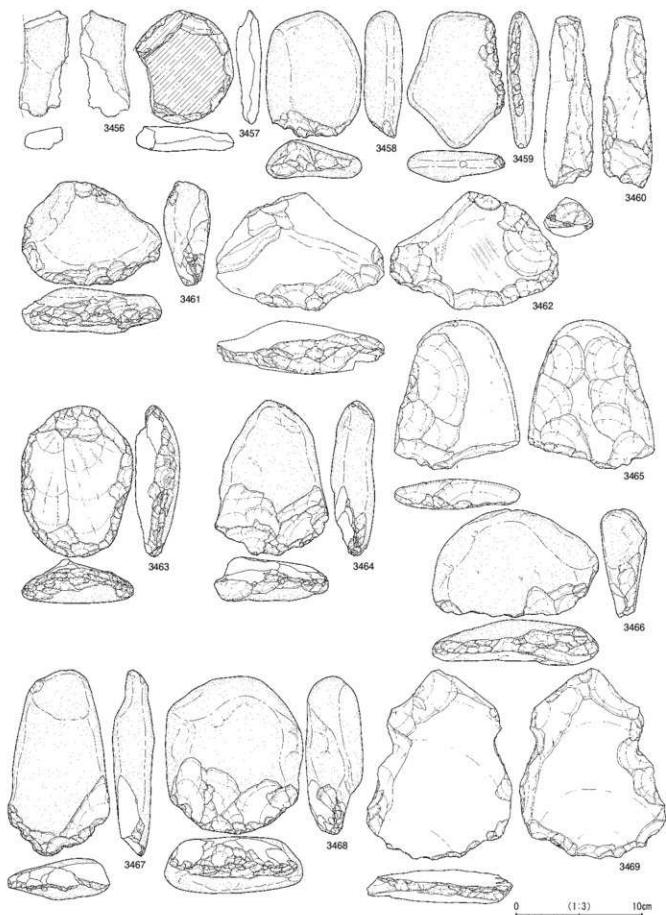
第 572 図 VI 層出土石器 (9)



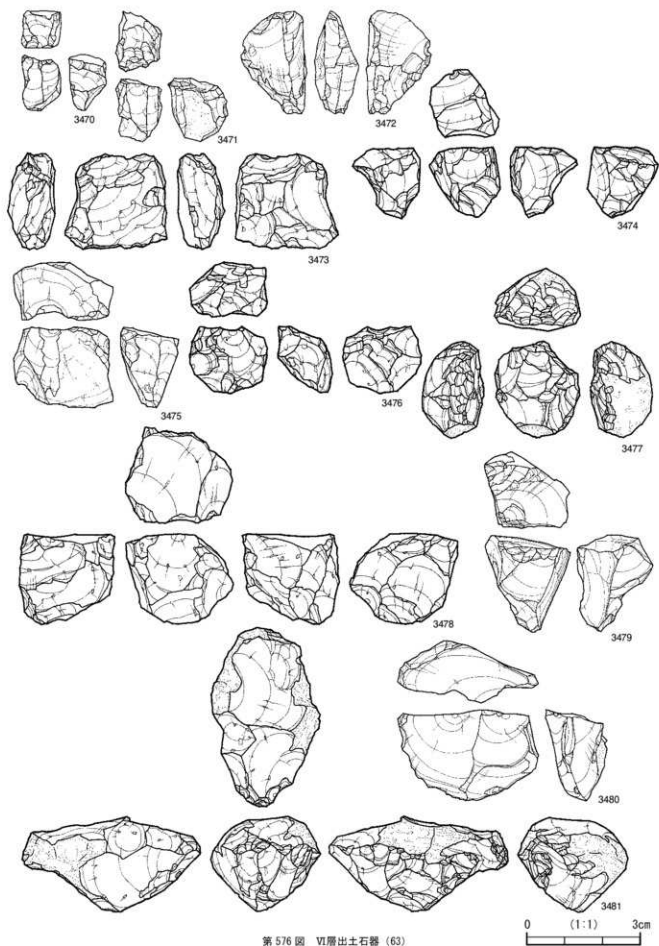
第 573 图 VI 层出土石器 (60)



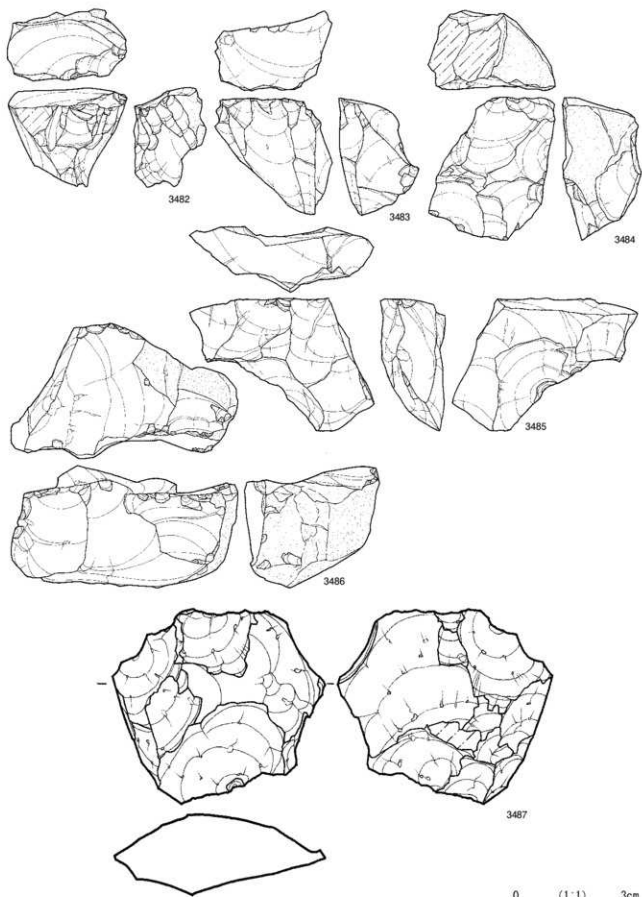
第 574 图 VI 层出土石器 (61)



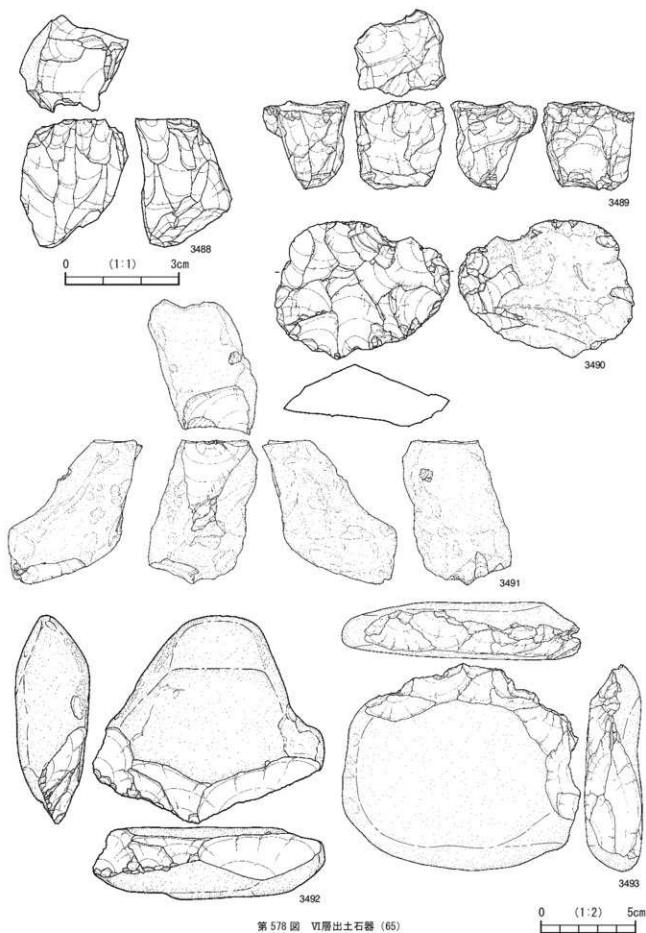
第 575 图 VI 层出土石器 (62)



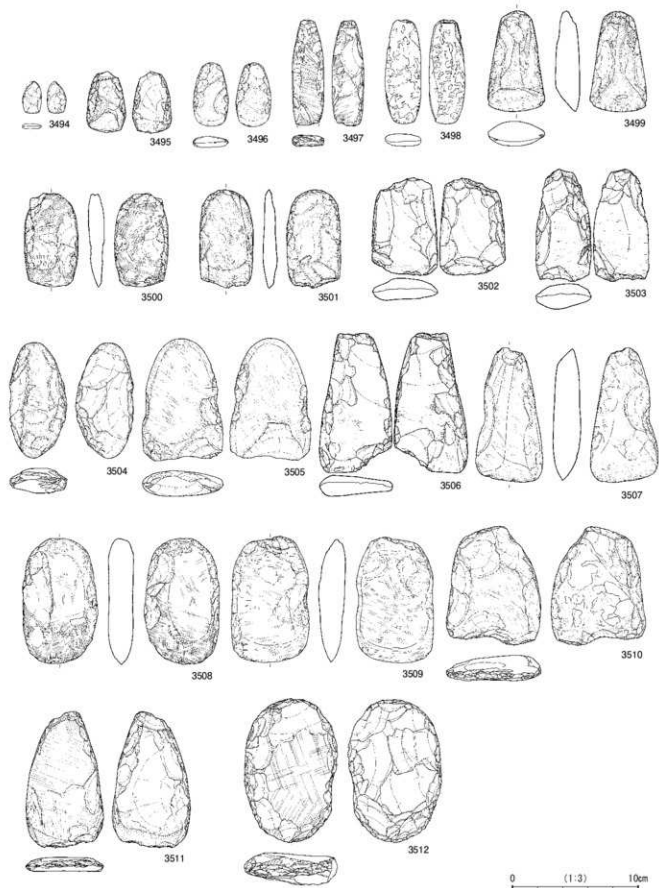
第 576 图 VI 层出土石器 (63)



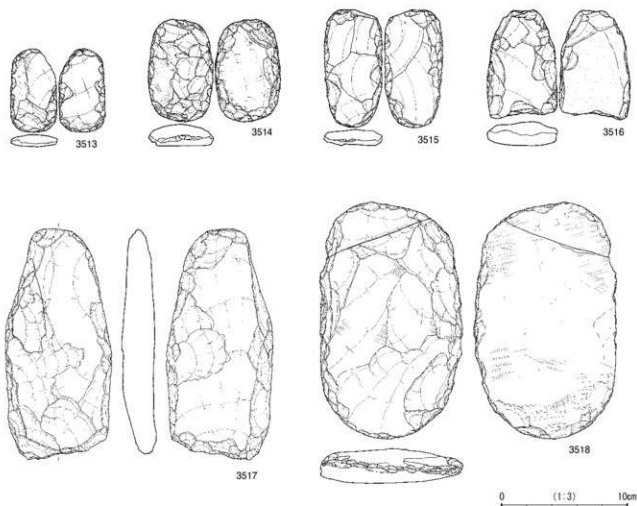
第 577 图 VI 层出土石器 (64)



第 578 图 VI 层出土石器 (65)



第 579 图 VI 层出土石器 (66)



第580図 VI層出土石器(67)

(16) 磨製石斧(第579図3494～3512)

磨製石斧は19点図化した。3494～3512はホルンフェルス素材とするものが中心であり、短冊形や楕円形を呈する。3494は表面及び刃部を丁寧に研磨し、長さ2.5cm、幅1.5cmと最小である。3495は頭部及び裏面が欠損し、刃部には刃こぼれがみられる。3499は頁岩を素材とし、両側縁や頭部に剥離痕が残されるが、入念な研磨仕上げが行われる。3497・3501・3503・3504・3506・3510・3511は刃部、3502は頭部が欠損する。3507は左側縁部に抉りを持ち、3508・3509は大きさが近似する。3512は周縁から剥離による再加工を行う。

(17) 打製石斧(第580図3513～3518)

打製石斧は6点図化した。3513～3516はホルンフェルス、3517は安山岩、3518は頁岩を素材とする。短冊形を呈し、3517・3518は長さが18cmを超える。

(18) 石皿(第581～585図3519～3536)

石皿は18点図化した。石材は凝灰岩が7割を占める。3521・3533～3535は花崗岩、3532は砂岩を素材とする。

3519は平面形が楕円形状を呈し、中央部分は大きく凹み、使用面となる。重量はVI層出土の2095に次ぐ。3524・3526・3532は断面形が三角形状を呈する。また、3524・3533・3534は表裏面に使用面が認められる。3536は平面形が方形形状を呈し、表面には敲痕と磨面、両側面には磨面が認められる。

(19) 砥石(第585図3537～3540)

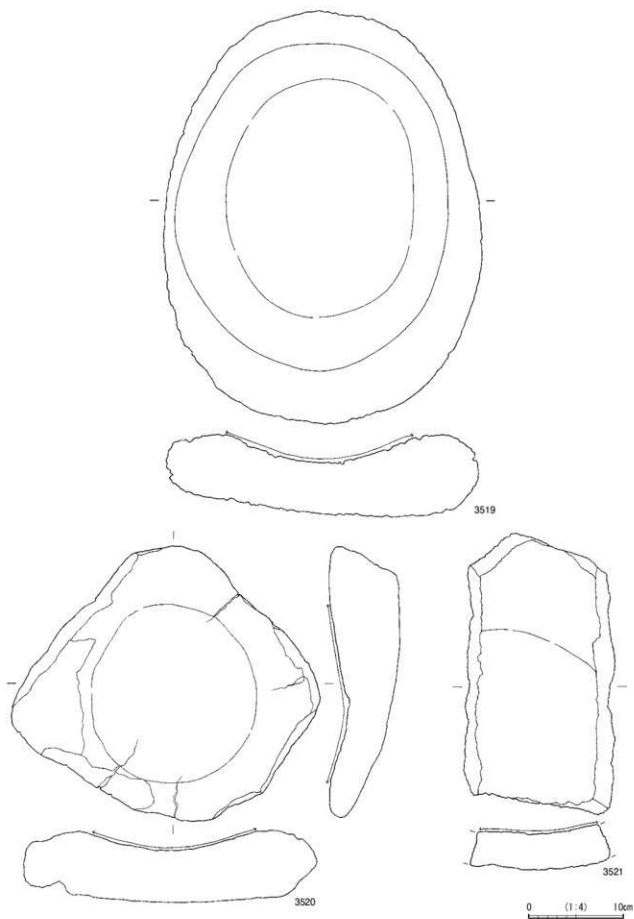
片面あるいは両平坦面に砥石として利用した痕跡が認められるもので、4点図化した。3537のみ花崗岩を使用し、残り3点は砂岩である。3537は両面に溝状の摩耗面が残る。3538・3539は光沢をもつ摩耗面が表裏面・両側面に認められる。3540は扁平礫の平坦面を使用する。

(20) 石錘(第585図3541～3543)

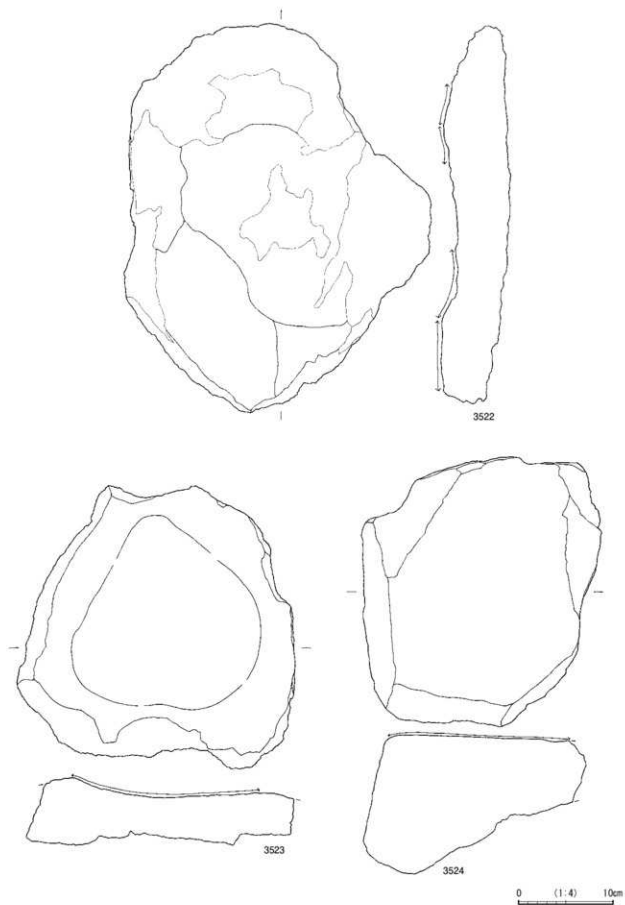
3541～3543は砂岩を素材とする石錘である。3点とも長さは6cm前後、厚みは1.5cm前後の扁平な円礫を使用する。

(21) 敲石(第586・587図3544～3560)

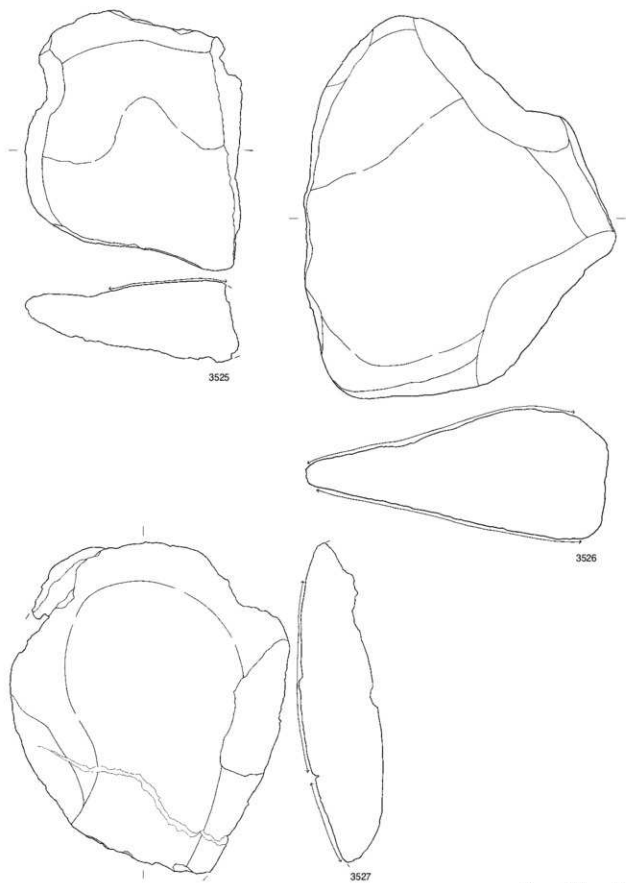
敲石は3544～3560の17点図化した。そのうち3556



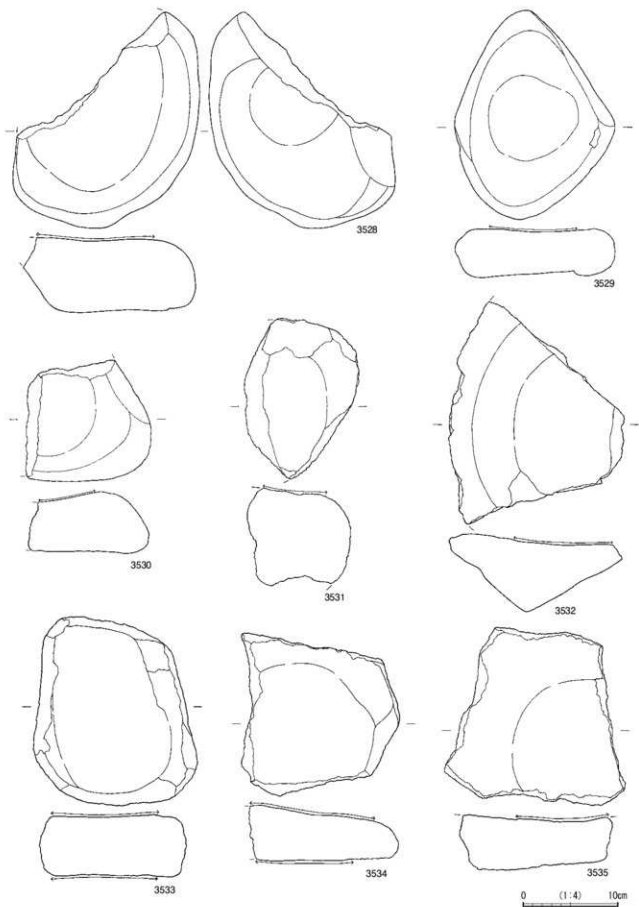
第 581 图 VI 层出土石器 (68)



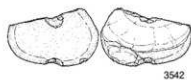
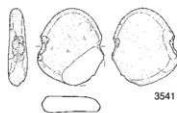
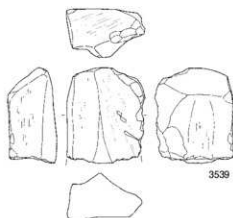
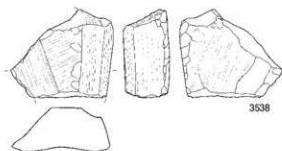
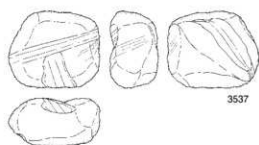
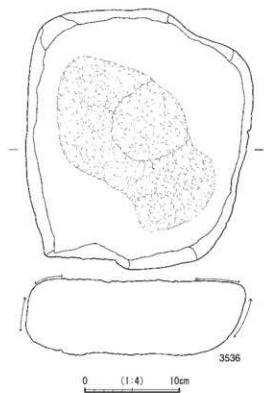
第 582 图 VI 层出土石器 (69)



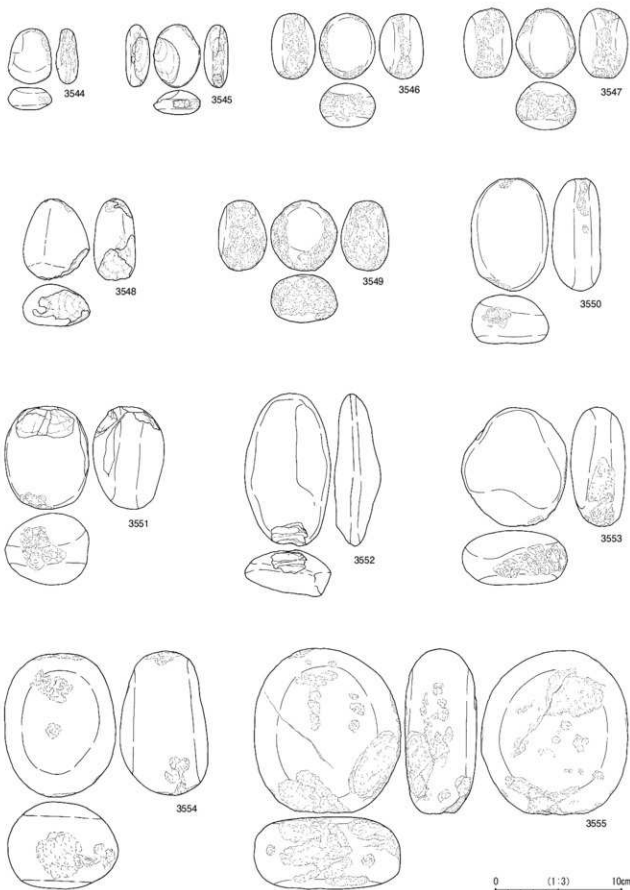
第 583 图 VI 层出土石器 (70)



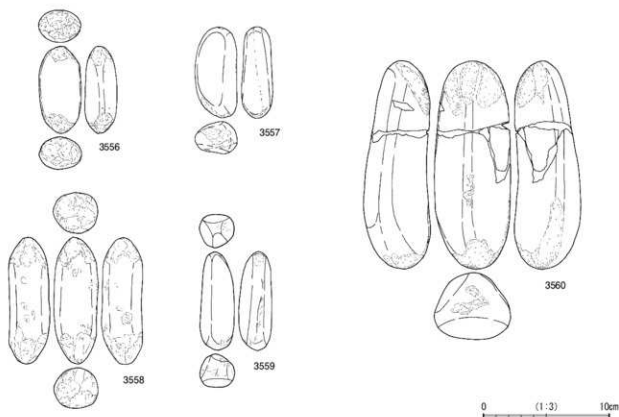
第 584 图 VI 层出土石器 (71)



第 585 图 VI 层出土石器 (72)



第 586 图 VI 层出土石器 (73)



第587図 VI層出土石器(74)

～3560の5点は棒状敲石である。扁平な円形や卵形を呈するものが多く、石材は多孔質な安山岩を使用し、3545は頁岩、3552はホルンフェルス、3556～3560の棒状敲石は砂岩である。3546・3547・3549は側面のほぼ全域に敲打痕を残される。3548は被熱により赤化している。3552は扁平な楕円形を呈し、下端部のみ使用痕が残る。

3556・3557・3559は大きさが類似し、長さが7cm、重さが80g前後と小型である。また、3556・3558・3560は両端に明瞭な使用痕を残し、3560は被熱により赤化している。

(22) 磨・敲石(第588～592図3561～3630)

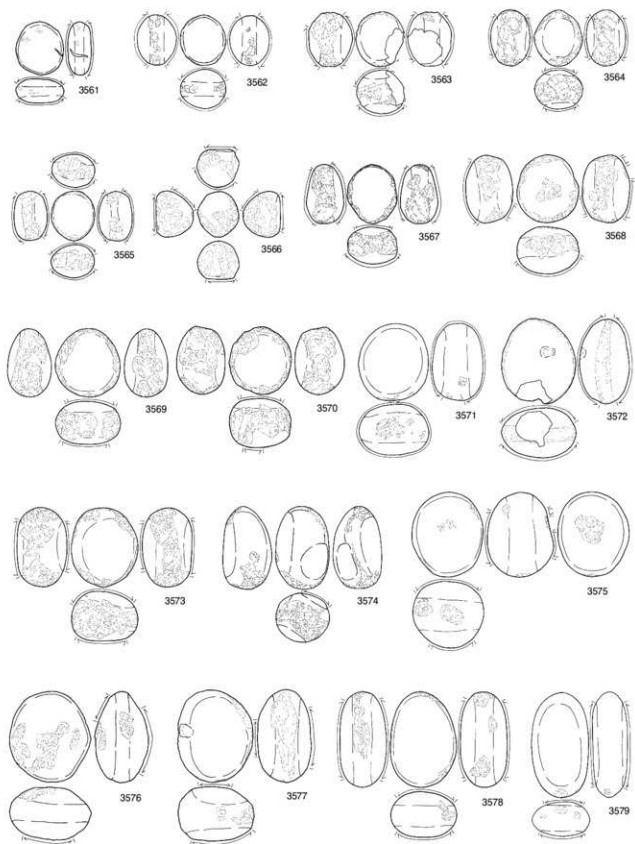
磨・敲石は3561～3630の70点図化した。石材は多孔質な安山岩や砂岩を多く使用する。長さが7～10cm大のものが中心であり、円形や卵形を呈する。3561～3566は長さが4cm以下であり、3564・3566はほぼ全面に敲打痕もしくは磨面が残る。3568・3575・3584・3587・3589・3598は表面、3604は表裏面の中央に敲打による凹みが見られる。3569・3570・3573・3580・3586・3597・3608・3609・3611・3615は側面の全域に敲打痕を残し、表裏面は磨面が残る。3610・3629は上端部に割れがみられ、表裏面は磨面が残る。3628は棒状、3630は下半部が欠損するが、石蝕状を呈すると思われる。

(23) 磨石(第593～597図3631～3692)

磨石は3631～3692の62点図化した。石材は多孔質な安山岩が多く、砂岩や花崗岩も使用する。7cm及び10cm前後の円形を呈するものが多い。3631は長さ2cmの小型の磨石であり、全面に磨面を残す。3638・3648・3649・3662は扁平で方形に近く、3637・3669は横断面が三角形になる。ほとんどの資料は表裏面に磨面を残すが、3651は裏面、3686は表面のみに磨面が認められる。3683は石蝕状を呈し、表裏面に線状の割れが生じている。

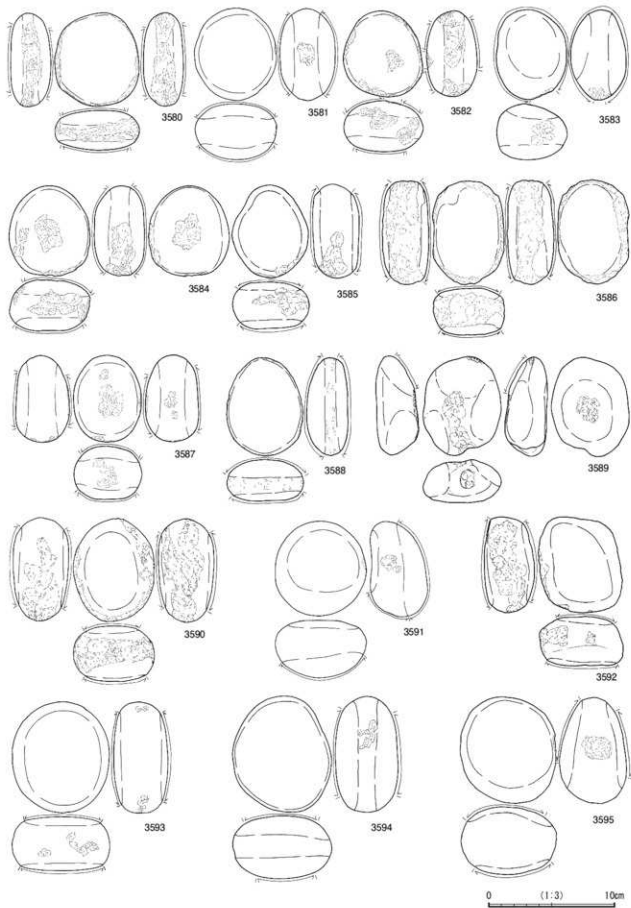
(24) 異形石器(第598図3693～3698)

異形石器は6点図化した。3693～3696は安山岩を素材とする。3693は上端部中央及び下端部の両端から挟りを入れることで、軍配状を呈する。3694・3695は「X」字状を呈する。3694は右側縁部及び下端部に挟りを入れるため左右非対称だが、3695は両側縁部及び上下端部に挟りを入れており、下半部は鍔形織のように幅広になる。3696は節理面を打面とする片片素材を使用する。上端部は打面をそのまま残し、下端部には挟り、両側縁部には剝離調整を施す。3697は三輪産黒曜石を素材とし、上端部及び下端部の挟りの両端を丸く作り出す。3696・3697は打製石織の未製品の可能性もある。3698はホルンフェルスの小円礫を素材とし、両側縁部及び下端部に擦切に

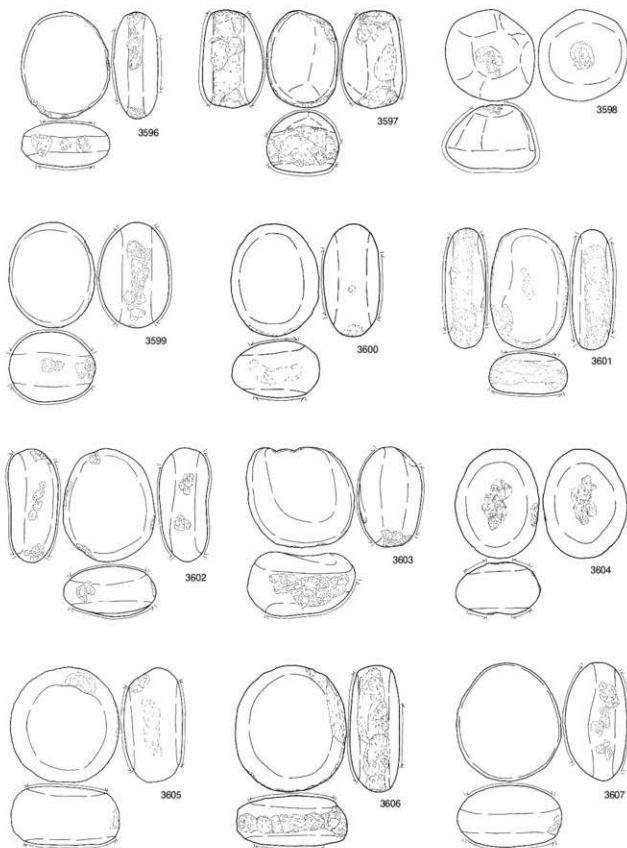


0 (1:3) 10cm

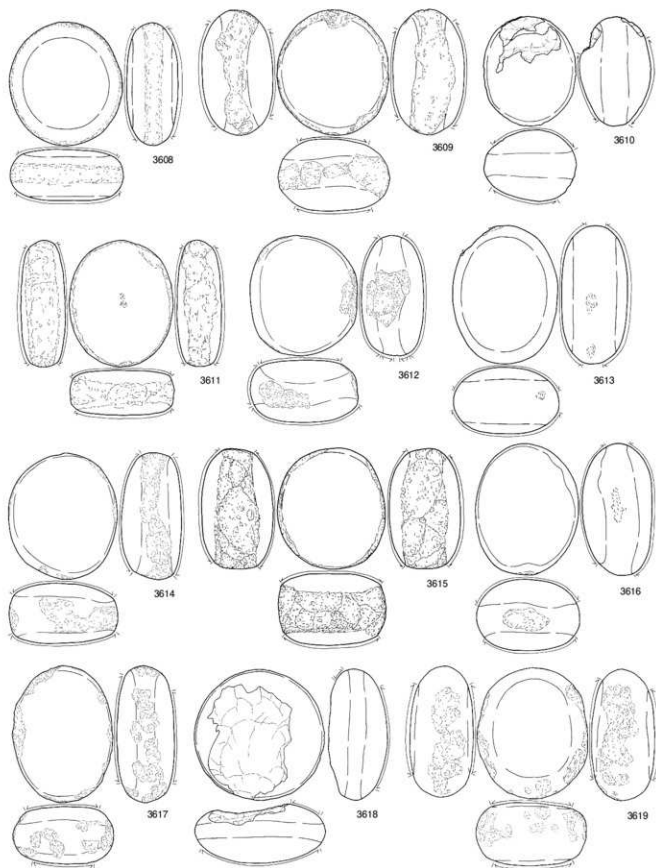
第 588 图 VI 层出土石器 (75)



第 589 图 VI 层出土石器 (76)

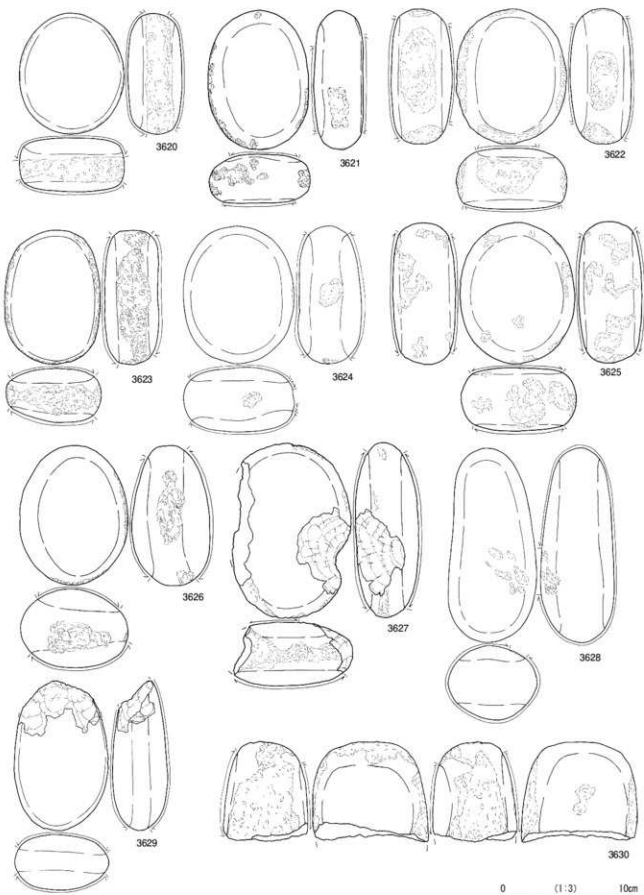


第 590 图 VI 层出土石器 (77)

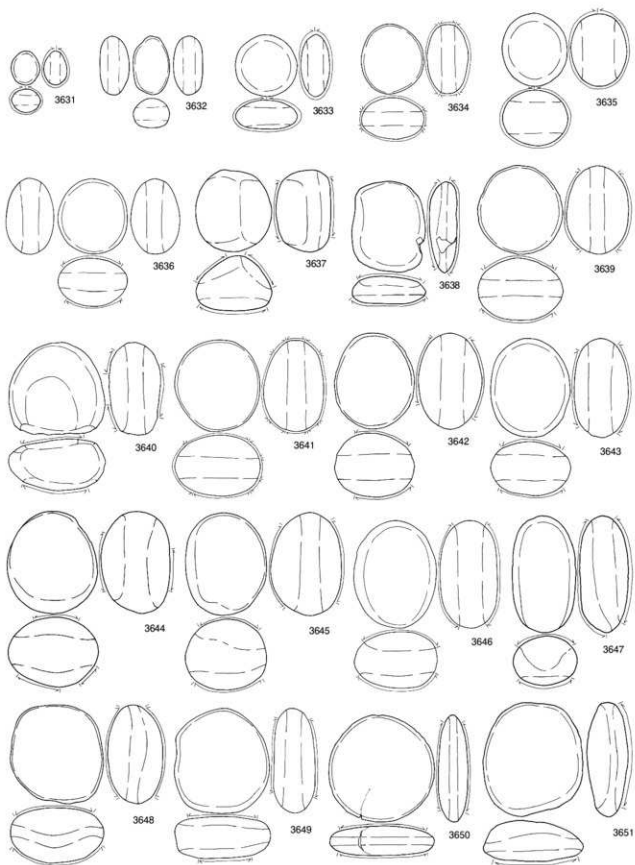


0 (1:3) 10cm

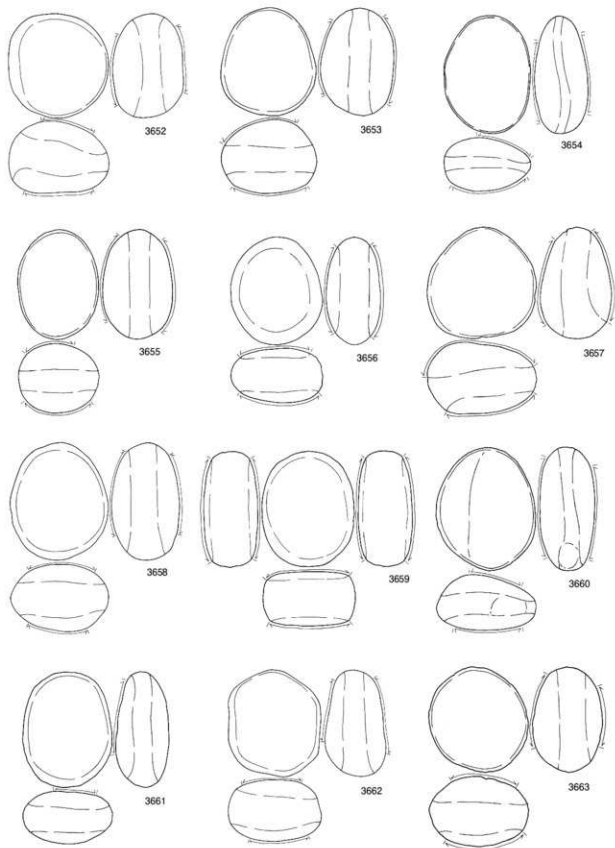
第 591 图 VI 层出土石器 (78)



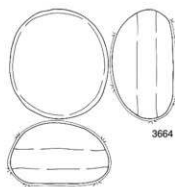
第 592 图 VI 层出土石器 (79)



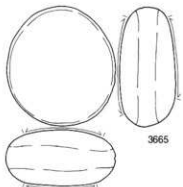
第 593 图 VI 层出土石器 (80)



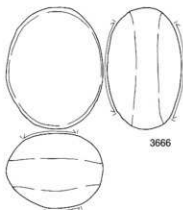
第 594 图 VI 层出土石器 (81)



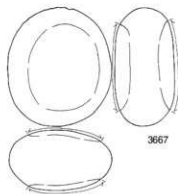
3664



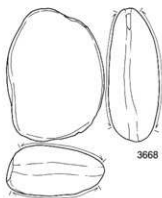
3665



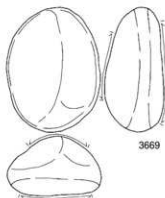
3666



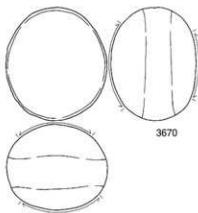
3667



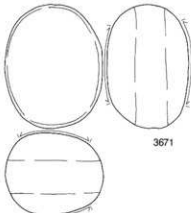
3668



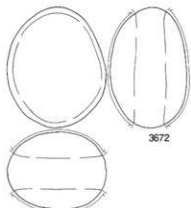
3669



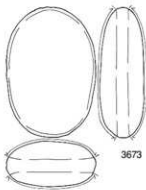
3670



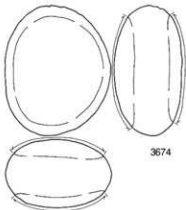
3671



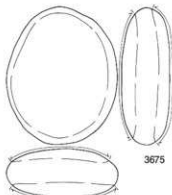
3672



3673



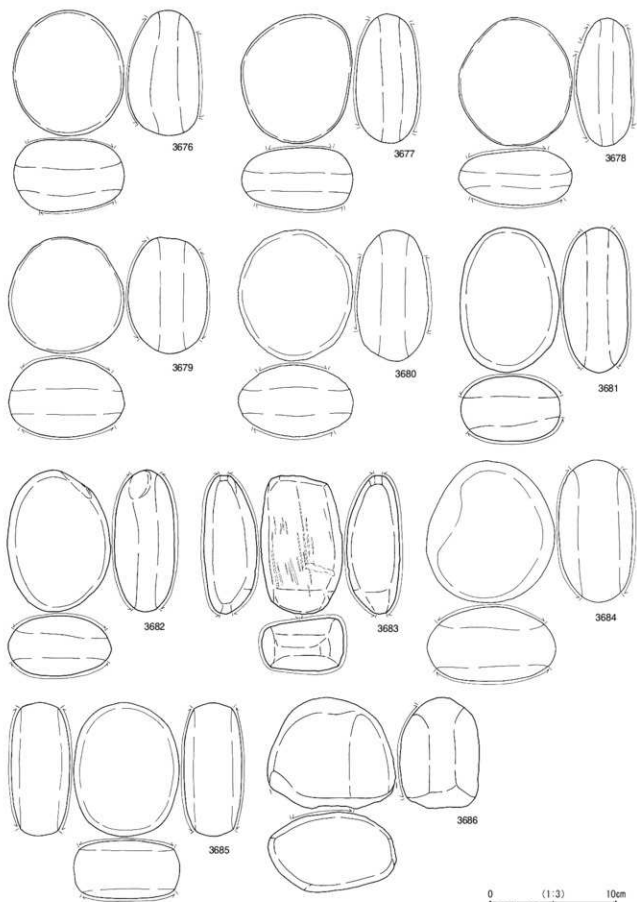
3674



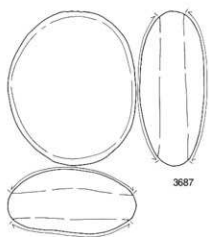
3675

0 (1:3) 10cm

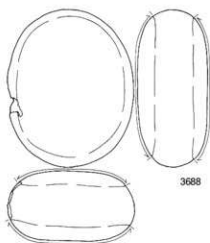
第 595 图 VI 层出土石器 (82)



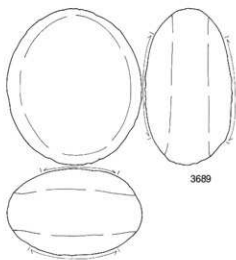
第 596 图 VI 层出土石器 (83)



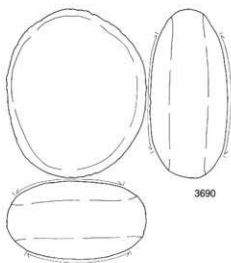
3687



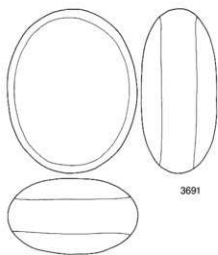
3688



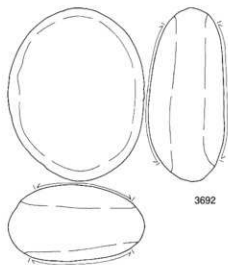
3689



3690



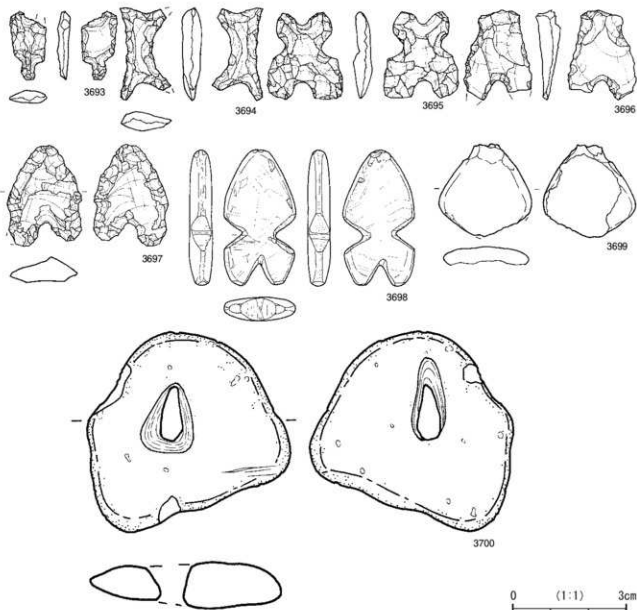
3691



3692

0 (1:3) 10cm

第 597 图 VI 层出土石器 (84)



第598図 VI層出土石器(85)

よる三角形状の袈りをもつ。摩耗が激しいが、部分的に打ち欠いた痕跡もみられ、全面を研磨している。

(25) 垂飾品 (第598図3699)

3699は蛇紋岩の小円礫を素材とし、上端部及び裏面は欠損する。穿孔はみられないが、全面に研磨が施されることから、垂飾品の未製品と考えられる。

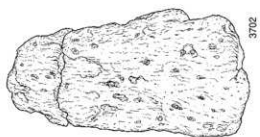
(26) ベットストーン (第598図3700)

3700は安山岩の5cm大の扁平な垂円礫を素材とする。自然の孔に穿孔と研磨による二次加工を行っている。用途不明であり、嗜好品として持ち込まれたベットストーンと考えられる。上野原遺跡第10地点で報告されている。

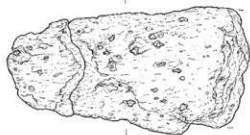
(27) 軽石製品 (第599図3701～3703)

3701・3702は柱状、3703は円盤状を呈する。最大長

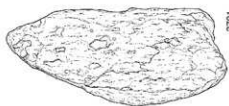
が11cm・12.85cm・11.3cmと近似する。3701は表裏面は研磨による平坦面をもち、右側面はカーブに沿って丁寧に研磨される。3702は表裏面に研磨による平坦面をもち、表面の一部に赤色顔料が塗布される。3703は裏面の一部を欠損するが、表裏面は研磨により平坦面を作出し、側面も研磨によって成形されている。穿孔は両面から行われる。



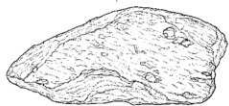
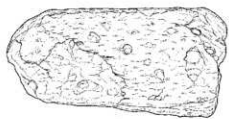
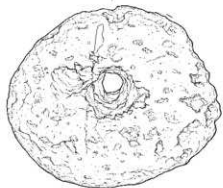
3702



3701



3703



第 599 圖 VI 層出土石器 (86)

第 63 表 VII 層出土石器觀察表 (1)

神田 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
484	1577	打製石鏃	CH	G-19	Ⅴ	(1.03)	1.26	0.32	0.33
	1578	打製石鏃	OB4	E-14	Ⅴ	(1.25)	(1.20)	0.25	0.29
	1579	打製石鏃	OB3	G-24	Ⅴ	1.12	1.06	0.35	0.41
	1580	打製石鏃	OB4	G-20	Ⅴ	1.23	1.22	0.29	0.31
	1581	打製石鏃	OB3	J-21	Ⅴ	(1.22)	(1.18)	0.30	0.32
	1582	打製石鏃	SH	G-14	Ⅴ	(1.43)	(1.50)	0.35	0.49
	1583	打製石鏃	AN	E-24	Ⅴ	1.30	1.35	0.35	0.37
	1584	打製石鏃	CH	E-17	Ⅴ	1.55	1.52	0.40	0.51
	1585	打製石鏃	OC1	F-20	Ⅴ	(1.70)	(1.40)	0.30	0.61
	1586	打製石鏃	OC3	J-22	Ⅴ	(1.35)	(1.18)	0.32	0.32
	1587	打製石鏃	SH	K-21	Ⅴ	(1.64)	(1.56)	0.43	0.69
	1588	打製石鏃	OB7	K-13	Ⅴ	1.70	1.60	0.62	0.72
	1589	打製石鏃	CH	I-16	Ⅴ	1.40	1.24	0.36	0.50
	1590	打製石鏃	AN	G-18	Ⅴ	(1.25)	(1.30)	0.25	0.37
	1591	打製石鏃	SH	I-18	Ⅴ	(1.16)	(1.56)	0.43	0.47
	1592	打製石鏃	AN	G-23	Ⅴ	1.30	1.40	0.30	0.22
	1593	打製石鏃	OB2	F-23	Ⅴ	(1.02)	(1.02)	0.35	0.18
	1594	打製石鏃	OB5	F-12	Ⅴ	(1.21)	(1.16)	0.28	0.31
	1595	打製石鏃	TE	I-17	Ⅴ	1.40	1.55	0.25	0.26
	1596	打製石鏃	AN	F-23	Ⅴ	1.40	1.30	0.40	0.46
	1597	打製石鏃	AN	G-20	Ⅴ	1.30	1.32	0.31	0.32
	1598	打製石鏃	OB6	K-22	Ⅴ	1.40	1.40	0.35	0.40
	1599	打製石鏃	OB1	I-17	Ⅴ	1.26	1.49	0.28	0.40
	1600	打製石鏃	OB5	G-20	Ⅴ	(1.50)	(1.20)	0.38	0.44
	1601	打製石鏃	AN	K-17	Ⅴ	(1.70)	(1.20)	0.25	0.31
	1602	打製石鏃	OB6	H-21	Ⅴ	(1.65)	(1.35)	0.35	0.43
	1603	打製石鏃	OB6	I-21	Ⅴ	1.42	1.35	0.45	0.61
	1604	打製石鏃	CH	N-20	Ⅴ	1.45	1.40	0.32	0.42
	1605	打製石鏃	CH	I-19	Ⅴ	1.49	1.46	0.34	0.47
	1606	打製石鏃	OB1	H-20	Ⅴ	1.29	1.63	0.32	0.51
	1607	打製石鏃	OB4	E-18	Ⅴ	(1.57)	(1.42)	0.34	0.45
	1608	打製石鏃	CH	K-21	Ⅴ	(1.50)	(1.35)	0.30	0.44
	1609	打製石鏃	OB4	G-25	Ⅴ	(1.55)	(1.30)	0.26	0.41
	1610	打製石鏃	CH	K-15	Ⅴ	1.54	1.67	0.28	0.52
	1611	打製石鏃	OB5	I-20	Ⅴ	1.70	1.72	0.41	0.77
	1612	打製石鏃	CH	I-17	Ⅴ	(1.95)	(1.70)	0.35	0.81
1613	打製石鏃	CH	I-24	Ⅴ	1.80	1.77	0.40	1.21	
1614	打製石鏃	AN	H-13	Ⅴ	(1.95)	(1.75)	0.40	0.74	
1615	打製石鏃	CH	G-23	Ⅴ	2.00	1.85	0.50	2.04	
1616	打製石鏃	CH	H-20	Ⅴ	2.07	1.79	0.43	0.95	
1617	打製石鏃	CH	H-14	Ⅴ	2.05	2.02	0.47	1.18	
1618	打製石鏃	CH	H-22	Ⅴ	(2.15)	(1.82)	0.40	1.20	
485	1619	打製石鏃	OB4	I-21	Ⅴ	(1.93)	1.94	0.23	0.38
	1620	打製石鏃	OB6	G-22	Ⅴ	2.00	1.20	0.50	0.82
	1621	打製石鏃	OB7	K-21	Ⅴ	2.15	1.12	0.30	0.78
	1622	打製石鏃	AN	H-24	Ⅴ	(2.05)	(1.25)	0.35	0.84
	1623	打製石鏃	SH	G-15	Ⅴ	(2.76)	(1.27)	0.37	0.86
	1624	打製石鏃	AN	F-24	Ⅴ	(2.55)	1.45	0.58	1.43
	1625	打製石鏃	OB6	E-22	Ⅴ	2.62	1.55	0.45	0.97
	1626	打製石鏃	OB6	E-22	Ⅴ	(2.67)	(1.50)	0.45	1.09
	1627	打製石鏃	AN	G-22	Ⅴ	(2.70)	(1.40)	0.70	1.45
	1628	打製石鏃	AN	I-19	Ⅴ	(2.58)	(1.60)	0.30	1.00
	1629	打製石鏃	AN	N-19	Ⅴ	(2.93)	(1.64)	0.40	1.79
	1630	打製石鏃	AN	K-20	Ⅴ	3.60	1.75	0.80	3.51
	1631	打製石鏃	OB6	F-24	Ⅴ	(4.05)	(1.95)	0.50	2.66
	1632	打製石鏃	AN	F-8	Ⅴ	(4.94)	1.94	0.66	4.88
1633	打製石鏃	OB4	F-23	Ⅴ	1.24	1.58	0.25	0.27	
486	1634	打製石鏃	OB3	G-22	Ⅴ	1.30	1.09	0.30	0.30
	1635	打製石鏃	OB4	E-16	Ⅴ	1.34	1.15	0.30	0.37
	1636	打製石鏃	CH	I-21	Ⅴ	1.30	1.12	0.20	0.24

第 64 表 VII 層出土石器觀察表 (2)

神田 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
486	1637	打製石鏃	OB1	G-16	Ⅴ	(1.22)	1.14	0.30	0.58
	1638	打製石鏃	AN	N-20	Ⅴ	(1.65)	(1.30)	0.29	0.49
	1639	打製石鏃	SH	H-20	Ⅴ	1.72	1.38	0.35	0.46
	1640	打製石鏃	OB4	F-20	Ⅴ	1.75	1.23	0.24	0.35
	1641	打製石鏃	OB7	H-20	Ⅴ	(1.90)	(1.23)	0.29	0.60
	1642	打製石鏃	AN	H-17	Ⅴ	(1.60)	(1.48)	0.34	0.60
	1643	打製石鏃	OB7	J-20	Ⅴ	(1.60)	1.50	0.45	0.76
	1644	打製石鏃	CH	H-20	Ⅴ	1.80	1.53	0.39	0.80
	1645	打製石鏃	AN	F-5	Ⅴ	2.00	1.43	0.32	0.78
	1646	打製石鏃	CH	G-15	Ⅴ	1.97	1.35	0.47	1.00
	1647	打製石鏃	OB1	H-21	Ⅴ	(2.06)	(1.52)	0.60	1.91
	1648	打製石鏃	AN	I-14	Ⅴ	2.38	1.63	0.30	1.03
	1649	打製石鏃	AN	H-21	Ⅴ	(2.10)	(1.30)	0.50	1.66
	1650	打製石鏃	OC3	K-21	Ⅴ	(2.00)	(2.10)	0.85	2.84
	1651	打製石鏃	OC2	E-17	Ⅴ	(2.50)	2.08	0.64	2.91
	1652	打製石鏃	CH	G-13	Ⅴ	(2.45)	(1.78)	0.45	1.67
	1653	打製石鏃	AN	K-20	Ⅴ	(2.40)	(1.90)	0.50	1.51
	1654	打製石鏃	CH	E-17	Ⅴ	(2.75)	(2.20)	0.35	0.90
	1655	打製石鏃	CH	E-22	Ⅴ	(2.80)	(1.80)	0.48	1.34
	1656	打製石鏃	OB1	H-24	Ⅴ	(2.70)	2.40	1.10	6.18
	1657	打製石鏃	CH	N-18	Ⅴ	(2.34)	(2.51)	0.70	3.38
	1658	打製石鏃	SH	I-18	Ⅴ	(3.20)	(1.90)	0.60	2.79
	1659	打製石鏃	OB5	F-19	Ⅴ	1.90	0.89	0.17	0.47
	1660	打製石鏃	OB4	H-22	Ⅴ	1.53	1.01	0.42	0.41
	1661	打製石鏃	AN	I-14	Ⅴ	1.60	1.30	0.28	0.41
	1662	打製石鏃	OB5	K-22	Ⅴ	1.51	1.30	0.33	0.50
	1663	打製石鏃	CH	J-17	Ⅴ	1.76	1.29	0.39	0.70
	1664	打製石鏃	CH	I-21	Ⅴ	1.69	1.34	0.54	0.90
	1665	打製石鏃	OB7	I-19	Ⅴ	(1.47)	1.32	0.39	0.53
	1666	打製石鏃	AN	H-17	Ⅴ	1.81	1.62	0.38	0.72
	1667	打製石鏃	OB6	F-16	Ⅴ	(1.26)	1.64	0.44	0.76
	1668	打製石鏃	OB6	H-13	Ⅴ	(1.53)	1.53	0.42	0.66
	1669	打製石鏃	SH	K-21	Ⅴ	(1.70)	(1.09)	0.58	0.79
	1670	打製石鏃	AN	G-22	Ⅴ	(1.80)	(1.55)	0.60	1.52
	1671	打製石鏃	OC1	F-23	Ⅴ	(1.90)	(1.60)	0.40	0.78
	1672	打製石鏃	OB4	H-11	Ⅴ	1.95	1.73	0.50	1.07
1673	打製石鏃	SH	I-20	Ⅴ	1.80	1.60	0.50	0.76	
1674	打製石鏃	CH	K-13	Ⅴ	1.97	1.72	0.44	1.42	
1675	打製石鏃	OB7	J-21	Ⅴ	(1.70)	1.60	0.50	1.02	
1676	打製石鏃	AN	H-21	Ⅴ	(1.70)	(1.60)	0.55	1.36	
1677	打製石鏃	OB4	I-21	Ⅴ	(2.00)	(1.75)	0.40	0.95	
1678	打製石鏃	CH	H-21	Ⅴ	2.22	1.72	0.52	1.44	
1679	打製石鏃	AN	H-9	Ⅴ	(2.12)	1.96	0.62	2.22	
1680	打製石鏃	AN	J-21	Ⅴ	(2.50)	1.45	0.55	1.46	
1681	打製石鏃	OB4	K-9	Ⅴ	(2.51)	(1.48)	0.55	1.41	
1682	打製石鏃	SH	G-19	Ⅴ	(2.41)	1.88	0.46	1.49	
1683	打製石鏃	CH	N-19	Ⅴ	(2.20)	(1.75)	0.76	1.80	
1684	打製石鏃	OB3	I-19	Ⅴ	(2.83)	(1.71)	0.53	1.66	
1685	打製石鏃	AN	G-16	Ⅴ	(1.40)	2.10	0.70	1.55	
1686	打製石鏃	CH	I-20	Ⅴ	(2.08)	2.50	0.48	1.27	
1687	打製石鏃	SH	K-21	Ⅴ	(1.60)	2.30	0.70	1.53	
1688	打製石鏃	OC1	N-20	Ⅴ	(2.90)	(2.00)	0.50	2.94	
1689	打製石鏃	AN	N-20	Ⅴ	(1.40)	(1.10)	0.35	0.30	
1690	打製石鏃	OB6	K-21	Ⅴ	(1.30)	(0.92)	0.45	0.38	
1691	打製石鏃	AN	H-16	Ⅴ	(1.40)	(1.15)	0.35	0.33	
1692	打製石鏃	OB3	F-21	Ⅴ	(1.50)	(1.22)	0.44	0.48	
1693	打製石鏃	AN	J-21	Ⅴ	(1.50)	(2.00)	0.30	0.39	
1694	打製石鏃	AN	H-15	Ⅴ	(1.72)	(1.11)	0.24	0.37	
1695	打製石鏃	OB6	H-22	Ⅴ	(1.65)	(1.20)	0.28	0.28	
1696	打製石鏃	AN	I-20	Ⅴ	1.70	1.50	0.40	0.46	

第 65 表 VII層出土石器觀察表 (3)

標頭 番号	高森 番号	器種	石材	出土区	部位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
	1697	打製石鏟	086	I-21	Ⅴ	(1.70)	(1.50)	0.40	0.68
	1698	打製石鏟	084	J-22	Ⅴ上	1.70	1.45	0.40	0.63
	1699	打製石鏟	CC1	G-20	Ⅴ	1.85	1.50	0.50	0.73
	1700	打製石鏟	CH	N-18	Ⅴ	1.85	1.48	0.53	0.95
	1701	打製石鏟	SH	K-15	Ⅴ	1.90	1.40	0.30	0.49
	1702	打製石鏟	AN	H-22	Ⅴ	1.90	1.35	0.40	0.58
	1703	打製石鏟	CC1	H-24	Ⅴ上	1.85	1.62	0.50	1.01
	1704	打製石鏟	SH	F-24	Ⅴ	(1.55)	1.70	0.50	0.97
	1705	打製石鏟	CH	D-21	Ⅴ	(1.93)	(1.25)	0.24	0.36
	1706	打製石鏟	084	D-18	Ⅴ	(1.93)	(1.20)	0.38	0.46
	1707	打製石鏟	AN	I-17	Ⅴ	2.01	1.58	0.35	0.73
	1708	打製石鏟	CH	J-21	Ⅴ	(2.10)	(1.40)	0.40	0.74
	1709	打製石鏟	CH	G-20	Ⅴ	(1.82)	(1.30)	0.44	0.63
	1710	打製石鏟	AN	J-22	Ⅴ	(2.05)	(1.45)	0.55	0.85
	1711	打製石鏟	084	F-22	Ⅴ	(2.10)	(1.35)	0.38	0.67
	1712	打製石鏟	CC1	M-15	Ⅴ	2.04	1.48	0.28	0.63
	1713	打製石鏟	086	G-24	Ⅴ上	(2.13)	(1.47)	0.53	1.04
	1714	打製石鏟	084	D-24	Ⅴ	(2.20)	(1.78)	0.53	0.64
	1715	打製石鏟	CH	K-20	Ⅴ	(2.18)	(1.28)	0.38	0.55
	1716	打製石鏟	CC2	F-17	Ⅴ	(2.40)	(1.55)	0.50	1.25
	1717	打製石鏟	087	I-16	Ⅴ	(2.30)	(1.50)	0.47	0.99
	1718	打製石鏟	086	F-23	Ⅴ	(2.40)	1.50	0.60	1.47
	1719	打製石鏟	AN	G-22	Ⅴ	(2.00)	1.75	0.35	0.57
	1720	打製石鏟	AN	M-19	Ⅴ	(1.84)	(1.57)	0.33	0.71
	1721	打製石鏟	082	H-22	Ⅴ	(1.70)	(1.40)	0.23	0.63
	1722	打製石鏟	SH	K-22	Ⅴ上 F	(2.07)	(1.58)	0.48	0.90
	1723	打製石鏟	CH	H-14	Ⅴ	(2.22)	(1.35)	0.36	0.57
	1724	打製石鏟	AN	J-13	Ⅴ	(2.35)	1.75	0.40	0.94
	1725	打製石鏟	AN	J-22	Ⅴ	(2.20)	(1.30)	0.30	0.65
	1726	打製石鏟	084	K-15	Ⅴ	(2.30)	(1.62)	0.43	0.89
	1727	打製石鏟	CH	J-14	Ⅴ	(2.27)	(1.60)	0.43	1.08
	1728	打製石鏟	SH	J-13	Ⅴ	(2.60)	(1.30)	0.15	1.14
	1729	打製石鏟	CH	G-19	Ⅴ	(2.37)	(1.56)	0.30	0.89
	1730	打製石鏟	SH	I-22	Ⅴ	2.70	1.70	0.50	1.19
	1731	打製石鏟	AN	M-21	Ⅴ	(2.70)	(1.40)	0.40	0.82
	1732	打製石鏟	085	J-14	Ⅴ	(2.62)	(1.55)	0.36	0.88
	1733	打製石鏟	AN	G-13	Ⅴ	(2.73)	(1.70)	0.37	0.93
	1734	打製石鏟	AN	F-16	Ⅴ	(2.55)	(1.60)	0.44	1.09
	1735	打製石鏟	CH	H-23	Ⅴ	(2.56)	(2.05)	0.57	1.78
	1736	打製石鏟	CH	H-14	Ⅴ	(2.76)	(1.80)	0.34	1.02
	1737	打製石鏟	SH	I-14	Ⅴ	2.83	2.11	0.55	1.79
	1738	打製石鏟	CH	K-17	Ⅴ	(2.77)	(1.82)	0.38	1.18
	1739	打製石鏟	CH	F-17	Ⅴ	(2.97)	(1.78)	0.34	1.47
	1740	打製石鏟	CC2	K-13	Ⅴ	(2.55)	(1.85)	0.55	2.06
	1741	打製石鏟	CH	K-20	Ⅴ	(3.22)	(1.85)	0.55	1.90
	1742	打製石鏟	CH	J-16	Ⅴ	(3.14)	(1.97)	0.48	1.53
	1743	打製石鏟	CH	M-17	Ⅴ	(3.10)	(2.10)	0.45	1.97
	1744	打製石鏟	CH	D-18	Ⅴ	(1.35)	(1.04)	0.29	0.38
	1745	打製石鏟	AN	I-21	Ⅴ	1.40	1.32	0.30	0.32
	1746	打製石鏟	AN	H-23	Ⅴ	(1.50)	(1.30)	0.40	0.60
	1747	打製石鏟	AN	G-22	Ⅴ	(1.60)	(1.30)	0.40	0.48
	1748	打製石鏟	AN	I-22	Ⅴ	(1.55)	1.60	0.41	0.70
	1749	打製石鏟	AN	H-21	Ⅴ	(1.35)	1.40	0.40	0.57
	1750	打製石鏟	CH	M-11	Ⅴ上	1.63	1.72	0.50	1.03
	1751	打製石鏟	AN	K-21	Ⅴ	1.75	1.47	0.50	0.64
	1752	打製石鏟	CH	N-14	Ⅴ	(1.85)	(1.40)	0.30	0.56
	1753	打製石鏟	AN	H-21	Ⅴ	(2.00)	(2.00)	0.42	0.65
	1754	打製石鏟	CH	N-16	Ⅴ	1.90	1.50	0.40	0.79
	1755	打製石鏟	CH	G-21	Ⅴ	2.03	1.98	0.53	1.26
	1756	打製石鏟	AN	I-21	Ⅴ	(1.55)	1.70	0.40	0.71

第 66 表 VII層出土石器觀察表 (4)

標頭 番号	高森 番号	器種	石材	出土区	部位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
	1757	打製石鏟	AN	K-21	Ⅴ	(1.75)	1.15	0.60	1.22
	1758	打製石鏟	CH	G-22	Ⅴ	(2.15)	(1.40)	0.35	0.74
	1759	打製石鏟	AN	K-22	Ⅴ	1.98	1.52	0.43	0.74
	1760	打製石鏟	086	H-19	Ⅴ	(1.65)	(1.60)	0.40	0.70
	1761	打製石鏟	AN	I-18	Ⅴ	(1.80)	1.80	0.42	0.90
	1762	打製石鏟	CH	K-18	Ⅴ	(1.80)	1.96	0.37	1.09
	1763	打製石鏟	CH	I-18	Ⅴ	(2.07)	(1.60)	0.30	0.79
	1764	打製石鏟	CH	M-14	Ⅴ	(1.47)	2.01	0.40	0.83
	1765	打製石鏟	AN	M-15	Ⅴ	(1.90)	2.00	0.40	1.35
	1766	打製石鏟	SH	J-15	Ⅴ	(1.65)	(2.00)	0.30	0.99
	1767	打製石鏟	CH	G-22	Ⅴ	(2.35)	(1.80)	0.30	0.94
	1768	打製石鏟	CH	K-16	Ⅴ	(2.10)	2.05	0.40	1.40
	1769	打製石鏟	086	L-21	Ⅴ	(2.00)	(1.90)	0.55	1.57
	1770	打製石鏟	SH	M-16	Ⅴ	(2.00)	1.97	0.37	1.08
	1771	打製石鏟	SH	K-13	Ⅴ	(2.37)	(1.60)	0.35	0.88
	1772	打製石鏟	AN	G-22	Ⅴ	(2.21)	1.61	0.43	0.96
	1773	打製石鏟	CC1	M-16	Ⅴ	(2.15)	2.00	0.40	1.19
	1774	打製石鏟	AN	F-5	Ⅴ	(1.65)	2.33	0.57	2.38
	1775	打製石鏟	086	J-21	Ⅴ	(2.40)	(1.50)	0.50	0.92
	1776	打製石鏟	SH	H-17	Ⅴ	(1.92)	(1.95)	0.54	1.19
	1777	打製石鏟	AN	G-24	Ⅴ上 F	(2.40)	(1.86)	0.50	1.95
	1778	打製石鏟	AN	I-20	Ⅴ	(2.50)	1.95	0.60	2.35
	1779	打製石鏟	086	G-21	Ⅴ	(2.77)	(1.70)	0.43	1.24
	1780	打製石鏟	SH	M-14	Ⅴ	(2.40)	(1.76)	0.37	1.14
	1781	打製石鏟	CH	N-20	Ⅴ	2.81	2.19	0.39	1.93
	1782	打製石鏟	CH	M-9	Ⅴ	(2.75)	(1.70)	0.30	1.07
	1783	打製石鏟	086	J-21	Ⅴ	(2.60)	1.90	0.58	1.29
	1784	打製石鏟	CH	J-12	Ⅴ	2.65	2.01	0.56	1.53
	1785	打製石鏟	CH	G-19	Ⅴ	(2.70)	(2.02)	0.48	1.32
	1786	打製石鏟	CH	H-16	Ⅴ	(3.00)	(1.65)	0.42	1.99
	1787	打製石鏟	086	F-21	Ⅴ	(3.05)	(1.70)	0.45	1.66
	1788	打製石鏟	CH	G-20	Ⅴ	(3.16)	(1.90)	0.48	1.89
	1789	打製石鏟	AN	G-20	Ⅴ	(3.13)	(1.52)	0.39	1.18
	1790	打製石鏟	SH	L-18	Ⅴ	(3.11)	(1.93)	0.40	1.53
	1791	打製石鏟	082	K-8	Ⅴ	3.55	2.15	0.55	2.43
	1792	打製石鏟	AN	D-16	Ⅴ	1.25	1.06	0.30	0.25
	1793	打製石鏟	081	G-22	Ⅴ	(1.37)	(1.03)	0.34	0.28
	1794	打製石鏟	AN	N-21	Ⅴ上	(1.38)	(1.07)	0.20	0.22
	1795	打製石鏟	AN	H-21	Ⅴ	(1.30)	(1.00)	0.30	0.23
	1796	打製石鏟	085	N-15	Ⅴ	(1.22)	1.33	0.35	0.42
	1797	打製石鏟	085	K-21	Ⅴ	1.60	1.10	0.30	0.35
	1798	打製石鏟	084	M-20	Ⅴ上	(1.30)	(1.40)	0.30	0.40
	1799	打製石鏟	085	I-21	Ⅴ	(1.55)	(1.26)	0.36	0.50
	1800	打製石鏟	AN	F-24	Ⅴ	(1.62)	(1.25)	0.20	0.38
	1801	打製石鏟	AN	H-22	Ⅴ	(1.73)	(1.22)	0.44	0.65
	1802	打製石鏟	086	H-20	Ⅴ	1.79	1.30	0.40	0.64
	1803	打製石鏟	AN	J-20	Ⅴ	(1.80)	(1.03)	0.46	0.66
	1804	打製石鏟	086	H-22	Ⅴ	(1.68)	(1.55)	0.48	0.92
	1805	打製石鏟	086	F-17	Ⅴ	(1.64)	(1.59)	0.44	0.71
	1806	打製石鏟	086	L-21	Ⅴ	(1.67)	(1.42)	0.50	0.68
	1807	打製石鏟	086	G-24	Ⅴ	(1.73)	(1.62)	0.53	1.22
	1808	打製石鏟	CH	M-18	Ⅴ	1.68	1.72	0.40	0.70
	1809	打製石鏟	AN	J-20	Ⅴ	(1.80)	(1.45)	0.37	0.63
	1810	打製石鏟	CH	L-18	Ⅴ	1.92	1.60	0.38	0.74
	1811	打製石鏟	086	T-21	Ⅴ	(1.75)	(1.50)	0.40	0.90
	1812	打製石鏟	086	J-20	Ⅴ	(1.80)	(1.99)	0.42	0.63
	1813	打製石鏟	CH	N-17	Ⅴ	(1.76)	(1.54)	0.32	0.66
	1814	打製石鏟	AN	J-21	Ⅴ	(1.96)	1.29	0.54	0.91
	1815	打製石鏟	082	J-21	Ⅴ	(1.90)	(1.30)	0.56	0.79
	1816	打製石鏟	081	L-18	Ⅴ	1.85	(1.47)	0.39	0.68

第 67 表 VII 層出土石器觀察表 (5)

神戶 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
472	1817	打製石鏃	AN	G-23	Ⅴ	2.00	1.40	0.50	0.79
	1818	打製石鏃	CH	I-18	Ⅴ	1.90	1.47	0.30	0.64
	1819	打製石鏃	CH	G-24	Ⅴ	1.90	1.35	0.35	0.58
	1820	打製石鏃	SH	E-17	Ⅴ	1.95	1.40	0.25	0.55
	1821	打製石鏃	CH	D-16	Ⅴ	2.00	1.30	0.35	0.70
	1822	打製石鏃	CH	H-16	Ⅴ	1.92	1.70	0.41	0.91
	1823	打製石鏃	AN	F-21	Ⅴ	2.00	1.67	0.48	1.10
	1824	打製石鏃	AN	J-15	Ⅴ	1.97	1.33	0.52	1.05
	1825	打製石鏃	085	H-21	Ⅴ	2.12	1.44	0.50	0.82
	1826	打製石鏃	AN	F-22	Ⅴ	2.00	1.44	0.45	0.80
	1827	打製石鏃	083	D-24	Ⅴ	1.88	1.47	0.55	0.97
	1828	打製石鏃	CC3	J-20	Ⅴ	2.00	1.75	0.38	0.73
	1829	打製石鏃	CH	I-17	Ⅴ	1.92	1.50	0.34	0.69
	1830	打製石鏃	SH	J-13	Ⅴ	1.93	1.80	0.33	0.71
	1831	打製石鏃	CH	G-13	Ⅴ	1.63	1.50	0.36	0.65
	1832	打製石鏃	CH	E-22	Ⅴ	1.62	1.40	0.25	0.46
	1833	打製石鏃	CH	H-17	Ⅴ	2.03	1.47	0.31	0.60
	1834	打製石鏃	CH	J-21	Ⅴ	2.15	1.29	0.34	0.55
	1835	打製石鏃	AN	I-21	Ⅴ	2.10	1.31	0.40	0.86
	1836	打製石鏃	AN	G-24	Ⅴ	2.15	1.60	0.48	1.09
1837	打製石鏃	AN	H-24	Ⅴ	2.15	1.35	0.40	0.58	
1838	打製石鏃	AN	E-13	Ⅴ	2.25	1.35	0.40	0.87	
1839	打製石鏃	AN	I-21	Ⅴ	2.10	1.70	0.40	0.87	
1840	打製石鏃	085	H-22	Ⅴ	2.20	1.30	0.48	0.94	
1841	打製石鏃	AN	H-22	Ⅴ	2.22	1.47	0.37	0.53	
1842	打製石鏃	086	G-21	Ⅴ	2.20	1.63	0.50	1.01	
1843	打製石鏃	AN	H-24	Ⅴ	2.15	1.70	0.44	1.12	
1844	打製石鏃	CC1	G-24	Ⅴ	2.31	1.62	0.37	1.06	
1845	打製石鏃	085	J-19	Ⅴ	2.43	1.50	0.37	0.70	
1846	打製石鏃	087	G-23	Ⅴ	2.40	1.90	0.50	1.29	
1847	打製石鏃	086	H-10	Ⅴ	2.40	1.70	0.40	1.44	
1848	打製石鏃	AN	J-13	Ⅴ	2.40	1.80	0.40	1.01	
1849	打製石鏃	AN	J-21	Ⅴ	2.50	1.90	0.50	1.74	
1850	打製石鏃	AN	J-22	Ⅴ	2.30	1.40	0.53	1.27	
1851	打製石鏃	CH	D-25	Ⅴ	2.41	1.83	0.37	0.96	
1852	打製石鏃	CH	F-22	Ⅴ	1.65	2.00	0.30	0.81	
1853	打製石鏃	086	I-21	Ⅴ	2.47	1.62	0.44	1.04	
1854	打製石鏃	084	E-14	Ⅴ	2.40	1.80	0.45	1.24	
1855	打製石鏃	CH	H-24	Ⅴ	2.50	1.52	0.58	1.52	
1856	打製石鏃	AN	F-23	Ⅴ	2.40	1.65	0.40	1.37	
1857	打製石鏃	AN	I-13	Ⅴ	2.52	1.72	0.40	1.17	
1858	打製石鏃	AN	G-22	Ⅴ	2.75	1.65	0.50	1.75	
1859	打製石鏃	AN	H-21	Ⅴ	2.60	1.95	0.35	1.46	
1860	打製石鏃	CH	I-20	Ⅴ	2.87	1.88	0.45	1.36	
1861	打製石鏃	086	K-22	Ⅴ	3.17	1.87	0.50	2.15	
1862	打製石鏃	085	K-20	Ⅴ	3.10	1.70	0.31	1.74	
1863	打製石鏃	SH	I-20	Ⅴ	2.75	1.95	0.35	2.00	
1864	打製石鏃	SH	H-9	Ⅴ	2.55	1.45	0.35	1.01	
1865	打製石鏃	081	F-20	Ⅴ	1.51	1.05	0.30	0.35	
1866	打製石鏃	083	G-22	Ⅴ	1.55	1.05	0.36	0.44	
1867	打製石鏃	AN	H-20	Ⅴ	1.60	1.10	0.32	0.31	
1868	打製石鏃	086	F-15	Ⅴ	1.70	1.10	0.34	0.41	
1869	打製石鏃	AN	I-21	Ⅴ	1.30	1.25	0.30	0.46	
1870	打製石鏃	AN	K-19	Ⅴ	1.30	1.31	0.38	0.50	
1871	打製石鏃	AN	I-21	Ⅴ	1.50	1.25	0.22	0.38	
1872	打製石鏃	AN	E-21	Ⅴ	1.50	1.41	0.37	0.71	
1873	打製石鏃	CC1	E-24	Ⅴ	1.70	1.40	0.30	0.58	
1874	打製石鏃	081	H-21	Ⅴ	1.61	1.40	0.37	0.62	
1875	打製石鏃	CH	I-20	Ⅴ	1.70	1.50	0.48	0.76	
1876	打製石鏃	086	J-19	Ⅴ	1.80	1.25	0.25	0.38	

第 68 表 VII 層出土石器觀察表 (6)

神戶 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
474	1877	打製石鏃	AN	G-22	Ⅴ	1.90	1.55	0.49	0.76
	1878	打製石鏃	082	H-21	Ⅴ	1.15	1.70	0.65	0.96
	1879	打製石鏃	AN	K-16	Ⅴ	1.45	1.55	0.30	0.73
	1880	打製石鏃	AN	H-19	Ⅴ	1.90	1.07	0.25	0.40
	1881	打製石鏃	AN	N-20	Ⅴ	2.08	1.20	0.28	0.48
	1882	打製石鏃	AN	K-20	Ⅴ	2.20	1.50	0.40	1.07
	1883	打製石鏃	085	G-22	Ⅴ	2.10	1.50	0.40	0.87
	1884	打製石鏃	CH	K-17	Ⅴ	1.60	1.70	0.30	0.89
	1885	打製石鏃	AN	J-21	Ⅴ	2.25	1.55	0.40	0.92
	1886	打製石鏃	086	G-16	Ⅴ	1.70	1.55	0.35	0.82
	1887	打製石鏃	083	D-24	Ⅴ	1.90	1.50	0.70	1.34
	1888	打製石鏃	CH	H-14	Ⅴ	1.80	1.57	0.50	1.46
	1889	打製石鏃	085	G-22	Ⅴ	2.30	1.20	0.50	1.14
	1890	打製石鏃	AN	H-21	Ⅴ	2.08	1.48	0.57	1.45
	1891	打製石鏃	083	E-13	Ⅴ	1.75	1.60	0.90	1.98
	1892	打製石鏃	AN	K-20	Ⅴ	2.04	1.60	0.30	1.01
	1893	打製石鏃	CH	G-13	Ⅴ	2.32	1.78	0.38	1.33
	1894	打製石鏃	SH	L-19	Ⅴ	2.35	1.90	0.30	1.45
	1895	打製石鏃	081	I-17	Ⅴ	2.07	1.95	0.41	1.37
	1896	打製石鏃	CH	I-14	Ⅴ	2.80	1.55	0.30	1.31
1897	打製石鏃	CH	D-18	Ⅴ	2.10	1.15	0.50	0.98	
1898	打製石鏃	CH	H-18	Ⅴ	2.40	1.90	0.36	0.83	
1899	打製石鏃	AN	F-20	Ⅴ	1.65	1.25	0.30	0.52	
1900	打製石鏃	CH	I-17	Ⅴ	2.10	1.80	0.45	1.00	
1901	打製石鏃	CH	J-22	Ⅴ	2.20	1.75	0.40	1.15	
1902	打製石鏃	CH	K-17	Ⅴ	3.00	1.77	0.62	2.19	
1903	打製石鏃	SH	G-20	Ⅴ	3.60	1.95	0.37	1.52	
1904	打製石鏃	CH	I-13	Ⅴ	3.40	1.57	0.42	1.31	
1905	打製石鏃	CH	G-23	Ⅴ	3.00	1.65	0.29	0.27	
1906	打製石鏃	082	D-25	Ⅴ	1.25	1.15	0.43	0.43	
1907	打製石鏃	CH	I-18	Ⅴ	1.76	1.48	0.38	0.52	
1908	打製石鏃	086	G-22	Ⅴ	1.80	1.48	0.33	0.66	
1909	打製石鏃	AN	G-23	Ⅴ	1.96	1.45	0.43	0.93	
1910	打製石鏃	CH	N-14	Ⅴ	1.95	1.60	0.35	1.12	
1911	打製石鏃	AN	F-15	Ⅴ	2.15	1.38	0.45	1.05	
1912	打製石鏃	AN	H-21	Ⅴ	2.30	2.05	0.35	0.90	
1913	打製石鏃	AN	H-17	Ⅴ	2.50	1.99	0.25	1.01	
1914	打製石鏃	081	D-19	Ⅴ	1.79	1.94	0.56	1.82	
1915	打製石鏃	CH	J-15	Ⅴ	2.40	2.30	0.35	2.12	
1916	打製石鏃	083	G-22	Ⅴ	1.70	1.42	0.62	1.20	
1917	打製石鏃	082	F-22	Ⅴ	1.74	1.46	0.70	1.42	
1918	打製石鏃	081	F-19	Ⅴ	1.93	1.95	0.60	1.61	
1919	打製石鏃	CH	H-15	Ⅴ	2.00	1.93	0.90	3.03	
1920	打製石鏃	081	G-16	Ⅴ	1.98	1.37	0.60	1.56	
1921	打製石鏃	082	F-25	Ⅴ	2.07	1.73	0.78	2.27	
1922	打製石鏃	AN	J-15	Ⅴ	2.04	1.91	0.89	2.00	
1923	打製石鏃	086	F-19	Ⅴ	2.24	1.57	0.86	2.84	
1924	打製石鏃	CC1	H-20	Ⅴ	2.30	2.07	0.90	3.22	
1925	打製石鏃	CH	H-20	Ⅴ	2.42	1.97	1.00	2.96	
1926	打製石鏃	AN	H-22	Ⅴ	2.37	2.37	1.11	4.24	
1927	打製石鏃	083	J-20	Ⅴ	2.30	1.70	0.67	1.67	
1928	打製石鏃	CH	J-21	Ⅴ	2.50	2.42	0.79	2.82	
1929	打製石鏃	SH	H-18	Ⅴ	2.90	2.19	0.52	2.79	
477	1930	打製石鏃	CH	G-20	Ⅴ	2.91	2.00	0.64	3.21
	1931	打製石鏃	086	G-22	Ⅴ	2.77	1.90	0.93	4.94
	1932	打製石鏃	AN	G-24	Ⅴ	2.85	2.60	0.79	5.63
	1933	打製石鏃	SH	H-14	Ⅴ	3.67	3.18	0.89	9.42
	1934	打製石鏃	CH	H-20	Ⅴ	3.30	2.58	1.02	6.81
	1935	打製石鏃	CH	N-20	Ⅴ	4.00	2.80	1.20	10.40
	1936	打製石鏃	SH	H-18	Ⅴ	5.75	4.65	1.80	32.47

第 69 表 VII層出土石器觀察表 (7)

標記 番号	高森 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
478	1937	磨製石鏃	SH	D-18	Ⅳ	(1.15)	1.33	0.24	0.49
	1938	磨製石鏃	SH	H-5	Ⅳ	1.99	1.50	0.22	0.79
	1939	磨製石鏃	CCI	F-20	Ⅳ	2.28	1.43	0.41	0.91
	1940	磨製石鏃	SH	F-13	Ⅳ	2.20	1.45	0.30	0.97
	1941	石鏃	AN	I-14	Ⅳ	(5.44)	(3.10)	0.85	10.22
	1942	石鏃	AN	K-20	Ⅳ	3.46	1.95	0.65	1.42
	1943	石鏃	068	K-20	Ⅳ	2.28	1.08	0.44	0.91
	1944	石鏃	062	H-22	Ⅳ	3.80	1.73	0.76	3.65
	1945	石鏃	AN	K-21	Ⅳ	2.46	1.87	0.70	2.83
	1946	石鏃	AN	J-21	Ⅳ	2.55	2.05	0.70	3.15
479	1947	石鏃	AN	I-23	Ⅳ	2.92	2.94	0.86	5.28
	1948	石鏃	AN	N-16	Ⅳ	2.82	2.88	0.77	5.14
	1949	石鏃	064	F-20	Ⅳ	3.25	3.60	0.85	5.64
	1950	石鏃	AN	K-20	Ⅳ	4.20	2.85	0.70	6.70
	1951	石鏃	CH	D-16	Ⅳ	(4.46)	(3.23)	(1.01)	13.15
	1952	石鏃	AN	H-22	Ⅳ	5.85	2.42	0.96	11.16
	1953	石鏃	AN	K-17	Ⅳ	5.32	6.00	1.04	29.84
	1954	石鏃	066	G-21	Ⅳ	(2.08)	(2.06)	0.59	1.49
	1955	石鏃	AN	J-20	Ⅳ	2.50	3.60	0.60	3.78
	1956	石鏃	AN	H-21	Ⅳ	2.65	4.65	0.93	7.58
480	1957	石鏃	AN	G-16	Ⅳ	(3.10)	(3.63)	0.80	5.12
	1958	石鏃	CH	I-19	Ⅳ	4.11	5.09	1.23	18.47
	1959	石鏃	CH	H-15	Ⅳ	3.45	4.25	1.00	12.99
	1960	石鏃	AN	I-20	Ⅳ	4.10	3.80	0.90	25.54
	1961	削器	CH	M-9	Ⅳ	(2.34)	(2.50)	0.50	4.56
	1962	削器	SH	C-25	Ⅳ	2.10	3.95	0.60	4.67
	1963	削器	CCI	K-17	Ⅳ	3.10	(3.05)	0.45	4.46
	1964	削器	AN	F-22	Ⅳ	4.75	3.95	1.10	18.81
	1965	削器	AN	J-21	Ⅳ	(2.85)	(6.25)	0.70	13.86
	1966	削器	CH	E-15	Ⅳ	5.85	4.47	1.16	21.29
481	1967	削器	HF	G~J-19	Ⅳ	5.00	9.95	1.18	69.89
	1968	削器	AN	G-20	Ⅳ	(7.45)	5.90	1.82	191.80
	1969	削器	CH	G-20	Ⅳ	4.15	1.15	1.60	49.14
	1970	鏃	TE	E-19	Ⅳ	6.10	7.60	1.70	122.60
	1971	鏃	SH	I-17	Ⅳ	4.00	3.70	1.15	14.78
	1972	へう状石鏃	AN	J-21	Ⅳ	4.17	2.20	1.05	9.26
	1973	楔形石鏃	CH	F-19	Ⅳ	1.68	1.26	0.71	1.22
	1974	楔形石鏃	AN	K-22	Ⅳ	2.20	0.89	0.58	1.03
	1975	楔形石鏃	CH	F-17	Ⅳ	2.10	(1.33)	0.65	1.98
	1976	楔形石鏃	063	F-23	Ⅳ	2.16	1.28	0.83	2.27
482	1977	楔形石鏃	062	C-25	Ⅳ	2.25	1.73	1.00	3.71
	1978	楔形石鏃	062	D-25	Ⅳ	2.62	1.34	0.90	3.22
	1979	楔形石鏃	AN	K-21	Ⅳ	2.83	2.16	1.37	6.25
	1980	楔形石鏃	CH	J-15	Ⅳ	2.60	2.77	0.98	7.27
	1981	楔形石鏃	CH	M-18	Ⅳ	3.44	1.36	1.13	5.62
	1982	楔形石鏃	CH	H-24	Ⅳ	3.78	1.46	0.83	5.59
	1983	楔形石鏃	HF	J-22	Ⅳ	8.00	3.03	1.38	45.62
	1984	二次加工削片	AN	I-21	Ⅳ	1.45	0.98	0.28	0.39
	1985	二次加工削片	CH	I-14	Ⅳ	1.46	1.95	0.68	1.80
	1986	二次加工削片	064	J-13	Ⅳ	(1.45)	1.20	0.49	0.80
1987	二次加工削片	CH	F-18	Ⅳ	(1.90)	1.85	0.50	1.31	
1988	二次加工削片	CH	M-13	Ⅳ	1.70	1.85	0.25	0.89	
1989	二次加工削片	065	F-20	Ⅳ	2.02	1.40	0.91	2.00	
484	1990	二次加工削片	066	K-20	Ⅳ	1.60	2.06	0.55	1.37
	1991	二次加工削片	062	N-20	Ⅳ	(2.05)	(1.20)	0.55	0.97
	1992	二次加工削片	AN	G-22	Ⅳ	1.86	3.36	0.67	3.55
	1993	二次加工削片	CH	I-16	Ⅳ	2.13	1.76	0.84	4.35
	1994	二次加工削片	062	F-22	Ⅳ	(2.08)	1.76	0.39	1.34
	1995	二次加工削片	AN	H-21	Ⅳ	1.73	3.54	0.83	4.13
	1996	二次加工削片	CH	J-18	Ⅳ	2.19	2.87	0.90	6.47

第 70 表 VII層出土石器觀察表 (8)

標記 番号	高森 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
485	1997	二次加工削片	064	G-23	Ⅳ	1.80	1.68	0.69	1.67
	1998	二次加工削片	066	F-22	Ⅳ	2.08	1.02	0.64	1.18
	1999	二次加工削片	AN	G-16	Ⅳ	2.73	1.81	0.92	3.51
	2000	二次加工削片	AN	H-14	Ⅳ	2.70	1.36	0.91	2.80
	2001	二次加工削片	061	G-18	Ⅳ	2.87	1.97	0.78	3.68
	2002	二次加工削片	AN	H-21	Ⅳ	2.96	2.08	0.80	4.07
	2003	二次加工削片	CH	K-14	Ⅳ	2.58	2.70	1.20	7.30
	2004	二次加工削片	AN	G-22	Ⅳ	(2.53)	(2.45)	0.40	2.21
	2005	二次加工削片	AN	I-22	Ⅳ	(2.78)	(2.79)	0.68	3.67
	2006	二次加工削片	SH	I-17	Ⅳ	3.02	2.20	1.16	7.57
486	2007	二次加工削片	CH	I-20	Ⅳ	3.06	1.73	1.08	4.48
	2008	二次加工削片	SH	K-16	Ⅳ	2.97	2.50	0.78	5.75
	2009	二次加工削片	CCI	J-20	Ⅳ	2.45	1.75	0.58	2.04
	2010	二次加工削片	061	H-18	Ⅳ	3.07	2.24	0.77	4.48
	2011	二次加工削片	AN	D-13	Ⅳ	3.20	3.14	0.90	6.09
	2012	二次加工削片	SH	M-18	Ⅳ	2.24	2.48	0.83	3.30
	2013	二次加工削片	CH	M-20	Ⅳ	(2.50)	2.39	0.80	3.68
	2014	二次加工削片	CH	L-20	Ⅳ	2.77	2.07	1.13	5.54
	2015	二次加工削片	CH	D-16	Ⅳ	3.03	2.22	0.95	6.75
	2016	二次加工削片	AN	M-15	Ⅳ	3.25	2.35	1.30	10.03
487	2017	二次加工削片	CH	K-16	Ⅳ	3.13	3.07	1.12	9.63
	2018	二次加工削片	CH	H-16	Ⅳ	2.90	3.03	0.94	7.36
	2019	二次加工削片	CH	N-13	Ⅳ	2.93	3.62	1.11	9.73
	2020	二次加工削片	AN	H-20	Ⅳ	3.00	(4.20)	1.05	10.43
	2021	二次加工削片	AN	I-17	Ⅳ	3.18	3.37	0.55	4.33
	2022	二次加工削片	CH	J-19	Ⅳ	3.85	3.20	1.92	16.20
	2023	二次加工削片	066	K-21	Ⅳ	3.70	3.13	0.90	5.42
	2024	二次加工削片	AN	F-22	Ⅳ	5.97	2.83	1.13	13.07
	2025	二次加工削片	SH	F-15	Ⅳ	2.17	5.12	1.46	22.48
	2026	二次加工削片	CH	E-19	Ⅳ	3.18	3.42	0.90	7.70
488	2027	二次加工削片	SA	N-18	Ⅳ	4.21	2.40	1.00	8.42
	2028	二次加工削片	CH	J-20	Ⅳ	3.40	4.48	1.40	17.36
	2029	二次加工削片	067	G-21	Ⅳ	3.59	5.08	1.25	17.93
	2030	二次加工削片	SH	H-21	Ⅳ	4.85	4.33	1.35	17.59
	2031	二次加工削片	SH	D-26	Ⅳ	3.50	3.96	1.10	11.44
	2032	二次加工削片	AN	H-21	Ⅳ	10.80	18.24	1.90	806.1
	2033	二次加工削片	AN	J-12	Ⅳ	8.37	13.43	2.62	272.5
	2034	二次加工削片	CH	J-13	Ⅳ	11.40	8.95	2.30	266.4
	2035	鏃	AN	H-22	Ⅳ	9.96	11.60	2.58	375.5
	2036	鏃	AN	I-20	Ⅳ	9.86	8.82	2.73	282.3
489	2037	鏃	HF	D-16	Ⅳ	10.03	6.58	3.20	261.2
	2038	鏃	HF	K-8	Ⅳ	10.44	16.30	2.80	450.0
	2039	鏃	HF	J-12	Ⅳ	12.08	9.55	3.75	425.0
	2040	鏃	AN	I-16	Ⅳ	11.42	10.66	3.50	704.0
	2041	鏃	HF	G-24	Ⅳ	16.24	16.68	3.13	881.0
	2042	鏃	HF	E-24	Ⅳ	15.03	8.98	2.50	376.7
	2043	鏃	HF	H-15	Ⅳ	13.04	8.86	2.53	325.4
	2044	鏃	SA	D-25	Ⅳ	16.94	7.22	4.40	242.7
	2045	鏃	SA	G-24	Ⅳ	9.70	17.07	4.23	752.0
	2046	鏃	HF	J-20	Ⅳ	8.96	10.00	4.27	780.0
490	2047	石鏃	AN	F-16	Ⅳ	9.95	10.14	2.58	248.0
	2048	石鏃	065	K-9	Ⅳ	1.12	0.97	0.80	0.87
	2049	石鏃	061	G-24	Ⅳ	1.30	1.13	1.31	1.89
	2050	石鏃	064	K-16	Ⅳ	1.65	1.44	0.90	2.92
	2051	石鏃	061	F-23	Ⅳ	1.82	1.49	1.30	2.82
	2052	石鏃	064	I-23	Ⅳ	1.74	1.52	1.08	2.89
	2053	石鏃	061	M-17	Ⅳ	1.61	1.36	1.45	3.84
	2054	石鏃	AN	I-19	Ⅳ	1.72	1.97	1.34	5.23
	2055	石鏃	CCI	G-23	Ⅳ	2.15	1.60	1.47	2.82
	2056	石鏃	061	K-22	Ⅳ	1.86	1.72	1.50	3.91

第71表 VII層出土石器觀察表(9)

採出番号	掲載番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	
489	2057	石核類	086	B-22	Ⅷ	1.68	2.11	1.39	5.05	
	2058	石核類	086	B-17	Ⅷ	2.97	2.72	1.99	9.61	
	2059	石核類	081	I-22	Ⅷ	1.54	2.07	2.31	6.19	
	2060	石核類	086	I-20	Ⅷ	1.74	3.30	1.37	5.15	
	2061	石核類	088	I-19	Ⅷ	1.90	2.84	1.47	5.65	
	2062	石核類	081	N-20	Ⅷ	2.95	3.40	1.30	11.69	
	2063	石核類	082	I-10	Ⅷ	2.46	3.30	1.38	16.42	
	2064	石核類	085	F-24	Ⅷa	2.14	3.09	2.31	10.88	
	2065	石核類	CR	N-11	Ⅷ	2.05	3.80	2.50	26.26	
	2066	石核類	083	R-17	Ⅷ	3.39	2.69	2.01	18.94	
490	2067	石核類	SR	K-15	Ⅷ	3.00	3.91	1.88	22.54	
	2068	石核類	AN	I-22	Ⅷ	4.27	3.80	4.79	74.54	
	2069	石核類	083	B-24	Ⅷa	3.28	4.33	3.55	43.20	
	2070	石核類	OC3	F-20	Ⅷ	6.85	4.60	2.40	74.71	
491	2071	石核類	OC1	N-20	Ⅷ	3.68	3.92	1.83	24.60	
	2072	石核類	SR	R-14	Ⅷ	4.73	5.09	3.94	96.60	
492	2073	石核類	AN	E-17	Ⅷ	11.05	12.36	4.84	692.0	
	2074	石核類	AN	B-21	Ⅷ	10.60	12.00	3.15	564.0	
	2075	石核類	HF	R-8	Ⅷ	13.38	12.64	5.40	874.0	
	2076	磨製石斧	HF	R-17	Ⅷ	8.40	4.66	0.90	51.74	
	2077	磨製石斧	HF	K-14	Ⅷ	6.64	4.77	1.47	60.28	
493	2078	磨製石斧	HF	R-20	Ⅷ	5.10	3.50	0.95	23.40	
	2079	磨製石斧	AN	G-15	Ⅷ	10.60	4.20	2.10	144.0	
	2080	磨製石斧	AN	F-21	Ⅷ	8.57	3.42	1.46	64.71	
	2081	磨製石斧	SR	F-4	Ⅷ上	10.92	4.18	2.30	176.8	
	2082	磨製石斧	HF	I-12	Ⅷ	11.90	5.00	1.90	162.2	
	2083	磨製石斧	HF	R-15	Ⅷ	9.82	6.12	1.41	89.13	
	2084	磨製石斧	SR	N-19	Ⅷ上	8.10	6.70	2.40	161.0	
	2085	磨製石斧	HF	I-13	Ⅷ	10.40	5.70	2.60	201.5	
	2086	磨製石斧	SR	G-22	Ⅷ	8.83	7.68	2.60	220.0	
	2087	磨製石斧	HF	J-20	Ⅷ	13.60	6.90	2.40	286.0	
494	2088	磨製石斧	SR	I-12	Ⅷ	13.80	10.00	3.90	642.0	
	2089	打製石斧	SR	G-24	Ⅷa	9.70	4.60	0.90	42.70	
	2090	打製石斧	HF	B-19	Ⅷa	10.80	5.10	1.70	133.0	
	2091	打製石斧	HF	I-19	Ⅷ	12.80	7.30	2.30	260.0	
	2092	打製石斧	HF	R-18	Ⅷ	16.75	8.10	2.98	580.0	
	2093	打製石斧	HF	R-19	Ⅷ上	16.40	7.90	3.19	589.0	
	2094	磨製石斧	SR	F-24	Ⅷ	11.20	11.30	2.97	299.0	
	495	2095	石鏟	TU	B-24	Ⅷ	40.00	35.90	12.00	19,950
		2096	石鏟	TU	B-22	Ⅷ	31.40	25.50	10.80	10,300
		2097	石鏟	TU	B-22	Ⅷ	18.80	21.60	8.20	3,880
496	2098	石鏟	AN	I-23	Ⅷ	28.80	18.60	5.30	4,280	
	2099	石鏟	SA	R-19	Ⅷ	15.00	22.30	5.50	2,390	
	2100	石鏟	AN	B-21	Ⅷ	14.80	13.80	5.45	10,800	
	2101	石鏟	TU	R-20	Ⅷ	15.70	22.10	5.30	3,380	
	2102	石鏟	TU	B-17	Ⅷ	18.50	18.60	8.60	4,100	
	497	2103	石鏟	GR	B-22	Ⅷ	28.60	24.50	2.90	3,370
		2104	石鏟	TU	F-3	Ⅷ	12.60	13.10	10.35	2,960
		2105	石鏟	GR	I-20	Ⅷ	26.50	24.50	4.50	5,600
		2106	石鏟	SR	I-19	Ⅷ	7.50	16.00	2.10	120.9
		2107	磨石	AN	L-18	Ⅷ	2.75	2.30	2.40	24.00
2108		磨石	AN	R-18	Ⅷ	2.30	2.00	2.00	13.60	
2109		磨石	AN	G-22	Ⅷ	3.00	2.90	1.70	21.60	
2110		磨石	AN	J-15	Ⅷ	3.00	2.70	2.40	29.00	
2111		磨石	AN	B-22	Ⅷ	4.10	3.25	2.75	30.26	
2112		磨石	AN	G-23	Ⅷ	3.60	3.40	3.00	51.00	
498	2113	磨石	AN	G-23	Ⅷ	4.40	4.10	3.20	81.00	
	2114	磨石	AN	F-11	Ⅷ	5.10	4.70	3.60	101.1	
	2115	磨石	AN	B-22	Ⅷ	4.80	4.40	3.75	107.0	
	2116	磨石	AN	R-22	Ⅷa	5.60	4.90	3.20	122.4	

第72表 VII層出土石器觀察表(10)

採出番号	掲載番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	
498	2117	磨石	AN	F-23	Ⅷ	5.65	4.45	3.40	100.0	
	2118	磨石	AN	B-14	Ⅷ	5.50	3.80	2.80	82.00	
	2119	磨石	GR	I-13	Ⅷ	4.50	4.20	3.60	90.0	
	2120	磨石	AN	F-22	Ⅷ	5.70	5.20	4.70	188.0	
	2121	磨石	AN	G-13	Ⅷ	3.70	3.55	3.20	61.00	
	2122	磨石	AN	G-22	Ⅷ	3.35	3.15	2.90	44.90	
	2123	磨石	AN	R-9	Ⅷ	4.70	4.30	3.70	105.0	
	2124	磨石	AN	F-8	Ⅷ	5.10	4.60	3.10	78.50	
	2125	磨石	AN	F-13	Ⅷ	5.90	4.60	3.90	140.0	
	2126	磨石	AN	R-20	Ⅷb	5.90	4.60	3.20	128.0	
	2127	磨石	CR	G-16	Ⅷ	6.60	4.20	4.30	167.5	
	2128	磨石	AN	B-24	Ⅷ	7.00	5.10	3.60	160.0	
	2129	磨石	AN	B-24	Ⅷ上	6.90	5.40	3.20	164.9	
	2130	磨石	AN	F-21	Ⅷ	7.90	7.20	3.30	227.0	
	2131	磨石	AN	I-17	Ⅷ	6.30	5.20	4.90	177.5	
	2132	磨石	AN	B-22	Ⅷ	6.95	6.50	4.80	257.0	
	2133	磨石	AN	R-21	Ⅷ	8.00	6.40	4.90	327.0	
	2134	磨石	AN	B-20	Ⅷ	7.80	5.40	4.90	203.5	
	2135	磨石	AN	F-20	Ⅷ	7.80	5.70	5.10	316.0	
	499	2136	磨石	AN	B-24	Ⅷ	9.50	6.20	3.50	300.0
2137		磨石	AN	I-20	Ⅷ	7.50	7.80	4.45	415.0	
2138		磨石	AN	F-24	Ⅷ	8.25	7.35	4.80	398.0	
2139		磨石	AN	F-24	Ⅷ	8.40	7.90	5.10	523.0	
2140		磨石	AN	J-23	Ⅷ上	8.10	6.40	4.90	356.0	
2141		磨石	AN	B-22	Ⅷ	9.30	8.50	4.20	420.0	
2142		磨石	AN	F-24	Ⅷ	12.50	8.20	7.50	1,090	
2143		磨石	AN	F-13	Ⅷ	9.70	8.45	4.95	452.0	
2144		磨石	GR	J-20	Ⅷ	9.20	8.20	3.60	411.0	
2145		磨石	AN	B-22	Ⅷ	9.95	8.45	5.10	500.0	
500	2146	磨石	AN	F-15	Ⅷ	10.00	8.10	4.40	470.0	
	2147	磨石	AN	F-8	Ⅷ	8.70	7.20	4.40	480.0	
	2148	磨石	SR	I-7	Ⅷ	14.35	7.38	3.20	417.5	
	2149	磨石	AN	F-17	Ⅷ	11.97	6.30	3.50	461.0	
	2150	磨石	CR	C-25	Ⅷ	12.20	5.90	2.40	247.0	
	2151	磨石	HF	B-22	Ⅷ	14.80	7.33	3.98	400.0	
	2152	磨石	SR	B-20	Ⅷ	13.90	2.70	2.10	476.0	
	2153	磨・磨石	AN	B-21	Ⅷ	7.70	5.60	3.20	219.5	
	2154	磨・磨石	SA	F-13	Ⅷ	7.70	7.50	3.70	338.0	
	2155	磨・磨石	SA	R-13	Ⅷ	7.60	5.90	4.00	273.0	
501	2156	磨・磨石	SA	G-22	Ⅷ	8.65	7.40	4.95	440.0	
	2157	磨・磨石	TU	G-14	Ⅷ	8.90	8.65	4.70	360.0	
	2158	磨・磨石	AN	G-19	Ⅷ	9.00	7.60	3.70	392.0	
	2159	磨・磨石	AN	F-21	Ⅷ	9.20	7.50	3.90	323.0	
	2160	磨・磨石	SA	G-22	Ⅷ	10.65	6.20	3.65	248.0	
	2161	磨・磨石	AN	B-22	Ⅷ	8.90	7.70	4.00	293.0	
	2162	磨・磨石	AN	B-16	Ⅷ	8.60	7.55	5.20	595.0	
	2163	磨・磨石	AN	I-22	Ⅷ	8.80	7.85	4.70	516.0	
	2164	磨・磨石	AN	I-16	Ⅷ	9.50	8.40	4.70	562.5	
	2165	磨・磨石	SA	G-16	Ⅷ	9.75	8.00	3.65	400.0	
502	2166	磨・磨石	AN	B-20	Ⅷ	10.40	8.40	4.90	578.0	
	2167	磨・磨石	AN	I-21	Ⅷ	9.40	8.30	4.00	540.0	
	2168	磨・磨石	SA	F-18	Ⅷ	9.50	8.60	3.80	423.0	
	2169	磨・磨石	AN	I-22	Ⅷ	9.80	8.10	4.30	560.0	
	2170	磨・磨石	AN	I-12	Ⅷ	9.80	8.00	4.86	615.0	
	2171	磨・磨石	GR	N-19	Ⅷ上	10.15	8.30	4.70	642.0	
	2172	磨・磨石	SA	G-22	Ⅷ	10.60	8.95	4.50	595.0	
	2173	磨・磨石	GR	R-20	Ⅷ	9.30	8.00	4.80	570.0	
	503	2174	磨・磨石	GR	I-22	Ⅷ	9.70	8.90	4.90	640.0
		2175	磨・磨石	AN	F-14	Ⅷ	12.30	9.95	5.40	551.0
2176		磨・磨石	GR	B-22	Ⅷ	9.67	7.77	4.30	500.0	

第 73 表 VII層出土石器觀察表 (11)

採出 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	部位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
503	2177	磨・礫石	AN	L-21	Ⅲ上	10.10	7.70	4.10	516.8
	2178	磨・礫石	SA	H-21	Ⅲ	10.00	6.60	4.50	578.6
	2179	磨・礫石	AN	H-22	Ⅲ	10.20	8.70	4.20	520.9
2180	磨・礫石	AN	E-24	Ⅲ	10.45	8.60	4.40	600.9	
2181	磨・礫石	AN	H-22	Ⅲ	10.55	8.17	3.85	540.6	
2182	磨・礫石	SA	G-3	ⅢB区	10.33	8.10	4.17	540.9	
504	2183	磨・礫石	GR	M-20	Ⅲ上	10.80	7.80	3.70	533.6
	2184	磨・礫石	SA	K-13	Ⅲ	10.53	9.00	4.30	749.5
	2185	磨・礫石	AN	H-22	Ⅲ	11.18	8.42	4.65	693.9
2186	磨・礫石	AN	E-20	Ⅲ	11.20	9.00	4.80	777.5	
2187	磨・礫石	AN	G-23	Ⅲ	12.10	8.10	4.60	646.6	
2188	磨・礫石	AN	G-22	Ⅲ	11.30	10.10	5.80	960.6	
505	2189	磨・礫石	AN	F-16	Ⅲ	11.40	10.50	5.20	940.9
	2190	磨・礫石	AN	G-24	Ⅲa F	11.50	8.90	5.60	747.9
	2191	磨・礫石	AN	K-19	Ⅲ	11.80	10.00	4.85	782.9
2192	磨・礫石	SA	H-20	Ⅲ	11.30	10.30	5.70	880.9	
2193	磨・礫石	SA	M-14	Ⅲ	11.50	8.80	4.90	737.6	
2194	磨・礫石	GR	I-23	Ⅲa	12.90	9.20	5.00	962.6	
506	2195	礫石	AN	F-19	Ⅲ	3.35	2.80	2.30	32.56
	2196	礫石	AN	J-20	Ⅲ	3.90	4.20	3.65	80.09
	2197	礫石	AN	I-21	Ⅲ	5.00	6.60	2.80	94.09
	2198	礫石	SA	H-23	Ⅲb	5.50	3.40	3.30	97.00
	2199	礫石	SA	I-21	Ⅲ	5.90	5.10	3.40	150.9
	2200	礫石	SA	I-22	Ⅲ	5.90	4.70	4.30	147.6
	2201	礫石	AN	D-20	Ⅲ	6.40	5.40	3.30	154.9
	2202	礫石	SA	G-19	Ⅲ	6.80	6.50	4.70	245.9
	2203	礫石	AN	F-24	Ⅲ	6.90	5.80	4.70	285.9
	2204	礫石	AN	L-22	Ⅲ	7.05	5.95	4.75	234.6
	2205	礫石	AN	L-20	Ⅲ	7.10	5.95	4.95	295.6
	2206	礫石	SA	H-22	Ⅲ	7.30	6.70	4.80	359.6
	2207	礫石	AN	K-14	Ⅲ	7.35	6.55	4.90	299.9
	2208	礫石	AN	H-20	Ⅲ	7.80	5.40	3.40	273.9
	2209	礫石	SA	D-18	Ⅲ	10.15	6.85	3.30	265.9
2210	礫石	AN	H-23	Ⅲa F	7.40	6.90	5.00	379.9	
2211	礫石	AN	C-25	Ⅲ	7.80	7.15	5.65	397.6	
2212	礫石	AN	F-18	Ⅲ	7.45	6.25	4.80	303.6	
2213	礫石	AN	I-12	Ⅲ	7.70	6.40	4.45	342.9	
2214	礫石	AN	J-16	Ⅲ	7.70	6.05	5.10	309.9	
2215	礫石	AN	H-22	Ⅲ	7.70	6.75	6.65	479.9	
2216	礫石	SA	H-24	Ⅲa F	7.45	7.35	5.65	525.6	
2217	礫石	SA	F-13	Ⅲ	8.00	7.00	4.60	420.6	
2218	礫石	AN	M-19	Ⅲ上	8.00	7.65	5.30	410.6	
2219	礫石	AN	I-21	Ⅲ	(8.05)	7.35	5.60	221.6	
2220	礫石	AN	H-24	Ⅲa	8.45	7.05	4.40	360.9	
2221	礫石	AN	F-23	Ⅲ	8.15	7.75	4.95	450.9	
2222	礫石	AN	I-21	Ⅲ上	8.30	7.60	4.40	370.6	
2223	礫石	SA	J-15	Ⅲ	8.10	7.35	3.85	283.6	
2224	礫石	AN	I-20	Ⅲ	9.05	6.20	5.50	490.9	
2225	礫石	AN	M-18	Ⅲ	8.60	8.40	4.60	470.9	
2226	礫石	AN	K-21	Ⅲ	8.70	7.20	5.00	490.9	
2227	礫石	AN	F-9	Ⅲ上	8.70	7.70	5.90	539.6	
2228	礫石	AN	J-21	Ⅲ	8.90	7.70	4.75	500.6	
2229	礫石	AN	J-16	Ⅲ	9.00	7.90	4.70	662.6	
2230	礫石	AN	I-18	Ⅲ	8.80	8.95	4.10	420.9	
2231	礫石	AN	E-24	Ⅲ	8.90	8.40	4.00	440.9	
2232	礫石	SA	G-23	Ⅲ	8.95	7.15	4.80	440.6	
2233	礫石	AN	N-21	Ⅲ上	9.00	8.40	6.40	651.6	
2234	礫石	GR	J-20	Ⅲ	9.15	7.25	5.50	535.6	
2235	礫石	AN	M-17	Ⅲb	9.00	6.90	4.90	416.6	
2236	礫石	AN	D-24	Ⅲ	9.10	8.50	5.50	618.9	

第 74 表 VII層出土石器觀察表 (12)

採出 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	部位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
508	2237	礫石	AN	M-20	Ⅲa	9.30	6.70	5.15	405.6
	2238	礫石	AN	H-24	Ⅲa F	9.30	8.10	4.30	474.6
	2239	礫石	AN	I-16	Ⅲ	9.30	8.00	4.60	420.6
	2240	礫石	AN	I-23	Ⅲ	9.45	7.25	5.05	404.6
	2241	礫石	AN	D-24	Ⅲ	9.70	7.00	4.00	357.6
	2242	礫石	AN	H-22	Ⅲ	9.85	7.00	4.50	409.6
	2243	礫石	AN	I-21	Ⅲ	9.95	6.65	3.70	375.6
	2244	礫石	GR	E-7	Ⅲ	9.90	7.20	4.90	485.6
	2245	礫石	AN	F-23	Ⅲ	10.05	8.45	4.70	574.6
	2246	礫石	AN	E-14	Ⅲ	10.40	7.65	3.60	388.6
509	2247	礫石	AN	G-22	Ⅲ	9.90	8.50	3.20	550.6
	2248	礫石	AN	N-18	Ⅲ	10.60	9.40	6.70	870.6
	2249	礫石	AN	I-15	Ⅲ	10.75	8.35	6.90	843.6
	2250	礫石	AN	G-24	Ⅲa F	11.40	9.20	5.80	962.6
	2251	礫石	SA	G-15	Ⅲ	11.70	8.70	4.60	700.6
	2252	礫石	AN	G-21	Ⅲ	11.65	10.65	5.70	993.6
	2253	礫石	AN	K-20	Ⅲ	11.70	8.85	6.15	810.6
	2254	礫石	TU	L-21	Ⅲ上	9.20	7.10	8.90	870.6
	2255	礫石	AN	J-22	Ⅲ	11.50	10.25	6.40	968.6
	2256	礫石	AN	L-18	Ⅲ	10.85	10.75	6.30	1,110
510	2257	礫石	AN	G-24	Ⅲa F	11.85	10.90	7.35	1,043
	2258	礫石	AN	M-7	Ⅲ	13.40	9.50	4.30	750.6
	2259	礫石	AN	H-22	Ⅲ	13.50	8.80	5.30	975.6
	2260	眞形石器	085	I-19	Ⅲ	1.77	1.18	0.52	6.68
	2261	眞形石器	AN	E-21	Ⅲ	2.90	2.28	0.53	3.32
	2262	眞形石器	088	G-22	Ⅲ	(3.22)	3.00	0.72	5.52
	2263	眞形石器	AN	K-22	Ⅲ上	4.10	(3.48)	0.46	8.67
	2264	磨製品	SH	J-18	Ⅲ	1.70	1.90	0.60	2.34
	2265	磨製品	SH	H-17	Ⅲ	3.10	3.30	0.70	9.36
	2266	磨製品	SH	M-21	Ⅲ上	4.40	4.00	0.50	6.63
511	2267	磨石製品	磨石	H-21	Ⅲ	6.45	9.50	4.10	45.90

第 75 表 VI層出土石器観察表(1)

採掘番号	掲載番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
S14	2268	打製石鏃	08T	K-18	VI	1.09	1.00	0.32	0.28
	2269	打製石鏃	08T	F-16	VI	1.13	1.10	0.24	0.27
	2270	打製石鏃	AN	K-18	VI	(1.17)	(1.23)	0.42	0.47
	2271	打製石鏃	AN	A-12	VI	1.28	1.30	0.38	0.46
	2272	打製石鏃	08E2	G-19	VI	(1.33)	(1.36)	0.50	0.55
	2273	打製石鏃	CH	F-19	VI	(1.14)	(1.27)	0.37	0.54
	2274	打製石鏃	AN	K-15	VI	(1.10)	1.30	0.36	0.45
	2275	打製石鏃	AN	L-19	VI	1.40	1.40	0.40	0.52
	2276	打製石鏃	CR	J-21	VI	1.45	1.50	0.65	0.89
	2277	打製石鏃	086	H-17	VI	(1.42)	1.44	0.40	0.51
	2278	打製石鏃	08E5	G-21	VI	1.07	1.48	0.46	0.83
	2279	打製石鏃	08E5	K-16	VI	(1.13)	1.45	0.28	0.52
	2280	打製石鏃	AN	K-16	VI	1.50	1.45	0.30	0.49
	2281	打製石鏃	AN	J-15	VI	1.62	1.42	0.38	0.62
	2282	打製石鏃	AN	J-20	VI	1.56	1.47	0.40	0.73
	2283	打製石鏃	086	K-20	VI	1.50	1.60	0.40	0.74
	2284	打製石鏃	AN	E-23	VI	1.60	1.49	0.73	1.36
	2285	打製石鏃	AN	K-12	VI	1.60	1.56	0.35	0.52
	2286	打製石鏃	AN	W-17	VI	1.68	1.50	0.54	0.93
	2287	打製石鏃	AN	J-21	VI	(1.60)	(1.44)	0.40	0.65
	2288	打製石鏃	AN	J-15	VI	(1.63)	(1.40)	0.33	0.60
	2289	打製石鏃	AN	S-20	VI	(1.75)	(1.60)	0.35	0.69
	2290	打製石鏃	08E3	H-22	VI	(1.75)	(1.47)	0.47	0.71
	2291	打製石鏃	OC1	J-13	VI	1.70	1.60	0.35	0.75
	2292	打製石鏃	AN	J-18	VI	(1.61)	1.56	0.40	0.80
	2293	打製石鏃	OC3	L-16	VI	(1.50)	1.62	0.45	0.49
	2294	打製石鏃	CH	H-15	VI	1.77	1.48	0.35	0.78
	2295	打製石鏃	081	D-18	VI	2.01	1.68	0.39	0.90
	2296	打製石鏃	AN	S-18	VI	(1.75)	(1.60)	0.32	0.64
	2297	打製石鏃	AN	F-19	VI	1.61	1.54	0.35	0.94
	2298	打製石鏃	AN	K-17	VI	1.61	1.46	0.35	0.67
	2299	打製石鏃	AN	L-13	VI	(1.68)	1.72	0.52	1.17
	2300	打製石鏃	CH	D-24	VI	1.67	1.60	0.38	0.73
	2301	打製石鏃	AN	J-18	VI	1.87	1.70	0.44	0.86
	2302	打製石鏃	088	W-19	VI	1.75	1.83	0.50	1.24
	2303	打製石鏃	SH	W-18	VI	1.91	1.75	0.50	1.31
	2304	打製石鏃	OC1	K-18	VI	(1.63)	1.66	0.70	1.95
	2305	打製石鏃	CH	F-21	VI	(1.40)	1.87	0.56	1.60
	2306	打製石鏃	086	F-21	VI	(2.00)	1.80	0.65	1.64
	2307	打製石鏃	CH	H-21	VI	1.96	1.92	0.65	1.88
	2308	打製石鏃	CH	H-20	VI	2.26	1.98	0.85	3.26
	2309	打製石鏃	CH	K-15	VI	2.22	2.05	0.68	2.35
	2310	打製石鏃	AN	J-21	VI	(1.97)	1.97	0.68	2.18
	2311	打製石鏃	OC3	S-20	VI	(1.25)	1.38	0.38	2.07
	2312	打製石鏃	084	L-20	VI	(2.00)	(2.00)	0.70	2.12
	2313	打製石鏃	AN	F-22	VI	(1.93)	2.40	0.43	2.91
	2314	打製石鏃	AN	H-18	VI	(2.13)	2.38	0.82	3.50
	2315	打製石鏃	AN	J-21	VI	2.75	2.45	0.95	5.19
2316	打製石鏃	CH	W-11	VI	2.72	3.14	0.78	4.71	
2317	打製石鏃	AN	C-25	VI	(1.27)	1.36	0.34	0.33	
2318	打製石鏃	AN	L-15	VI	1.06	1.09	0.35	0.33	
2319	打製石鏃	087	F-13	VI上	(1.04)	1.17	0.30	0.26	
2320	打製石鏃	AN	L-20	VI	(0.90)	(1.10)	0.20	0.20	
2321	打製石鏃	081	F-17	VI	(1.13)	(1.10)	0.32	0.27	
2322	打製石鏃	AN	D-25	VI	(1.22)	(1.28)	0.22	0.26	

第 76 表 VI層出土石器観察表(2)

採掘番号	掲載番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
S16	2323	打製石鏃	AN	H-16	VI	(1.91)	(1.18)	0.32	0.30
	2324	打製石鏃	AN	L-18	VI	(1.20)	(1.13)	0.31	0.31
	2325	打製石鏃	CH	K-21	VI	(1.20)	(1.37)	0.30	0.45
	2326	打製石鏃	08E2	F-22	VI	1.26	1.17	0.50	0.52
	2327	打製石鏃	08E2	H-21	VI	1.28	1.27	0.53	0.50
	2328	打製石鏃	08E5	F-24	VI	1.44	1.46	0.37	0.54
	2329	打製石鏃	081	F-20	VI	(1.34)	(1.56)	0.35	0.53
	2330	打製石鏃	086	F-24	VI	(1.32)	(1.56)	0.37	0.44
	2331	打製石鏃	086	G-20	VI	(1.52)	(1.50)	0.25	0.29
	2332	打製石鏃	AN	K-18	VI	(1.37)	1.30	0.35	0.37
	2333	打製石鏃	AN	J-19	VI	(1.16)	1.66	0.40	0.46
	2334	打製石鏃	086	F-15	VI	(1.73)	(2.00)	0.41	0.58
	2335	打製石鏃	CH	J-20	VI	(1.17)	(1.63)	0.35	0.58
	2336	打製石鏃	AN	J-16	VI	(1.24)	1.53	0.43	0.66
	2337	打製石鏃	AN	L-14	VI	(1.50)	(1.04)	0.32	0.39
	2338	打製石鏃	087	J-15	VI	1.24	1.50	0.40	0.55
	2339	打製石鏃	OC2	H-14	VI	1.50	1.50	0.40	0.55
	2340	打製石鏃	CH	F-22	VI	(1.36)	1.56	0.33	0.56
	2341	打製石鏃	AN	J-20	VI	(1.38)	1.46	0.28	0.46
	2342	打製石鏃	AN	W-20	VI	1.50	1.40	0.42	0.57
	2343	打製石鏃	AN	S-20	VI	(1.50)	(1.40)	0.40	0.58
	2344	打製石鏃	SH	W-11	VI	1.49	1.52	0.38	0.47
	2345	打製石鏃	AN	J-20	VI	1.44	1.44	0.24	0.32
	2346	打製石鏃	087	K-17	VI	(1.37)	(1.45)	0.36	0.41
	2347	打製石鏃	AN	K-20	VI	(1.24)	(1.43)	0.32	0.45
	2348	打製石鏃	SH	J-18	VI	(1.53)	(1.50)	0.44	0.54
	2349	打製石鏃	08E2	F-22	VI	(1.60)	(1.65)	0.60	0.90
	2350	打製石鏃	AN	H-13	VI	(1.37)	(1.50)	0.38	0.71
	2351	打製石鏃	AN	L-16	VI	(1.77)	(1.50)	0.32	0.64
	2352	打製石鏃	08E2	C-25	VI	(1.70)	(0.98)	0.40	0.55
	2353	打製石鏃	CH	L-12	VI	(1.60)	(1.60)	0.42	0.83
	2354	打製石鏃	081	F-19	VI	1.50	1.56	0.45	0.93
	2355	打製石鏃	SH	G-18	VI	(1.70)	(1.55)	0.58	1.08
	2356	打製石鏃	086	W-11	VI	(1.50)	(1.67)	0.32	0.56
	2357	打製石鏃	CH	W-12	VI	(1.58)	1.69	0.40	0.76
	2358	打製石鏃	SH	J-21	VI	(1.70)	(1.70)	0.50	1.08
	2359	打製石鏃	081	F-21	VI	(1.77)	(1.86)	0.70	1.48
	2360	打製石鏃	081	F-14	VI	(1.19)	1.70	0.48	0.75
	2361	打製石鏃	AN	L-20	VI	(1.90)	(1.90)	0.40	0.83
	2362	打製石鏃	CH	L-17	VI	(2.02)	(1.87)	0.46	1.43
	2363	打製石鏃	CH	H-17	VI	2.00	1.83	0.48	1.23
	2364	打製石鏃	SH	S-20	VI	2.05	1.95	0.65	2.07
	2365	打製石鏃	081	G-18	VI	(2.20)	(1.73)	0.53	1.83
	2366	打製石鏃	AN	J-18	VI	(1.97)	2.20	0.55	1.34
	2367	打製石鏃	CH	F-22	VI	1.13	1.10	0.32	0.23
	2368	打製石鏃	AN	K-20	VI	1.94	1.09	0.34	0.27
	2369	打製石鏃	AN	L-21	VI	1.24	1.24	0.38	0.35
	2370	打製石鏃	AN	J-21	VI	(1.20)	1.20	0.20	0.18
2371	打製石鏃	087	F-11	VI上	(1.23)	(1.30)	0.28	0.29	
2372	打製石鏃	087	S-21	VI	(1.30)	(1.30)	0.50	0.54	
2373	打製石鏃	CH	K-17	VI	1.43	1.40	0.25	0.32	
2374	打製石鏃	AN	G-22	VI	(1.02)	(1.40)	0.30	0.43	
2375	打製石鏃	086	F-20	VI	(1.16)	1.56	0.43	0.51	
2376	打製石鏃	AN	J-16	VI	(1.28)	(1.60)	0.40	0.54	
2377	打製石鏃	08E5	G-19	VI	1.25	1.65	0.20	0.32	

第 77 表 VI層出土石器觀察表 (3)

標頭 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
S17	2278	打製石鏟	085	L-19	VI	1.49	1.48	0.31	0.41
	2279	打製石鏟	AN	M-20	VI	(1.33)	1.56	0.38	0.45
	2280	打製石鏟	CH	F-15	VI	1.50	1.48	0.35	0.49
	2281	打製石鏟	CH	H-17	VI	1.50	1.60	0.30	0.46
	2282	打製石鏟	AN	I-21	VI	1.52	1.53	0.35	0.50
	2283	打製石鏟	CC3	F-15	VI	(1.60)	(1.40)	0.38	0.51
	2284	打製石鏟	086	H-18	VI	1.55	1.55	0.30	0.39
	2285	打製石鏟	086	I-20	VI	(1.50)	(1.24)	0.38	0.29
	2286	打製石鏟	087	J-22	VI	1.65	1.50	0.25	0.28
	2287	打製石鏟	AN	G-17	VI	1.64	1.58	0.38	0.52
	2288	打製石鏟	AN	H-15	VI F	1.58	1.78	0.38	0.50
	2289	打製石鏟	AN	L-19	VI	(1.48)	(1.60)	0.29	0.40
	2290	打製石鏟	AN	M-13	VI	(1.72)	1.72	0.40	0.53
	2291	打製石鏟	AN	H-16	VI	(1.54)	(1.50)	0.28	0.37
	2292	打製石鏟	085	F-21	VI	1.70	1.65	0.50	0.79
	2293	打製石鏟	AN	I-21	VI	1.95	1.75	0.40	0.72
	2294	打製石鏟	085	F-18	VI	(1.90)	(1.43)	0.36	0.49
	2295	打製石鏟	SH	L-21	VI	(1.71)	(1.74)	0.38	0.49
	2296	打製石鏟	086	F-22	VI	(1.94)	1.84	0.32	0.58
	2297	打製石鏟	AN	F-22	VI	(1.61)	(1.66)	0.37	0.67
	2298	打製石鏟	AN	L-18	VI	(1.97)	(1.70)	0.35	0.76
	2299	打製石鏟	CH	I-20	VI	1.78	1.59	0.35	0.55
	2400	打製石鏟	AN	K-18	VI	1.81	1.58	0.40	0.59
	2401	打製石鏟	085	J-20	VI	(1.30)	(1.56)	0.27	0.37
	2402	打製石鏟	CH	G-23	VI	(1.05)	1.85	0.30	0.45
	2403	打製石鏟	083	I-19	VI	(1.87)	(1.70)	0.50	0.96
	2404	打製石鏟	CH	M-13	VI	2.09	1.86	0.50	1.01
	2405	打製石鏟	AN	K-14	VI	(2.40)	(2.10)	0.35	1.21
	2406	打製石鏟	086	F-19	VI	0.97	1.00	0.28	0.27
	2407	打製石鏟	CH	K-21	VI	(1.05)	(1.22)	0.37	0.36
	2408	打製石鏟	084	J-14	VI	(1.32)	(1.32)	0.30	0.29
	2409	打製石鏟	085	K-22	VI	1.27	1.38	0.25	0.29
	2410	打製石鏟	087	J-20	VI	(1.35)	1.48	0.35	0.41
2411	打製石鏟	083	G-21	VI	(1.39)	(1.47)	0.39	0.52	
2412	打製石鏟	085	N-21	VI	(1.35)	(1.40)	0.32	0.46	
2413	打製石鏟	AN	K-21	VI F	1.35	1.25	0.45	0.42	
2414	打製石鏟	CH	J-21	VI	1.45	(1.17)	0.28	0.27	
2415	打製石鏟	086	F-22	VI	1.33	1.59	0.46	0.60	
2416	打製石鏟	CH	J-17	VI	1.47	1.58	0.35	0.49	
2417	打製石鏟	AN	K-13	VI	(1.50)	(1.52)	0.34	0.45	
2418	打製石鏟	AN	L-19	VI	1.50	1.48	0.40	0.54	
2419	打製石鏟	086	H-22	VI	(1.52)	(1.62)	0.45	0.77	
2420	打製石鏟	081	F-19	VI	(1.26)	(1.77)	0.40	0.79	
2421	打製石鏟	CH	J-17	VI	1.63	1.66	0.36	0.78	
2422	打製石鏟	AN	J-20	VI	(1.50)	1.60	0.40	0.77	
2423	打製石鏟	CH	K-15	VI	1.68	1.93	0.50	0.95	
2424	打製石鏟	088	L-11	VI	1.73	1.92	0.51	1.19	
2425	打製石鏟	083	I-18	VI	(1.83)	(1.78)	0.45	0.82	
2426	打製石鏟	CH	G-19	VI	1.57	1.82	0.37	0.49	
2427	打製石鏟	CC3	F-16	VI F	(1.60)	(1.60)	0.40	0.46	
2428	打製石鏟	AN	L-21	VI	1.63	1.63	0.50	0.90	
2429	打製石鏟	085	E-24	VI	1.60	2.16	0.38	0.67	
2430	打製石鏟	CH	L-18	VI	(1.72)	(1.43)	0.31	0.31	
2431	打製石鏟	CH	M-18	VI	(1.74)	(1.23)	0.35	0.46	
S19	2432	打製石鏟	081	G-19	VI	1.82	1.82	0.42	0.74

第 78 表 VI層出土石器觀察表 (4)

標頭 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
S19	2433	打製石鏟	AN	E-17	VI	1.74	1.73	0.44	0.96
	2434	打製石鏟	CH	H-16	VI	1.90	1.77	0.48	1.01
	2435	打製石鏟	CH	E-23	VI	(1.90)	(1.77)	0.43	0.98
	2436	打製石鏟	081	E-20	VI	(2.07)	(1.30)	0.43	0.99
	2437	打製石鏟	CH	I-17	VI	2.07	1.99	0.40	1.13
	2438	打製石鏟	CH	J-14	VI	(1.77)	(1.77)	0.37	0.69
	2439	打製石鏟	086	J-20	VI	(2.10)	(1.80)	0.38	1.22
	2440	打製石鏟	085	G-22	VI	2.02	2.08	0.55	1.38
	2441	打製石鏟	081	F-21	VI	(2.07)	(1.96)	0.44	1.09
	2442	打製石鏟	AN	G-23	VI	2.20	2.00	0.50	1.31
	2443	打製石鏟	CH	F-20	VI	(1.90)	(1.73)	0.34	0.81
	2444	打製石鏟	086	F-22	VI	(2.20)	2.13	0.60	1.84
	2445	打製石鏟	AN	H-15	VI F	(2.27)	(1.99)	0.35	1.02
	2446	打製石鏟	088	J-18	VI	(2.20)	2.36	0.47	1.54
	2447	打製石鏟	081	G-17	VI	(2.48)	(2.08)	0.56	2.10
	2448	打製石鏟	AN	F-22	VI	2.02	1.05	0.26	0.46
	2449	打製石鏟	CH	K-15	VI	(1.90)	(1.90)	0.33	0.68
	2450	打製石鏟	CC3	F-23	VI	(2.20)	1.05	0.34	0.83
	2451	打製石鏟	AN	I-23	VI	2.10	1.18	0.40	0.72
	2452	打製石鏟	086	D-19	VI	2.30	1.26	0.42	0.76
	2453	打製石鏟	AN	J-21	VI	(2.20)	(1.15)	0.50	0.80
	2454	打製石鏟	AN	I-21	VI	(2.50)	(1.19)	0.47	0.79
	2455	打製石鏟	086	E-21	VI	2.55	1.20	0.38	0.91
	2456	打製石鏟	CH	C-25	VI	(2.60)	(1.38)	0.38	0.86
	2457	打製石鏟	AN	G-23	VI	(2.52)	1.38	0.38	0.94
	2458	打製石鏟	086	E-20	VI	(2.70)	(1.80)	0.39	0.81
	2459	打製石鏟	086	G-17	VI	(2.75)	(1.44)	0.45	1.24
	2460	打製石鏟	AN	E-22	VI	(2.90)	(1.30)	0.48	1.72
	2461	打製石鏟	CH	H-17	VI	(3.00)	(1.55)	0.42	1.23
	2462	打製石鏟	AN	I-20	VI	(2.96)	(1.53)	0.72	1.95
	2463	打製石鏟	AN	I-18	VI	(2.97)	1.68	0.57	1.88
	2464	打製石鏟	086	I-19	VI	3.36	1.78	0.55	2.07
	2465	打製石鏟	AN	G-21	VI	(3.42)	(1.46)	0.70	1.94
2466	打製石鏟	AN	K-21	VI	(4.00)	2.13	0.87	5.45	
2467	打製石鏟	SH	G-22	VI	(4.05)	1.22	0.55	3.42	
2468	打製石鏟	CH	E-21	VI	(3.23)	1.88	0.35	1.53	
2469	打製石鏟	CH	D-20	VI	1.17	0.76	0.30	0.24	
2470	打製石鏟	084	C-26	VI	(1.25)	(1.00)	0.27	0.20	
2471	打製石鏟	084	J-18	VI	1.24	0.96	0.34	0.33	
2472	打製石鏟	087	J-18	VI	(1.23)	(1.03)	0.36	0.34	
2473	打製石鏟	085	G-23	VI	(1.20)	1.10	0.35	0.34	
2474	打製石鏟	083	M-21	VI	(1.42)	(1.00)	0.50	0.50	
2475	打製石鏟	AN	J-19	VI	1.55	1.24	0.20	0.36	
2476	打製石鏟	AN	J-15	VI	1.52	1.20	0.40	0.48	
2477	打製石鏟	AN	G-17	VI	1.57	1.38	0.42	0.67	
2478	打製石鏟	087	I-18	VI	(1.45)	(1.35)	0.40	0.71	
2479	打製石鏟	SH	G-18	VI	(1.50)	(1.23)	0.35	0.43	
2480	打製石鏟	AN	L-11	VI	1.58	1.28	0.50	0.66	
2481	打製石鏟	085	I-19	VI	1.67	1.27	0.42	0.65	
2482	打製石鏟	AN	G-13	VI上	(1.49)	1.43	0.35	0.55	
2483	打製石鏟	AN	H-19	VI	(1.50)	1.49	0.44	0.82	
2484	打製石鏟	087	M-12	VI	(1.70)	1.50	0.40	0.61	
2485	打製石鏟	CH	K-20	VI	(1.55)	1.42	0.48	1.00	
2486	打製石鏟	AN	H-18	VI	1.73	1.43	0.35	0.65	
2487	打製石鏟	SH	M-18	VI上	(1.77)	(1.37)	0.33	0.52	

第 79 表 VI層出土石器観察表 (5)

採出 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
2488		打製石鏃	AN	K-20	VI	(1.60)	(1.43)	0.45	0.84
2489		打製石鏃	CR	I-20	VI	1.97	(1.29)	0.53	0.95
2490		打製石鏃	086	K-21	VI	1.80	1.45	0.35	0.51
2491		打製石鏃	087	K-15	VI	1.79	1.43	0.48	0.97
2492		打製石鏃	087	G-22	VI	(1.74)	1.56	0.43	0.94
2493		打製石鏃	085	J-20	VI	1.90	1.50	0.47	0.96
2494		打製石鏃	SH	L-16	VI	2.05	1.40	0.50	0.71
2495		打製石鏃	086	J-20	VI	(1.78)	(1.40)	0.48	0.86
2496		打製石鏃	084	J-13	VI	2.00	(1.70)	0.25	0.66
2497		打製石鏃	087	G-18	VI	2.11	1.50	0.53	1.05
2498		打製石鏃	087	M-12	VI	1.86	1.56	0.48	0.87
2499		打製石鏃	083	G-9	VI	2.05	1.70	0.48	1.27
2500		打製石鏃	086	J-20	VI	(2.03)	1.76	0.59	1.44
2501		打製石鏃	086	F-19	VI	(2.02)	(1.54)	0.45	0.94
2502		打製石鏃	CH	K-16	VI	2.02	1.56	0.75	1.64
2503		打製石鏃	087	M-13	VI	(1.97)	1.73	0.54	1.44
2504		打製石鏃	AN	K-17	VI	(1.97)	2.03	0.40	1.17
2505		打製石鏃	OC1	J-21	VI	(1.75)	1.80	0.50	1.60
2506		打製石鏃	SH	K-20	VI	(2.18)	(1.93)	0.50	1.18
2507		打製石鏃	AN	H-22	VI	2.27	1.88	0.83	2.06
2508		打製石鏃	081	K-21	VI	(1.64)	1.88	0.55	1.05
2509		打製石鏃	AN	L-13	VI	2.35	1.82	0.70	2.10
2510		打製石鏃	AN	I-21	VI	(2.20)	2.02	0.80	2.20
2511		打製石鏃	AN	G-1	VI	(2.44)	1.68	0.46	1.56
2512		打製石鏃	CH	F-14	VI	2.49	1.90	0.68	2.27
2513		打製石鏃	AN	J-15	VI	2.64	2.13	0.65	2.21
2514		打製石鏃	HF	S-9	VI	(2.90)	(2.00)	0.33	2.04
2515		打製石鏃	085	F-21	VI	1.15	0.98	0.33	0.27
2516		打製石鏃	084	H-21	VI	(1.28)	(0.97)	0.40	0.40
2517		打製石鏃	CH	J-22	VI	1.26	1.06	0.33	0.31
2518		打製石鏃	AN	M-20	VI	(1.38)	(1.00)	0.18	0.21
2519		打製石鏃	CH	J-23	VI F	1.40	1.25	0.38	0.43
2520		打製石鏃	AN	I-12	VI	(1.20)	(1.16)	0.24	0.26
2521		打製石鏃	CH	G-17	VI	1.40	1.32	0.32	0.42
2522		打製石鏃	086	M-18	VI上	(1.52)	(0.97)	0.35	0.33
2523		打製石鏃	087	J-19	VI	1.43	1.13	0.55	0.69
2524		打製石鏃	087	K-21	VI	(1.43)	(0.98)	0.35	0.35
2525		打製石鏃	086	G-21	VI	1.44	1.17	0.35	0.40
2526		打製石鏃	086	L-20	VI	(1.50)	1.64	0.32	0.36
2527		打製石鏃	SH	I-21	VI	1.54	1.14	0.40	0.55
2528		打製石鏃	AN	K-17	VI	1.55	1.05	0.40	0.48
2529		打製石鏃	082	F-18	VI	1.50	1.15	0.35	0.45
2530		打製石鏃	CH	G-21	VI	(1.50)	(1.14)	0.34	0.55
2531		打製石鏃	AN	J-15	VI	(1.40)	(1.20)	0.24	0.28
2532		打製石鏃	AN	K-21	VI	(1.19)	(1.25)	0.30	0.36
2533		打製石鏃	AN	L-19	VI	(1.50)	(1.70)	0.23	0.25
2534		打製石鏃	083	F-21	VI	(1.47)	(1.02)	0.40	0.44
2535		打製石鏃	087	H-24	VI	(1.30)	(1.26)	0.44	0.47
2536		打製石鏃	AN	G-21	VI	1.37	1.23	0.37	0.38
2537		打製石鏃	087	H-19	VI	(1.53)	(1.37)	0.45	0.54
2538		打製石鏃	AN	N-16	VI	(1.50)	1.40	0.50	0.59
2539		打製石鏃	085	K-19	VI	(1.60)	1.25	0.32	0.42
2540		打製石鏃	CH	F-16	VI	(1.57)	(1.37)	0.36	0.59
2541		打製石鏃	085	G-21	VI	(1.60)	(1.26)	0.26	0.38
2542		打製石鏃	087	K-20	VI	(1.80)	(1.23)	0.38	0.46

第 80 表 VI層出土石器観察表 (6)

採出 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
2543		打製石鏃	087	S-20	VI	1.65	1.20	0.40	0.51
2544		打製石鏃	082	I-22	VI	(1.75)	(1.33)	0.30	0.65
2545		打製石鏃	AN	J-22	VI	(1.42)	1.48	0.45	0.62
2546		打製石鏃	AN	F-19	VI	1.73	1.40	0.40	0.69
2547		打製石鏃	AN	H-24	VI	(1.40)	1.43	0.32	0.48
2548		打製石鏃	AN	I-21	VI	(1.30)	1.40	0.43	0.59
2549		打製石鏃	085	G-21	VI	(1.60)	1.40	0.30	0.43
2550		打製石鏃	086	H-17	VI F	(1.20)	1.62	0.28	0.40
2551		打製石鏃	087	F-22	VI	1.80	1.38	0.42	0.79
2552		打製石鏃	087	I-20	VI	(1.70)	(1.44)	0.36	0.62
2553		打製石鏃	081	I-19	VI	2.76	1.53	0.47	0.82
2554		打製石鏃	AN	H-20	VI	1.75	1.50	0.66	0.96
2555		打製石鏃	AN	H-20	VI	(1.73)	(1.48)	0.53	0.83
2556		打製石鏃	AN	J-18	VI	1.92	1.58	0.50	0.96
2557		打製石鏃	084	H-21	VI	(1.85)	(1.33)	0.30	0.51
2558		打製石鏃	086	L-10	VI	(1.75)	(1.45)	0.25	0.62
2559		打製石鏃	AN	I-21	VI	(1.85)	(1.46)	0.41	0.89
2560		打製石鏃	086	J-21	VI	(1.85)	(1.35)	0.40	0.63
2561		打製石鏃	CH	F-24	VI	1.95	1.53	0.55	1.22
2562		打製石鏃	084	I-22	VI	1.81	1.52	0.31	0.66
2563		打製石鏃	AN	K-19	VI	2.83	1.16	0.37	0.68
2564		打製石鏃	SH	J-20	VI	2.04	1.40	0.42	0.68
2565		打製石鏃	OC2	H-22	VI	(1.96)	1.38	0.38	0.78
2566		打製石鏃	AN	S-18	VI	(1.92)	(1.32)	0.36	0.76
2567		打製石鏃	AN	K-18	VI	1.80	1.58	0.38	0.58
2568		打製石鏃	086	L-14	VI	(1.80)	(1.40)	0.22	0.63
2569		打製石鏃	086	F-16	VI	(1.85)	1.44	0.42	0.84
2570		打製石鏃	086	H-17	VI	1.87	1.63	0.40	0.80
2571		打製石鏃	AN	K-15	VI	(1.91)	1.60	0.40	0.86
2572		打製石鏃	AN	L-20	VI	(1.80)	1.67	0.40	0.81
2573		打製石鏃	087	H-13	VI	1.91	1.65	0.50	1.05
2574		打製石鏃	SH	J-19	VI	(2.00)	(1.60)	0.45	0.97
2575		打製石鏃	AN	F-16	VI	2.10	1.74	0.37	0.97
2576		打製石鏃	AN	I-14	VI	(2.05)	(1.72)	0.40	1.08
2577		打製石鏃	AN	I-20	VI	(1.95)	(1.70)	0.50	1.13
2578		打製石鏃	088	G-23	VI	(2.00)	(1.54)	0.47	0.90
2579		打製石鏃	087	F-17	VI	(2.11)	(1.50)	0.50	0.95
2580		打製石鏃	087	F-20	VI	2.10	1.55	0.25	0.69
2581		打製石鏃	AN	H-12	VI	(1.70)	1.68	0.32	0.71
2582		打製石鏃	CH	F-20	VI	(2.06)	(1.46)	0.40	0.94
2583		打製石鏃	082	H-19	VI	(1.50)	1.77	0.36	0.67
2584		打製石鏃	AN	K-17	VI	(1.60)	(1.60)	0.37	1.00
2585		打製石鏃	CH	H-3	VI	(2.05)	(1.49)	0.50	1.11
2586		打製石鏃	AN	F-17	VI	(1.96)	(1.83)	0.32	0.87
2587		打製石鏃	CH	I-21	VI	2.15	1.65	0.66	1.25
2588		打製石鏃	AN	S-20	VI	2.16	1.93	0.54	2.15
2589		打製石鏃	CH	I-10	VI	2.32	1.67	0.40	1.39
2590		打製石鏃	086	F-19	VI	(1.65)	(1.80)	0.38	0.81
2591		打製石鏃	CH	H-18	VI	2.18	1.87	0.40	1.61
2592		打製石鏃	AN	H-15	VI	(2.10)	1.79	0.40	1.02
2593		打製石鏃	087	J-14	VI	(2.20)	(1.44)	0.47	1.02
2594		打製石鏃	AN	H-18	VI	(2.24)	(1.70)	0.55	1.37
2595		打製石鏃	AN	M-20	VI	(2.20)	1.70	0.50	1.14
2596		打製石鏃	087	J-19	VI	(2.68)	(1.47)	0.37	0.88
2597		打製石鏃	084	J-19	VI	(2.40)	(1.80)	0.45	1.25

第 81 表 VI層出土石器觀察表 (7)

神岡 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	
824	2588	打製石鏟	AN	L-20	VI	2.37	1.52	0.51	1.41	
	2589	打製石鏟	SH	F-13	VI	2.26	1.57	0.43	0.97	
	2600	打製石鏟	086	H-22	VI	(2.55)	(1.43)	0.52	1.10	
	2601	打製石鏟	AN	L-20	VI	2.33	1.90	0.47	1.67	
	2602	打製石鏟	CH	J-20	VI	(2.40)	1.90	0.50	1.52	
	2603	打製石鏟	AN	L-15	VI	(2.34)	1.89	0.44	1.14	
	2604	打製石鏟	064	L-13	VI	2.40	1.85	0.42	1.32	
	2605	打製石鏟	CH	D-15	VI	(2.33)	(1.81)	0.40	1.12	
	2606	打製石鏟	SH	H-18	VI	(2.10)	(1.85)	0.62	1.21	
	2607	打製石鏟	AN	F-21	VI	2.24	2.00	0.45	1.12	
	2608	打製石鏟	CH	F-21	VI	(2.21)	(1.97)	0.39	1.48	
	2609	打製石鏟	SH	J-21	VI	(2.50)	(1.80)	0.70	1.42	
	2610	打製石鏟	AN	K-11	VI	2.47	1.88	0.40	1.22	
	2611	打製石鏟	086	M-13	VI	2.59	1.95	0.42	1.22	
	2612	打製石鏟	067	J-15	VI	2.44	2.20	0.60	2.09	
	825	2613	打製石鏟	AN	G-20	VI	2.54	2.44	0.39	1.69
		2614	打製石鏟	086	H-19	VI	(2.40)	1.95	0.50	1.85
		2615	打製石鏟	CH	N-17	VI	(2.44)	(1.94)	0.74	2.07
2616		打製石鏟	AN	F-24	VI	2.50	(1.94)	0.93	2.68	
2617		打製石鏟	SH	K-16	VI	2.64	2.00	0.53	1.66	
2618		打製石鏟	086	G-17	VI	2.85	2.15	0.52	1.99	
2619		打製石鏟	AN	L-16	VI	2.95	1.90	0.40	1.56	
2620		打製石鏟	087	J-15	VI	3.35	(2.55)	0.58	3.06	
2621		打製石鏟	CH	K-19	VI	2.89	2.08	0.27	1.29	
2622		打製石鏟	SH	I-15	VI	3.08	2.10	0.45	1.38	
2623		打製石鏟	087	N-17	VI	(1.28)	(1.10)	0.30	0.26	
2624		打製石鏟	087	K-17	VI	(1.40)	(1.05)	0.40	0.30	
2625		打製石鏟	AN	J-22	VI	1.40	1.35	0.50	0.37	
2626		打製石鏟	086	L-17	VI	1.49	1.13	0.34	0.53	
2627		打製石鏟	087	M-17	VI	(1.40)	1.30	0.40	0.43	
2628		打製石鏟	AN	H-14	VI F	(1.60)	(1.20)	0.34	0.35	
2629		打製石鏟	087	G-14	VI上	1.58	1.00	0.25	0.23	
2630		打製石鏟	AN	K-16	VI	(1.67)	(1.10)	0.32	0.37	
2631	打製石鏟	AN	I-21	VI	1.67	1.20	0.25	0.31		
2632	打製石鏟	086	L-20	VI	(1.45)	(1.44)	0.38	0.33		
2633	打製石鏟	086	E-22	VI	1.59	1.27	0.32	0.39		
2634	打製石鏟	AN	M-16	VI F	(1.66)	(1.16)	0.28	0.30		
2635	打製石鏟	087	L-20	VI	(1.60)	(1.20)	0.36	0.45		
2636	打製石鏟	AN	M-17	VI	(1.43)	(1.20)	0.32	0.39		
2637	打製石鏟	AN	J-20	VI	(1.80)	(1.13)	0.40	0.42		
2638	打製石鏟	AN	M-18	VI	(1.80)	1.46	0.40	0.58		
2639	打製石鏟	AN	M-15	VI	(1.73)	(1.30)	0.42	0.59		
2640	打製石鏟	081	M-18	VI	(1.80)	(1.46)	0.45	0.88		
2641	打製石鏟	AN	F-22	VI	(1.84)	(1.27)	0.48	0.75		
2642	打製石鏟	087	G-14	VI	(1.47)	1.47	0.36	0.47		
2643	打製石鏟	086	L-16	VI	(1.85)	(1.38)	0.30	0.50		
2644	打製石鏟	AN	N-18	VI	(1.64)	(1.51)	0.30	0.37		
2645	打製石鏟	AN	F-20	VI	(1.70)	(1.28)	0.30	0.38		
2646	打製石鏟	CH	J-16	VI	1.78	1.50	0.30	0.42		
2647	打製石鏟	AN	E-21	VI	(1.81)	(1.40)	0.34	0.44		
2648	打製石鏟	CH	E-16	VI	(1.62)	1.53	0.22	0.42		
2649	打製石鏟	086	J-22	VI	(1.78)	(1.45)	0.47	0.73		
2650	打製石鏟	CH	J-20	VI	(1.90)	(1.60)	0.42	0.80		
2651	打製石鏟	CH	I-21	VI	(1.90)	(1.20)	0.25	0.34		
2652	打製石鏟	AN	J-22	VI	2.05	1.33	0.25	0.37		

第 82 表 VI層出土石器觀察表 (8)

神岡 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
826	2653	打製石鏟	AN	J-21	VI	(1.90)	1.30	0.40	0.79
	2654	打製石鏟	AN	J-21	VI	(1.93)	(1.48)	0.28	0.69
	2655	打製石鏟	CH	F-22	VI	2.02	1.50	0.70	1.40
	2656	打製石鏟	CH	H-23	VI	(1.97)	(1.05)	0.43	0.52
	2657	打製石鏟	AN	N-17	VI	(2.00)	(1.50)	0.42	0.77
	2658	打製石鏟	AN	J-15	VI	(2.14)	(1.60)	0.42	0.76
	2659	打製石鏟	SH	L-9	VI F	2.08	1.48	0.35	0.69
	2660	打製石鏟	AN	D-21	VI	(2.18)	(1.53)	0.30	0.60
	2661	打製石鏟	AN	M-13	VI	(1.94)	1.63	0.48	0.91
	2662	打製石鏟	AN	L-20	VI	(1.75)	(1.35)	0.30	0.56
	2663	打製石鏟	AN	G-23	VI	(1.86)	(1.54)	0.33	0.57
	2664	打製石鏟	087	N-17	VI	(1.60)	(1.60)	0.38	0.47
	2665	打製石鏟	AN	K-14	VI	(2.00)	(1.36)	0.31	0.55
	2666	打製石鏟	AN	G-23	VI	(2.20)	(1.40)	0.55	1.13
	2667	打製石鏟	087	L-20	VI	(2.00)	(1.54)	0.46	0.81
	2668	打製石鏟	AN	J-21	VI	(2.20)	(1.22)	0.42	0.90
	2669	打製石鏟	086	J-18	VI	(2.19)	(1.50)	0.46	0.94
	2670	打製石鏟	AN	F-15	VI	(1.80)	1.78	0.40	0.76
2671	打製石鏟	086	L-20	VI	(2.10)	(1.63)	0.30	0.51	
2672	打製石鏟	AN	I-21	VI	(1.80)	(1.77)	0.40	0.61	
2673	打製石鏟	AN	H-18	VI	2.12	1.66	0.40	0.84	
2674	打製石鏟	CC3	H-4	VI上	(2.35)	(1.54)	0.55	0.91	
2675	打製石鏟	AN	J-20	VI	(2.30)	(1.50)	0.55	0.93	
2676	打製石鏟	AN	K-18	VI	(2.34)	(1.57)	0.42	0.88	
2677	打製石鏟	AN	L-17	VI	(2.17)	(1.48)	0.38	0.53	
2678	打製石鏟	CH	I-17	VI	(2.41)	(1.56)	0.42	0.84	
2679	打製石鏟	CH	E-16	VI	(2.30)	(1.61)	0.51	1.45	
2680	打製石鏟	AN	J-20	VI	(2.30)	(1.50)	0.46	1.15	
2681	打製石鏟	AN	J-17	VI	(2.50)	(1.33)	0.35	0.71	
2682	打製石鏟	AN	K-19	VI	2.25	1.65	0.30	0.66	
2683	打製石鏟	CH	L-18	VI	(2.25)	(1.64)	0.44	0.89	
2684	打製石鏟	085	K-17	VI	(2.35)	(1.48)	0.35	0.62	
2685	打製石鏟	AN	F-10	VI	(2.30)	(1.54)	0.29	0.69	
2686	打製石鏟	AN	H-21	VI	2.25	2.05	0.50	1.42	
2687	打製石鏟	AN	L-20	VI	2.30	1.80	0.40	1.19	
2688	打製石鏟	SH	F-21	VI	2.30	1.88	0.40	0.74	
2689	打製石鏟	086	F-15	VI	(2.10)	1.85	0.38	0.71	
2690	打製石鏟	SH	F-21	VI	(2.27)	(1.90)	0.45	0.74	
2691	打製石鏟	AN	K-17	VI	(2.53)	(1.41)	0.31	0.55	
2692	打製石鏟	AN	J-20	VI	2.47	1.64	0.47	0.89	
2693	打製石鏟	081	K-17	VI	(2.36)	(1.50)	0.40	0.88	
2694	打製石鏟	AN	L-20	VI	(2.60)	(1.44)	0.40	0.61	
2695	打製石鏟	AN	L-20	VI	(2.22)	(1.53)	0.45	0.87	
2696	打製石鏟	086	M-21	VI上	(2.45)	(1.70)	0.37	0.69	
2697	打製石鏟	085	E-21	VI	2.70	1.87	0.33	0.73	
2698	打製石鏟	086	F-18	VI	2.58	1.68	0.43	0.93	
2699	打製石鏟	AN	L-21	VI	2.61	1.67	0.47	1.01	
2700	打製石鏟	085	E-21	VI	2.53	1.90	0.35	0.86	
2701	打製石鏟	085	D-19	VI	2.60	1.90	0.55	1.65	
2702	打製石鏟	CH	F-19	VI	(2.83)	(1.50)	0.50	1.28	
2703	打製石鏟	AN	L-8	VI	(2.74)	(1.73)	0.42	1.32	
2704	打製石鏟	CH	L-16	VI	(2.10)	(1.70)	0.43	1.20	
2705	打製石鏟	CC1	J-20	VI	(2.84)	(1.97)	0.47	1.29	
2706	打製石鏟	CH	I-15	VI	(2.60)	(1.62)	0.42	1.10	
2707	打製石鏟	CH	H-14	VI	(2.71)	(1.86)	0.36	1.20	

第 83 表 VI層出土石器観察表(9)

採出 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
B28	2708	打製石鏃	AN	I-15	VI	2.89	2.15	0.60	2.01
	2709	打製石鏃	087	9-19	VI上	(2.96)	(1.87)	0.43	1.08
	2710	打製石鏃	088	F-21	VI	(1.90)	(1.66)	0.60	1.64
	2711	打製石鏃	CH	F-15	VI	(3.00)	(1.95)	0.40	1.65
	2712	打製石鏃	CH	I-19	VI	(3.35)	(1.87)	0.42	1.61
	2713	打製石鏃	AN	G-19	VI	3.10	2.10	0.40	1.06
	2714	打製石鏃	AN	J-15	VI	3.13	2.18	0.54	1.73
	2715	打製石鏃	086	G-17	VI	3.80	2.56	0.60	3.53
	2716	打製石鏃	AN	H-21	VI	(1.18)	1.20	0.15	0.19
	2717	打製石鏃	084	K-18	VI	(1.29)	1.21	0.30	0.27
	2718	打製石鏃	086	G-23	VI	(1.27)	1.28	0.28	0.30
	2719	打製石鏃	CH	I-14	VI	(1.50)	(1.18)	0.29	0.33
	2720	打製石鏃	AN	J-20	VI	1.43	1.38	0.38	0.42
	2721	打製石鏃	AN	H-22	VI	1.50	1.40	0.48	0.64
	2722	打製石鏃	CH	I-13	VI	1.55	1.38	0.35	0.47
2723	打製石鏃	CH	E-16	VI	(1.61)	1.44	0.43	0.73	
2724	打製石鏃	086	H-22	VI	(1.65)	1.50	0.45	0.83	
2725	打製石鏃	AN	K-21	VI	(1.60)	(1.43)	0.40	0.65	
2726	打製石鏃	AN	F-17	VI	(1.62)	1.62	0.35	0.77	
2727	打製石鏃	AN	I-21	VI	(1.90)	(1.53)	0.50	0.91	
2728	打製石鏃	081	F-21	VI	1.70	1.48	0.40	0.52	
2729	打製石鏃	AN	K-21	VI	(1.70)	(1.34)	0.29	0.68	
B29	2730	打製石鏃	AN	I-17	VI	(1.72)	(1.18)	0.36	0.32
	2731	打製石鏃	CH	K-17	VI	(1.78)	(1.32)	0.36	0.49
	2732	打製石鏃	AN	J-20	VI	1.67	1.46	0.48	0.65
	2733	打製石鏃	CH	K-17	VI	1.88	1.61	0.30	0.67
	2734	打製石鏃	085	I-13	VI	(1.90)	1.50	0.25	0.44
	2735	打製石鏃	AN	I-23	VI	(2.00)	(1.20)	0.36	0.39
	2736	打製石鏃	084	G-20	VI	(1.89)	(1.63)	0.37	0.80
	2737	打製石鏃	CH	I-17	VI	(1.82)	(1.82)	0.25	0.67
	2738	打製石鏃	087	K-10	VI上	2.00	1.60	0.38	0.63
	2739	打製石鏃	AN	J-18	VI	1.82	1.62	0.50	0.85
	2740	打製石鏃	086	K-22	VI	(1.95)	(1.40)	0.40	0.80
	2741	打製石鏃	AN	F-21	VI	(1.95)	1.68	0.50	0.92
	2742	打製石鏃	086	G-21	VI	1.98	1.38	0.47	0.72
	2743	打製石鏃	AN	I-23	VI	(2.00)	1.50	0.55	0.79
	2744	打製石鏃	086	K-15	VI	2.13	1.58	0.42	0.82
2745	打製石鏃	CH	K-15	VI	2.11	1.51	0.37	0.84	
2746	打製石鏃	CH	H-19	VI	(1.98)	1.53	0.36	0.88	
2747	打製石鏃	AN	I-21	VI	2.20	1.60	0.50	1.05	
2748	打製石鏃	CH	K-17	VI	2.07	1.64	0.35	0.89	
2749	打製石鏃	0C2	I-18	VI	1.98	1.67	0.39	0.82	
2750	打製石鏃	CH	I-22	VI	(1.80)	(1.60)	0.30	0.71	
2751	打製石鏃	AN	K-20	VI	(2.35)	1.95	0.40	1.26	
2752	打製石鏃	086	E-22	VI	(2.19)	1.37	0.32	0.63	
2753	打製石鏃	CH	F-22	VI	(2.17)	(1.33)	0.43	0.76	
2754	打製石鏃	088	I-21	VI上	(2.15)	(1.55)	0.48	1.03	
2755	打製石鏃	086	E-23	VI	(2.15)	(1.40)	0.40	0.97	
2756	打製石鏃	AN	I-21	VI	(1.98)	1.52	0.48	0.96	
2757	打製石鏃	AN	G-21	VI	(2.20)	(1.50)	0.45	1.29	
2758	打製石鏃	081	I-21	VI	(2.20)	1.55	0.40	0.96	
2759	打製石鏃	085	I-21	VI上	1.25	1.53	0.45	1.05	
2760	打製石鏃	AN	H-22	VI	2.25	1.77	0.60	1.55	
2761	打製石鏃	086	I-21	VI	2.29	(1.64)	0.50	1.12	
2762	打製石鏃	AN	J-21	VI	(2.28)	(1.97)	0.53	1.51	

第 84 表 VI層出土石器観察表(10)

採出 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
S30	2763	打製石鏃	086	G-22	VI	2.47	1.77	0.53	1.66
	2764	打製石鏃	CH	G-18	VI	(2.48)	(1.52)	0.45	1.08
	2765	打製石鏃	086	F-24	VI	(1.23)	1.55	0.38	0.74
	2766	打製石鏃	AN	F-18	VI	(1.80)	(1.57)	0.43	0.89
	2767	打製石鏃	AN	I-22	VI	(1.77)	1.56	0.38	0.86
	2768	打製石鏃	086	K-22	VI上	(1.75)	1.58	0.45	1.21
	2769	打製石鏃	086	F-21	VI	(1.53)	1.50	0.50	1.15
	2770	打製石鏃	CH	I-22	VI	(2.20)	(1.52)	0.44	0.84
	2771	打製石鏃	CH	J-15	VI	(2.25)	(1.48)	0.37	0.67
	2772	打製石鏃	CH	F-18	VI	(2.48)	(1.50)	0.30	0.85
	2773	打製石鏃	086	G-22	VI	(2.65)	(1.30)	0.44	0.87
	2774	打製石鏃	AN	I-18	VI	(2.44)	(2.23)	0.52	0.99
	2775	打製石鏃	AN	I-21	VI	(2.45)	1.60	0.40	1.17
	2776	打製石鏃	AN	F-21	VI	(2.50)	(1.40)	0.38	1.02
	2777	打製石鏃	AN	H-22	VI	(2.70)	(1.45)	0.55	1.62
2778	打製石鏃	AN	H-22	VI	(2.68)	(1.59)	0.50	1.23	
2779	打製石鏃	086	H-21	VI	(2.35)	(1.98)	0.54	1.57	
2780	打製石鏃	CH	F-19	VI	(2.30)	(2.20)	0.45	1.21	
2781	打製石鏃	AN	J-22	VI	(2.43)	(1.40)	0.49	1.20	
2782	打製石鏃	AN	H-17	VI	(1.66)	1.87	0.40	0.93	
2783	打製石鏃	SH	K-13	VI	(2.33)	(1.73)	0.43	0.98	
2784	打製石鏃	SH	K-15	VI	(2.30)	(1.77)	0.37	0.90	
2785	打製石鏃	CH	K-18	VI	(1.96)	2.13	0.36	1.14	
2786	打製石鏃	085	G-17	VI	(2.61)	(1.66)	0.46	1.23	
2787	打製石鏃	CH	H-14	VI	(2.50)	(1.78)	0.42	1.20	
2788	打製石鏃	SH	H-16	VI	(1.80)	(2.91)	0.40	1.20	
2789	打製石鏃	CH	J-15	VI	(2.77)	(1.92)	0.40	1.49	
2790	打製石鏃	AN	G-20	VI	(2.45)	(1.80)	0.40	1.47	
2791	打製石鏃	086	H-20	VI	(2.69)	2.12	0.53	1.93	
2792	打製石鏃	CH	J-15	VI	(1.99)	2.12	0.39	1.28	
2793	打製石鏃	CH	K-17	VI	(2.50)	(1.60)	0.33	0.95	
2794	打製石鏃	086	H-20	VI	(2.65)	1.90	0.38	1.36	
2795	打製石鏃	086	I-20	VI	(2.85)	(1.65)	0.52	1.53	
2796	打製石鏃	086	I-19	VI	(2.83)	(1.54)	0.50	1.72	
2797	打製石鏃	CH	F-20	VI	2.97	2.03	0.40	1.71	
2798	打製石鏃	CH	H-17	VI	(2.88)	2.13	0.40	1.82	
2799	打製石鏃	AN	G-18	VI	(2.98)	(1.55)	0.53	1.99	
2800	打製石鏃	CH	H-18	VI	2.65	1.62	0.45	1.78	
2801	打製石鏃	AN	J-21	VI	(2.74)	(1.54)	0.55	1.27	
2802	打製石鏃	CH	E-17	VI	2.48	2.13	0.41	1.44	
2803	打製石鏃	AN	E-22	VI	2.45	2.10	0.63	2.34	
2804	打製石鏃	AN	F-22	VI	(2.32)	2.00	0.80	2.41	
2805	打製石鏃	AN	H-21	VI	3.10	1.70	0.65	2.01	
2806	打製石鏃	CH	C-25	VI	(2.96)	(2.02)	0.42	1.80	
2807	打製石鏃	CH	G-11	VI上	(3.05)	(2.05)	0.35	1.83	
2808	打製石鏃	CH	J-15	VI	(2.90)	2.18	0.32	1.89	
2809	打製石鏃	CH	K-17	VI	(2.45)	(2.35)	0.35	1.82	
2810	打製石鏃	CH	J-14	VI	(2.80)	(1.50)	0.30	1.38	
2811	打製石鏃	081	G-22	VI	(1.76)	(2.00)	0.80	2.07	
2812	打製石鏃	AN	H-16	VI	(1.75)	2.35	0.38	1.70	
2813	打製石鏃	SH	I-18	VI	(3.24)	(1.64)	0.32	1.38	
2814	打製石鏃	HF	H-17	VI	(2.80)	(1.82)	0.34	1.57	
2815	打製石鏃	SH	H-18	VI	(3.35)	(1.98)	0.40	1.76	
2816	打製石鏃	CH	K-15	VI	(2.90)	(1.92)	0.40	1.74	
2817	打製石鏃	086	K-21	VI	(3.50)	(1.64)	0.60	2.25	

第 85 表 VI層出土石器觀察表 (11)

標頭 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
532	2818	打製石鏃	086	H-16	VI	(3.60)	(1.90)	0.50	2.25
	2819	打製石鏃	084	F-21	VI	(1.10)	(0.90)	0.27	0.11
	2820	打製石鏃	082	F-19	VI	(1.33)	(0.95)	0.38	0.29
	2821	打製石鏃	CH	J-20	VI	(1.52)	(1.10)	0.20	0.27
	2822	打製石鏃	CH	J-18	VI	(1.40)	(1.10)	0.28	0.26
	2823	打製石鏃	CH	M-21	VI下	(1.40)	(1.25)	0.39	0.44
	2824	打製石鏃	AN	K-18	VI	1.62	1.38	0.35	0.55
	2825	打製石鏃	AN	J-21	VI	1.64	1.34	0.26	0.53
	2826	打製石鏃	CH	M-14	VI	1.75	1.46	0.31	0.55
	2827	打製石鏃	086	K-17	VI	(1.90)	(1.10)	0.34	0.32
	2828	打製石鏃	AN	H-17	VI	1.62	1.23	0.27	0.38
	2829	打製石鏃	087	J-17	VI	(1.65)	(1.20)	0.38	0.44
	2830	打製石鏃	AN	J-21	VI	1.78	1.34	0.39	0.66
	2831	打製石鏃	AN	H-20	VI	(1.62)	(1.20)	0.32	0.41
	2832	打製石鏃	AN	H-16	VI	1.75	1.20	0.34	0.51
	2833	打製石鏃	SH	I-21	VI	1.65	1.34	0.40	0.45
	2834	打製石鏃	CC2	E-19	VI	1.77	1.43	0.33	0.42
	2835	打製石鏃	AN	J-21	VI	(1.80)	(1.36)	0.43	0.65
	2836	打製石鏃	086	F-24	VI	1.78	1.42	0.44	0.65
	2837	打製石鏃	083	G-21	VI	(1.83)	(1.05)	0.60	0.69
	2838	打製石鏃	CH	G-16	VI	1.93	1.43	0.32	0.64
	2839	打製石鏃	086	E-23	VI	1.92	1.34	0.37	0.57
	2840	打製石鏃	AN	G-22	VI	(1.84)	(1.22)	0.47	0.66
	2841	打製石鏃	AN	J-20	VI	(1.93)	(1.30)	0.47	0.63
	2842	打製石鏃	CH	J-15	VI	(1.87)	(1.40)	0.33	0.62
	2843	打製石鏃	AN	G-17	VI	(1.64)	(1.29)	0.35	0.54
	2844	打製石鏃	AN	J-20	VI	(1.64)	(1.39)	0.35	0.57
	2845	打製石鏃	AN	G-23	VI	1.89	(1.40)	0.50	0.88
	2846	打製石鏃	081	J-21	VI	2.08	(1.50)	0.52	1.10
	2847	打製石鏃	086	F-22	VI	(1.76)	(1.39)	0.43	0.55
	2848	打製石鏃	CH	I-20	VI	(1.97)	(1.40)	0.40	0.71
	2849	打製石鏃	AN	I-21	VI	1.88	1.38	0.42	0.65
2850	打製石鏃	AN	J-20	VI	(1.84)	(1.17)	0.35	0.43	
2851	打製石鏃	AN	J-20	VI	(2.00)	(1.30)	0.40	0.56	
2852	打製石鏃	AN	H-23	VI	(2.00)	(1.62)	0.42	0.84	
2853	打製石鏃	CH	F-13	VI	2.00	1.50	0.36	0.76	
2854	打製石鏃	AN	J-21	VI	(1.80)	1.70	0.60	1.20	
2855	打製石鏃	085	I-21	VI	1.86	1.55	0.40	0.76	
2856	打製石鏃	SH	K-18	VI	2.00	1.53	0.39	0.82	
2857	打製石鏃	CH	G-15	VI	1.95	1.40	0.35	0.83	
2858	打製石鏃	083	F-19	VI	(2.10)	(1.60)	0.35	0.87	
2859	打製石鏃	086	G-24	VI	(2.02)	(1.30)	0.48	0.78	
2860	打製石鏃	CH	K-20	VI	(2.00)	(1.37)	0.43	1.00	
2861	打製石鏃	AN	J-22	VI	(1.98)	(1.54)	0.50	0.92	
2862	打製石鏃	AN	H-23	VI	(1.95)	(1.50)	0.34	0.95	
2863	打製石鏃	081	E-19	VI	(2.00)	(1.50)	0.53	0.85	
2864	打製石鏃	CH	G-16	VI	(2.01)	(1.40)	0.33	0.72	
2865	打製石鏃	086	G-14	VI	2.05	1.40	0.35	0.98	
2866	打製石鏃	085	F-19	VI	(2.00)	(1.44)	0.38	0.76	
2867	打製石鏃	AN	H-21	VI	1.95	1.35	0.45	1.02	
2868	打製石鏃	CH	G-20	VI	(2.01)	(1.45)	0.35	0.67	
2869	打製石鏃	CC2	I-21	VI	(1.95)	1.70	0.35	0.74	
2870	打製石鏃	CH	I-20	VI	(2.03)	(1.20)	0.34	0.41	
2871	打製石鏃	086	F-23	VI	(2.12)	(1.18)	0.30	0.47	
2872	打製石鏃	AN	E-17	VI	(2.00)	(1.44)	0.32	0.56	

第 86 表 VI層出土石器觀察表 (12)

標頭 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
534	2873	打製石鏃	CH	H-22	VI	(2.14)	(1.38)	0.36	0.58
	2874	打製石鏃	AN	G-18	VI	(2.14)	(1.38)	0.32	1.01
	2875	打製石鏃	AN	I-21	VI	(2.00)	(1.25)	0.56	0.77
	2876	打製石鏃	AN	F-19	VI	(2.01)	(1.35)	0.34	0.56
	2877	打製石鏃	086	J-20	VI	(2.14)	1.30	0.23	0.45
	2878	打製石鏃	CH	J-18	VI	(2.12)	(1.45)	0.32	0.56
	2879	打製石鏃	AN	F-22	VI	2.12	1.36	0.41	0.94
	2880	打製石鏃	085	G-5	VI	(2.12)	(1.30)	0.41	0.70
	2881	打製石鏃	CH	J-15	VI	(2.20)	(1.45)	0.45	0.90
	2882	打製石鏃	AN	G-18	VI	(1.80)	1.48	0.52	1.62
	2883	打製石鏃	086	J-22	VI	(2.03)	(1.40)	0.50	0.94
	2884	打製石鏃	CC1	G-19	VI	2.03	1.53	0.45	0.83
	2885	打製石鏃	CH	M-20	VI	(2.18)	(1.32)	0.30	0.58
	2886	打製石鏃	AN	I-13	VI	(2.12)	(1.43)	0.38	0.82
	2887	打製石鏃	AN	G-23	VI	(2.27)	(1.31)	0.40	0.79
	2888	打製石鏃	CH	H-11	VI	(2.24)	(1.28)	0.48	0.89
	2889	打製石鏃	086	F-22	VI	(2.45)	(1.30)	0.35	0.88
	2890	打製石鏃	AN	G-21	VI	(2.10)	(1.32)	0.50	1.06
	2891	打製石鏃	AN	H-23	VI	(2.37)	1.47	0.38	0.85
	2892	打製石鏃	AN	I-21	VI	2.40	1.60	0.40	1.67
	2893	打製石鏃	086	F-21	VI	(1.80)	(1.42)	0.53	0.90
	2894	打製石鏃	086	K-21	VI	(1.24)	(1.02)	0.28	0.23
	2895	打製石鏃	085	G-22	VI	(1.23)	1.05	0.35	0.44
	2896	打製石鏃	AN	J-21	VI	(1.05)	1.41	0.23	0.27
	2897	打製石鏃	AN	M-20	VI	(1.13)	1.64	0.43	0.40
	2898	打製石鏃	086	G-17	VI	(1.17)	(1.63)	0.48	0.99
	2899	打製石鏃	AN	G-21	VI	2.30	1.89	0.32	1.18
	2900	打製石鏃	AN	F-21	VI	(2.00)	(1.60)	0.43	1.15
	2901	打製石鏃	081	H-20	VI	(1.71)	1.72	0.47	1.17
	2902	打製石鏃	CH	K-20	VI	2.10	1.85	0.43	1.15
	2903	打製石鏃	AN	G-21	VI	2.22	1.88	0.50	1.41
	2904	打製石鏃	085	G-22	VI	2.28	1.80	0.56	1.28
2905	打製石鏃	CH	H-18	VI上	(1.65)	1.60	0.28	0.74	
2906	打製石鏃	086	K-20	VI	(2.35)	(1.64)	0.34	0.83	
2907	打製石鏃	AN	J-13	VI	2.10	(1.37)	0.32	0.55	
2908	打製石鏃	081	F-17	VI	(1.65)	1.85	0.48	0.93	
2909	打製石鏃	CH	I-13	VI	(1.88)	1.62	0.42	0.72	
2910	打製石鏃	CH	I-19	VI	(2.20)	(1.53)	0.45	0.75	
2911	打製石鏃	CH	H-14	VI	(2.32)	(1.53)	0.35	0.72	
2912	打製石鏃	CC1	I-13	VI	(2.16)	(1.54)	0.32	0.53	
2913	打製石鏃	CH	J-15	VI	(2.00)	1.70	0.35	0.89	
2914	打製石鏃	081	H-19	VI	(2.18)	(1.60)	0.42	0.86	
2915	打製石鏃	085	K-18	VI	2.15	1.80	0.35	0.90	
2916	打製石鏃	CH	H-20	VI	2.18	1.72	0.38	0.84	
2917	打製石鏃	CH	G-20	VI	2.46	1.92	0.43	1.39	
2918	打製石鏃	CH	I-18	VI	(2.23)	(1.60)	0.38	0.82	
2919	打製石鏃	CH	J-15	VI	(2.30)	(1.45)	0.25	0.64	
2920	打製石鏃	CH	I-14	VI	(2.34)	(1.33)	0.40	0.70	
2921	打製石鏃	082	M-13	VI	(1.82)	(1.83)	0.42	0.83	
2922	打製石鏃	CC1	H-16	VI	(2.37)	(1.46)	0.38	0.82	
2923	打製石鏃	CH	K-16	VI	(2.60)	(1.43)	0.42	0.89	
2924	打製石鏃	CH	E-22	VI	(2.23)	(1.33)	0.35	0.57	
2925	打製石鏃	AN	H-21	VI	2.85	1.80	0.30	0.96	
2926	打製石鏃	086	I-17	VI	(2.19)	1.69	0.58	1.59	
2927	打製石鏃	CH	H-20	VI	2.20	1.97	0.65	2.08	

第 87 表 VI層出土石器観察表 (13)

神国 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	
S36	2928	打製石鏃	AN	F-20	VI	2.30	1.80	0.80	2.60	
	2929	打製石鏃	CH	B-22	VI	(2.40)	1.81	0.61	1.80	
	2930	打製石鏃	AN	F-21	VI	2.35	2.00	0.75	2.49	
	2934	打製石鏃	CH	G-20	VI	(2.60)	(1.62)	0.38	1.42	
	2931	打製石鏃	08C3	F-16	VI	(1.90)	2.18	0.78	2.74	
	2932	打製石鏃	086	B-22	VI	(2.32)	1.92	0.81	2.31	
	2933	打製石鏃	AN	F-20	VI	2.35	1.65	0.43	1.04	
	2934	打製石鏃	CH	G-20	VI	(2.60)	(1.62)	0.38	1.42	
	2935	打製石鏃	084	B-18	VI	(2.17)	(1.57)	0.45	1.00	
	2936	打製石鏃	086	G-23	VI	(2.50)	(1.54)	0.50	1.24	
	2937	打製石鏃	AN	F-10	VI	(2.48)	(1.54)	0.52	1.24	
	2938	打製石鏃	086	G-20	VI	2.58	1.70	0.53	1.31	
	2939	打製石鏃	AN	F-24	VI	(2.60)	(1.63)	0.52	1.05	
	2940	打製石鏃	CH	K-17	VI	(2.62)	(1.43)	0.33	1.17	
	2941	打製石鏃	OC1	K-21	VI	(2.60)	(1.92)	0.40	0.76	
	2942	打製石鏃	CH	G-22	VI	(2.31)	1.89	0.40	0.86	
	2943	打製石鏃	CH	K-17	VI	(2.44)	(1.57)	0.50	1.27	
	2944	打製石鏃	086	F-20	VI	(2.57)	(1.65)	0.41	0.97	
	2945	打製石鏃	CH	J-14	VI	(2.30)	(1.80)	0.30	0.86	
	2946	打製石鏃	CH	J-12	VI	2.49	2.00	0.38	1.42	
	2947	打製石鏃	CH	B-23	VI	(2.47)	(1.80)	0.49	1.58	
	2948	打製石鏃	085	F-20	VI	(2.68)	(1.65)	0.38	1.00	
	2949	打製石鏃	081	F-16	VI	(2.57)	(1.90)	0.41	1.36	
	S37	2950	打製石鏃	CH	G-17	VI	(2.40)	(1.39)	0.35	0.67
		2951	打製石鏃	AN	F-21	VI	(2.55)	(1.58)	0.52	1.02
		2952	打製石鏃	081	E-24	VI	(2.65)	(1.47)	0.54	1.31
		2953	打製石鏃	CH	G-23	VI	(2.85)	(1.68)	0.40	1.30
		2954	打製石鏃	AN	B-13	VI	(2.82)	(1.66)	0.44	1.29
		2955	打製石鏃	AN	G-14	VI上	(2.43)	(1.56)	0.50	0.90
2956		打製石鏃	081	J-21	VI	(2.73)	(1.44)	0.58	1.40	
2957		打製石鏃	AN	L-16	VI	2.87	1.68	0.46	1.50	
2958		打製石鏃	081	E-21	VI	(2.83)	(1.95)	0.62	2.01	
2959		打製石鏃	CH	F-15	VI	(2.80)	(1.88)	0.47	1.48	
2960		打製石鏃	CH	F-17	VI	2.86	1.88	0.40	1.73	
2961		打製石鏃	CH	F-14	VI上	(3.05)	(1.48)	0.45	1.39	
2962		打製石鏃	SH	K-18	VI	(3.07)	(2.30)	0.60	2.67	
S38	2963	打製石鏃	086	E-23	VI	(1.75)	1.47	0.40	0.85	
	2964	打製石鏃	AN	L-14	VI	1.85	1.44	0.32	0.64	
	2965	打製石鏃	087	J-14	VI	1.72	1.43	0.40	0.76	
	2966	打製石鏃	086	J-13	VI	1.88	1.50	0.42	0.67	
	2967	打製石鏃	087	B-19	VI上	1.95	1.42	0.53	0.89	
	2968	打製石鏃	087	F-23	VI	(2.00)	(1.53)	0.49	0.93	
	2969	打製石鏃	AN	K-13	VI	(2.13)	(1.62)	0.45	0.95	
	2970	打製石鏃	087	K-13	VI	2.18	1.60	0.42	1.04	
	2971	打製石鏃	AN	J-19	VI	2.10	1.40	0.40	1.04	
	2972	打製石鏃	AN	J-21	VI	2.50	1.75	0.60	1.93	
	2973	打製石鏃	AN	K-19	VI	(2.37)	1.80	0.54	1.56	
	2974	打製石鏃	087	J-12	VI	2.53	1.50	0.54	1.40	
	2975	打製石鏃	087	K-12	VI	2.70	2.00	0.55	2.33	
	2976	打製石鏃	086	G-21	VI	(1.70)	(1.10)	0.38	0.48	
	2977	打製石鏃	CH	J-23	VI	1.75	1.25	0.35	0.60	
	2978	打製石鏃	086	L-9	VI	(1.90)	(1.55)	0.25	0.63	
	2979	打製石鏃	082	J-21	VI	1.93	1.47	0.45	0.88	
2980	打製石鏃	085	F-21	VI	1.85	1.55	0.40	0.73		
2981	打製石鏃	086	G-3	VI	(2.05)	(1.60)	0.34	0.72		
2982	打製石鏃	085	B-19	VI	(1.75)	(0.87)	0.34	0.27		

第 88 表 VI層出土石器観察表 (14)

神国 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	
S38	2983	打製石鏃	AN	J-17	VI	(2.04)	(1.49)	0.45	0.75	
	2984	打製石鏃	086	G-23	VI	(2.44)	(1.50)	0.57	1.08	
	2985	打製石鏃	AN	K-15	VI	(2.46)	(1.53)	0.45	1.23	
	2986	打製石鏃	AN	B-20	VI	(2.27)	(1.34)	0.35	0.66	
	2987	打製石鏃	086	F-23	VI	(2.40)	(1.27)	0.32	0.55	
	2988	打製石鏃	CH	J-19	VI	(2.35)	(1.70)	0.40	0.69	
	2989	打製石鏃	AN	F-20	VI	(2.44)	(1.43)	0.35	0.59	
	2990	打製石鏃	085	B-17	VI	(2.54)	(1.46)	0.30	0.64	
	2991	打製石鏃	086	L-14	VI	(2.48)	(1.65)	0.30	0.84	
	2992	打製石鏃	AN	F-21	VI	(1.90)	(1.44)	0.44	0.87	
	2993	打製石鏃	AN	K-18	VI	(2.37)	(1.75)	0.40	0.87	
	2994	打製石鏃	087	G-23	VI	(2.62)	(1.70)	0.35	0.89	
	2995	打製石鏃	AN	B-20	VI	(2.94)	(1.40)	0.52	1.38	
	2996	打製石鏃	087	B-19	VI	3.00	1.70	0.40	1.06	
	2997	打製石鏃	CH	J-17	VI	(3.02)	(1.98)	0.50	1.43	
	S39	2998	打製石鏃	AN	E-23	VI	3.06	1.79	0.52	1.78
		2999	打製石鏃	AN	L-16	VI	(3.14)	(1.83)	0.50	1.33
3000		打製石鏃	CH	B-15	VI F	(3.17)	(1.96)	0.55	1.91	
3001		打製石鏃	AN	F-22	VI	(3.20)	2.05	0.55	2.02	
3002		打製石鏃	SH	J-21	VI	(2.55)	(1.93)	0.40	1.79	
3003		打製石鏃	AN	F-14	VI	4.30	2.05	0.50	2.51	
3004		打製石鏃	AN	F-23	VI	(4.10)	(2.10)	0.55	4.30	
3005		打製石鏃	AN	G-22	VI	(1.19)	(1.69)	0.27	0.26	
3006		打製石鏃	083	F-23	VI	(1.33)	(1.80)	0.45	0.70	
3007		打製石鏃	081	B-20	VI	(1.22)	(1.15)	0.38	0.33	
3008		打製石鏃	085	B-21	VI	(1.17)	(1.04)	0.34	0.21	
3009		打製石鏃	081	B-20	VI	(1.30)	(1.25)	0.30	0.37	
3010		打製石鏃	CH	L-15	VI	(1.25)	(1.07)	0.28	0.34	
3011		打製石鏃	082	L-11	VI	(1.50)	(1.05)	0.25	0.29	
3012		打製石鏃	087	F-18	VI	(1.47)	(1.02)	0.37	0.36	
3013		打製石鏃	086	L-15	VI	(1.40)	(1.16)	0.24	0.30	
3014		打製石鏃	AN	E-13	VI	(1.45)	(1.32)	0.29	0.55	
3015	打製石鏃	AN	F-18	VI	(1.65)	(1.28)	0.34	0.59		
3016	打製石鏃	086	J-20	VI	(1.33)	(1.56)	0.53	0.70		
3017	打製石鏃	CH	C-25	VI	(1.40)	(1.55)	0.32	0.69		
3018	打製石鏃	085	G-20	VI	(1.87)	(1.70)	0.45	0.81		
3019	打製石鏃	AN	G-16	VI	(1.40)	(1.29)	0.37	0.65		
3020	打製石鏃	AN	B-19	VI上	(1.65)	(1.40)	0.40	0.82		
3021	打製石鏃	086	J-21	VI	(1.72)	(1.25)	0.40	0.70		
3022	打製石鏃	CH	K-16	VI	(2.64)	(1.37)	0.35	0.61		
3023	打製石鏃	SH	B-21	VI	(1.84)	(1.32)	0.40	0.62		
3024	打製石鏃	086	J-20	VI	(1.74)	(1.28)	0.43	0.71		
3025	打製石鏃	CH	J-13	VI	(1.75)	(1.62)	0.30	0.79		
3026	打製石鏃	086	F-23	VI	(1.79)	(1.25)	0.35	0.73		
3027	打製石鏃	086	K-23	VI	(1.50)	(1.65)	0.35	0.85		
3028	打製石鏃	CH	L-18	VI	(1.90)	(1.60)	0.25	0.77		
3029	打製石鏃	081	B-19	VI	(1.97)	(1.50)	0.44	0.84		
3030	打製石鏃	087	G-22	VI	(1.95)	(1.53)	0.43	0.89		
3031	打製石鏃	CH	K-14	VI	(2.14)	(1.30)	0.45	0.70		
3032	打製石鏃	084	L-16	VI	(2.04)	(1.31)	0.37	0.55		
3033	打製石鏃	085	F-21	VI	(2.10)	1.40	0.50	0.65		
3034	打製石鏃	CH	F-19	VI	(2.04)	(1.54)	0.48	1.30		
3035	打製石鏃	082	K-21	VI	2.20	(1.20)	0.55	0.98		
3036	打製石鏃	CH	K-17	VI	(2.20)	(1.37)	0.35	0.95		
3037	打製石鏃	SH	B-20	VI	(2.42)	(1.70)	0.32	0.99		

第 89 表 VI層出土石器觀察表 (15)

標記 番号	高森 番号	部種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
540	2038	打製石鏃	AN	L-20	VI	(1.76)	(1.14)	0.34	0.43
	2039	打製石鏃	AN	F-19	VI	(1.98)	(1.30)	0.36	0.56
	3040	打製石鏃	CH	K-17	VI	(1.70)	(1.54)	0.30	0.53
	2041	打製石鏃	AN	D-25	VI	(1.90)	(1.30)	0.42	0.69
	2042	打製石鏃	CH	J-15	VI	(2.02)	(1.70)	0.40	1.09
	2043	打製石鏃	AN	E-22	VI	(2.23)	(1.49)	0.55	0.86
	2044	打製石鏃	AN	K-19	VI	(2.30)	(1.18)	0.34	0.64
	2045	打製石鏃	CH	K-17	VI	(1.85)	(1.17)	0.30	0.50
	2046	打製石鏃	CH	F-21	VI	(1.67)	(1.28)	0.30	0.32
	2047	打製石鏃	CH	K-16	VI	(1.70)	(1.18)	0.35	0.55
	2048	打製石鏃	086	J-20	VI	(1.29)	(1.30)	0.32	0.50
	2049	打製石鏃	AN	G-23	VI	(1.23)	(1.57)	0.45	0.60
	2050	打製石鏃	AN	H-16	VI	(1.94)	(1.41)	0.38	0.66
	3051	打製石鏃	086	J-21	VI	(2.22)	(1.25)	0.50	1.05
	2052	打製石鏃	AN	I-22	VI	(2.25)	(1.42)	0.46	0.88
2053	打製石鏃	AN	D-20	VI	(2.16)	(1.37)	0.50	1.04	
2054	打製石鏃	CH	K-20	VI	(2.36)	(1.50)	0.47	0.92	
2055	打製石鏃	AN	G-18	VI	(2.16)	(1.42)	0.43	1.11	
2056	打製石鏃	085	G-17	VI	(2.30)	(1.67)	0.52	1.21	
2057	打製石鏃	CH	M-9	VI	(2.40)	(1.49)	0.43	1.17	
2058	打製石鏃	CH	I-21	VI	(2.36)	(1.44)	0.56	1.41	
2059	打製石鏃	081	I-18	VI	(2.53)	(1.57)	0.47	0.94	
2060	打製石鏃	AN	I-21	VI	(2.65)	(1.66)	0.65	1.66	
2061	打製石鏃	087	H-19	VI	(2.00)	(1.70)	0.55	1.16	
2062	打製石鏃	086	I-19	VI	(2.42)	(1.82)	0.45	1.33	
2063	打製石鏃	CH	K-18	VI	(2.40)	(1.65)	0.32	1.13	
2064	打製石鏃	082	G-21	VI	(1.80)	(1.96)	0.40	1.09	
2065	打製石鏃	CH	E-17	VI	(1.65)	(2.00)	0.51	1.64	
2066	打製石鏃	CE	J-18	VI	(2.53)	(1.43)	0.41	0.96	
2067	打製石鏃	CH	N-18	VI	(2.73)	(1.65)	0.33	0.63	
2068	打製石鏃	CH	L-18	VI	(2.87)	(1.38)	0.39	1.23	
2069	打製石鏃	AN	I-20	VI	(2.85)	(1.86)	0.52	1.01	
2070	打製石鏃	AN	H-21	VI	(3.20)	(1.54)	0.61	2.17	
2071	打製石鏃	CH	K-12	VI	(3.50)	(1.94)	0.50	1.79	
2072	打製石鏃	AN	I-18	VI	(2.93)	(1.70)	0.30	1.34	
2073	打製石鏃	CH	I-14	VI	(2.85)	(1.35)	0.45	2.24	
2074	打製石鏃	082	G-20	VI	1.22	0.87	0.23	0.18	
2075	打製石鏃	CH	H-13	VI	1.28	1.10	0.23	0.24	
2076	打製石鏃	CE	I-20	VI	1.45	1.34	0.40	0.63	
2077	打製石鏃	AN	I-21	VI	1.45	1.03	0.35	0.59	
2078	打製石鏃	AN	L-20	VI	1.60	1.10	0.32	0.49	
2079	打製石鏃	086	H-21	VI	(1.74)	(1.20)	0.46	0.56	
2080	打製石鏃	086	J-21	VI	1.60	1.30	0.38	0.62	
2081	打製石鏃	CH	K-16	VI	1.53	1.44	0.24	0.44	
2082	打製石鏃	AN	K-18	VI	1.53	1.54	0.25	0.42	
2083	打製石鏃	AN	M-17	VI	1.53	1.48	0.28	0.60	
2084	打製石鏃	087	J-21	VI	(1.65)	(1.40)	0.28	0.62	
2085	打製石鏃	CH	F-22	VI	1.82	1.60	0.42	0.93	
2086	打製石鏃	088	J-21	VI	(1.70)	(1.50)	0.55	0.77	
2087	打製石鏃	SH	G-20	VI	(1.67)	(1.70)	0.45	1.02	
2088	打製石鏃	AN	H-21	VI	1.70	1.10	0.30	0.74	
2089	打製石鏃	AN	K-21	VI	1.77	1.34	0.47	0.91	
2090	打製石鏃	AN	D-24	VI	1.75	1.20	0.30	0.56	
2091	打製石鏃	AN	H-22	VI	(1.85)	(1.28)	0.23	0.42	
2092	打製石鏃	AN	M-17	VI	(1.77)	(1.42)	0.30	0.55	

第 90 表 VI層出土石器觀察表 (16)

標記 番号	高森 番号	部種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
542	2093	打製石鏃	AN	C-26	VI	1.92	1.37	0.31	0.51
	2094	打製石鏃	AN	K-20	VI	1.85	1.36	0.43	0.96
	2095	打製石鏃	AN	I-24	VI	1.88	1.36	0.41	0.91
	2096	打製石鏃	AN	F-21	VI	(1.60)	(1.43)	0.47	0.86
	2097	打製石鏃	AN	E-19	VI	(1.73)	(1.36)	0.47	0.65
	2098	打製石鏃	CH	H-22	VI	(1.82)	(1.62)	0.34	0.62
	2099	打製石鏃	086	I-18	VI	(1.70)	(1.52)	0.55	1.28
	2100	打製石鏃	CH	H-20	VI	(1.70)	1.43	0.33	0.76
	2101	打製石鏃	AN	K-19	VI	(1.89)	1.52	0.31	0.66
	2102	打製石鏃	CC2	I-19	VI	2.07	1.21	0.51	0.98
	2103	打製石鏃	082	I-21	VI	(2.05)	(1.15)	0.38	0.83
	2104	打製石鏃	CH	D-23	VI	(1.17)	(1.33)	0.33	0.57
	2105	打製石鏃	AN	I-22	VI	(2.00)	(1.30)	0.48	0.95
	2106	打製石鏃	AN	K-20	VI	2.06	1.40	0.43	1.16
	2107	打製石鏃	AN	N-20	VI	2.05	1.40	0.48	1.09
	2108	打製石鏃	SH	I-16	VI	2.22	1.35	0.60	1.55
	2109	打製石鏃	AN	I-23	VI	(2.25)	(1.42)	0.38	0.78
	2110	打製石鏃	AN	J-22	VI	(2.19)	(1.45)	0.36	1.15
	2111	打製石鏃	AN	H-23	VI	(2.18)	(1.26)	0.42	0.83
	2112	打製石鏃	AN	F-15	VI	(2.28)	1.40	0.40	0.94
	2113	打製石鏃	086	E-22	VI	(1.40)	(1.40)	0.20	0.73
	2114	打製石鏃	SH	M-17	VI	(1.82)	(1.68)	0.37	0.68
	2115	打製石鏃	AN	I-18	VI	(1.73)	(1.73)	0.42	0.87
	2116	打製石鏃	AN	N-20	VI	(1.90)	(1.50)	0.32	0.87
	2117	打製石鏃	AN	I-19	VI	(2.15)	(1.47)	0.40	0.87
	2118	打製石鏃	CH	I-15	VI	1.95	1.75	0.30	0.86
	2119	打製石鏃	085	G-22	VI	(1.96)	1.83	0.42	0.85
	2120	打製石鏃	CH	M-20	VI	2.20	1.95	0.43	1.31
	2121	打製石鏃	AN	G-5	VI	(2.26)	(2.63)	0.27	0.89
	2122	打製石鏃	082	I-22	VI	(1.64)	(2.03)	0.53	1.26
	2123	打製石鏃	AN	F-23	VI	(2.00)	(1.95)	0.45	1.01
	2124	打製石鏃	CH	K-17	VI	(2.13)	(1.69)	0.35	0.78
	2125	打製石鏃	SH	K-17	VI	(2.20)	(1.85)	0.38	1.22
2126	打製石鏃	CH	J-17	VI	2.36	1.79	0.53	1.61	
2127	打製石鏃	AN	I-19	VI	(2.25)	(1.82)	0.32	1.13	
2128	打製石鏃	AN	H-22	VI	2.40	1.70	0.45	1.84	
2129	打製石鏃	CC1	I-10	VI	(2.00)	1.87	0.63	1.95	
2130	打製石鏃	CC3	F-23	VI	2.30	2.00	0.48	1.44	
2131	打製石鏃	086	I-21	VI	(2.60)	(1.70)	0.25	1.17	
2132	打製石鏃	AN	I-22	VI	2.78	1.80	0.53	1.57	
2133	打製石鏃	AN	H-19	VI	(2.63)	(1.40)	0.45	1.12	
2134	打製石鏃	AN	J-15	VI	2.50	1.82	0.32	0.96	
2135	打製石鏃	CH	G-18	VI	2.63	(1.87)	0.53	1.98	
2136	打製石鏃	SH	K-15	VI	2.69	1.57	0.63	2.68	
2137	打製石鏃	SH	G-13	VI	2.69	1.57	0.65	1.70	
2138	打製石鏃	AN	J-21	VI	(2.77)	(1.73)	0.63	2.23	
2139	打製石鏃	AN	H-10	VI	3.00	1.64	0.45	1.70	
2140	打製石鏃	CH	L-20	VI	(2.35)	(1.99)	0.49	2.11	
2141	打製石鏃	SH	K-17	VI	2.50	2.10	0.60	2.71	
544	2142	打製石鏃	AN	J-14	VI	2.42	2.00	0.39	1.54
	2143	打製石鏃	086	J-21	VI	2.30	2.06	0.57	1.86
	2144	打製石鏃	AN	F-17	VI	2.37	2.02	0.64	2.30
	2145	打製石鏃	AN	H-21	VI	2.66	1.99	0.44	1.31
	2146	打製石鏃	AN	J-19	VI	(1.85)	2.10	0.42	1.36
	2147	打製石鏃	087	K-16	VI	(2.12)	(2.25)	0.69	2.12

第 91 表 VI層出土石器觀察表 (17)

神田 番号	掲載 番号	器種	石材	出土土	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
544	3148	打製石鏃	066	L-21	VI	(0.87)	2.17	0.48	0.79
	3149	打製石鏃	CH	K-18	VI	2.29	2.40	0.55	2.49
	3150	打製石鏃	CH	K-17	VI	(1.87)	2.55	0.50	2.58
	3151	打製石鏃	SH	K-17	VI	2.51	2.06	0.47	2.19
	3152	打製石鏃	AN	G-22	VI	(2.79)	(1.93)	0.33	1.15
	3153	打製石鏃	CH	H-20	VI	(2.75)	(2.18)	0.35	1.92
	3154	打製石鏃	066	G-22	VI	2.50	2.45	0.76	3.16
	3155	打製石鏃	AN	F-21	VI	2.71	2.33	0.58	2.90
	3156	打製石鏃	SH	K-14	VI	(2.83)	(2.13)	0.54	2.57
	3157	打製石鏃	AN	K-14	VI	3.08	2.87	0.70	4.69
	3158	打製石鏃	067	J-15	VI	2.71	2.31	0.70	2.80
	3159	打製石鏃	CH	K-15	VI	(3.02)	(2.15)	0.38	3.24
	3160	打製石鏃	AN	J-21	VI	3.19	(2.75)	0.85	5.15
	3161	打製石鏃	CH	K-15	VI	(3.28)	(2.34)	0.48	2.94
	3162	打製石鏃	064	D-19	VI	(2.77)	(1.37)	0.32	1.10
3163	打製石鏃	066	H-22	VI	(3.74)	(2.43)	0.92	4.18	
3164	打製石鏃	AN	J-20	VI	4.06	2.12	0.70	5.15	
3165	打製石鏃	CH	J-17	VI	(3.78)	(1.56)	0.60	3.28	
3166	打製石鏃	CH	K-16	VI	3.75	2.87	0.50	5.78	
3167	打製石鏃	0C3	K-17	VI	(1.40)	(1.28)	0.42	0.86	
3168	打製石鏃	061	H-22	VI	1.65	1.25	0.60	1.12	
3169	打製石鏃	068	E-24	VI	1.60	1.43	0.60	1.12	
3170	打製石鏃	CH	H-12	VI	(1.52)	1.50	0.61	1.17	
3171	打製石鏃	CH	E-24	VI	1.81	1.50	0.41	1.09	
3172	打製石鏃	063	E-21	VI	1.93	1.53	0.64	1.34	
3173	打製石鏃	067	F-13	VI	(1.60)	(1.78)	0.53	1.12	
3174	打製石鏃	AN	C-25	VI	(1.68)	1.94	0.48	1.39	
3175	打製石鏃	CH	K-17	VI F	1.96	1.82	0.57	2.08	
3176	打製石鏃	SH	F-24	VI	(1.65)	(1.40)	0.60	0.99	
3177	打製石鏃	066	H-20	VI	2.02	1.96	0.47	1.56	
3178	打製石鏃	066	H-21	VI	2.12	1.60	0.80	1.66	
3179	打製石鏃	CH	K-11	VI	2.05	1.95	0.90	3.27	
3180	打製石鏃	SH	F-19	VI	2.04	1.84	0.62	1.68	
3181	打製石鏃	CH	F-13	VI	2.18	1.80	0.45	2.43	
3182	打製石鏃	061	H-24	VI F	1.68	1.90	0.76	2.93	
3183	打製石鏃	065	K-10	VI	2.25	1.85	0.65	2.20	
3184	打製石鏃	AN	F-21	VI	2.27	1.98	0.88	3.21	
3185	打製石鏃	AN	H-21	VI	(2.30)	0.60	0.66	2.13	
3186	打製石鏃	063	G-21	VI	(2.35)	(1.30)	0.75	1.44	
3187	打製石鏃	SH	F-13	VI	(2.25)	(1.93)	1.05	3.19	
3188	打製石鏃	CH	H-22	VI	2.44	1.87	0.84	3.53	
3189	打製石鏃	SH	D-24	VI	2.14	(2.30)	0.97	2.67	
3190	打製石鏃	063	G-24	VI	(2.28)	(1.50)	0.80	1.70	
3191	打製石鏃	061	K-20	VI	(2.00)	1.97	1.35	5.15	
3192	打製石鏃	AN	H-17	VI上	(2.10)	1.55	0.65	2.47	
3193	打製石鏃	AN	F-21	VI	(2.38)	1.65	1.20	3.29	
3194	打製石鏃	AN	J-20	VI	(2.60)	1.63	0.88	2.79	
3195	打製石鏃	SH	J-22	VI	2.49	2.20	1.00	2.99	
3196	打製石鏃	AN	H-22	VI	(2.05)	(2.10)	0.70	2.89	
3197	打製石鏃	AN	J-22	VI	2.49	2.15	0.75	3.08	
3198	打製石鏃	CH	E-16	VI	2.61	1.94	0.85	4.24	
3199	打製石鏃	CH	E-18	VI	(2.43)	(2.10)	0.93	3.38	
3200	打製石鏃	CH	H-16	VI	2.58	2.08	0.69	3.31	
3201	打製石鏃	CH	D-18	VI	2.54	2.51	0.85	5.14	
3202	打製石鏃	AN	N-20	VI	2.68	2.13	1.19	4.51	

第 92 表 VI層出土石器觀察表 (18)

神田 番号	掲載 番号	器種	石材	出土土	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
547	3203	打製石鏃	SH	F-13	VI上	2.44	2.98	1.33	5.03
	3204	打製石鏃	AN	K-21	VI	(3.05)	1.68	0.97	3.84
	3205	打製石鏃	AN	G-24	VI	(2.75)	2.00	0.80	3.28
	3206	打製石鏃	AN	F-20	VI	(2.60)	(2.00)	0.85	4.20
	3207	打製石鏃	SH	G-22	VI	(1.75)	2.20	0.85	3.52
	3208	打製石鏃	CH	K-17	VI	(2.76)	(2.10)	0.80	4.40
	3209	打製石鏃	AN	F-21	VI	(2.87)	1.97	0.73	2.82
	3210	打製石鏃	SH	N-15	VI	2.96	2.27	0.85	4.27
	3211	打製石鏃	AN	K-21	VI	3.15	2.28	0.90	5.78
	3212	打製石鏃	SH	J-15	VI	3.20	2.37	0.89	5.63
	3213	打製石鏃	SH	E-20	VI	3.24	2.58	0.85	4.45
	3214	打製石鏃	CH	K-16	VI	3.30	2.30	0.90	5.64
	3215	打製石鏃	CH	H-20	VI	3.41	2.57	1.33	8.30
	3216	打製石鏃	CH	H-20	VI	3.66	2.62	1.30	9.63
	3217	打製石鏃	AN	G-22	VI	3.58	2.28	1.20	8.02
3218	打製石鏃	066	L-19	VI	3.25	2.48	1.03	6.33	
3219	打製石鏃	CH	L-14	VI	3.50	2.90	1.33	10.21	
3220	打製石鏃	AN	J-18	VI	3.82	2.80	0.90	8.23	
3221	打製石鏃	SH	K-13	VI	4.05	3.08	1.12	11.97	
3222	磨製石鏃	SH	E-15	VI	1.88	1.52	0.14	0.57	
3223	磨製石鏃	AN	F-23	VI	2.45	1.58	0.30	1.17	
3224	石鏃	AN	F-22	VI	(3.90)	2.00	0.69	6.04	
3225	石鏃	AN	F-24	VI	(6.25)	(3.60)	0.98	33.91	
3226	石鏃	SH	F-18	VI	(8.43)	4.20	0.76	36.86	
3227	石鏃	063	G-20	VI	2.50	1.30	0.89	2.15	
3228	石鏃	066	J-20	VI	2.50	1.72	0.67	1.52	
3229	石鏃	066	K-19	VI	2.03	2.16	0.49	1.53	
3230	石鏃	SH	H-19	VI	2.87	1.31	0.75	2.60	
3231	石鏃	AN	L-20	VI	3.10	1.52	0.72	2.96	
3232	石鏃	AN	F-20	VI	(3.43)	(1.77)	0.47	2.09	
3233	石鏃	AN	K-21	VI	4.21	1.80	1.08	5.17	
3234	小形両面加工石器	066	F-22	VI	1.80	1.12	0.45	0.68	
3235	小形両面加工石器	066	F-18	VI	2.31	1.52	0.87	2.42	
3236	小形両面加工石器	CR	F-21	VI	2.21	2.03	0.95	3.64	
3237	小形両面加工石器	CR	F-20	VI	2.10	1.19	0.75	2.69	
3238	小形両面加工石器	CH	K-17	VI	2.52	1.82	0.92	3.90	
3239	小形両面加工石器	AN	L-21	VI	2.80	2.00	0.83	4.31	
3240	小形両面加工石器	CH	G-16	VI	2.24	3.34	1.11	6.27	
3241	小形両面加工石器	AN	N-20	VI	2.30	2.49	1.05	5.69	
3242	小形両面加工石器	0C2	L-14	VI	2.56	3.48	1.08	11.41	
3243	小形両面加工石器	SH	F-24	VI	2.79	2.49	0.80	5.32	
3244	小形両面加工石器	SH	G-21	VI	3.33	3.62	1.33	16.92	
3245	小形両面加工石器	SH	G-16	VI	3.25	3.49	0.90	7.41	
3246	小形両面加工石器	SH	H-16	VI	3.95	3.50	1.54	18.97	
3247	石鏃	SH	G-13	VI上	1.86	1.88	0.59	0.93	
3248	石鏃	AN	F-23	VI	2.03	1.18	0.48	1.00	
3249	石鏃	AN	F-23	VI	(2.30)	2.00	0.40	1.93	
3250	石鏃	AN	F-20	VI	2.40	2.25	0.67	3.63	
3251	石鏃	AN	K-22	VI	2.97	0.94	0.64	2.95	
3252	石鏃	AN	H-21	VI	3.63	2.73	0.52	5.36	
3253	石鏃	AN	G-14	VI	(3.30)	2.17	0.86	6.41	
3254	石鏃	0C1	F-14	VI	3.68	2.89	0.90	5.24	
3255	石鏃	CH	F-21	VI	4.16	1.77	0.50	2.79	
3256	石鏃	AN	H-18	VI	(4.11)	(2.00)	0.68	3.81	
3257	石鏃	CH	G-22	VI	4.13	2.06	0.88	6.10	

第 93 表 VI層出土石器觀察表 (19)

検出 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
551	3258	石匙	CH	M-13	VI	4.36	3.33	1.03	11.57
	3259	石匙	AN	F-16	VI	5.30	2.73	0.93	10.69
	3260	石匙	CH	J-16	VI	4.36	3.28	0.89	7.28
	3261	石匙	AN	J-15	VI	(5.51)	3.42	0.50	5.83
552	3262	石匙	AN	H-22	VI	(5.56)	3.72	0.93	21.18
	3263	石匙	AN	K-11	VI	6.70	3.66	1.36	25.98
	3264	石匙	HF	C-25	VI	6.64	3.39	0.92	16.95
	3265	石匙	087	F-14	VI	(6.90)	4.01	1.41	22.76
553	3266	石匙	SH	I-10	VI	7.12	5.28	0.49	15.66
	3267	石匙	AN	J-21	VI	2.19	1.20	0.80	5.68
	3268	石匙	AN	N-19	VI上	2.79	(5.60)	0.66	6.52
	3269	石匙	AN	E-22	VI	2.19	(5.90)	0.80	6.47
554	3270	石匙	AN	G-21	VI	3.32	7.20	0.70	11.47
	3271	石匙	AN	D-17	VI	2.70	8.00	0.68	9.10
	3272	石匙	AN	I-21	VI	3.10	8.20	0.80	15.53
	3273	石匙	AN	H-16	VI	3.48	9.07	1.25	22.95
555	3274	石匙	AN	D-18	VI	3.50	(9.22)	1.10	22.73
	3275	石匙	AN	H-16	VI	6.67	(8.60)	1.52	42.39
	3276	石匙	CH	J-12	VI	4.02	7.58	0.97	19.69
	3277	石匙	AN	J-18	VI	2.95	5.35	0.80	5.86
556	3278	石匙	AN	L-20	VI	4.83	(6.20)	0.90	17.47
	3279	石匙	AN	H-17	VI	6.88	9.11	1.03	44.64
	3280	石匙	086	I-24	VI	2.65	2.69	0.71	3.82
	3281	石匙	AN	I-21	VI	3.10	3.60	0.50	5.72
557	3282	石匙	CH	E-22	VI	3.00	5.10	0.76	9.65
	3283	石匙	CH	H-16	VI	3.46	3.12	0.89	7.17
	3284	石匙	OC3	H-17	VI	3.43	3.74	0.98	9.10
	3285	石匙	AN	E-23	VI	2.98	4.10	0.82	7.45
558	3286	石匙	CH	E-24	VI	3.25	(3.33)	0.97	8.22
	3287	石匙	CH	G-18	VI	4.24	4.32	0.88	13.02
	3288	石匙	AN	K-22	VI上	3.77	3.89	0.97	9.12
	3289	石匙	AN	G-22	VI	4.05	4.20	0.85	13.06
559	3290	石匙	AN	E-22	VI	4.42	(4.62)	0.63	12.19
	3291	石匙	AN	F-19	VI	4.79	(4.40)	0.85	14.81
	3292	石匙	AN	L-9	VI F	3.86	(4.67)	1.05	16.01
	3293	石匙	HF	I-8	VI	3.60	5.50	1.00	13.47
560	3294	石匙	SH	G-17	VI	4.62	5.02	0.84	14.79
	3295	石匙	CH	E-19	VI	4.93	4.98	1.13	21.90
	3296	石匙	087	J-18	VI	5.10	5.36	1.29	32.12
	3297	石匙	SH	I-21	VI	(4.90)	7.28	0.95	28.08
561	3298	石匙	AN	F-21	VI	5.14	7.59	1.73	51.95
	3299	石匙	AN	L-19	VI	2.70	5.30	0.80	7.51
	3300	石匙	AN	N-18	VI	3.73	(6.07)	1.29	21.02
	3301	石匙	AN	G-22	VI	4.62	(6.70)	1.42	35.26
562	3302	石匙	AN	I-19	VI	4.48	(7.55)	1.01	22.12
	3303	石匙	SH	J-15	VI	3.46	(6.20)	0.68	15.35
	3304	石匙	CH	G-20	VI	4.85	6.51	1.44	31.11
	3305	石匙	AN	E-22	VI	4.45	(7.07)	0.90	20.67
563	3306	石匙	AN	G-15	VI	5.57	(8.12)	0.86	28.03
	3307	石匙	CL	K-11	VI	6.62	10.92	1.37	66.31
	3308	石匙	AN	I-12	VI	(5.33)	(2.86)	0.95	7.64
	3309	石匙	CH	I-20	VI	(2.50)	(1.90)	0.80	3.32
564	3310	石匙	AN	E-23	VI	2.16	(5.05)	0.93	9.00
	3311	石匙	AN	I-20	VI	(1.30)	2.60	0.52	1.77
	3312	石匙	AN	I-21	VI	2.30	4.68	0.93	6.74

第 94 表 VI層出土石器觀察表 (20)

検出 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
565	3313	削器	HF	M-17	VI	2.74	0.93	0.53	2.33
	3314	削器	SH	H-18	VI上	3.11	1.14	0.73	2.03
	3315	削器	CH	I-21	VI上	2.07	1.59	0.54	0.95
	3316	削器	CH	M-18	VI	1.63	2.68	0.55	2.12
566	3317	削器	081	K-22	VI	0.90	2.40	0.57	0.98
	3318	削器	AN	J-23	VI	1.53	(3.92)	0.53	1.68
	3319	削器	AN	L-19	VI	(1.00)	(2.60)	0.53	1.65
	3320	削器	AN	I-21	VI	1.67	3.67	0.57	2.43
567	3321	削器	CH	I-23	VI上	1.92	4.04	0.89	4.81
	3322	削器	HF	L-18	VI	2.41	(4.38)	0.70	6.17
	3323	削器	AN	H-15	VI	3.96	(4.51)	1.10	13.39
	3324	削器	CH	G-15	VI	4.77	2.75	1.09	14.04
568	3325	削器	OC2	G-22	VI	3.38	4.18	1.15	15.83
	3326	削器	082	F-20	VI	3.30	3.53	1.30	16.88
	3327	削器	086	F-17	VI	3.15	6.08	0.85	15.82
	3328	削器	AN	G-11	VI	3.90	7.30	0.85	17.27
569	3329	削器	HF	I-20	VI	3.98	6.80	1.15	31.43
	3330	削器	AN	D-21	VI	3.38	(7.07)	1.78	40.21
	3331	削器	AN	H-16	VI F	3.02	4.93	1.56	16.91
	3332	削器	AN	F-23	VI	3.54	6.45	1.13	22.63
570	3333	削器	AN	L-21	VI	3.43	6.68	1.00	26.60
	3334	削器	AN	H-23	VI	4.00	6.53	1.28	26.06
	3335	削器	AN	L-17	VI	(12.61)	(4.85)	1.88	99.40
	3336	削器	AN	F-22	VI	4.90	10.94	1.90	60.55
571	3337	削器	AN	I-20	VI	1.35	1.05	0.45	0.55
	3338	削器	086	E-22	VI	1.85	1.60	0.55	1.50
	3339	鑿器	087	F-22	VI	2.00	1.38	0.66	1.67
	3340	鑿器	CH	I-16	VI	(2.50)	(2.80)	0.65	5.75
572	3341	ツマミ状石器	088	G-22	VI	1.93	1.00	0.70	1.54
	3342	鋸器	SH	K-16	VI	5.08	1.78	1.28	7.12
	3343	へら状石器	CH	I-21	VI	3.32	2.30	1.29	8.86
	3344	へら状石器	CH	J-15	VI	4.49	2.68	1.30	15.61
573	3345	へら状石器	AN	J-21	VI	6.48	3.18	1.36	32.44
	3346	へら状石器	HF	E-20	VI	5.20	3.05	0.57	12.26
	3347	へら状石器	AN	K-16	VI	6.92	4.22	1.36	42.24
	3348	楔形石器	AN	K-19	VI	2.00	1.28	0.46	1.11
574	3349	楔形石器	084	H-22	VI	1.77	1.10	1.02	1.66
	3350	楔形石器	083	E-20	VI	2.58	1.07	0.99	2.08
	3351	楔形石器	AN	G-19	VI	2.63	1.14	0.66	2.69
	3352	楔形石器	086	H-17	VI	2.85	1.27	1.15	3.63
575	3353	楔形石器	AN	K-19	VI	3.45	1.50	0.95	4.84
	3354	楔形石器	083	H-17	VI	2.00	2.18	0.67	2.80
	3355	楔形石器	CH	F-20	VI	2.98	2.28	1.10	6.92
	3356	楔形石器	081	D-21	VI	2.70	2.00	1.10	6.10
576	3357	楔形石器	CH	F-24	VI	2.43	2.01	0.90	4.14
	3358	楔形石器	AN	L-20	VI	3.30	2.30	0.90	7.01
	3359	楔形石器	081	J-17	VI	2.95	2.55	1.40	8.31
	3360	楔形石器	AN	E-22	VI	3.00	2.25	1.35	8.62
577	3361	楔形石器	CH	L-15	VI	3.02	2.67	1.12	9.15
	3362	楔形石器	086	K-22	VI	3.51	2.30	1.37	8.94
	3363	二次加工剥片	CH	I-18	VI	1.22	1.00	0.40	0.45
	3364	二次加工剥片	086	F-16	VI	(3.00)	1.30	0.27	0.58
578	3365	二次加工剥片	086	K-18	VI	1.65	1.20	0.45	0.92
	3366	二次加工剥片	AN	G-21	VI	1.91	1.34	0.34	0.98
	3367	二次加工剥片	AN	H-19	VI	1.78	1.35	0.46	1.90

第 95 表 VI層出土石器觀察表 (21)

神戶 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
508	3368	二次加工剥片	AN	F-20	VI	1.80	1.60	0.70	1.35
	3369	二次加工剥片	082	F-21	VI	1.85	1.80	0.65	2.14
	3370	二次加工剥片	083	F-22	VI	2.19	1.15	1.05	2.27
	3371	二次加工剥片	083	G-19	VI	2.10	1.20	0.75	1.86
	3372	二次加工剥片	082	F-22	VI	2.05	1.40	0.80	1.93
	3373	二次加工剥片	082	F-20	VI	2.00	1.60	0.70	1.72
	3374	二次加工剥片	CH	N-19	VI	(1.75)	(1.30)	0.55	0.94
	3375	二次加工剥片	083	F-22	VI	1.45	2.05	0.70	1.68
	3376	二次加工剥片	087	F-18	VI	1.90	1.50	0.60	1.31
	3377	二次加工剥片	AN	F-21	VI	1.83	1.93	0.58	1.62
	3378	二次加工剥片	AN	G-21	VI	(1.85)	(1.80)	0.20	0.88
	3379	二次加工剥片	086	G-18	VI	(1.25)	(1.80)	0.35	0.92
	3380	二次加工剥片	AN	E-23	VI	(1.20)	(1.57)	0.49	1.14
	3381	二次加工剥片	086	L-10	VI上	1.80	1.70	0.45	1.30
	3382	二次加工剥片	AN	N-17	VI	(1.62)	(1.70)	0.42	1.12
	3383	二次加工剥片	081	K-17	VI	(1.38)	(1.94)	0.47	1.65
	3384	二次加工剥片	086	G-21	VI	2.20	2.10	0.47	0.94
	3385	二次加工剥片	AN	N-17	VI	(1.21)	(1.77)	0.80	3.40
	3386	二次加工剥片	086	F-22	VI	(1.04)	(1.52)	0.40	0.94
	3387	二次加工剥片	087	G-20	VI	1.25	(1.20)	0.50	1.02
	3388	二次加工剥片	AN	F-21	VI	(1.15)	2.10	0.60	2.18
	3389	二次加工剥片	AN	H-21	VI	2.20	2.14	0.66	3.00
	3390	二次加工剥片	AN	N-18	VI	2.24	1.45	0.55	1.94
	3391	二次加工剥片	AN	J-21	VI	(1.03)	(1.53)	0.60	2.27
	3392	二次加工剥片	AN	F-21	VI	(1.96)	1.31	0.41	2.64
	3393	二次加工剥片	085	J-22	VI	2.66	2.28	0.63	3.94
	3394	二次加工剥片	AN	J-20	VI	2.22	2.61	0.48	2.03
	3395	二次加工剥片	087	K-18	VI	2.35	2.35	0.50	2.97
	3396	二次加工剥片	AN	K-20	VI	(1.53)	(1.00)	0.35	0.90
	3397	二次加工剥片	CH	F-23	VI	2.50	1.90	0.36	1.20
	3398	二次加工剥片	082	J-21	VI	2.78	1.75	0.76	2.71
	3399	二次加工剥片	AN	E-23	VI	3.38	1.66	0.59	3.18
	3400	二次加工剥片	AN	H-20	VI	2.90	1.33	0.65	2.72
	3401	二次加工剥片	CH	K-20	VI	2.80	1.60	0.60	3.03
	3402	二次加工剥片	SH	N-16	VI	2.18	1.62	0.65	1.75
3403	二次加工剥片	087	G-19	VI	2.40	1.90	0.80	3.00	
3404	二次加工剥片	088	F-21	VI	2.60	1.90	0.47	1.53	
3405	二次加工剥片	CH	M-21	VI上	2.35	1.85	0.30	1.48	
3406	二次加工剥片	SH	K-16	VI	2.44	1.63	0.66	2.89	
3407	二次加工剥片	AN	K-19	VI	2.32	1.76	0.73	3.47	
3408	二次加工剥片	086	K-12	VI	(1.30)	(1.63)	0.35	1.03	
3409	二次加工剥片	AN	F-19	VI	3.06	1.72	1.25	6.98	
3410	二次加工剥片	AN	F-17	VI	2.66	3.10	0.83	5.30	
3411	二次加工剥片	AN	H-21	VI	2.75	2.30	1.20	7.11	
3412	二次加工剥片	HF	F-24	VI	3.13	2.08	0.73	3.30	
3413	二次加工剥片	086	F-23	VI	2.19	3.55	1.10	6.00	
3414	二次加工剥片	081	F-17	VI	2.40	3.30	0.94	7.96	
3415	二次加工剥片	086	F-21	VI	2.35	4.15	1.00	9.00	
3416	二次加工剥片	AN	L-20	VI	2.82	2.33	0.95	5.89	
3417	二次加工剥片	AN	H-23	VI	(1.96)	(1.90)	0.95	5.75	
3418	二次加工剥片	CH	F-18	VI	1.95	3.05	0.45	3.42	
3419	二次加工剥片	086	F-23	VI	2.30	2.76	1.16	5.48	
3420	二次加工剥片	AN	F-21	VI	3.06	2.23	0.76	4.00	
3421	二次加工剥片	AN	F-13	VI F	(1.83)	(1.62)	1.06	5.03	
3422	二次加工剥片	CH	H-24	VI	(1.74)	(1.02)	0.82	6.84	

第 96 表 VI層出土石器觀察表 (22)

神戶 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
570	3423	二次加工剥片	AN	G-22	VI	4.10	1.23	0.60	2.18
	3424	二次加工剥片	AN	F-22	VI	(3.40)	(1.20)	1.25	7.63
	3425	二次加工剥片	CH	K-16	VI	2.60	3.00	0.95	6.68
	3426	二次加工剥片	AN	H-21	VI	3.12	2.80	1.00	6.35
	3427	二次加工剥片	CH	F-19	VI	2.75	2.92	1.30	9.37
	3428	二次加工剥片	AN	F-21	VI	2.97	2.15	0.68	5.66
	3429	二次加工剥片	AN	F-18	VI	(2.76)	(3.03)	0.80	5.18
	3430	二次加工剥片	087	D-18	VI	2.82	2.92	0.94	5.47
	3431	二次加工剥片	AN	F-16	VI	(3.13)	(3.88)	0.82	6.15
	3432	二次加工剥片	CH	F-23	VI	(3.37)	(3.46)	1.00	10.56
	3433	二次加工剥片	AN	F-21	VI	2.88	2.53	1.00	4.97
	3434	二次加工剥片	AN	J-20	VI	3.95	2.50	1.20	9.28
	3435	二次加工剥片	CH	N-13	VI	3.84	2.81	1.20	11.25
	3436	二次加工剥片	SH	N-21	VI F	(3.80)	(1.63)	0.61	5.99
	3437	二次加工剥片	CH	K-16	VI	3.67	3.21	1.52	18.04
	3438	二次加工剥片	022	J-15	VI	3.62	2.69	1.35	12.46
	3439	二次加工剥片	CH	G-21	VI	3.00	4.85	1.30	15.19
	3440	二次加工剥片	AN	L-20	VI	(3.90)	(3.56)	0.93	14.23
	3441	二次加工剥片	SH	K-21	VI	3.02	3.60	1.40	14.92
	3442	二次加工剥片	CH	H-7	VI F	3.36	5.20	1.10	17.60
	3443	二次加工剥片	AN	F-20	VI	5.22	2.18	0.97	10.95
	3444	二次加工剥片	AN	G-22	VI	4.45	3.37	1.56	20.90
	3445	二次加工剥片	AN	J-22	VI	5.05	4.00	1.25	25.53
	3446	二次加工剥片	HF	K-19	VI	7.28	4.13	2.02	56.47
	3447	二次加工剥片	CH	H-4	VI上	(6.00)	(5.50)	1.70	78.16
	3448	二次加工剥片	SH	J-15	VI	4.23	3.11	1.42	21.36
	3449	二次加工剥片	SH	F-22	VI	6.32	2.56	1.37	22.89
	3450	二次加工剥片	SH	F-17	VI	10.82	3.46	1.63	57.92
	3451	二次加工剥片	CH	F-19	VI	6.84	(7.10)	1.50	46.78
	3452	二次加工剥片	AN	G-21	VI	(4.03)	2.69	1.18	12.16
	3453	二次加工剥片	AN	G-18	VI	5.15	3.85	1.05	20.43
	3454	二次加工剥片	AN	F-20	VI	6.06	8.07	2.70	104.75
	3455	二次加工剥片	AN	F-22	VI	6.93	7.46	1.85	95.09
	3456	確認	AN	J-16	VI	(8.40)	(4.00)	1.90	71.48
	3457	確認	AN	F-24	VI	8.87	(7.60)	1.91	134.90
3458	確認	AN	F-16	VI	9.92	7.52	3.94	301.17	
3459	確認	AN	H-18	VI	10.73	7.68	2.45	233.63	
3460	確認	SH	G-19	VI	13.60	3.92	3.10	178.80	
3461	確認	HF	F-17	VI	8.20	10.98	3.63	343.42	
3462	確認	SA	H-23	VI	9.28	13.30	4.23	457.00	
3463	確認	SA	G-21	VI	11.84	8.78	3.48	383.23	
3464	確認	HF	F-14	VI	12.14	8.92	3.46	415.40	
3465	確認	SA	F-23	VI	11.85	9.97	2.43	335.00	
3466	確認	SA	H-17	VI	8.50	13.08	3.36	413.87	
3467	確認	HF	H-20	VI	14.60	8.02	3.30	440.00	
3468	確認	HF	J-20	VI	12.46	10.90	4.50	828.00	
3469	確認	HF	F-22	VI	15.14	11.55	2.70	462.50	
3470	石核類	084	H-23	VI	1.45	1.05	1.00	1.61	
3471	石核類	081	G-23	VI	1.65	1.20	1.55	3.25	
3472	石核類	084	L-13	VI	2.70	1.75	1.15	2.38	
3473	石核類	082	J-18	VI	2.50	2.65	2.20	8.76	
3474	石核類	CH	F-19	VI	1.80	1.80	1.75	5.45	
3475	石核類	083	H-22	VI	2.08	2.60	1.50	7.85	
3476	石核類	083	F-22	VI	1.25	2.05	1.40	4.76	
3477	石核類	086	L-20	VI	2.50	2.20	1.60	8.35	

第 97 表 VI層出土石器觀察表 (23)

標頭 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
S76	3478	石核類	OR3	E-24	VI	2.35	2.60	2.40	17.53
	3479	石核類	SH	J-17	VI	2.32	2.23	1.98	6.39
	3480	石核類	OR6	F-21	VI	2.35	3.69	1.60	10.36
	3481	石核類	OR1	L-10	VI	2.50	2.80	4.70	26.37
S77	3482	石核類	SH	J-18	VI	2.57	3.11	1.89	12.06
	3483	石核類	AN	H-20	VI	3.04	3.08	2.07	14.38
	3484	石核類	SH	M-20	VI	3.72	3.36	2.07	24.54
	3485	石核類	AN	F-21	VI	3.43	4.83	1.70	19.68
S78	3486	石核類	OR5	D-21	VI	3.18	5.98	3.53	62.77
	3487	石核類	OR2	L-20	VI	5.19	5.60	2.40	52.80
	3488	石核類	SH	L-12	VI	3.38	2.83	2.52	22.81
	3489	石核類	OR1	L-19	VI	4.65	4.80	4.10	103.0
S79	3490	石核類	OR6	F-22	VI	7.26	9.27	3.30	164.8
	3491	石核類	OR6	J-16	VI	7.60	5.80	7.10	234.0
	3492	石核類	SA	E-4	VI	16.86	12.12	3.80	534.0
	3493	石核類	HF	F-24	VI	10.92	12.58	3.06	378.0
	3494	磨製石斧	HF	G-22	VI	2.50	1.50	0.40	2.00
	3495	磨製石斧	SH	M-19	VI F	4.80	3.00	0.90	15.86
	3496	磨製石斧	HF	F-21	VI	5.45	2.80	0.85	16.06
	3497	磨製石斧	HF	D-21	VI	(8.32)	2.47	0.90	28.50
	3498	磨製石斧	HF	K-17	VI	8.30	2.88	0.97	32.13
	3499	磨製石斧	SH	N-18	VI	7.95	4.50	1.90	85.70
	3500	磨製石斧	総取込	D-25	VI F	7.40	4.20	1.30	63.45
	3501	磨製石斧	HF	F-15	VI	7.70	4.20	1.10	37.00
	3502	磨製石斧	HF	K-18	VI	7.60	5.10	1.70	87.88
	3503	磨製石斧	HF	J-18	VI	8.73	4.32	1.97	89.38
	3504	磨製石斧	HF	N-17	VI	9.10	4.50	2.00	93.19
	3505	磨製石斧	SA	M-16	VI F	9.60	6.40	2.00	169.70
3506	磨製石斧	HF	L-22	VI	16.92	7.73	1.68	129.97	
3507	磨製石斧	HF	M-16	VI F	10.60	5.30	2.20	132.65	
3508	磨製石斧	SH	K-19	VI	9.90	6.00	2.00	191.76	
3509	磨製石斧	HF	J-15	VI	9.90	6.20	2.10	187.75	
3510	磨製石斧	HF	K-20	VI	9.40	7.40	2.10	164.90	
3511	磨製石斧	HF	F-22	VI	10.80	6.13	1.10	198.90	
3512	磨製石斧	HF	F-21	VI	11.36	7.38	2.58	271.50	
S80	3513	打製石斧	HF	H-19	VI	6.49	3.60	0.92	27.65
	3514	打製石斧	HF	M-16	VI F	8.01	5.08	1.48	97.86
	3515	打製石斧	HF	L-16	VI	9.19	4.53	3.27	58.66
	3516	打製石斧	HF	F-24	VI	8.70	5.50	1.88	111.1
	3517	打製石斧	AN	L-13	VI	18.10	8.40	2.70	597.0
	3518	打製石斧	SH	G-22	VI	18.80	11.30	2.80	732.0
S81	3519	石皿	TU	K-17	VI	43.50	33.70	8.55	14,750
	3520	石皿	TU	L-4	VI	28.80	32.10	7.35	4,800
	3521	石皿	GR	H-6	VI	(28.00)	(15.80)	4.20	3,790
S82	3522	石皿	TU	F-11	VI	(40.80)	(31.70)	6.75	7,100
	3523	石皿	TU	J-14	VI	(28.50)	(28.30)	7.10	7,400
	3524	石皿	TU	G-7	VI	28.20	(25.40)	14.75	13,500
S83	3525	石皿	TU	G-18	VI	24.90	(22.30)	8.50	4,150
	3526	石皿	TU	F-12	VI	40.20	32.60	13.50	11,350
	3527	石皿	TU	D-22	VI	34.30	(28.80)	8.20	6,300
S84	3528	石皿	TU	J-20	VI	(19.10)	(18.80)	7.70	4,500
	3529	石皿	TU	M-17	VI F	21.90	17.00	5.15	2,820
	3530	石皿	TU	H-3	VI	(12.50)	(13.10)	6.35	1,420
	3531	石皿	TU	M-19	VI上	(16.70)	12.00	10.10	2,460
	3532	石皿	SA	L-15	VI	(22.40)	(18.30)	7.35	2,920

第 98 表 VI層出土石器觀察表 (24)

標頭 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
S84	3533	石皿	GR	F-3	VI	19.50	(17.10)	6.55	3,950
	3534	石皿	GR	G-10	VI	(16.40)	(15.80)	5.80	2,570
	3535	石皿	GR	K-11	VI	(17.70)	(18.80)	5.60	3,015
	3536	石皿	TU	G-22	VI	27.40	23.70	8.95	7,950
S85	3537	砥石	GR	H-19	VI	6.10	7.30	4.86	212.0
	3538	砥石	SA	D-22	VI	6.94	(8.10)	3.68	222.0
	3539	砥石	SA	F-21	VI	7.60	(6.23)	3.88	213.0
	3540	砥石	SA	E-24	VI	6.64	6.05	1.10	115.4
S86	3541	石錐	SA	J-14	VI	(6.10)	(5.20)	1.50	53.44
	3542	石錐	SA	D-17	VI	4.47	7.10	1.38	50.77
	3543	石錐	SA	E-18	VI	5.67	6.40	0.18	91.15
	3544	砥石	AN	G-4	VI	4.30	3.40	1.90	29.20
	3545	砥石	SH	L-17	VI	4.90	3.60	1.90	44.00
	3546	砥石	AN	L-13	VI	5.20	4.40	3.50	116.0
	3547	砥石	AN	H-21	VI	5.40	4.70	3.80	134.5
	3548	砥石	AN	L-20	VI	6.30	5.20	3.30	134.0
	3549	砥石	AN	N-18	VI	5.50	5.20	3.80	122.0
	3550	砥石	AN	L-17	VI b	8.90	6.00	3.85	289.0
	3551	砥石	AN	L-21	VI	8.00	6.60	5.70	434.0
	3552	砥石	HF	F-15	VI	11.95	6.75	3.65	380.0
	3553	砥石	AN	J-21	VI	9.35	8.25	4.30	455.0
	3554	砥石	AN	F-23	VI	11.30	8.70	6.90	1049
	3555	砥石	AN	L-16	VI	12.90	11.60	5.70	1283
	3556	砥石	SA	K-20	VI	6.80	3.20	2.50	83.55
3557	砥石	SA	F-24	VI	7.10	3.30	2.50	86.70	
S87	3558	砥石	SA	F-16	VI	9.30	3.50	3.20	176.0
	3559	砥石	SA	E-23	VI	7.70	2.70	2.60	80.65
	3560	砥石	SA	J-14	VI	16.30	6.00	5.20	865.5
	3561	磨・砥石	AN	F-24	VI	4.15	3.75	139.00	44.50
	3562	磨・砥石	AN	L-22	VI	3.95	3.60	3.10	62.90
	3563	磨・砥石	AN	M-18	VI	4.25	(3.75)	3.40	72.80
	3564	磨・砥石	AN	L-22	VI	4.40	3.80	3.10	69.00
	3565	磨・砥石	AN	E-16	VI	3.90	3.40	2.60	51.00
	3566	磨・砥石	AN	D-25	VI	3.60	3.30	3.90	47.00
	3567	磨・砥石	AN	L-19	VI	4.40	3.90	2.90	72.00
	3568	磨・砥石	AN	D-22	VI	5.30	4.90	3.70	139.5
	3569	磨・砥石	AN	H-21	VI	5.40	5.10	3.50	132.0
	3570	磨・砥石	SA	G-17	VI	5.30	4.90	3.70	132.0
	3571	磨・砥石	SA	M-20	VI	6.00	5.50	4.90	190.0
	3572	磨・砥石	AN	L-17	VI	(6.65)	5.80	3.95	198.0
	3573	磨・砥石	AN	H-14	VI F	6.30	5.30	3.70	195.5
3574	磨・砥石	AN	L-23	VI F	6.90	4.20	3.80	148.0	
3575	磨・砥石	AN	D-22	VI	6.50	5.70	5.30	283.0	
3576	磨・砥石	AN	L-19	VI	7.15	6.40	4.25	222.0	
3577	磨・砥石	AN	L-14	VI	7.20	5.95	4.30	243.5	
3578	磨・砥石	AN	L-21	VI	7.50	5.20	3.70	199.0	
3579	磨・砥石	SA	D-25	VI	8.20	4.50	2.70	148.4	
S89	3580	磨・砥石	AN	N-21	VI F	7.30	6.70	3.20	254.0
	3581	磨・砥石	AN	K-19	VI	7.20	6.40	4.30	290.0
	3582	磨・砥石	AN	N-21	VI F	6.70	6.20	4.90	231.0
	3583	磨・砥石	AN	E-24	VI	7.90	5.55	4.40	245.0
	3584	磨・砥石	AN	G-24	VI F	7.10	6.40	4.90	265.0
	3585	磨・砥石	AN	J-18	VI	7.30	6.00	3.70	234.5
	3586	磨・砥石	AN	L-16	VI	8.10	5.60	3.70	245.5
	3587	磨・砥石	AN	K-11	VI	6.80	5.30	4.20	239.0

第 99 表 VI層出土石器観察表 (25)

採出 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
589	3588	磨・礫石	AN	J-18	VI	7.65	6.00	3.25	199.5
	3589	磨・礫石	SA	D-24	VI	7.80	6.10	3.20	195.0
	3590	磨・礫石	SA	F-23	VI	8.10	6.40	4.40	310.0
	3591	磨・礫石	AN	E-23	VI	7.40	7.20	4.30	340.0
	3592	磨・礫石	AN	R-15	VI	7.50	6.60	3.90	259.0
	3593	磨・礫石	AN	F-17	VI	8.70	7.50	4.20	476.5
	3594	磨・礫石	SA	L-22	VI	9.05	7.80	4.90	523.0
	3595	磨・礫石	AN	J-22	VI F	8.25	7.50	5.30	477.0
	3596	磨・礫石	AN	E-24	VI	8.40	6.95	3.30	263.0
	3597	磨・礫石	SA	K-19	VI	7.90	5.60	4.80	310.0
590	3598	磨・礫石	AN	E-17	VI	7.10	7.00	4.50	328.0
	3599	磨・礫石	AN	B-21	VI	8.30	6.80	5.60	397.0
	3600	磨・礫石	AN	I-21	VI	8.83	6.94	4.65	379.0
	3601	磨・礫石	AN	G-12	VI	8.40	6.60	3.30	289.0
	3602	磨・礫石	AN	G-22	VI	8.90	7.30	4.00	372.0
	3603	磨・礫石	TL	G-23	VI	7.90	8.50	5.10	487.0
	3604	磨・礫石	AN	E-23	VI	8.50	6.70	3.60	286.0
	3605	磨・礫石	AN	J-15	VI	9.00	8.60	4.65	520.0
	3606	磨・礫石	AN	K-22	VI F	9.00	8.70	3.90	520.0
	3607	磨・礫石	AN	L-20	VI	9.30	8.20	4.90	520.0
591	3608	磨・礫石	AN	E-24	VI	8.60	8.90	4.60	545.0
	3609	磨・礫石	AN	J-20	VI	9.80	8.80	5.70	726.0
	3610	磨・礫石	SA	K-12	VI	8.60	7.20	5.60	430.0
	3611	磨・礫石	SA	E-23	VI	9.90	8.20	3.30	443.0
	3612	磨・礫石	AN	G-20	VI	9.45	8.45	4.95	646.0
	3613	磨・礫石	AN	F-3	VI	10.80	8.30	5.30	686.0
	3614	磨・礫石	AN	J-20	VI	9.90	8.30	4.70	639.0
	3615	磨・礫石	SA	I-17	VI	9.40	8.50	5.65	799.0
	3616	磨・礫石	AN	F-18	VI	10.30	8.10	5.60	646.0
	3617	磨・礫石	GR	F-16	VI	10.70	7.90	6.00	570.0
592	3618	磨・礫石	AN	J-14	VI	10.25	10.25	4.65	620.0
	3619	磨・礫石	AN	E-22	VI	10.30	8.70	5.00	772.0
	3620	磨・礫石	AN	J-22	VI	9.40	8.30	4.30	529.0
	3621	磨・礫石	AN	R-18	VI	10.90	8.00	3.90	553.0
	3622	磨・礫石	AN	H-20	VI	10.55	8.67	4.78	579.0
	3623	磨・礫石	AN	F-10	VI	10.50	7.48	4.29	769.0
	3624	磨・礫石	AN	E-21	VI	10.80	8.80	5.65	775.0
	3625	磨・礫石	GR	K-19	VI	11.10	9.10	5.90	835.0
	3626	磨・礫石	SA	L-16	VI	10.95	8.50	6.20	779.0
	3627	磨・礫石	AN	L-16	VI	13.70	10.80	5.00	836.0
593	3628	磨・礫石	SA	J-15	VI	15.20	7.60	5.80	838.0
	3629	磨・礫石	AN	E-19	VI	11.70	7.40	4.40	863.0
	3630	磨・礫石	AN	F-23	VI	7.90	10.20	10.70	671.0
	3631	磨石	AN	K-22	VI	2.65	2.25	1.80	15.00
	3632	磨石	AN	J-18	VI	4.60	2.90	2.30	44.50
	3633	磨石	AN	F-22	VI	4.85	4.80	2.25	78.50
	3634	磨石	AN	B-23	VI	5.40	4.90	3.20	121.4
	3635	磨石	AN	E-21	VI	5.70	5.10	4.35	187.0
	3636	磨石	AN	J-18	VI	5.90	5.50	3.80	73.50
	3637	磨石	AN	D-17	VI	6.50	6.00	4.35	245.5
594	3638	磨石	AN	R-18	VI	7.10	5.80	2.20	128.0
	3639	磨石	AN	J-18	VI	6.90	6.70	4.90	384.0
	3640	磨石	AN	J-22	VI	7.25	7.55	4.10	297.0
	3641	磨石	AN	K-21	VI	7.10	6.70	4.80	321.0
	3642	磨石	AN	K-16	VI	7.50	6.30	5.05	300.0
	3643	磨石	AN	I-22	VI	7.70	6.30	4.30	283.0
	3644	磨石	AN	R-20	VI F	8.00	7.10	5.50	435.0
	3645	磨石	AN	R-11	VI	8.10	6.40	5.55	430.0
	3646	磨石	AN	L-21	VI F	8.40	6.50	6.45	360.0

第 100 表 VI層出土石器観察表 (26)

採出 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
595	3647	磨石	AN	B-19	VI F	9.10	5.00	3.80	256.0
	3648	磨石	SA	L-18	VI	7.75	7.35	4.35	370.0
	3649	磨石	AN	G-4	VI	8.20	7.50	5.20	390.0
	3650	磨石	SA	I-21	VI	8.40	8.30	2.20	191.0
	3651	磨石	AN	R-13	VI	8.90	7.80	3.20	312.0
	3652	磨石	AN	F-17	VI	8.20	7.90	5.60	409.0
	3653	磨石	AN	J-20	VI	8.45	7.50	5.85	488.0
	3654	磨石	AN	J-18	VI	9.20	6.80	4.25	337.0
	3655	磨石	AN	L-15	VI	8.60	6.35	5.55	414.0
	3656	磨石	AN	R-21	VI F	8.40	7.20	4.25	388.0
596	3657	磨石	AN	R-17	VI	8.75	8.60	5.60	498.0
	3658	磨石	AN	J-14	VI	9.20	7.70	5.30	497.0
	3659	磨石	AN	D-24	VI	9.05	7.30	4.25	500.0
	3660	磨石	AN	L-22	VI	9.70	7.90	4.40	483.0
	3661	磨石	TL	G-23	VI	9.00	7.00	4.20	310.0
	3662	磨石	AN	B-23	VI	8.30	7.30	4.80	443.0
	3663	磨石	AN	I-19	VI	8.25	7.85	5.55	409.0
	3664	磨石	AN	B-21	VI	8.60	7.80	4.80	462.0
	3665	磨石	AN	J-20	VI	9.40	8.55	4.45	570.0
	3666	磨石	AN	R-15	VI	9.55	7.60	5.90	601.0
597	3667	磨石	AN	E-23	VI	9.20	8.10	4.70	535.0
	3668	磨石	AN	L-20	VI	10.40	7.70	6.00	459.0
	3669	磨石	AN	E-24	VI	9.80	7.40	4.70	410.0
	3670	磨石	AN	L-20	VI	9.95	7.90	6.75	598.0
	3671	磨石	TL	J-23	VI	9.70	7.70	6.45	769.0
	3672	磨石	AN	G-20	VI	9.40	7.80	6.10	470.0
	3673	磨石	AN	E-22	VI	10.20	7.10	3.50	335.0
	3674	磨石	AN	R-10	VI	10.15	8.35	5.35	533.0
	3675	磨石	AN	C-25	VI	10.75	8.75	3.85	553.0
	3676	磨石	GR	F-3	VI	9.80	8.70	5.65	710.0
598	3677	磨石	AN	R-16	VI	10.10	8.80	4.90	620.0
	3678	磨石	AN	I-19	VI	10.00	8.90	4.30	480.0
	3679	磨石	AN	B-3	VI	9.15	9.10	6.25	734.0
	3680	磨石	AN	R-18	VI	10.30	9.00	5.70	621.0
	3681	磨石	AN	F-24	VI	11.30	7.80	5.00	709.0
	3682	磨石	AN	J-13	VI	11.10	8.10	4.75	585.0
	3683	磨石	AN	B-20	VI	10.80	6.40	4.20	387.5
	3684	磨石	AN	J-17	VI	11.10	10.10	5.90	658.0
	3685	磨石	AN	F-17	VI	10.50	8.40	4.60	652.5
	3686	磨石	AN	R-15	VI	8.70	10.10	6.30	695.0
599	3687	磨石	AN	F-21	VI	12.10	10.10	5.05	900.0
	3688	磨石	GR	K-22	VI	12.30	10.00	5.50	1,044
	3689	磨石	AN	I-18	VI	12.25	10.60	6.85	1,023
	3690	磨石	AN	R-17	VI	13.15	11.00	6.10	1,130
	3691	磨石	GR	F-15	VI	12.90	10.30	6.00	1,150
	3692	磨石	AN	E-21	VI	13.55	10.70	6.00	1,145
	3693	異形石器	AN	E-21	VI	(1.70)	(0.90)	0.30	0.49
	3694	異形石器	AN	C-25	VI	(2.40)	(1.31)	0.51	1.25
	3695	異形石器	AN	I-20	VI	2.27	1.98	0.50	1.82
	3696	異形石器	AN	I-19	VI	(2.37)	(1.80)	0.63	1.63
599	3697	異形石器	0B3	B-21	VI	2.65	(1.95)	0.45	3.41
	3698	異形石器	0B	F-23	VI	3.56	1.89	0.62	5.30
	3699	磨石	磨石	E-21	VI	(2.48)	2.47	(0.58)	3.30
	3700	ベトナム産	磨石	E-20	VI	5.29	5.40	1.42	130.0
	3701	輝石製品	輝石	F-16	VI	11.00	5.15	5.25	96.50
	3702	輝石製品	輝石	L-16	VI	12.85	6.55	2.55	72.50
	3703	輝石製品	輝石	B-20	VI	11.30	9.50	3.05	90.50

第V章 自然科学分析

第1節 自然科学分析の概要

平成19年から7年間に亘る発掘調査及び平成22年から8年間に亘る整理・報告書作成作業において、様々な自然科学分析を行ってきた。これまでの自然科学分析を実施した実績は以下の通りである。

第101表 自然科学分析実施一覧表

種別	委託年月	委託点数等	測定結果掲載報告書	
放射線炭素年代測定	H20. 2	炭化物4点	天神段遺跡1・3・4	
	H20. 3	炭化物1点	天神段遺跡1	
	H20.12	炭化物2点	天神段遺跡2	
	H23. 3	炭化物11点	天神段遺跡3	
	H23.11	炭化物5点	天神段遺跡3	
	H24. 1	炭化物19点	天神段遺跡1・2・3	
	H24. 1	炭化物20点	天神段遺跡1・2・4	
	H24. 2	炭化物6点	天神段遺跡1・2	
	H24.11	炭化物6点	天神段遺跡1	
	H25. 3	炭化物13点	天神段遺跡2・3	
	H25. 3	炭化物9点	天神段遺跡2・4	
	H26. 2	炭化物4点	天神段遺跡1	
	H26. 2	炭化種実8点	天神段遺跡2	
	H27. 2	炭化物10点	天神段遺跡2・3	
	H27. 3	炭化物10点	天神段遺跡2・3	
	H29. 2	炭化物7点	天神段遺跡3	
	テフラ分析	H23.12	火山灰土12点	天神段遺跡2・3
		H25. 3	土壌ブロック12点	天神段遺跡2・3
		H25. 3	土壌ブロック6点	天神段遺跡2・3
H26. 2		火山灰土10点	天神段遺跡2・3	
種実測定	H23.11	種実遺体17点	天神段遺跡1	
	H24.11	種実遺体3点	天神段遺跡1・2	
	H26. 2	種実遺体8点	天神段遺跡1	
石材産地分析	H24. 2	石核等30点	天神段遺跡2	
	H24. 3	剥片28点	天神段遺跡2	
	H25. 2	細石刃核等10点	天神段遺跡2	
	H25.11	剥片10点	天神段遺跡4	
	オパールレント	H24. 1	Ⅲ～Ⅴ層 27点	天神段遺跡1

本編においては、縄文時代早期に係る放射性炭素年代測定・テフラ分析分析結果を掲載してある。

なお、過去に刊行した報告書に掲載した測定結果も必要に応じて再度掲載してある。

第2節 テフラ分析

テフラ分析はこれまで4回実施し、その結果は「天神段遺跡2」で報告済みである。しかし、縄文時代早期の遺構の見直し作業を通じて、遺構名および番号の変更が生じたため必要な箇所は抜粋して再度掲載する。なお、詳細については「天神段遺跡2」の報告書を参照していただきたい。

1 テフラ分析1

はじめに

曾於郡大神町の北西部に所在する天神段遺跡は、非溶結の流紋岩質角礫含有軽石凝灰岩いわゆるシラス（鹿児島県地質図編集委員会、1990）からなる台地上に位置する。台地上面の標高は約206mとされ、周辺は開削が進んでいる。発掘調査では、旧石器時代から中世に至るまでの各時期の遺構・遺物が確認されている。また、これらの遺構を埋積あるいは遺物を包含する火山灰土中には、軽石などの火山砕屑物が認められている。

本報告では、火山灰土に含まれる火山砕屑物、特に斑晶鉱物と火山ガラスを抽出し、その鉱物組成や形態の特徴、さらには屈折率を捉えることによって、それらの火山砕屑物の由来するテフラを同定する。

(1) 試料

試料はN-18区とL・M-20区の各箇所で作成された断面より採取された火山灰土計10点と調査区内で検出された縄文時代早期中葉頃とされている堅穴住居跡遺構の覆土より採取された火山灰土計2点の合計12点である(第102表)。試料1は軽石であるが、それ以外の11点の試料は、1辺が概ね15cm弱の立方体様の形状で断面から採取されている。

調査区内で確認された火山灰土の断面は、発掘調査所見により表土の1層から順に下位に向かってⅧ層までの分層がなされ、これらのうち、Ⅲ層はⅢa～Ⅲc、Ⅳ層はⅣa、Ⅳb、Ⅴ層はⅤa～Ⅴcの各層に細分されている。また、Ⅱ層、Ⅴc層、Ⅷ層は降下テフラ層である。これらのうち、Ⅱ層は中・近世の遺物包含層の上位に堆積する灰白色を呈する降下軽石層であり、Ⅴc層は約7,300年前に九州南方の鬼界カルデラから噴出した鬼界アカホヤ火山灰(K-Ah:町田・新井,1978;2003)の降下堆積物が認められ、Ⅷ層は12,800年前に噴出した桜島薩摩テフラ(Sz-S:小林,1986;町田・新井,2003)の降下堆積層とされている。発掘調査者により記載された各層の色調と含まれる遺物および層厚などの一覧を第102表に示す。

N-18区では、1層からⅧ層上部までの断面が作成さ

れ、II層から試料1、縄文時代晩期の遺物包含層とされるIV b層から試料2、K-Ah直下のVI層上部から試料3、同層下部から試料4、その下位のVII層上部、中部、下部からそれぞれ試料5、試料6、試料7が採取されている。L・M-20区では、III層からXVI層までの断面が作成され、ナイフ形石器文化期の遺物包含層に挟まれるXII、XIII、XIVの各層から、それぞれ試料8、試料9、試料10の各試料が採取されている。以下に採取された各試料の表面の状況を記載する。

①N-18区(試料1~7)

試料1:最大径約11mm、モード粒径は3~5mmの灰黄褐色を呈する発泡不良の軽石。軽石の表面には粗粒の斑晶鉱物などは認められない。

試料2:褐色を呈するシルト質の火山灰土中に黄色軽石が散在する。軽石は、最大径約5mmであり、径2~3

mm程度のものが多い。軽石の他には、岩石片や鉱物片などの粗粒の砕屑物は認められず、細粒の火山ガラス片が微量散在する。

試料3:暗褐色を呈するシルト質の火山灰土中に黄色軽石と橙色軽石とが散在する。いずれの軽石も最大径約7mmであり、径2~5mmのものが多い。また、橙色軽石よりも黄色軽石の方が多い。軽石以外の砕屑物としては、微量の火山ガラスおよび極めて微量の径1mm程の青灰色を呈する岩片が認められる。

試料4:黒褐色を呈するシルト質の火山灰土中に黄色軽石が散在する。軽石は最大径約10mmであり、径2~3mmのものが多い。軽石の中には、輝石類とされる有色鉱物の斑晶を包有するものが微量混在する。軽石以外の砕屑物としては、微量の火山ガラスおよび極めて微量の径1mmの青灰色を呈する岩片が認められる。

第102表 調査区層序と試料採取層位(発掘調査者作成資料に基づいて作成)

層位	色調など	備考	層厚	試料	
				番号	採取位置
I層	表土		20cm	-	-
II層	灰白色バミス		3cm	1	N-18区
III a層	黒色土	中・近世の遺物包含層	5cm	-	-
III b層	暗茶褐色土	弥生~古代の遺物包含層	-	-	-
III c層	オリーブ褐色土		-	-	-
IV a層	茶褐色土	縄文時代晩期の遺物包含層 主な出土遺物:入佐式・黒川式	10cm	-	-
IV b層	黄褐色土	縄文時代晩期の遺物包含層 主な出土遺物:入佐式・黒川式	20cm	2	N-18区
V a層	褐色土	縄文時代前期の遺物包含層	20cm	-	-
V b層	赤褐色土		30cm	-	-
V c層	明赤褐色バミス	アカホヤ火山灰	10cm	-	-
VI層	明黄茶褐色土	縄文時代早期後葉の遺物包含層 主な出土遺物:平筒式・塞ノ神式	20cm	3	N-18区
				4	N-18区
VII層	黒褐色土	縄文時代早期前~中葉の遺物包含層 主な出土遺物:前平式・加栗山式・石板式・下剥峯式・辻タイプ・押型文	50cm	5	N-18区
				6	N-18区
				7	N-18区
VIII層	黄白色火山灰	薩摩火山灰	25cm	-	-
IX層	黒褐色粘質土	細石刃文化期の遺物包含層	10cm	-	-
X層	茶褐色粘質土		20cm	-	-
X I層	黒褐色粘質土		5cm	-	-
X II層	茶褐色硬質土		20cm	8	L・M-20区
X III層	暗茶褐色硬質土		40cm	9	L・M-20区
X IV層	黄茶褐色硬質土		20cm	10	L・M-20区
X V層	暗黄褐色土	ナイフ形石器文化期の遺物包含層	5cm	-	-
X VI層	明黄白色砂質土		20cm	-	-
VII層相当	黒褐色土	埋土下部		11	6号竪穴住居状遺構
VII層相当	黒褐色土	埋土下部		12	3号竪穴住居状遺構

試料5：黒褐色を呈するシルト質の火山灰土中に黄色軽石と白色軽石とが散在する。軽石の最大径は約11mmであり、径2～4mmのものが多く、傾向としては白色軽石よりも黄色軽石の方が多く、かつ粗粒である。軽石以外の砕屑物としては、微量の火山ガラスおよび極めて微量の径1mm程の灰色を呈する岩片が認められる。

試料6：黒色を呈するシルト質の火山灰土であるほかは、砕屑物の状況は試料5とほぼ同様である。

試料7：黒色を呈するシルト質の火山灰土中に黄色軽石と白色軽石とが散在する。試料6や試料5よりも軽石の量は多い。軽石の最大径は約10mmであり、径3～5mmのものが多く、傾向としては白色軽石よりも黄色軽石の方が多く、かつ粗粒である。軽石以外の砕屑物としては、微量の火山ガラスおよび極めて微量の径4mm程の灰色を呈する岩片が認められる。

②L・M-20区 (試料8～10)

試料8：褐色を呈するシルト質の火山灰土中に赤褐色軽石が極めて微量散在する。軽石の径は1～2mm程度である。軽石以外の砕屑物としては、微量の火山ガラスおよび微量の白色を呈する斜長石の鉱物片が認められる。

試料9：黒褐色を呈するシルト質～粘土質の火山灰土中に橙黄色軽石が散在する。軽石は最大径約11mmであり、径2～5mmのものが多く、他に黄白色を呈する、微量の火山ガラスおよび径2mmほどの微量の白色を呈する岩片が認められる。

試料10：暗褐色を呈するシルト質～粘土質の火山灰土中に橙黄色軽石が散在する。橙黄色軽石は最大径約11mmであり、径2～5mmのものが多く、他に黄白色を呈する径20mmほどの粗粒軽石が数個認められる。軽石以外の砕屑物としては、微量の火山ガラスおよび径1～2mmほどの微量の青灰色を呈する岩片片が認められる。

③6号壑穴住居状遺構 (試料11)・3号壑穴住居状遺構 (試料12)

試料11は6号壑穴住居状遺構のほぼ中央付近の床面直上の厚さ20cmほどの覆土より採取された。黒色を呈するシルト質～粘土質の火山灰土中に黄色および白色の軽石が散在する。黄色軽石は、最大径約17mmであり、径5～7mmのものが多く、白色軽石は径3mm程度であり、黄色軽石に比べて少ない。軽石以外の砕屑物としては、微量の火山ガラスおよび微量の白色を呈する斜長石の鉱物片が認められる。

試料12は3号壑穴住居状遺構のほぼ中央付近の床面直上の厚さ20cmほどの覆土より採取された。試料表面の特徴は上述した試料11とほぼ同様である。

(2) 考察

・試料7～3

試料7から試料5までの3点が採取されたⅦ層には、

部分的に軽石の濃集するブロックが認められている。このようなブロックは、軽石の降下堆積物が攪乱を受けながらも、降灰層付近にその一部が保存されたものであると考えられる。すなわち、Ⅶ層中の軽石はⅦ層の下位に堆積するSz-Sから拡散した軽石も含まれてはいると考えられるが、主体はSz-Sの後に降下堆積したテフラに由来すると考えられる。したがって、試料7～試料5より得られた重鉱物組成と火山ガラスの組成は、Sz-S以降に堆積したテフラの特性を示している可能性が高い。Vc層はK-Ahの堆積層であることから、Ⅶ層中のテフラは、Sz-SとK-Ahの間に噴出したテフラとなる。天神段遺跡の地理的位置から、それに該当するテフラは桜島から噴出した桜島13 (Sz-13)、桜島12 (Sz-12)、桜島11 (Sz-11)のいずれか(小林, 1986; 町田・新井, 2003、以下桜島テフラについては同様の引用)であるとされる。これらのうち、Sz-11については桜島から東北東の末吉方面に分布軸を持ち、K-Ahとの間にはほとんど土壌が形成されていないとの記載(森脇, 1994)から、Ⅶ層中のテフラに対比される可能性は低い。一方、Sz-12の分布軸は桜島から東方(森脇, 1994)、Sz-13の分布軸は桜島の東方および南東の2つが存在する(小林・江崎, 1997)とされていることから、Ⅶ層のテフラはこれらのうちのいずれかに対比されると考えられる。町田・新井(2003)に掲載されたこれら2枚のテフラの火山ガラスと斜方輝石のそれぞれの屈折率(Sz-12はn₁.510-1.514, γ 1.708-1.711, Sz-13はn₁.513-1.516, γ 1.707-1.711、以下屈折率の引用は同様)と、今回の試料7～試料5のそれらの値とを比べると、いずれのテフラともレンジが一致することはないが、より近似するといえるのはSz-12の方である。したがって、今回の試料7～試料5の分析からは、Ⅶ層中のテフラはSz-12に対比されると考えられる。なお、火山ガラスの屈折率が一致しない理由としては、火山ガラスの表面の風化変質によって形成される水和層の状態が異なることが考えられる。このことは、中村ほか(2002)により、特に完新世のテフラにおいてばらつきが大きいことが指摘されている。また、Sz-12の噴出年代は、暦年代で約9,000年前とされている(奥野, 2002)。

試料4と試料3の採取されたⅦ層は上述したⅦ層中のテフラがSz-12に対比されることから、Sz-11の降下堆積層に相当する。しかし、発掘調査者による断面記載や断面写真の状況および試料の表面観察などからは、この層位でテフラの降下堆積があったか否かは判断することはできない。今回の分析では、試料4と試料3の重鉱物組成は下位のⅥ層の試料とほぼ同様であり、火山ガラス比は、上位のK-Ahに由来すると考えられるパブル型火山ガラスが混在するという結果である。これらの結果からは、下位からのSz-12の拡散と上位からのK-Ahの

拡散が示唆され、Sz-11の降下堆積は見出せない。ただし、試料3において、火山ガラスの屈折率と斜方輝石の屈折率のレンジの下限が下位の試料に比べて、ともに高い方にずれていることが認められる。このことは、Sz-11の降下堆積を示唆している可能性がある。おそらく、噴火時には降灰があったが、上述したように天神段遺跡の位置はSz-11の分布軸からずれた位置にあるため、降下した砕屑物の量が少なかったことが推定される。そのため、降下堆積層としての痕跡を残せなかったと考えられる。

・試料10～8

試料10から試料8までが採取されたⅩⅦ層からⅩⅧ層までの層位は、シラス形成以降Sz-S降灰以前の時期に相当する。発掘調査者による断面記載と断面写真および試料の表面観察から、試料9の採取された層位は、軽石質テフラの降下堆積層準に相当する可能性がある。この時期のテフラとしては、下位より桜島17(Sz-17)、桜島16(Sz-16)、桜島15(Sz-15)の3枚の降下軽石層が記載されていることから、試料9の採取された層位はこれらのうちのいずれかに対比されると考えられる。これらのテフラの分布記載(森脇, 1994)によれば、天神段遺跡付近では、Sz-17(Tk-6)の層厚は10～30cm、Sz-16(Tk-5)の層厚は不明であり、Sz-15(Tk-4)の層厚は10cm未満となっている。また、同記載によれば、Sz-17と下位の入戸火砕流堆積物との間の土壌の発達は良くないとされている。さらに、Sz-15については、斜方輝石の屈折率が γ 1.702-1.707という比較的低い値が特徴とされている(森脇, 1994)。以上の記載により、試料9の軽石質テフラは、Sz-16に対比されると考えられる。なお、Sz-16についての火山ガラスおよび斜方輝石の屈折率の公表値は認められない。また、試料9および試料10も試料8も、その火山ガラスの屈折率については、始良Tn火山灰(AT:町田・新井, 1976)に特有のレンジである。すなわち、今回の分析によりこれら3試料から抽出された火山ガラスは、基盤のシラスすなわち入戸火砕流に由来するものであり、桜島のテフラに由来する火山ガラスは、ほとんど含まれていないと判断される。

試料10にも若干の軽石が認められたが、層位的には、より下位に堆積していると推定されるSz-17に由来する軽石の再堆積物と考えられる。試料10の斜方輝石の屈折率は、町田・新井(2003)によるSz-17のそれとほぼ一致しており、軽石がSz-17に由来することを支持している。試料8に微量認められた軽石は、上述したSz-15の斜方輝石の屈折率を考慮すれば、Sz-15に由来するものではなく、下位のSz-16の再堆積物であろう。

・試料12～8

6号堅穴住居状遺構の試料11および3号堅穴住居状遺構の試料12については、重鉱物組成および火山ガラ

ス比が、前述したN-18区の試料7から試料5までの試料とほぼ同様の組成を示す。火山ガラスの屈折率では、試料12のレンジは試料7～試料5のそれとほぼ同様であり、試料11のレンジは主要なレンジで試料7～試料5と一致する。試料11における低屈折率の火山ガラスは、その値から、入戸火砕流堆積物に由来する火山ガラスが混入したものと考えられる。斜方輝石の屈折率では、試料11はレンジの上限が、試料12はレンジの下限が、それぞれ試料7～試料5のレンジと若干のずれを示すが、どちらの試料も重複する範囲は広いと言える。これらの分析結果の比較により、試料11および試料12の軽石は、ともに試料7～試料5の軽石と同一のテフラすなわちSz-12に由来すると考えられる。

Sz-12の降下堆積が住居廃絶後それほど時間を置かずに起こったとすれば、住居跡の年代はSz-12の噴出年代に近いと言える。前述したように、Sz-12の噴出年代は暦年代で約9,000年前とされているが、その年代観はテフラの周辺で出土するとされている土器型式の早期中葉という年代とも整合する。

2 テフラ分析2

(1) 試料

試料は、天神段遺跡で検出された遺構の埋土から採取された土壌ブロック3点と輝北町にある通称上場高原風車断面の露頭から採取された土壌ブロック9点の合計12点である。以下に採取された各試料の状況を記載する。また、試料の一覧を第103表に示す。

・試料番号1(天神段遺跡 4号堅穴住居状遺構)

暗褐色を呈するシルト質の火山灰土中に黄色軽石が少量散在する。軽石の粒径は2～12mm程度である。

・試料番号2(天神段遺跡 1号堅穴住居状遺構)

暗褐色を呈するシルト質の火山灰土中に黄色軽石が中量散在する。軽石の粒径は2～4mm程度である。

・試料番号3(天神段遺跡 16号連穴土坑)

黒褐色を呈するシルト質の火山灰土中に黄色軽石が中量散在する。軽石の粒径は1～5mm程度である。

・試料番号4(輝北町 比較試料1 桜島11テフラ(Sz-11)層の上部から採取)

黄褐色を呈するシルト質の火山灰土中に黄色軽石が濃集する。軽石の粒径は2～20mm程度であり、表面は風化している。

・試料番号5(輝北町 比較試料2 桜島11テフラ(Sz-11)層の下部から採取)

黄褐色を呈するシルト質の火山灰土中に黄色軽石が濃集する。軽石の粒径は3～10mm程度であり、表面は風化している。径3～18mmの灰色岩片が少量混在する。



第 600 図 比較試料採取地点の位置

・試料番号 6 (輝北町 比較試料 3 桜島 12 テフラ (Sz-12) 層の上部から採取)

黄褐色を呈する砂質の火山灰土中に黄色軽石が濃集する。軽石の粒径は 3 ~ 25mm 程度であり、表面は風化している。径 3 ~ 9 mm 程度の灰色岩片が少量混在する。

・試料番号 7 (輝北町 比較試料 4 桜島 12 テフラ (Sz-12) 層の中部から採取)

黄褐色を呈する砂質の火山灰土中に黄色軽石が濃集する。軽石の粒径は 3 ~ 25mm 程度であり、表面は風化している。径 3 ~ 15mm 程度の灰色岩片が少量混在する。

・試料番号 8 (輝北町 比較試料 5 桜島 12 テフラ (Sz-12) 層の下部から採取)

黄褐色を呈する砂質の火山灰土中に黄色軽石が濃集する。軽石の粒径は 3 ~ 40mm 程度であり、表面は風化している。径 3 ~ 15mm 程度の灰色岩片が少量混在する。

・試料番号 9 (輝北町 比較試料 6 桜島 13 テフラ (Sz-13) 層の上部から採取)

褐色を呈するシルト質の火山灰土中に黄色軽石が中量散在する。軽石の粒径は 1 ~ 9 mm 程度であり、表面は風化している。

・試料番号 10 (輝北町 比較試料 7 桜島 13 テフラ (Sz-13) 層の中部から採取)

褐色を呈するシルト質の火山灰土中に黄色軽石が中量散在するが、径 30mm ほどの軽石の濃集したブロックも含まれる。軽石の粒径は 1 ~ 8 mm 程度であり、表面は風化している。

・試料番号 11 (輝北町 比較試料 8 桜島 13 テフラ (Sz-13) 層の下部から採取)

暗褐色を呈するシルト質の火山灰土中に黄色軽石が中量散在する。軽石の粒径は 1 ~ 7 mm 程度であり、表面は風化している。

・試料番号 12 (輝北町 比較試料 9 桜島薩摩テフラ (Sz-S) 層から採取)

黒褐色を呈するシルト質の火山灰土中に黄色軽石が中量散在する。軽石の粒径は 2 ~ 22mm 程度であり、表面は風化している。

第 103 表 テフラ組成分析試料一覧

試料番号	遺跡名・採取地	試料名	状態	テフラ名
1	天神段遺跡	4号竪穴住居状遺構埋土	暗褐色土中に軽石散在。軽石の最大径 12mm。	
2	天神段遺跡	1号竪穴住居状遺構埋土	暗褐色土中に軽石散在。軽石の最大径 4mm。	
3	天神段遺跡	16号連穴土坑埋土	黒褐色土中に軽石散在。軽石の最大径 1 ~ 5mm。	
4	輝北町上場高原風車断面	比較資料 1	黄褐色土中に軽石濃集。軽石の最大径 20mm。	Sz-11 上部
5	輝北町上場高原風車断面	比較資料 2	黄褐色土中に軽石濃集。軽石の最大径 10mm。 灰色岩片含む。	Sz-11 下部
6	輝北町上場高原風車断面	比較資料 3	黄褐色土中に軽石濃集。軽石の最大径 25mm。 灰色岩片含む。	Sz-12 上部
7	輝北町上場高原風車断面	比較資料 4	黄褐色土中に軽石濃集。軽石の最大径 25mm。 灰色岩片含む。	Sz-12 中部
8	輝北町上場高原風車断面	比較資料 5	黄褐色土中に軽石濃集。軽石の最大径 40mm。 灰色岩片含む。	Sz-12 下部
9	輝北町上場高原風車断面	比較資料 6	褐色土中に軽石散在。軽石の最大径 9mm。	Sz-13 上部
10	輝北町上場高原風車断面	比較資料 7	褐色土中に軽石散在。軽石の最大径 8mm。	Sz-13 中部
11	輝北町上場高原風車断面	比較資料 8	暗褐色土中に軽石散在。軽石の最大径 7mm。	Sz-13 下部
12	輝北町上場高原風車断面	比較資料 9	黒褐色土中に軽石散在。軽石の最大径 22mm。	Sz-S

(2) 考察

天神段遺跡の堅穴住居状遺構および連穴土坑を埋める土壌中に散在する軽石は、試料番号1～3までの試料から得られた重鉱物組成、火山ガラス比、火山ガラスの形態および火山ガラスと斜方輝石の屈折率の各分析結果が、ほぼ同様の値を示すことから、同一のテフラに由来する可能性が高いと考えられる。遺構の検出層は、約7,300年前に九州南方の鬼界カルデラから噴出した鬼界アホヤ火山灰(K-Ah:町田・新井,1978;2003)と12,800年前に噴出した桜島薩摩テフラ(Sz-S:小林,1986;町田・新井,2003)との間にあることから、上述した遺構埋土中の軽石はSz-SとK-Ahの間に噴出したテフラに由来すると考えられる。なお、試料番号1と試料番号2に認められた低折率の火山ガラスは、その値から、入戸火砕流堆積物に由来する火山ガラスが混入したものと考えられる。

天神段遺跡の地理的位置から、Sz-SとK-Ahの間に噴出したテフラは桜島から噴出した桜島13(Sz-13)、桜島12(Sz-12)、桜島11(Sz-11)のいずれか(小林,1986;町田・新井,2003)であるとされる。今回の分析では、これら3枚のテフラに相当するとされる比較試料が輝北町の露頭より得られている。ただし、採取された試料の状況から軽石だけではなく供伴する火山灰土もある程度交えた上で同時に処理しているために、分析結果にはそのテフラとは異なる砕屑物の影響も及んでいる。例えば、比較試料の最上位であるSz-11上部の比較試料1ではバブル型火山ガラスが軽石型と同程度の割合で含まれているが、これはその屈折率から、Sz-11の直上に堆積するK-Ahに由来する火山ガラスが擾乱により混入したものと考えられる。また、比較試料の最下位であるSz-Sの比較試料9では低屈折率の火山ガラスが認められるが、これは天神段遺跡遺構埋土の試料番号1,2と同様に入戸火砕流堆積物に由来する火山ガラスの混入を示している。そのような中でも、今回の分析結果のうちの重鉱物組成については、ほぼテフラごとに異なる特徴として単斜輝石の割合を見出すことができた。また、火山ガラスの屈折率でも、Sz-12に相当する比較試料において若干高くなる傾向が認められた。これらの特徴から比較をすると、天神段遺跡遺構埋土は、比較試料6・7に近似すると言える。比較試料6・7はSz-13の上部および中部とされているから、それに従えば、天神段遺跡遺構埋土中に認められた軽石は、Sz-13に由来する可能性があると考えられる。なお、町田・新井(2003)に掲載されたSz-13の火山ガラスの屈折率はn₁.513-1.516、斜方輝石のそれは γ .1.707-1.711である。Sz-13とされた比較試料の各値のうち、斜方輝

石の屈折率はほぼレンジが重なるのみでよいが、火山ガラスの屈折率はレンジが重複しない。したがって、今回の比較試料で得られた火山ガラスの屈折率を、そのまま各検出テフラの特性としてよいかということについては検討の余地がある。火山ガラスの屈折率が一致しない理由としては、1)火山ガラスの表面の風化変質によって形成される水和層の問題、2)細砂径の火山ガラスには、異なるテフラ由来の火山ガラスが多く混在している、という主に2つのことが考えられる。水和層の問題については、中村ほか(2002)により、特に完新世のテフラにおいてばらつきが大きいことが指摘されている。町田・新井(2003)に掲載されたSz-13の火山ガラスの状態を検証することはできないが、どちらの理由かを検証するためには、風化程度の異なる各地の軽石を対象とした屈折率の測定が必要であろう。また、比較試料のなかった平成23年度調査における遺構埋土のテフラの分析(本節1テフラ分析1)では、今回のようにSz-12とSz-13との重鉱物組成の違いや屈折率の違いを見出せなかった。そのような事情から、火山ガラスの屈折率において町田・新井(2003)の値に、より近いと言えるSz-12に対比される可能性のあることを示した。しかし、その測定値自体は今回の結果におけるSz-13の比較試料の方に近い。したがって、天神段遺跡における縄文時代の遺構埋土中のテフラの特定には、上述したような周辺各地におけるSz-12とSz-13の分布状況と分析値の蓄積が必要と考えられる。

3 テフラ分析3

(1) 試料

試料は、天神段遺跡で検出された土坑の埋土から採取された土壌ブロック5点と曾於市大隅町に所在する定塚遺跡で検出された堅穴住居の覆土から採取された軽石1点の合計6点である。以下に採取された各試料の状況を記載する。また、試料の一覧を第104表に示す。

- ・試料番号1(天神段遺跡 10号連穴土坑埋土)
黒褐色を呈するシルト質の火山灰土中に黄色軽石が中量散在する。軽石の粒径は2～20mm程度であり、ほとんど粘土化している。
- ・試料番号2(天神段遺跡 2号連穴土坑埋土)
黒褐色を呈するシルト質の火山灰土中に黄色軽石が少量散在する。軽石の粒径は1～7mm程度であり、ほとんど粘土化している。
- ・試料番号3(天神段遺跡 25号連穴土坑埋土)
黒褐色を呈するシルト質の火山灰土中に黄色軽石が中量散在する。軽石の粒径は1～9mm程度であり、ほとんど粘土化している。

第104表 テフラ分析試料一覧

試料番号	遺跡名・採取地	試料名	状態	テフラ名
1	天神段遺跡	10号連穴土坑	黒褐色土中に軽石散在。軽石の最大径 20mm。	
2	天神段遺跡	23号連穴土坑	黒褐色土中に軽石散在。軽石の最大径 7mm。	
3	天神段遺跡	25号連穴土坑	黒褐色土中に軽石散在。軽石の最大径 9mm。	
4	天神段遺跡	12号連穴土坑	黒褐色土中に軽石散在。軽石の最大径 11mm。	
5	天神段遺跡	32号連穴土坑	黒褐色土中に軽石散在。軽石の最大径 11mm。	
6	曾於市大隅町定塚遺跡	比較資料 (堅穴住居跡覆土中)	径 2～43mmの黄色軽石。発泡は良好であり、斑晶鉱物は目立たない。	Sz-13

・試料番号4 (天神段遺跡 12号連穴土坑埋土)

黒褐色を呈するシルト質の火山灰土中に黄色軽石が少量散在する。軽石の粒径は1～11mm程度であり、ほとんど粘土化している。

・試料番号5 (天神段遺跡 32号連穴土坑埋土)

黒褐色を呈するシルト質の火山灰土中に黄色軽石が少量散在する。軽石の粒径は1～11mm程度であり、ほとんど粘土化している。

・試料番号6 (曾於市大隅町定塚遺跡 比較試料堅穴住居跡覆土中)

黄色を呈する軽石である。軽石の粒径は2～43mm程度であり、表面は比較的新鮮である。軽石の発泡は良好であるが、斑晶鉱物は目立たない。発掘調査所見では、桜島13テフラ(Sz-13)に対比される可能性があるとしてされている。

(2) 考察

今回の天神段遺跡各土坑埋土から得られた重鉱物組成、火山ガラス比および火山ガラスの屈折率と斜方輝石の屈折率のいずれもが、同じ平成24年度調査で検出された1号堅穴住居状遺構と4号堅穴住居状遺構の埋土の分析(本節2テフラ分析2)から得られた値とほぼ同様であると評価できる。テフラ分析2では輝北町の露頭より採取された比較試料の分析値との比較から、天神段遺跡の遺構埋土中に認められる軽石はSz-13に対比される可能性があるとした。その理由としては、比較試料におけるSz-12とSz-13との間に認められる重鉱物組成における単斜輝石の量比の違いと火山ガラスの屈折率の若干の違いを挙げた。しかし、その一方で、比較試料のSz-13の火山ガラスの屈折率が町田・新井(2003)の値とはレンジが異なるという課題も残された。

今回の比較試料では、発掘調査所見により、Sz-13とされる軽石試料を分析した。軽石は今回およびこれまでの天神段遺跡遺構埋土中の軽石とは異なり、硬く比較的新鮮な状態であり、発泡した状態も肉眼でよく

観察された。分析処理は前述したように土壌を交えずに軽石のみを粉砕して行ったものであるから、その重鉱物組成は軽石中に包有される斑晶鉱物の重鉱物組成である。火山ガラス比については火山ガラス以外はほとんどが斜長石の斑晶であり、これも軽石中に包有されていた斑晶鉱物である。そして、火山ガラスの屈折率は軽石を構成する火山ガラスの屈折率となるが、町田・新井(2003)に掲載されたSz-13の火山ガラスの屈折率であるn_t.513-1.516とほぼ重複するレンジが得られた。斜方輝石のそれはこれまでと同様に町田・新井(2003)の値とほぼ重なっている。

テフラ分析2では、火山ガラスの屈折率が一致しない理由として、1)火山ガラスの表面の風化変質によって形成される水和層の問題、2)細砂径の火山ガラスには、異なるテフラ由来の火山ガラスが多く混在している、という2項目をあげた。今回の比較試料の軽石は比較的新鮮な状態であったことから、町田・新井(2003)のSz-13の火山ガラスの値も比較的新鮮な状態の軽石の測定値であることがわかった。風化が進んだ状態すなわち水和が進んだ状態では、屈折率は上昇するとされているから、より風化の進んだ状態であったテフラ分析2の比較試料におけるSz-13の試料からは町田・新井(2003)の値よりもさらに高い値が得られるはずであるが、逆に低い値であった。このことから、テフラ分析2で得られたSz-13の火山ガラスの屈折率は、Sz-13の軽石に由来するものではない可能性が高いと考えられる。その場合、火山ガラスの屈折率が一致しない理由は、上述した2番目の理由になる。すなわち、Sz-13のテフラには、細砂径の火山ガラスはほとんど含まれていない可能性が高い。細砂径の火山ガラスが由来するSz-13とは異なるテフラとは、層位と屈折率の値から、桜島摩羅テフラ(Sz-S)である可能性がある。テフラ分析1およびテフラ分析2とさらに今回の土坑埋土の分析において、混在する低屈折率の火山ガラスを除いた主要な火山ガ

ラスの屈折率がほぼ同様なレンジを示したのは、いずれも Sz-S に由来する火山ガラスが主体を占めていたことに起因する可能性があると考えられる。

今後、天神段遺跡とほぼ同時期の遺構埋土に認められる黄色軽石のテフラの分析では、テフラ分析 2 で示した Sz-12 と Sz-13 との重鉱物組成の違いが有効な指標になる可能性がある。傾向としては、Sz-12 よりも Sz-13 の方が単斜輝石の割合が高い。今回の土坑埋土の重鉱物組成における単斜輝石の割合は、テフラ分析 2 の遺構埋土のそれと比べると若干低い。また、Sz-13 であることがほぼ確認できた試料番号 6 の比較試料においても、テフラ分析 2 の割合と比べると低い。ただし、不透明鉱物を除いた斜方輝石と単斜輝石の 2 者間における量比を取れば、試料番号 6 の単斜輝石の割合はテフラ分析 2 の Sz-13 の比較試料に近くなり、試料番号 2~4 についてもそれに近い割合となる。したがって、今回の天神段遺跡における土坑埋土中の軽石も、Sz-13 に由来する可能性の方が高いと考えられる。今後も、Sz-13 と Sz-12 のテフラの特定には、周辺各地における Sz-12 と Sz-13 の分布状況と分析値の蓄積が必要と考えられる。

4 テフラ分析 4

(1) 試料

試料は、F-4 区で検出された 7 号速穴土坑遺構の覆土 1 点と E-5 区で作成された土層断面の各層より採取された火山灰土 9 点の合計 10 点である。試料には 1~10 までの試料番号が付されている。試料番号 1 は 7 号速穴土坑の覆土であり、試料番号 2 以下は、下記各層から採取された火山灰土である。

調査区の火山灰土層は、発掘調査所見により表土の I 層から順に下位に向かって XII 層までの分層がなされ、これらのうち、III 層は III a ~ III c、IV 層は IV a、IV b、V 層は V a ~ V c の各層に細分されている。各層の発掘調査所見による層相を、試料の一覧を提示した第 105 表に併記する。特にテフラの含有が指摘されている層位は以下の通りである。II 層は桜島起源の噴出物の安永ボラ点、IV b、VI、VII、XII、XIII、XIV の各層は桜島起源の噴出物、V b 層はアカホヤ火山灰、V c 層はアカホヤ火山灰で鬼界カルデラ起源の火山灰とされている。アカホヤ火山灰とは約 7, 300 年前に九州南方の鬼界カルデラから噴出した鬼界アカホヤ火山灰 (K-Ah: 町田・新井, 1978:2003) である。なお、VIII 層は黄白色火山灰土とされている層位であるが、これまでの所見により、この層位は 12, 800 年前に噴出した桜島薩摩テフラ (Sz-S: 小林, 1986; 町田・新井, 2003) の降下堆積層とされている。

試料番号 2 以下の試料は、それぞれ上位より順に、

II, IV b, V a, VI, VII, XII, XIII, XIV, XV の各層から 1 点ずつ採取されている。各試料の表面に認められる砕屑物の状況などを一覧にして第 105 表に示す。第 105 表の記載にあるように、試料表面に認められた軽石は、ほとんどが粘土化しており、指で容易につぶれる状態であった。

(2) 考察

① E-5 区各層のテフラの同定

・XV 層・XIV 層・XIII 層・XII 層

XV 層から XII 層までの層位は、天神段遺跡の立地するシラス台地を形成した入戸火砕流噴出以降 Sz-S 降灰以前の時期に形成された火山灰土層に相当する。発掘調査所見によれば、XV 層は暗黄褐色土とされ、桜島起源の噴出物の層位とはされていない。ただし、試料の表面観察から、XV 層 (試料番号 10) には橙色を呈する粘土化した軽石の散在が認められている。この軽石は、入戸火砕流噴出以降に噴出した桜島起源のテフラに由来すると考えられる。その産状から、おそらく XV 層はそのテフラの降下堆積層準ではなく、XV 層形成以前に降下堆積したテフラに由来する軽石が XV 層形成時に再堆積し、混入した可能性がある。入戸火砕流噴出以降 Sz-S 降灰以前のテフラとしては、下位より桜島 17 (Sz-17)、桜島 16 (Sz-16)、桜島 15 (Sz-15) の 3 枚の降下軽石層が記載されている (小林, 1986; 町田・新井, 2003。以下桜島テフラについては同様の引用)。これらのテフラの分布記載 (森脇, 1994) によれば、天神段遺跡付近では、Sz-17 (Tk-6) の層厚は 10 ~ 30cm、Sz-16 (Tk-5) の層厚は不明であり、Sz-15 (Tk-4) の層厚は 10cm 未満となっている。また、同記載によれば、Sz-17 と下位の入戸火砕流堆積物との間の土壌の発達は良くないとされている。さらに、Sz-15 については、斜方輝石の屈折率が γ 1.702-1.707 という比較的低い値が特徴とされている (森脇, 1994)。

今回の分析で XV 層 (試料番号 10) に確認された砕屑物のうち、火山ガラスについては、その特異な屈折率から、ほとんどが入戸火砕流に由来する火山ガラスからなり、桜島起源のテフラに由来する火山ガラスは分析処理済みの試料にはほとんど含まれていないと考えられる。軽石が粘土化していることから、桜島起源のテフラに由来する火山ガラスも粘土化しており、分析処理後の砂分には残存しなかった可能性が高い。一方、斜方輝石については、その屈折率から、明瞭に由来の異なる 2 種類の斜方輝石の混在していることが明らかにされた。

町田・新井 (2003) の記載との比較から、2 種類のうち高屈折率の斜方輝石は入戸火砕流に由来することが確実であるから、低屈折率の斜方輝石が桜島

第105表 テフラ組織分析試料一覧

層序			試料番号	試料名	状態	出土区採取年月日
—	—	—	1	7号遺穴土坑土塊ブロック	径2～15mmの粘土化した黄褐色軽石濃集。	F-4区 H25.9.11
I層	表土					
II層	明黄色バミス	桜島起源の噴出物 安水ボラ点在	2	II層埋土土塊ブロック	径2～5mmの灰白色軽石散在。	E-5区 H25.10.21
IIIa層	黒色土					
IIIb層	暗茶褐色土					
IIIc層	オリーブ褐色土					
IVa層	茶褐色土					
IVb層	黄褐色土	桜島起源の噴出物	3	IVb層埋土土塊ブロック	径2～6mmの粘土化した黄色軽石やや濃集。	E-5区 H25.10.18
Va層	褐色土		4	Va層埋土土塊ブロック	径1～3mmの粘土化した黄色軽石散在。	E-5区 H25.10.18
Vb層	赤褐色土	アカホヤ火山灰				
Vc層	明赤褐色土	アカホヤ火山灰 鬼界カルデラ起源の火山灰				
VI層	明黄褐色土	桜島起源の噴出物	5	VI層埋土土塊ブロック	径2～6mmのやや粘土化した黄白色軽石散在。	E-5区 H25.10.18
VII層	黒褐色土	桜島起源の噴出物	6	VII層埋土土塊ブロック	径1.5～15mmの粘土化した黄色軽石・褐色軽石濃集。	E-5区 H25.10.18
VIII層	黄白色火山灰土	桜島噴摩テフラ				
IX層	黒色粘質土					
X層	茶褐色粘質土					
XI層	黒褐色粘質土					
XII層	茶褐色硬質土	桜島起源の噴出物	7	XII層埋土土塊ブロック	径2mmの粘土化した赤褐色軽石点在、径2～3mmの灰白色岩片点在。	E-5区 H25.10.21
XIII層	暗茶褐色硬質土	桜島起源の噴出物	8	XIII層埋土土塊ブロック	径5～15mmの粘土化した褐色軽石点在、径1～2mmの灰色岩片散在。	E-5区 H25.10.18
XIV層	黄茶褐色硬質土	桜島起源の噴出物	9	XIV層埋土土塊ブロック	径1～10mmの粘土化した黄色軽石散在、径2mmの灰色岩片点在。	E-5区 H25.10.21
XV層	暗黄褐色土	桜島起源の噴出物	10	XV層埋土土塊ブロック	径1～7mmの粘土化した褐色軽石散在、径1～2mmの灰色岩片散在。	E-5区 H25.10.21
XVI層	明黄白色砂質土					

起源のテフラに由来するものである。この斜方輝石の屈折率は上述した桜島起源の3枚のテフラのうちのSz-15とは異なり、町田・新井(2003)のSz-17の値とほぼ一致する。Sz-16の斜方輝石の屈折率の公表値は認められないが、下記のXIV層中の軽石がSz-15には対比されないことを考慮すれば、XV層中に再堆積物として混入する軽石はSz-17に由来する可能性が高い。

XV層は発掘調査所見により桜島起源の噴出物とさ

れ、また試料番号9の表面観察からも、黄色軽石からなるテフラの降下堆積層準に相当する可能性があると考えられる。試料番号9の火山ガラスは、その屈折率が上述した試料番号10のそれとほぼ同様であることから、ほとんどが入戸火砕流由来のものである。これは、試料番号9の軽石もほとんどが粘土化していることによる。しかし、斜方輝石の屈折率からは、3種類の異なるテフラの混在が推定される。高屈折率の斜方輝石は試料番号10と同様に入戸火砕流に由来する

ものであり、低屈折率の斜方輝石は試料番号10の低屈折率のレンジとほぼ同様であることから、Sz-17に由来する可能性が高い。したがって、中屈折率の斜方輝石が、Ⅻ層中に降下堆積した黄色軽石からなるテフラに由来する可能性が高い。中屈折率のレンジは上述したSz-15の斜方輝石の屈折率とは異なることから、Ⅻ層の黄色軽石のテフラは、Sz-16に対比される可能性が高い。Sz-16の噴出年代は、歴年代で（以下文中の年代は歴年代）約25,000年前とされている（奥野, 2002）ことから、Ⅻ層の形成年代も、ほぼその前後と考えられる。

Ⅺ層も発掘調査所見により桜島起源の噴出物とされているが、試料番号8の表面観察からは、Ⅻ層の試料番号9に比べて軽石の含有の少ないことが指摘できる。試料番号8の火山ガラスはその屈折率から試料番号9と同様の入戸火砕流由来のものであり、斜方輝石についても、試料番号9の高屈折率のレンジは認められないが、試料番号9の低屈折率と中屈折率のレンジが認められている。これらの状況から、Ⅺ層中の軽石は、下位のSz-17やSz-16に由来する再堆積物の可能性が考えられる。

Ⅹ層もⅪ層と同様に桜島起源の噴出物とされているが、試料番号7の表面観察からは、試料番号8と同様に軽石の含有の少ないことが指摘できる。また、火山ガラスの屈折率も試料番号8とほぼ同様である。ただし、斜方輝石の屈折率には、試料番号8と若干異なる様相が示されている。試料番号7も高屈折率と低屈折率のレンジに分かれるが、高屈折率のレンジは試料番号9や8の低屈折率のレンジよりもやや低く、低屈折率のレンジはさらに低い。これらのうち、試料番号7の高屈折率のレンジの数値をみると、前述したSz-15の斜方輝石のレンジと重複する範囲が大きい。上述したⅪ層以下の対比結果も考慮すれば、Ⅹ層中に含まれる軽石の中には、Sz-15に由来する軽石が含まれている可能性が高い。前述した森脇（1994）のSz-15の産状から、Ⅺ層の形成時期にSz-15の降下堆積があったが、降下した砕屑物の量が少ないためにその後の土壌形成過程において軽石は擾乱された可能性がある。なお、試料番号7の低屈折率のレンジは、町田・新井（2003）の記載では、桜島のテフラや始良カルデラのテフラには認められない値である。九州の火山に由来するテフラとしては、霧島火山起源のテフラにこのような低屈折率の斜方輝石が認められる。現時点では、Ⅹ層の層位に整合する霧島火山のテフラは認められないことから、その由来は今後の課題とされる。

・Ⅷ層・Ⅵ層

Ⅶ層とⅥ層はSz-Sよりも上位の層位であり、また

発掘調査所見により、Ⅵ層の上位のVc層はK-Ahの堆積層であることから、Sz-SとK-Ahの両テフラの噴出の間に形成された火山灰土層となる。Ⅶ層とⅥ層はともに桜島起源の噴出物という所見であるが、試料の表面観察からはⅥ層（試料番号5）の方が含有される軽石が多く、テフラの降下堆積層に相当する可能性がある。Sz-SとK-Ahの両テフラの噴出の間の時期に天神段遺跡付近に降下した桜島起源のテフラは、Sz-13, Sz-12, Sz-11のいずれかであると考えられる。これらのうち、Sz-11については桜島から東北東の末吉方面に分布軸を持ち、K-Ahとの間にはほとんど土壌が形成されていないとの記載（森脇, 1994）から、Ⅵ層中のテフラに対比される可能性は低い。一方、Sz-12の分布軸は桜島から東方（森脇, 1994）、Sz-13の分布軸は桜島の東方および南東の2つが存在する（小林・江崎, 1997）とされていることから、Ⅵ層のテフラは、これらのうちのいずれかに対比されると考えられる。

Ⅵ層（試料番号5）の火山ガラスの屈折率は、主要レンジと低屈折率および高屈折率とに3分された。これらのうち、主要レンジは、Sz-Sの火山ガラスのレンジとほぼ一致し、低屈折率は入戸火砕流由来の火山ガラスによるものと考えられる。したがって、高屈折率の火山ガラスが、Ⅵ層中の桜島起源のテフラに由来する可能性がある。その値は町田・新井（2003）に掲載された値との比較から、Sz-12よりもSz-13に近いと判断される。したがって、Ⅵ層中の軽石は、Sz-13に対比される可能性が高い。なお、試料番号5の斜方輝石の屈折率は低屈折率と高屈折率の2つのレンジに分かれたが、高屈折率の斜方輝石はその値から、入戸火砕流に由来するものである。一方の低屈折率の斜方輝石は、Sz-SおよびSz-13（両テフラの斜方輝石の屈折率のレンジはほとんど重複する）に由来すると考えられる。Sz-13の噴出年代は、10,600年前とされている（奥野, 2002）ことから、Ⅵ層の形成時期もその前後であると言える。

Ⅵ層中の桜島起源のテフラがSz-13に対比されることにより、Ⅶ層中に認められた軽石はSz-Sの再堆積物である可能性がある。火山ガラスの屈折率をみると、不明瞭ではあるが、高屈折率のレンジはほぼSz-Sの火山ガラスの屈折率に相当し、低屈折率のレンジは入戸火砕流由来の火山ガラスの屈折率に相当する。斜方輝石の屈折率では低屈折率の斜方輝石はSz-S由来であり、高屈折率の斜方輝石は入戸火砕流由来である。さらに超高屈折率の斜方輝石が検出されたが、この値は始良カルデラのテフラである燃島テフラ（MJ: 小林, 1986）の斜方輝石に認めることができる。MJはSz-15噴出後、Sz-S噴出以前の約19,100年前

に始良カルデラから噴出したテフラである。VI層中には、M₁に由来する砕屑物も再堆積物として含まれていることがわかる。

・V a層・IV b層

V a層は発掘調査所見では褐色土とされている層位であるが、直下のV b層はアカホヤ火山灰とされている。V a層中の火山ガラスもK-Ahの特徴であるバブル型が多く、褐色のバブル型も含まれていることから、ほとんどがK-Ahに由来すると考えられる。V a層(試料番号4)の火山ガラスの屈折率もK-Ahの既知の値とほぼ一致する。試料番号4の斜方輝石の屈折率もK-Ahの値とほぼ一致するが、レンジの幅が高屈折率側にやや広がっている。そのダイアグラムから、 γ 1.713-1.715という高屈折率の斜方輝石が分離される可能性もある。ここで試料番号4の重鉱物組成には微量の角閃石が含まれていることも指摘できる。K-Ahとの層位関係と試料の表面に観察された黄色軽石、上述した高屈折率の斜方輝石および角閃石の含有ということを含めると、V a層中には池田湖カルデラ起源のテフラである池田湖テフラ(1k:成尾・小林, 1983)に由来する砕屑物が含まれている可能性がある。1kの噴出年代は、400年前とされていることから、V a層の形成時期もその前後という可能性があると考えられる。

IV b層は発掘調査所見により桜島起源の噴出物とされていることと試料番号3の表面に黄色軽石のやや濃集する状況が認められたことから、桜島起源のテフラの降下堆積層準を含む層位であると考えられる。上述したV a層の対比から、1kの降下堆積以降に桜島から噴出したテフラに対比される可能性が高い。1k以降の桜島テフラとしては、森脇(1994)が天神段遺跡に近い野方の露頭でTk-2として記載したSz-7が挙げられる。Sz-7は桜島の東南東に広がる大規模な軽石層とされている(小林・江崎, 1997)。試料番号3の火山ガラスはその形態組成からほとんどがK-Ah由来であり、その屈折率もK-Ahの値を示している。一方、斜方輝石の屈折率では主要レンジと高屈折率とに分かれるが、高屈折率の斜方輝石は入戸火砕流由来のものである。主要レンジの値はK-Ahの値とも一致するが、Sz-7の値とも一致する。このことから、IV b層中の黄色軽石は、Sz-7に対比される可能性がある。Sz-7に由来する火山ガラスは粘土化しており、処理後の試料には残存しなかったと考えられる。Sz-7の噴出年代は約5,000年前とされている(奥野, 2002)から、IV b層の形成時期もその前後という可能性があると考えられる。

・II層

II層は明黄色バミスとされている層位であり、桜島

起源の噴出物、安永ボラ点などの所見がある。II層の試料番号2の表面観察では、灰白色の軽石の散在が認められており、これが安永ボラすなわちSz-2(安永軽石, AD1779年)に対比されるものであろう。試料番号2の火山ガラス比分析で認められた火山ガラスは軽石型主体であるが、明らかにSz-2には由来しない無色透明のバブル型火山ガラスや褐色のバブル型も混在している。火山ガラスの屈折率からは低屈折率の火山ガラスが認められ、その値から、これは入戸火砕流に由来することがわかる。また、主要レンジはSz-2の火山ガラスの屈折率とほぼ一致するが、若干低い値も含まれており、その中にはK-Ahに由来する火山ガラスが含まれていることが示唆される。斜方輝石の屈折率をみても、高屈折率の斜方輝石は入戸火砕流に由来するものであり、低屈折率の斜方輝石は、Sz-2に由来すると判断される。

②7号連穴土坑について

7号連穴土坑の覆土から採取された試料番号1の表面観察では軽石の濃集する状況が認められた。火山ガラス比分析では軽石型火山ガラスを主体とする組成が得られたが、その屈折率をみると、3つのレンジに分かれており、少なくとも3種類のテフラに由来する火山ガラスが混在している可能性があると考えられる。この状況は、今回のVI層の低い屈折率の火山ガラス5の火山ガラスの屈折率の状況と類似する。発掘調査所見では、7号連穴土坑の検出面はVI層であるが、掘り込み面はそれよりも上位であったと考えられていることから、試料番号1の覆土はVI層に由来する可能性がある。試料番号5では、低い屈折率の火山ガラスは入戸火砕流、主要レンジの火山ガラスはSz-S、高屈折率の火山ガラスはSz-13にそれぞれ由来するとしたことから、7号連穴土坑の覆土中に認められた軽石はSz-13に由来すると考えられる。

7号連穴土坑の図面記載では土坑覆土中の軽石は密に入るとされている部分があるが、降下堆積層としては認められていない。この状況からは、土坑が開口している時期に軽石が降下堆積したかどうかは不明である。土坑開口時に降下堆積したのであれば、土坑の構築時期は、Sz-13の噴出年代より以前であるが、土坑周囲のVI層を構成していた土が土坑内に落ち込んだという場合には土坑の構築時期はSz-13の噴出年代よりも後になる可能性がある。今後、周辺の顕例における軽石の産状との比較検討を行う必要があると考えられる。

第3節 放射性炭素年代測定

これまで放射性炭素年代測定を平成19年度から16回実施し、そのうち縄文時代早期に關係する測定は9回にわたる。実施してきた年代測定の中で、縄文時代早期に關係する測定結果を按群して掲載する。

なお、縄文時代前期以降に關係する測定結果は、既刊の「天神段遺跡1」および「天神段遺跡2」の報告書に掲載してあることから該当する報告書を参照していただきたい。

(1) 放射性炭素年代測定 1

1 はじめに

鹿児島県宮崎郡大崎町野方に位置する天神段遺跡より検出された試料について、加速器質量分析法(AMS法)による放射性炭素年代測定を行った。なお、No. 3の試料は同一試料について樹種同定を行った。

2 試料と方法

測定試料の情報、調製データは第106表のとおりである。

試料は炭化材で、部位不明である。試料No. 3は樹種同定の結果ケヤキと同定されている。試料採取位置は、No. 3(PLD-12245)がJ-16区1トレンチⅦ層である。

試料は調製後、加速器質量分析計(パレオ・ラボ、コンパクトAMS: NEC製 1.5SDM)を用いて測定した。得られた ^{14}C 濃度について同位体分別効果の補正を行った後、 ^{14}C 年代、暦年代を算出した。なお、同時に試料No. 1、No. 2、No. 4の測定も行った。その測定結果については「天神段遺跡1」の報告書に試料No. 1とNo. 2、「天神段遺跡4」の報告書に試料No. 4が掲載してある。

3 結果

第107表に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比($\delta^{13}\text{C}$)、同位体分別効果の補正を行って暦年代表示に用いた年代値、慣用に従って年代値、誤差を丸めて表示した ^{14}C 年代、 ^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲を、第601図に暦年代較正結果をそれぞれ示す。暦年代較正に用いた年代値は年代値、誤差を丸めていない値であり、今後暦年代較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年代較正を行うために記載した。

^{14}C 年代はAD1950年を基点にして何年前かを示した年代である。 ^{14}C 年代(yrBP)の算出には、 ^{14}C の半減期としてLibbyの半減期5568年を使用した。また、付記した ^{14}C 年代誤差($\pm 1\sigma$)は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の ^{14}C 年代がその ^{14}C 年代誤差内に入る確率が68.2%であることを示すものである。

なお、暦年代較正の詳細は以下の通りである。

暦年代較正

暦年代較正とは大気中の ^{14}C 濃度が一定で半減期が5568年として算出された ^{14}C 年代に対し、過去の宇宙線強度

や地球磁場の変動による大気中の ^{14}C 濃度の変動、及び半減期の違い(^{14}C の半減期5730 \pm 40年)を較正することで、より実際の年代値に近いものを算出することである。

^{14}C 年代の暦年代較正にはOxCal4.0(較正曲線データ: INTCAL04)を使用した。なお、1 σ 暦年代範囲は、OxCalの確率法を使用して算出された ^{14}C 年代誤差に相当する68.2%信頼限界の暦年代範囲であり、同様に2 σ 暦年代範囲は95.4%信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は ^{14}C 年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年代較正曲線を示す。それぞれの暦年代範囲のうち、その確率が最も高い年代範囲については表中に下線で示してある。

4 考察

試料について、同位体分別効果の補正及び暦年代較正を行った。以下、2 σ 暦年代範囲に着目して結果を整理する。試料No. 3(PLD-12245)は、 ^{14}C 年代が7685 \pm 35、2 σ 暦年代範囲が6595-6461calBC(95.4%)で、キーリ・武藤(1982)や小林(2008)を参照すると縄文時代早期に相当する。

参考文献

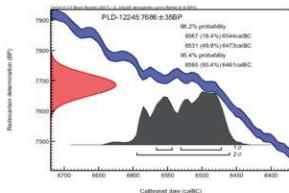
- キーリ C.T.・武藤康弘(1982) 縄文時代の年代。縄文文化の研究1, 246-275, 雄山閣。
- Bronk Ramsey, C. (1995) Radiocarbon Calibration and Analysis of Stratigraphy: The OxCal Program. Radiocarbon, 37, 425-430.
- Bronk Ramsey, C. (2001) Development of the Radiocarbon Program OxCal. Radiocarbon, 43, 355-363.
- 小林謙一(2008) 縄文時代の暦年代。縄文時代の考古学2 歴史のものさし, 257-269, 同成社。
- 中村俊夫(2000) 放射性炭素年代測定法の基礎。日本先史時代の14C年代, 3-20.
- Reimer, P.J., Baillie, M.G.L., Bard, E., Bayliss, A., Beck, J.W., Bertrand, C.J.H., Blackwell, P.G., Buck, C.E., Burr, G.S., Cutler, K.B., Damon, P.E., Edwards, R.L., Fairbanks, R.G., Friedrich, M., Guilderson, T.P., Hogg, A.G., Hughen, K.A., Kromer, B., McCormac, G., Manning, S., Bronk Ramsey, C., Reimer, R.W., Remmele, S., Southon, J.R., Stuiver, M., Talamo, S., Taylor, F.W., van der Plicht, J., and Weyhenmeyer, C.E. (2004) IntCal04 terrestrial radiocarbon age calibration, 0-26 cal kyr BP. Radiocarbon, 46, 1029-1058.

第 106 表 測定試料及び処理

測定番号	遺跡データ	試料データ	前処理
PLD-12245	調査区：J-16 区 1トレンチ 層位：Ⅷ層 試料 No.：3 その他：樹種同定	試料の種類：炭化材（ケヤキ） 試料の性状：部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2%、水酸化ナトリウム：1N、塩酸：1.2%） サルフィックス

第 107 表 放射性炭素年代測定及び暦年較正結果

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	暦年較正用年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
PLD-12245 試料 No.：3	-28.36 \pm 0.40	7686 \pm 35	7685 \pm 35	6567BC (18.4%) 6544BC 6531 (48.9%) 6473BC	6595BC (95.4%) 6461BC



第 601 図 暦年較正年代グラフ

(2) 放射性炭素年代測定

1 測定対象試料

天神段遺跡は、鹿児島県曽於郡大崎町野方 7233 番地ほか（北緯 31° 30' 31" 5260, 東経 130° 55' 40" 2406）に所在し、北側に向かって八手状に延びる、標高約 200m の台地の北端部に位置する。測定対象試料は、5 基の連穴土坑から出土した木片（No. 1: IAAA-110883 ~ No. 5: IAAA-110887）の合計 5 点である（第 108 表）。

2 測定の意義

遺跡内に位置する複数の連穴土坑の前後関係及び遺構の継続期間を明らかにする。

3 化学処理工程

- (1) メス・ピンセットを使い、根・土等の付着物を取り除く。
- (2) 酸-アルカリ-酸 (AAA: Acid Alkali Acid) 処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA 処理における酸処理では、通常 1mol/l (1M) の塩酸

(HCl) を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム (NaOH) 水溶液を用い、0.001M から 1M まで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が 1M に達した時には「AAA」、1M 未満の場合は「AaA」と第 108 表に記載する。

- (3) 試料を燃焼させ、二酸化炭素 (CO₂) を発生させる。
- (4) 真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- (5) 精製した二酸化炭素を鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト (C) を生成させる。
- (6) グラファイトを内径 1mm のカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

4 測定方法

加速器をベースとした ^{14}C -AMS 専用装置 (NEC 社製) を使用し、 ^{14}C の計数、 ^{13}C 濃度 ($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$)、 ^{12}C 濃度 ($^{12}\text{C}/^{12}\text{C}$) の測定を行う。測定では、米国国立標準局 (NIST) から提供されたシウ酸 (H₂O₂ II) を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

5 算出方法

- (1) $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の ^{13}C 濃度 ($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$) を測定し、基準試料からのずれを千分偏差 (‰) で表した値である (第 108 表)。AMS 装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
- (2) ^{14}C 年代 (Libby Age: yrBP) は、過去の大気中 ^{14}C 濃度が一定であったと仮定して測定され、1950 年を基準年 (0yrBP) として遡る年代である。年代値の算出には、Libby の半減期 (5568 年) を使用する (Stuiver and Polach 1977)。 ^{14}C 年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を第 108 表に、補正していない値を参考値として第 109 表に示した。 ^{14}C 年代と誤差は、下一桁を丸めて 10 年単位で表示される。また、 ^{14}C 年代の誤差 (1σ) は、試料の ^{14}C 年代がその誤差範囲に入る確率が 68.2% であることを意味する。
- (3) pMC (percent Modern Carbon) は、標準現代炭素に対する試料炭素の ^{14}C 濃度の割合である。pMC が小さい (^{14}C が少ない) ほど古い年代を示し、pMC が 100 以上 (^{14}C の量が標準現代炭素と同等以上) の場合 Modern とする。この値も $\delta^{13}\text{C}$ によって補正が必要があるため、補正した値を第 108 表に、補正していない値を参考値として第 109 表に示した。
- (4) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の ^{14}C 濃度を元に描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の ^{14}C 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1 標準偏差 ($1\sigma = 68.2\%$) あるいは 2 標準偏差 ($2\sigma = 95.4\%$) で表示される。グラフの縦軸が ^{14}C 年代、横軸が暦年較正年代を表す (第 602 図)。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下一桁を丸めない ^{14}C 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。

また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal09 データベース (Reimer et al. 2009) を用い、OxCalv4.1 較正プログラム (Bronk Ramsey 2009) を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として第 109 表に示した。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に基づいて較正 (calibrate) された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」(または「cal BP」) という単位で表される。

6 測定結果

試料の ^{14}C 年代は、20 号達穴土坑から出土した No. 1 が $9100 \pm 30\text{yrBP}$ 、同 15 号から出土した No. 2 が $9100 \pm 30\text{yrBP}$ 、同 14 号から出土した No. 3 が $9040 \pm 30\text{yrBP}$ 、同 5 号から出土した No. 4 が $9050 \pm 30\text{yrBP}$ 、同 21 号から出土した No. 5 が $9150 \pm 30\text{yrBP}$ である。暦年較正年代 (1σ) は、No. 1 が $8313 \sim 8276\text{cal BC}$ の範囲、No. 2 が $8308 \sim 8276\text{cal BC}$ の範囲、No. 3 が $8281 \sim 8251\text{cal BC}$ の範囲、No. 4 が $8285 \sim 8251\text{cal BC}$ の範囲、No. 5 が $8422 \sim 8289\text{cal BC}$ の間に 3 つの範囲で示され、いずれも縄文時代早期前葉頃に相当する。

試料の炭素含有率はすべて 60% を超える十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

参考文献

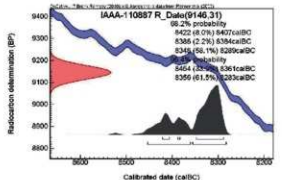
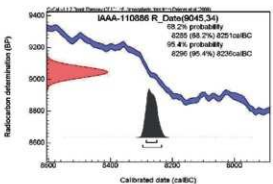
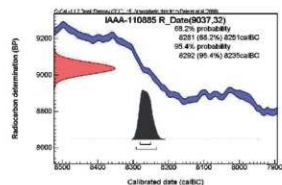
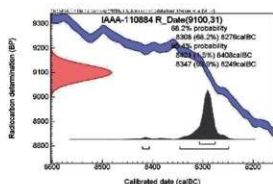
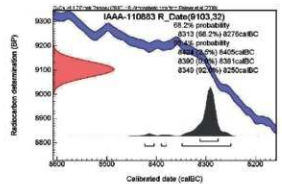
- Stuiver M. and Polach H.A. 1977 Discussion: Reporting of ^{14}C data, Radiocarbon 19(3), 355-363
 Bronk Ramsey C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, Radiocarbon 51(1), 337-360
 Reimer, P.J. et al. 2009 IntCal09 and Marine09 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, Radiocarbon 51(4), 1111-1150

第 108 表 測定試料及び処理

測定番号	試料名	採取場所	試料	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)		$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり			
							Libby Age (yrBP)	pMC (‰)		
IAAA-110883	No. 1	20 号達穴土坑埋土	木片	AaA	-26.24 ±	0.56	9,100 ±	30	32.20 ±	0.13
IAAA-110884	No. 2	15 号達穴土坑埋土	木片	AaA	-25.94 ±	0.54	9,100 ±	30	32.21 ±	0.13
IAAA-110885	No. 3	14 号達穴土坑埋土	木片	AaA	-27.80 ±	0.56	9,040 ±	30	32.46 ±	0.13
IAAA-110886	No. 4	5 号達穴土坑埋土	木片	AAA	-29.60 ±	0.50	9,050 ±	30	32.43 ±	0.14
IAAA-110887	No. 5	21 号達穴土坑埋土	木片	AaA	-26.47 ±	0.46	9,150 ±	30	32.03 ±	0.13

第 109 表 放射性炭素年代測定及び暦年校正結果

測定 番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年校正用	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age (yr BP)	gMC (%)			
IAAA-110883	9,120 \pm 30	32.12 \pm 0.12	9,103 \pm 32	8313calBC - 8276calBC (68, 2%)	8424calBC - 8405calBC (2.5%) 8390calBC - 8381calBC (0.9%) 8349calBC - 8250calBC (92.0%)
IAAA-110884	9,120 \pm 30	32.15 \pm 0.12	9,100 \pm 31	8308calBC - 8276calBC (68, 2%)	8424calBC - 8408calBC (1.5%) 8347calBC - 8249calBC (93.9%)
IAAA-110885	9,080 \pm 30	32.28 \pm 0.12	9,037 \pm 32	8281calBC - 8251calBC (68, 2%)	8292calBC - 8235calBC (95, 4%)
IAAA-110886	9,120 \pm 30	32.13 \pm 0.13	9,045 \pm 34	8285calBC - 8251calBC (68, 2%)	8296calBC - 8236calBC (95, 4%)
IAAA-110887	9,170 \pm 30	31.93 \pm 0.12	9,146 \pm 31	8422calBC - 8407calBC (8, 0%) 8388calBC - 8384calBC (2, 2%) 8348calBC - 8289calBC (58, 1%)	8454calBC - 8361calBC (33, 9%) 8356calBC - 8283calBC (61, 5%)



第 602 図 暦年校正年代グラフ

(3) 放射性炭素年代測定 3

1 測定対象試料

鹿児島県天神段遺跡の測定対象試料は、土坑から出土した炭化物 1 点、竪穴住居状遺構から出土した炭化物 5 点の合計 6 点である (第 110・111 表, 第 603 図)。なお, 他に 13 点の試料も月毎に測定を行ったが, その結果については「天神段遺跡 1」と「天神段遺跡 2」の報告書に記載してある。

2 測定の意義

遺構の年代を明らかにする。

3 化学処理工程

「(2) 放射性炭素年代測定 2」を参照

4 測定方法

「(2) 放射性炭素年代測定 2」を参照

5 算出方法

「(2) 放射性炭素年代測定 2」を参照

6 測定結果

土坑から出土した炭化物の ^{14}C 年代は, 5 号連穴土坑が $9170 \pm 40\text{yrBP}$ である。

竪穴住居状遺構から出土した炭化物の ^{14}C 年代は, 6

号竪穴住居状遺構が $9080 \pm 40\text{yrBP}$, 3 号竪穴住居状遺構が $9050 \pm 50\text{yrBP}$, 7 号竪穴住居状遺構が $9010 \pm 40\text{yrBP}$, 9 号竪穴住居状遺構が $9110 \pm 40\text{yrBP}$, 5 号竪穴住居状遺構が $9260 \pm 40\text{yrBP}$ である。試料 14 ~ 18 は, $9000 \sim 9300\text{yrBP}$ 頃の範囲にまとまっている。暦年較正年代 (1σ) は, 14 が $8299 \sim 8264\text{cal BC}$ の範囲, 15 が $8291 \sim 8247\text{cal BC}$ の範囲, 16 が $8282 \sim 8227\text{cal BC}$ の範囲, 17 が $8332 \sim 8276\text{cal BC}$ の範囲, 18 が $8564 \sim 8352\text{cal BC}$ の間に 2 つの範囲で示される。14 ~ 18 は縄文時代早期前葉頃に相当する。

試料の炭素含有率はすべて 60% 以上の十分な値で, 化学処理, 測定上の問題は認められない。

参考文献

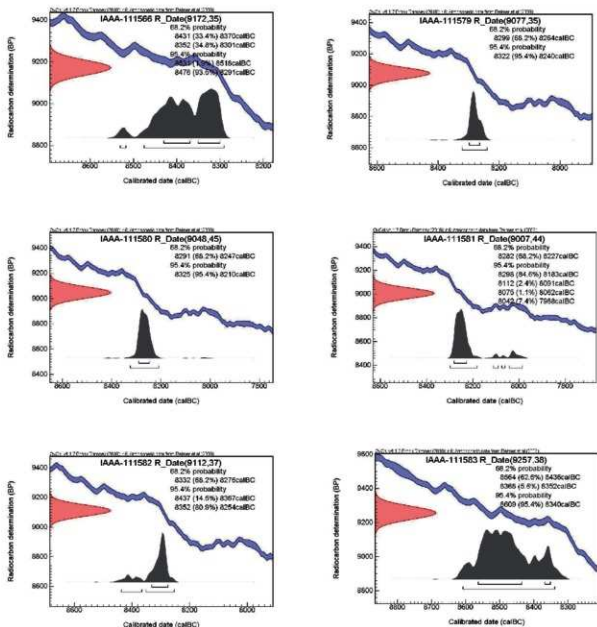
Stuiver M. and Polach H.A. 1977 Discussion: Reporting of ^{14}C data, Radiocarbon 19(3), 355-363
Bronk Ramsey C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, Radiocarbon 51(1), 337-360
Reimer, P.J. et al. 2009 IntCal09 and Marine09 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, Radiocarbon 51(4), 1111-1150

第 110 表 測定試料及び処理

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-111566	1	5 号連穴土坑	炭化物	AaA	-25.15 ± 0.56	9,170 ± 40	31.92 ± 0.14
IAAA-111579	14	6 号竪穴住居状遺構	炭化物	AAA	-27.88 ± 0.61	9,080 ± 40	32.3 ± 0.14
IAAA-111580	15	3 号竪穴住居状遺構	炭化物	AAA	-33.3 ± 0.63	9,050 ± 50	32.42 ± 0.18
IAAA-111581	16	7 号竪穴住居状遺構	炭化物	AaA	-30.79 ± 0.79	9,010 ± 40	32.59 ± 0.18
IAAA-111582	17	9 号竪穴住居状遺構	炭化物	AAA	-27.44 ± 0.39	9,110 ± 40	32.16 ± 0.15
IAAA-111583	18	5 号竪穴住居状遺構	炭化物	AaA	-29.34 ± 0.39	9,260 ± 40	31.59 ± 0.15

第 111 表 放射性炭素年代測定及び暦年較正結果

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正 (yrBP)	1 σ 暦年較正範囲	2 σ 暦年較正範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-111566	9,180 ± 40	31.91 ± 0.14	9,172 ± 35	8431calBC - 8370calBC (33.4%) 8352calBC - 8301calBC (34.8%)	8531calBC - 8518calBC (1.9%) 8476calBC - 8291calBC (93.5%)
IAAA-111579	9,130 ± 30	32.11 ± 0.14	9,077 ± 35	8299calBC - 8264calBC (68.2%)	8322calBC - 8240calBC (95.4%)
IAAA-111580	9,190 ± 50	31.87 ± 0.18	9,048 ± 45	8291calBC - 8247calBC (68.2%)	8325calBC - 8210calBC (95.4%)
IAAA-111581	9,100 ± 40	32.2 ± 0.17	9,007 ± 44	8282calBC - 8227calBC (68.2%)	8288calBC - 8183calBC (84.6%) 8112calBC - 8091calBC (2.4%) 8075calBC - 8062calBC (1.1%) 8042calBC - 7988calBC (7.4%)
IAAA-111582	9,150 ± 40	32 ± 0.15	9,112 ± 37	8332calBC - 8276calBC (68.2%)	8437calBC - 8367calBC (14.5%) 8352calBC - 8254calBC (80.9%)
IAAA-111583	9,330 ± 40	31.31 ± 0.15	9,257 ± 38	8564calBC - 8436calBC (62.6%) 8368calBC - 8352calBC (5.6%)	8609calBC - 8340calBC (95.4%)



第 603 図 暦年較正年代グラフ

(4) 放射性炭素年代測定 4

1 測定対象試料

鹿児島県天神段遺跡の測定対象試料は集石遺構から出土した炭化物 15 点であるが、試料 15 は欠番である（第 112～114 表，第 604～606 図）。なお、他に 5 点の試料も測定したが、結果については「天神段遺跡 1」および「天神段遺跡 2」の報告書に記載してある。

2 測定の意義

遺構の年代を明らかにする。

3 化学処理工程

「(2) 放射性炭素年代測定 2」を参照

4 測定方法

「(2) 放射性炭素年代測定 2」を参照

5 算出方法

「(2) 放射性炭素年代測定 2」を参照

6 測定結果

集石遺構から出土した炭化物は 14 点が測定され、それらの ^{14}C 年代を古い方から順に検討すると、最も古い 246 号集石遺構が $8330 \pm 40\text{yrBP}$ 、次いで 169 号集石遺

構が 7970 ± 30yrBP, 139 号集石遺構が 7440 ± 30yrBP である。これらの次に古い 304 号集石遺構 (7240 ± 30yrBP) から 206 号集石遺構 (6850 ± 30yrBP) の間に 3, 7, 9 ~ 13, 16, 17 が含まれ、誤差 (± 1σ) の範囲で値が重なるなど、相互に近接した年代値が多く認められる。暦年較正年代 (1σ) を上述の試料について古い方から順に見ると、14 が 7466 ~ 7352cal BC の範囲、1 が 7029 ~ 6823cal BC の間に 2 つの範囲、2 が 6367 ~ 6254cal BC の間に 2 つの範囲、4 が 6205 ~ 6051cal BC の間に 4 つの範囲、8 が 5749 ~ 5673cal BC の範囲、15 が 1303 ~ 1134cal BC の間に 2 つの範囲で示される。これらの年代値は、全体として縄文時代早期中葉から早期末・前期初頭頃に相当する。

試料の炭素含有率はすべて 60% を超える十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

参考文献

- Stuiver M. and Polach H.A. 1977 Discussion: Reporting of ¹⁴C data, Radiocarbon 19(3), 355-363
- Bronk Ramsey C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, Radiocarbon 51(1), 337-360
- Reimer, P.J. et al. 2009 IntCal09 and Marine09 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, Radiocarbon 51(4), 1111-1150

第 112 表 測定試料及び処理

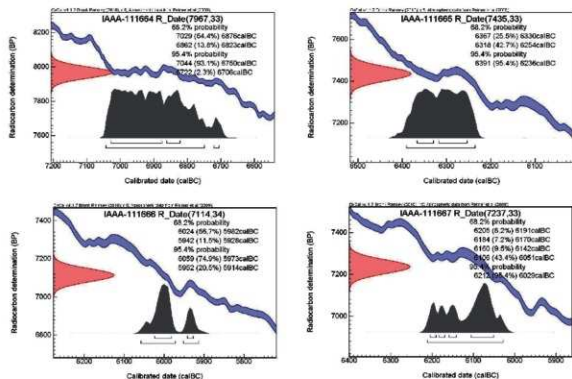
測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	δ ¹³ C (‰) (AMS)	δ ¹³ C 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-111664	1	169 号集石遺構	炭化物	AAA	-26.03 ± 0.54	7,970 ± 30	37.09 ± 0.15
IAAA-111665	2	139 号集石遺構	炭化物	AaA	-28.05 ± 0.68	7,440 ± 30	39.63 ± 0.17
IAAA-111666	3	186 号集石遺構	炭化物	AaA	-27.19 ± 0.62	7,110 ± 30	41.25 ± 0.18
IAAA-111667	4	304 号集石遺構	炭化物	AaA	-28.51 ± 0.7	7,240 ± 30	40.62 ± 0.17
IAAA-111670	7	217 号集石遺構	炭化物	AaA	-28.1 ± 0.74	7,010 ± 40	41.79 ± 0.18
IAAA-111671	8	206 号集石遺構	炭化物	AaA	-26.69 ± 0.33	6,850 ± 30	42.65 ± 0.18
IAAA-111672	9	174 号集石遺構	炭化物	AaA	-25.23 ± 0.36	7,010 ± 40	41.76 ± 0.18
IAAA-111673	10	223 号集石遺構	炭化物	AaA	-28.96 ± 0.67	7,000 ± 40	41.85 ± 0.19
IAAA-111674	11	298 号集石遺構	炭化物	AAA	-26.89 ± 0.49	7,020 ± 30	41.75 ± 0.17
IAAA-111675	12	195 号集石遺構	炭化物	AaA	-26.23 ± 0.43	6,930 ± 30	42.18 ± 0.18
IAAA-111676	13	300 号集石遺構	炭化物	AaA	-24.92 ± 0.59	6,920 ± 40	42.25 ± 0.18
IAAA-111677	14	246 号集石遺構	炭化物	AaA	-26.92 ± 0.45	8,330 ± 40	35.47 ± 0.16
IAAA-111678	15	欠番	-	-	-	-	-
IAAA-111679	16	244 号集石遺構	炭化物	AaA	-24.02 ± 0.65	7,070 ± 40	41.47 ± 0.18
IAAA-111680	17	283 号集石遺構	炭化物	AaA	-29.27 ± 0.73	7,170 ± 30	40.95 ± 0.17

第 113 表 放射性炭素年代測定及び暦年較正結果 (1)

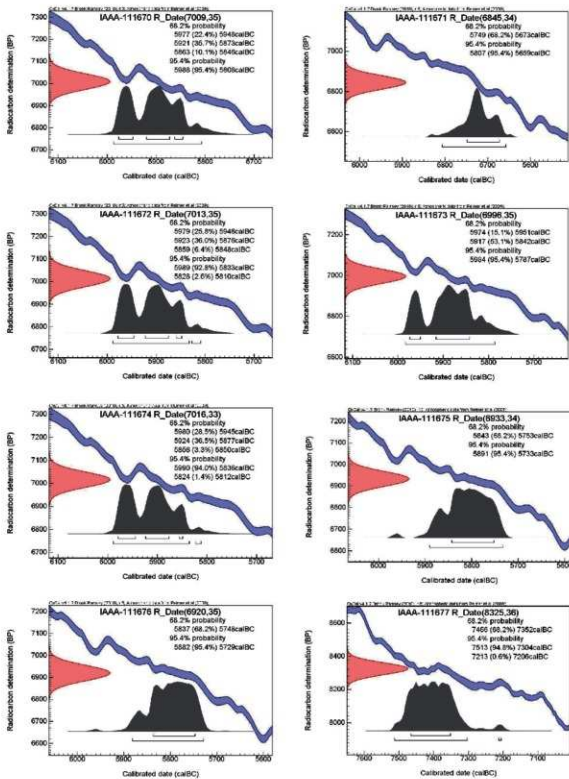
測定番号	δ ¹³ C 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1σ 暦年代範囲	2σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-111664	7,980 ± 30	37.01 ± 0.15	7,967 ± 33	7029calBC - 6876calBC (54.4%) 6862calBC - 6823calBC (13.8%)	7044calBC - 6750calBC (93.1%) 6722calBC - 6706calBC (2.3%)
IAAA-111665	7,490 ± 30	39.38 ± 0.16	7,435 ± 33	6367calBC - 6330calBC (25.3%) 6318calBC - 6254calBC (42.7%)	6391calBC - 6236calBC (95.4%)
IAAA-111666	7,150 ± 30	41.06 ± 0.17	7,114 ± 34	6024calBC - 5982calBC (56.7%) 5942calBC - 5928calBC (11.0%)	6059calBC - 5973calBC (74.9%) 5952calBC - 5914calBC (20.5%)
IAAA-111667	7,300 ± 30	40.32 ± 0.16	7,237 ± 33	6205calBC - 6191calBC (8.2%) 6184calBC - 6170calBC (7.2%) 6160calBC - 6142calBC (9.3%) 6106calBC - 6051calBC (43.4%)	6212calBC - 6029calBC (95.4%)

第 114 表 放射性炭素年代測定及び暦年較正結果 (2)

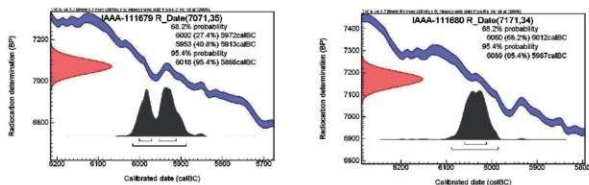
測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	gMC (%)			
IAAA-111670	7,060 ± 30	41.52 ± 0.17	7,009 ± 35	5977calBC - 5948calBC (22.4%) 5921calBC - 5873calBC (35.7%) 5863calBC - 5846calBC (10.1%)	5988calBC - 5808calBC (95.4%)
IAAA-111671	6,870 ± 30	42.5 ± 0.18	6,845 ± 34	5749calBC - 5673calBC (68.2%)	5807calBC - 5659calBC (95.4%)
IAAA-111672	7,020 ± 30	41.74 ± 0.18	7,013 ± 35	5979calBC - 5946calBC (25.8%) 5923calBC - 5876calBC (36.0%) 5859calBC - 5848calBC (6.4%)	5989calBC - 5833calBC (92.8%) 5828calBC - 5810calBC (2.6%)
IAAA-111673	7,060 ± 30	41.52 ± 0.18	6,996 ± 35	5974calBC - 5951calBC (15.1%) 5917calBC - 5842calBC (53.1%)	5984calBC - 5787calBC (95.4%)
IAAA-111674	7,050 ± 30	41.59 ± 0.17	7,016 ± 33	5980calBC - 5945calBC (28.5%) 5924calBC - 5877calBC (36.5%) 5856calBC - 5850calBC (3.3%)	5990calBC - 5836calBC (94.0%) 5824calBC - 5812calBC (1.4%)
IAAA-111675	6,950 ± 30	42.08 ± 0.17	6,933 ± 34	5843calBC - 5753calBC (68.2%)	5891calBC - 5733calBC (95.4%)
IAAA-111676	6,920 ± 30	42.26 ± 0.18	6,920 ± 35	5837calBC - 5748calBC (68.2%)	5882calBC - 5729calBC (95.4%)
IAAA-111677	8,360 ± 40	35.33 ± 0.16	8,325 ± 36	7466calBC - 7352calBC (68.2%)	7513calBC - 7304calBC (94.8%) 7213calBC - 7206calBC (0.6%)
IAAA-111678 (欠番)	—	—	—	—	—
IAAA-111679	7,060 ± 30	41.55 ± 0.17	7,071 ± 35	6002calBC - 5972calBC (27.4%) 5953calBC - 5913calBC (40.8%)	6018calBC - 5888calBC (95.4%)
IAAA-111680	7,240 ± 30	40.59 ± 0.16	7,171 ± 34	6060calBC - 6012calBC (68.2%)	6089calBC - 5987calBC (95.4%)



第 604 図 暦年較正年代グラフ (1)



第 605 図 暦年較正年代グラフ (2)



第 606 図 暦年較正年代グラフ (3)

(5) 放射性炭素年代測定 5

1 測定対象試料

鹿児島県天神段遺跡の測定対象試料は、1号壑穴住居状遺構内出土炭化物(8:IAAA-123004)、30号連穴土坑内出土炭化物(11:IAAA-123007)、31号連穴土坑内出土炭化物(12:IAAA-123008)、25号連穴土坑内出土炭化物(13:IAAA-123009)の合計4点である(第115・116表,第607図)。なお,同時に行った他の測定結果については,「天神段遺跡2」の報告書に掲載している。

2 測定の意義

遺構,遺物の年代を明らかにする。

3 化学処理工程

「(2)放射性炭素年代測定2」を参照

4 測定方法

「(2)放射性炭素年代測定2」を参照

5 算出方法

「(2)放射性炭素年代測定2」を参照

6 測定結果

暦年較正年代(1σ)は,8が8793~8657cal BCの間に2つの範囲,11が8725~8631cal BCの範囲,12

が8727~8634cal BCの範囲,13が8340~8280cal BCの範囲で示される。8,11,12が縄文時代早期前葉から中葉頃,13が縄文時代早期中葉頃に相当する(小林福2008,藤尾2009)。

試料の炭素含有率はすべて約50%以上で,化学処理,測定上の問題は認められない。

参考文献

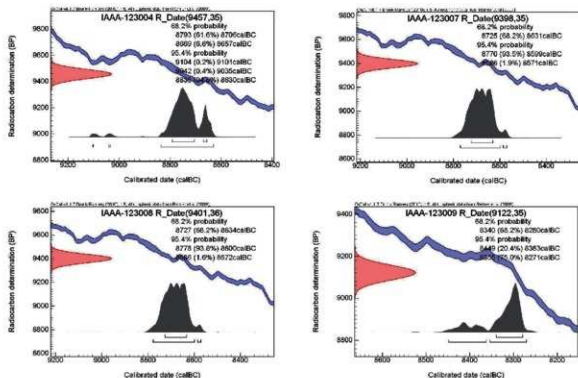
- Bronk Ramsey C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, Radiocarbon 51(1), 337-360
- 藤尾慎一郎 2009 弥生時代の実年代,西本豊弘編,新弥生時代のはじまり 第4巻 弥生農耕のはじまりとその年代,雄山閣,9-54
- 小林達雄編 2008 総覧縄文土器,総覧縄文土器刊行委員会,アム・プロモーション
- Reimer, P.J. et al. 2009 IntCal09 and Marine09 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, Radiocarbon 51(4), 1111-1150
- Stuiver M. and Polach H.A. 1977 Discussion: Reporting of ¹⁴C data, Radiocarbon 19(3), 355-363
- 1 BP, Radiocarbon 51(4), 1111-1150

第 115 表 測定試料及び処理

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	δ ¹³ C (‰) (AMS)	δ ¹³ C 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (‰)
IAAA-123004	8	1号壑穴住居状遺構	炭化物	AAA	-22.99 ± 0.28	9,460 ± 40	30.81 ± 0.14
IAAA-123007	11	30号連穴土坑	炭化物	AAA	-25.75 ± 0.29	9,400 ± 40	31.04 ± 0.14
IAAA-123008	12	31号連穴土坑	炭化物	AAA	-24.3 ± 0.24	9,400 ± 40	31.03 ± 0.14
IAAA-123009	13	25号連穴土坑	炭化物	AAA	-26.51 ± 0.28	9,120 ± 40	32.12 ± 0.14

第 116 表 放射性炭素年代測定及び暦年較正結果

測定番号	δ ¹³ C 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1σ 暦年代範囲	2σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-123004	9,420 ± 40	30.94 ± 0.14	9,457 ± 35	8793calBC - 8706calBC (61.6%) 8669calBC - 8657calBC (6.6%)	9104calBC - 9101calBC (0.2%) 9042calBC - 9035calBC (0.4%) 8806calBC - 8630calBC (94.8%)
IAAA-123007	9,410 ± 40	30.99 ± 0.14	9,398 ± 35	8725calBC - 8631calBC (68.2%)	8770calBC - 8599calBC (93.8%) 8586calBC - 8571calBC (1.9%)
IAAA-123008	9,390 ± 40	31.07 ± 0.14	9,401 ± 36	8727calBC - 8634calBC (68.2%)	8778calBC - 8600calBC (93.8%) 8586calBC - 8572calBC (1.6%)
IAAA-123009	9,150 ± 40	32.02 ± 0.14	9,122 ± 35	8340calBC - 8280calBC (68.2%)	8449calBC - 8363calBC (20.4%) 8355calBC - 8271calBC (75.0%)



第 607 図 暦年較正年代グラフ

(6) 放射性炭素年代測定 6

1 測定対象試料

鹿児島県天神段遺跡の測定対象試料は、土器 (掲載番号 273) 付着炭化物 (1: IAAA-123503), 土器 (掲載番号 357) 付着炭化物 (2: IAAA-123504), 土器 (掲載番号 720) 付着炭化物 (3: IAAA-123505), 土器 (掲載番号

647) 付着炭化物 (4: IAAA-123506), 4号竪穴住居状遺構内出土炭化物 (5: IAAA-123507), 61号土坑内出土炭化物 (8: IAAA-123510), 1号集石遺構内出土炭化物 (9: IAAA-123511) の合計7点である (第117・118表, 第608・609図)。土器付着炭化物1, 2は土器の外表面, 3, 4は土器の内面より採取された。

炭化物が採取された土器は, 1がⅡ類土器, 2がⅤ類

土器, 3, 4がXI類土器とされる。なお, 同時に行った他の試料の測定結果は「天神段遺跡2」の報告書に掲載してある。

2 測定の意義

遺構, 遺物の年代を明らかにする。

3 化学処理工程

「(2) 放射性炭素年代測定2」を参照

4 測定方法

「(2) 放射性炭素年代測定2」を参照

5 算出方法

「(2) 放射性炭素年代測定2」を参照

6 測定結果

試料の¹⁴C年代は, 試料1が9420 ± 40yrBP, 試料2が9010 ± 40yrBP, 試料3が8860 ± 30yrBP, 試料4が9050 ± 40yrBP, 試料5が8780 ± 30yrBP, 試料8が8280 ± 30yrBP, 試料9が8380 ± 30yrBPである。

暦年校正年代(1σ)は, 1が8745 ~ 8639cal BCの間に2つの範囲, 2が8276 ~ 8236cal BCの範囲, 3が8200 ~ 7956cal BCの間に4つの範囲, 4が8288 ~ 8254cal BCの範囲, 5が7938 ~ 7751cal BCの間に2

つの範囲, 8が7452 ~ 7197cal BCの間に3つの範囲, 9が7521 ~ 7377cal BCの間に2つの範囲で示される。1が縄文時代早期前葉から中葉頃, 2 ~ 5, 8, 9が縄文時代早期中葉頃, 6が縄文時代前期後葉頃, 7が縄文時代晩期前葉から中葉頃に相当する(小林編2008)。

試料の炭素含有率はすべて40%以上で, 化学処理, 測定上の問題は特に認められない。

参考文献

- Bronk Ramsey C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, *Radiocarbon* 51(1), 337-360
- 小林達雄編 2008 総覧縄文土器, 総覧縄文土器刊行委員会, アム・プロモーション
- Reimer, P.J. et al. 2009 IntCal09 and Marine09 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, *Radiocarbon* 51(4), 1111-1150
- Stuiver M. and Polach H.A. 1977 Discussion: Reporting of ¹⁴C data, *Radiocarbon* 19(3), 355-363
- ing of ¹⁴C data, *Radiocarbon* 19(3), 355-363

第117表 測定試料及び処理

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	δ ¹³ C (‰) (AMS)	δ ¹³ C 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	± pMC (‰)
IAAA-123503	1	I-20区	土器付着炭化物 (掲載番号273)	AaA	-25.46 ± 0.43	9,420 ± 40	30.96 ± 0.14
IAAA-123504	2	E-15区	土器付着炭化物 (掲載番号357)	AaA	-26.01 ± 0.46	9,010 ± 40	32.58 ± 0.15
IAAA-123505	3	L-16区	土器付着炭化物 (掲載番号720)	AaA	-24.43 ± 0.42	8,860 ± 30	33.17 ± 0.14
IAAA-123506	4	L-16区	土器付着炭化物 (掲載番号647)	AaA	-21.70 ± 0.37	9,050 ± 40	32.40 ± 0.15
IAAA-123507	5	4号型穴住居状遺構内	炭化物	AaA	-25.13 ± 0.37	8,780 ± 30	33.53 ± 0.14
IAAA-123510	8	61号土坑内 (F-18区埋層検出)	炭化物	AaA	-27.33 ± 0.4	8,280 ± 30	35.68 ± 0.15
IAAA-123511	9	1号集石遺構内 (E-22区埋層検出)	炭化物	AAA	-25.54 ± 0.3	8,380 ± 30	35.23 ± 0.15